

歯科衛生士の勤務実態調査 報告書

令和 7 年 3 月

公益社団法人 日本歯科衛生士会

第 10 回 歯科衛生士の勤務実態調査報告書

はじめに

公益社団法人日本歯科衛生士会では、昭和 56（1981）年より 5 年ごとに全会員を対象とした「歯科衛生士の勤務実態調査」を実施しており、令和 6（2024）年には第 10 回目の調査を行いました。本調査は、歯科衛生士の就業状況、労働条件、業務内容、研究活動、復職に関する状況など多岐にわたる項目を網羅しており、歯科衛生士の勤務実態を把握する上で極めて重要な資料となっています。

今回の調査は、令和 6 年 9 月 30 日から 11 月 30 日までの期間に実施し、調査開始以来、初めてネットリサーチを導入しました。回収率は 35.5%で、前回調査より 17.9%減少しましたが、時代に即した質問項目の見直しや、業務や雇用に関する満足度の調査項目を充実させるなど、より現状に即した内容となるよう工夫を重ねました。また、離職防止や復職支援に関する項目を引き続き設け、新人歯科衛生士の早期離職防止や教育プログラムの改良に役立つデータ収集を目指しました。

調査結果では、回答者の年齢構成において 50 歳以上が過半数を占め、経験年数 20 年以上の割合も増加している一方で、20～30 代の回答者が少なく、若年層の勤務実態や意向の把握が課題として浮き彫りになりました。雇用形態では、常勤者が 58.0%、非常勤者が 37.4%と前回調査とほぼ同様の割合を示し、勤務場所では診療所勤務が 43.0%で最多でした。

仕事に対する満足度は、満足・大変満足と回答した者が 73.1%で、前回より 5.2%上昇しましたが、給与や待遇面に対する不満は依然として多く、特に年収に満足している者は 38.5%にとどまり、不満を感じている者は 34.4%と前回より増加しました。また、転職経験者は 80.8%に上り、転職理由として「出産・育児」「結婚」「給与・待遇面」「勤務形態・勤務時間」が上位に挙げられました。

現在の職場で改善してほしい点として、78.6%の就業者が待遇改善を希望しており、福利厚生の充実を求める声も 57.6%に上りました。これらの結果から、歯科衛生士が離職を考えずに就業を継続するためには、給与や待遇の改善、多様な勤務形態や休暇制度の整備、専門性を評価する仕組みの構築が不可欠であることが示唆されます。

本報告書では、これらの調査結果を総括し、詳細を記載しております。本報告書が、歯科衛生士の人材確保・育成、そして職場環境の改善に向けた取り組みの一助となることを期待しております。また、都道府県別集計表も併せて作成しており、各都道府県歯科衛生士会や関係機関においてご活用いただければ幸いです。

最後に、本調査にご協力いただいた会員の皆様、調査実施に際しご指導を賜りました鳥山佳則先生、大島克郎先生、野村義明先生、ならびに集計・分析にご尽力いただいた株式会社ネオマーケティングの皆様に深く感謝申し上げます。

令和 7 年 3 月

公益社団法人日本歯科衛生士会
会長 吉田直美

目 次

第1章 調査の概要

I. 調査の目的	1
II. 調査方法	1
III. 調査内容	1
IV. 調査対象者	1
V. 調査実施日	1
VI. 調査回収数	1
VII. 倫理的配慮	1
VIII. 調査主体	1
IX. 調査委員会	1
X. 入力・集計・分析	2

第2章 調査結果の総括

I. 調査結果の総括	3
----------------------------	---

第3章 調査結果の詳細

I. 回答者の属性	7
II. 就業状況	12
III. 労働条件・福利厚生・給与	19
IV. 職場環境・職務	34
V. 研究活動	54
VI. 現在の勤務先	62
VII. 歯科医療施設（診療所・病院・大学病院等）	63
VIII. 行政（保健所・都道府県・市区町村）	95
IX. 歯科衛生士教育養成機関	117
X. 介護保険施設等	139
XI. 非就業者	156

第4章 資料

第10回歯科衛生士の勤務実態調査票	170
-----------------------------------	-----

第1章 調査の概要

I. 調査の目的

本調査は、昭和 56（1981）年より 5 年毎に行い 10 回目を迎えたが、今回は近年における歯科衛生士を取り巻く環境の変化を踏まえ、歯科衛生士の就業状況、労働条件、勤務先別の業務の実施状況、研修や研究活動等の実態等を調べ、歯科衛生士のさまざまな問題解決のための基礎資料として活用することを目的に実施した。

II. 調査方法

WEB アンケート

III. 調査内容

巻末の調査票参照

IV. 調査対象者

全国の日本歯科衛生士会の会員 15,177 人（令和 6 年 10 月 30 日現在）全員（悉皆）とした。

V. 調査実施日

令和 6 年 9 月 30 日～11 月 30 日

VI. 調査回収数

会員数：15,177 人 回収数：5,385 人 回収率：35.5%

※都道府県別回収数の詳細は表 1 参照

VII. 倫理的配慮

本アンケートは無記名とし、個人が特定できないよう配慮した。記載はあくまでも参加者の意思決定を尊重し、回答をもって承諾を得たとした。

VIII. 調査主体

公益社団法人日本歯科衛生士会

調査担当者

吉田 直美 会長

岡田 昌子 専務理事

IX. 調査委員会

委員

安達 奈穂子 東京科学大学大学院口腔疾患予防学分野 講師

大島 克郎 日本歯科大学東京短期大学 教授

鈴木 瞳 東京科学大学大学院口腔健康教育学分野 講師

鳥山 佳則 東京歯科大学短期大学 学長

野村 義明 上海理工大学光化学光材料研究所 教授

○吉田 直美 東京科学大学大学院口腔健康教育学分野 教授

（○委員長）

X. 入力・集計・分析

(株) ネオマーケティング

表1 都道府県別回収数(率)

	都道府県	会員数	回答数	回答率
北海道・東北ブロック	北海道	574	229	39.9%
	青森	101	53	52.5%
	岩手	197	96	48.7%
	宮城	213	67	31.5%
	秋田	76	26	34.2%
	山形	140	42	30.0%
	福島	256	119	46.5%
関東信越ブロック	茨城	226	123	54.4%
	栃木	139	87	62.6%
	群馬	297	124	41.8%
	埼玉	423	170	40.2%
	千葉	525	149	28.4%
	東京	1136	450	39.6%
	神奈川	518	228	44.0%
	山梨	122	64	52.5%
	長野	416	149	35.8%
	新潟	464	172	37.1%
東海北陸ブロック	富山	114	34	29.8%
	石川	179	32	17.9%
	福井	72	43	59.7%
	岐阜	374	125	33.4%
	静岡	486	152	31.3%
	愛知	977	291	29.8%
	三重	290	110	37.9%

	都道府県	会員数	回答数	回答率
近畿ブロック	滋賀	186	82	44.1%
	京都	282	83	29.4%
	大阪	938	252	26.9%
	兵庫	1123	300	26.7%
	奈良	149	109	73.2%
	和歌山	125	87	69.6%
中国四国ブロック	鳥取	90	32	35.6%
	島根	189	61	32.3%
	岡山	282	83	29.4%
	広島	425	181	42.6%
	山口	134	41	30.6%
	徳島	163	78	47.9%
	香川	257	59	23.0%
	愛媛	215	60	27.9%
	高知	154	46	29.9%
九州ブロック	福岡	626	220	35.1%
	佐賀	145	67	46.2%
	長崎	222	57	25.7%
	熊本	450	101	22.4%
	大分	178	68	38.2%
	宮崎	82	30	36.6%
	鹿児島	206	104	50.5%
	沖縄	241	49	20.3%
	合計	15,177	5,385	35.5%

第2章 調査結果の総括

令和6年度 第10回 歯科衛生士の勤務実態調査から ― 総括 ―

I. 回答者の属性（令和4年衛生行政報告例との比較）

（年齢構成 図1-2, 図1-3 参照）

	勤務実態調査	衛生行政報告例
20～24 歳	2.0%	9.8%
25～29 歳	5.2%	14.0%
30～34 歳	5.2%	11.1%
35～39 歳	7.0%	13.1%
40～44 歳	9.8%	12.5%
45～49 歳	12.6%	13.2%
50～54 歳	17.6%	11.1%
55～59 歳	17.8%	7.9%
60～64 歳	13.9%	4.5%
65 歳以上	8.9%	2.9%

・勤務実態調査回答者の年齢構成は、衛生行政報告例と比較して、20 歳代、30 歳代、40 歳代が少なく、50 歳以上が多い。50 歳以上の回答者の割合は、58.2%（前回調査 47.1%）と衛生行政報告例の 26.4%の 2 倍以上となっている。

（主な勤務先 図1-4, 図2-3 参照）

	勤務実態調査	衛生行政報告例
診療所（障害者診療所を含む。）	2,120（43.1%）	130,806（90.1%）
病院・大学病院	856（17.4%）	7,460（5.1%）
行政	637（12.9%）	2,785（1.9%）
歯科衛生士教育養成機関	394（8.0%）	1,768（1.2%）
介護保険施設等	221（4.9%）	1,370（1.0%）
上記以外	1,157（13.7%）	994（0.7%）
	（無職を含む）	

・勤務実態調査回答者の勤務先は、衛生行政報告例と比較して、診療所勤務の割合は少なく、一方で病院・大学病院、行政、歯科衛生士教育養成機関、介護保険施設等の勤務者の割合は大きい。

・これらの回答者の属性（年齢構成、主な勤務先）は、いずれも日本歯科衛生士会の会員属性によるものと考えられる。

II. 就業状況

・回答者中、就業している者の割合は 91.5%（前回 88.1%）であった（図2-1）。

歯科衛生士の会員理由（前回調査なし）については、「歯科衛生士のための情報を得るため」が 77.7%、「研修を受けるため」が 53.8%、「歯科衛生士の職能を守るため」が 43.8%であった。初めての調査項目であるが、歯科衛生士会の活動の参考になる。

・診療所の常勤の就業者の現在の就業場所における勤務年数は、「5年未満」が32.7%（前回42.2%）、「5～10年未満」が22.6%（前回18.5%）、「10年以上」は44.7%（前回38.2%）であった（図2-4）。5年以上の勤務者割合が増加している。

Ⅲ. 労働条件・福利厚生・給与

・主な勤務先の時給（給与が時給の場合・税込み）は、非常勤全体では、「1,300円以上1,500円未満」が28.1%（前回28.3%）、「1,500円以上1,700円未満」が22.9%（前回19.3%）、「1,100円以上1,300円未満」が21.2%（前回27.3%）であった（図3-7）。

・常勤の歯科衛生士としての全ての年収は、診療所勤務は「300万円以上400万円未満」が41.1%（前回38.7%）、「130万円以上300万円未満」が24.3%（前回40.1%）、病院・大学病院勤務は「300万円以上400万円未満」が32.9%（前回33.3%）、「400万円以上500万円未満」が21.5%（前回20.1%）であった。行政勤務は「130万円以上300万円未満」が27.8%（前回25.4%）、「300万円以上400万円未満」が16.9%（前回18.2%）であった。歯科衛生士教育養成機関勤務は「300万円以上400万円未満」が26.3%（前回32.1%）、「400万円以上500万円未満」が23.4%（前回21.5%）であった（図3-8）。

・非常勤の時給、常勤の年収、いずれも前回調査より増加傾向である。しかしながら、年収の満足度は、「不満・非常に不満」が常勤では38.8%（前回33.1%）、非常勤では、28.4%（前回23.1%）と、いずれも増加していた。

Ⅳ. 職場環境・勤務

・歯科衛生士の仕事の魅力は、「はい」と回答した者を全体でみると、「国家資格である」が98.5%（前回96.1%）、「専門性の高い仕事である」が96.2%（前回93.6%）、「人や社会に貢献できる」が93.6%（前回91.8%）であった（図4-1）。歯科衛生士としての仕事に対する意識について、「歯科衛生士の仕事が好きですか」との問に対して、「非常にそう思う」が35.7%（前回32.5%）、「まあそう思う」が50.2%（前回50.7%）であった（図4-3）。

・勤務先の変更経験は、常勤では「変わったことはない」が27.9%（前回33.1%）、「1回ある」が21.8%（前回21.0%）、「4回以上ある」が18.5%（前回16.5%）であり、

非常勤では、「4回以上ある」が27.9%（前回24.6%）、「2回ある」が24.1%（前回22.2%）、「1回ある」が20.5%（前回21.0%）であった（図4-9）。常勤、非常勤ともに増加傾向である。

・勤務先を替えたいと考えた理由（図4-11）は、「出産・育児」が33.8%（前回項目なし）、「経営者との人間関係」が33.2%（前回19.6%）、「結婚」が32.4%（前回項目なし）、「給与・待遇」が32.3%（前回38.3%）であった。

・日本歯科衛生士会認定の資格については、「【知っている】今後取得したい」のは、「摂食嚥下リハビリテーション」が41.6%（前回43.9%）、「糖尿病予防指導」が38.1%（前回37.3%）、「医科歯科連携・口腔機能管理」が34.0%（前回36.1%）であった（図4-17）。日本歯科衛生士会以外の認定を受けている学会は、「日本口腔ケア学会」が18.2%（前回調査対象外）、「日本歯周病学会」が14.9%（前回16.0%）、「日本摂食嚥下リハビリテーション学会」が13.9%（前回13.1%）であった（図4-19）。

・過去3年間の研修会参加状況（前回調査項目なし）は、「はい」が88.0%であった（図5-1）。参加した研修会は「歯科衛生士会の研修」が86.8%、「勤務先での研修」

が 53.0%、「日本歯科衛生学会以外の学会」が 43.3%であった（図 5-2）。

V. 研究活動

- ・学会発表等に向けた研究活動の有無（過去 3 年間）を勤務先別でみると、「している」は、「歯科衛生士教育機関」が 39.1%（前回 37.6%）、「企業・事業所」が 38.7%（前回 27.8%）、「病院・大学病院」が 37.6%（前回 38.6%）であった（図 5-3）。
- ・専門職として最新の知識や情報の入手経路は、日本歯科衛生士会会報（歯科衛生だより）が 83.4%（前回 79.2%）、「学会・研修会等への参加」が 60.9%（前回 52.1%）、「日本歯科衛生士会ウェブサイト」が 38.4%（前回 26.4%）であった（図 5-7）。
- ・日本歯科衛生学会以外の所属学会に所属している者の所属学会は、「日本摂食嚥下リハビリテーション学会」が 22.4%（前回 22.7%）、「日本口腔ケア学会」が 19.5%（前回調査対象外）、「日本障害者歯科学会」が 19.0%（前回 21.5%）であった（図 5-10）。

VI. 現在の勤務先

- ・全体の勤務先は、「診療所」が 43.0%（前回 48.2%）、「病院・大学病院」が 17.4%（前回 16.6%）、行政が 12.9%（前回 11.6%）、「歯科衛生士教育養成機関」が 8.0%（前回 6.4%）、「介護保険施設等」が 4.5%（前回 4.7%）、「障害者歯科診療所等」が 3.1%（前回 3.1%）であった（図 6-1）。
- 「I. 回答者の属性」で述べたとおり、衛生行政報告例に比べて、「診療所」の割合が低く、診療所以外の勤務の割合が高い。

VII. 歯科医療施設（診療所・病院・大学病院等）

- ・勤務先の経営形態を全体でみると、「個人診療所」が 43.4%（前回 46.3%）、「医療法人」が 27.8%（前回 27.0%）、「公的医療機関」が 10.3%（前回 9.5%）、公益法人が 8.1%（前回 7.2%）、「学校法人」が 7.0%（前回 4.9%）、「企業・健保組合の診療所等」が 1.8%（前回 1.8%）であった（図 7-1）。
- ・診療所の職種別人員構成は、歯科医師は、「2～4 名」が 42.4%（前回 41.4%）、「1 名」が 42.3%（前回 44.4%）、「5～9 名」が 11.1%（前回 9.4%）であった。歯科衛生士は、「2～4 名」が 45.6%（前回 46.9%）、「5～9 名」が 32.1%（前回 29.4%）、「1 名」が 10.0%（前回 12.1%）であった。病院・大学病院では、歯科医師は、「2～4 名」が 36.9%（前回 36.6%）、「5～9 名」が 19.0%（前回 17.4%）、「10～19 名」が 9.4%（前回 9.1%）であった。歯科衛生士は、「2～4 名」が 40.9%（前回 43.0%）、「5～9 名」が 36.7%（前回 30.3%）、「1 名」が 7.9%（前回 8.8%）であった（図 7-7）。
- ・以上の結果から、診療所に勤務する歯科衛生士は、「個人診療所」に勤務する者の割合が減少し、また、歯科衛生士の人員が多い診療所の割合が増加している。

VIII. 行政（保健所・都道府県・市区町村）

- ・対人サービスを「行っている」と回答した者は、「都道府県庁」が 40.7%（前回 58.6%）、「市役所・区役所・町村役場」が 80.7%（91.4%）、「保健所（都道府県）」が 68.3%、保健所（政令市・特別区）が 69.8%（前回は都道府県と政令市・特別区を合わせて 88.9%）、「市町村・特別区保健センター」が 78.0%（前回 91.4%）であった（図 8-7）。いずれにおいても、対人サービスが減少

している。

IX. 歯科衛生士教育養成機関

・常勤の教務経験年数は、「10年以上20年未満」が35.0%（前回27.6%）、「5年以上10年未満」が21.8%（前回24.9%）、「20年以上30年未満」が14.1%（前回14.7%）であった（図9-2）。教員としての業務（前回調査なし）を常勤でみると、「教育」が98.9%、「生活指導」が77.1%、「社会貢献」が45.8%であった（図9-6）。教職へのやりがい常勤でみると、「ある」が52.8%（前回45.5%）、「非常にある」が30.8%（前回47.5%）、「どちらともいえない」が14.1%（前回同様の選択肢なし）であった（図9-7）。

・教職業務の改善要望の有無について常勤でみると「ある」が89.5%（前回87.1%）あった（図9-8）。改善要望が「ある」と回答した者を対象に、最も改善してほしいことを常勤でみると、「教育以外の業務に関すること」が53.6%（前回44.4%）、「勤務体制に関すること」が22.4%（前回14.5%）であった（図9-9）。

・専任教員の人員構成は、「歯科衛生士6～9名」が41.9%（前回36.3%）、「4～5名」が38.6%（前回43.4%）、「10名以上」が12.4%（前回11.6%）であった（図9-12）。教員評価の実施状況は、「学生から評価されている」が67.3%（前回60.8%）、「自己評価を提出している」が57.6%（前回47.8%）、「上司から評価されている」が57.6%（前回43.8%）であった（図9-13）。学校所在地の歯科衛生士会との連携の有無を全体でみると、連携が「ある」が88.6%（前回88.6%）であった（図9-27）。

X. 介護保険施設等

・勤務先の設置主体を全体でみると、「介護老人保健施設」が45.2%（前回30.7%）、「介護老人福祉施設」が33.0%（43.8%）、「介護医療院（介護療養型医療施設）」が5.4%（前回7.1%）であった（図10-1）。歯科衛生士の業務の実施の有無を全体でみると、「口腔衛生管理」では「実施している」が92.8%（前回88.9%）（図10-9）、「口腔機能管理」では「実施している」が65.2%（前回57.9%）であった（図10-10）。

XI. 非就業者

・最後に勤務していた職場を退職した理由（複数回答）を全体でみると、「自分の健康」が21.6%（前回14.4%）、「家庭の事情」が21.1%（前回13.0%）、「経営者との人間関係」が20.5%（前回15.6%）、「勤務形態・勤務時間」が20.5%（前回11.7%）であった（図11-1）

次回調査に向けて

回答者全体の集計もさることながら、就業場所ごとの設問と結果も、本調査ならではの興味深い結果が得られた。今回は、初めてのネットリサーチであったが回収率は35.5%であり、前回（筆記回答）53.4%より大きく減少した。今後は、設問数を減らして3分程度で回答できる簡易な調査を選択できるようにするのも回収率向上の一助である。

東京歯科大学短期大学 学長
鳥山佳則

第3章 調査結果の詳細

報告書をお読みいただく際の留意点

今回実施した「第10回 歯科衛生士の勤務実態調査」の調査票は巻末（175 ページ）掲載のとおりであり、回答者の就業状況によって全員が回答する質問と就業場所別に回答する質問とに分かれています。つまり、全員が回答する場合は回答者全体（5,385 人）が集計のベースになっていますが、質問内容によっては就業状況や就業場所別に回答者数が変動します。また、質問項目において、選択肢が「補助質問へ進む」場合は、該当者のみの回答になるため、母数が異なることに留意してください。

I. 回答者の属性

本報告書の図（図 1-1～図 11-14）のなかで、「全体」と比較するための内訳として「就業状況（常勤・非常勤）」や「勤務先（診療所・病院／大学病院・行政等）」を記載した図を示した。回答者数は全体で 5,385 人であったが、図の中の「全体」に関しては「就業形態」や「勤務先別」等の不明を含めた回答者数であるため、「全体」の回答者数と「内訳」を合計した回答者数は必ずしも一致しないことを予め付記する。

【回答者数は全体で 5,385 人である】

1. 回答者の年齢構成【Q2】

回答者の年齢構成を全体でみると、「50 歳以上」が 58.1%で 6 割弱である。（図 1-1）。

※詳細は図 1-2 を参照

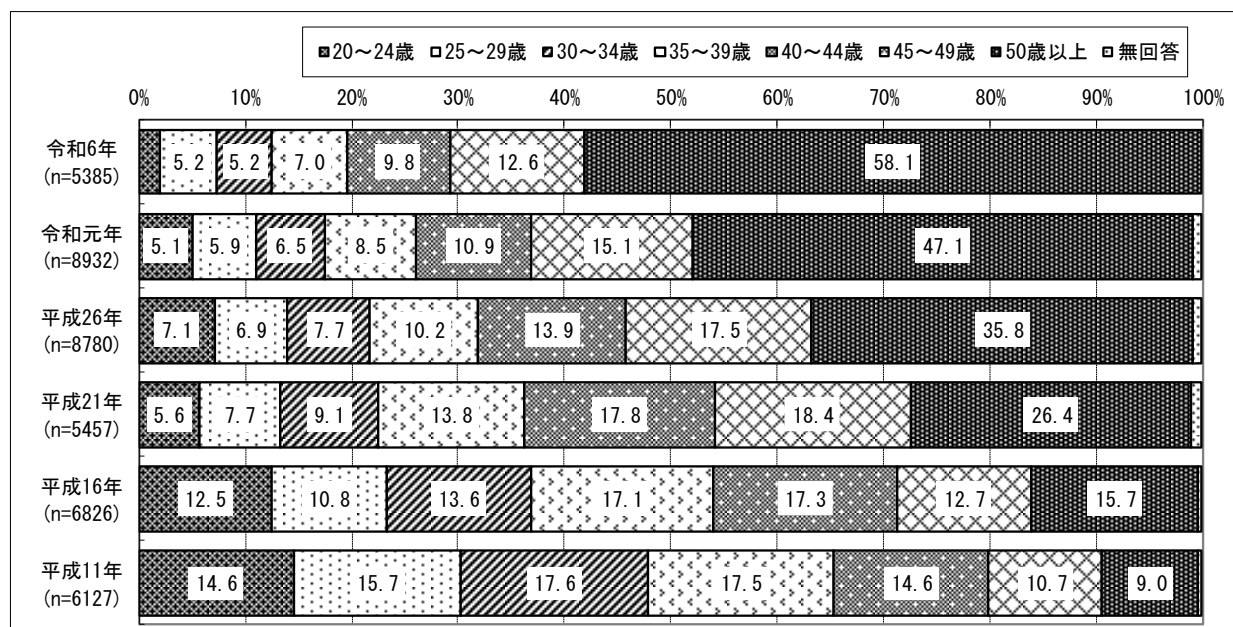


図 1-1 回答者の年齢構成

回答者の年齢構成を全体でみると、「55～59 歳」が 17.8%、「50～54 歳」が 17.6%、「60～64 歳」が 13.9%、「45～49 歳」が 12.6%、「40～44 歳」が 9.8%、「65 歳以上」が 8.9%、「35～39 歳」が 7.0%、「25～29 歳」と「30～34 歳」がともに 5.2%、「20～24 歳」が 2.0%である（図 1-2）。

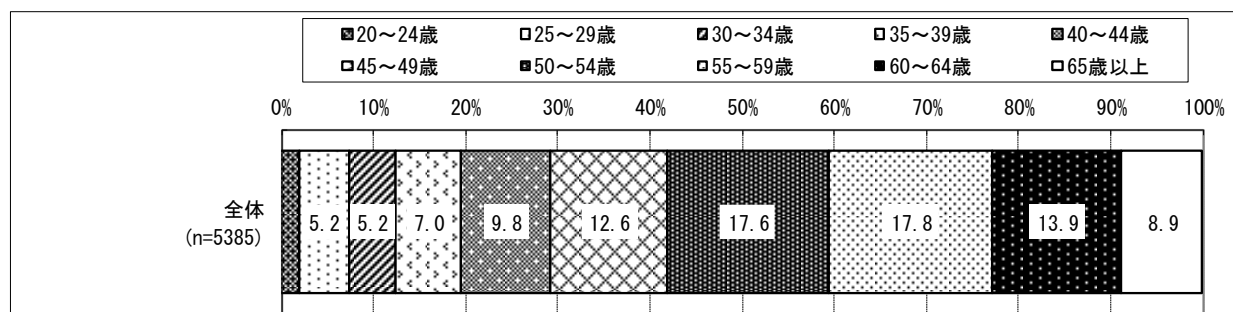


図 1-2 回答者の年齢構成

〈参考〉衛生行政報告例（厚生労働省） 令和 4 年（2022）末現在

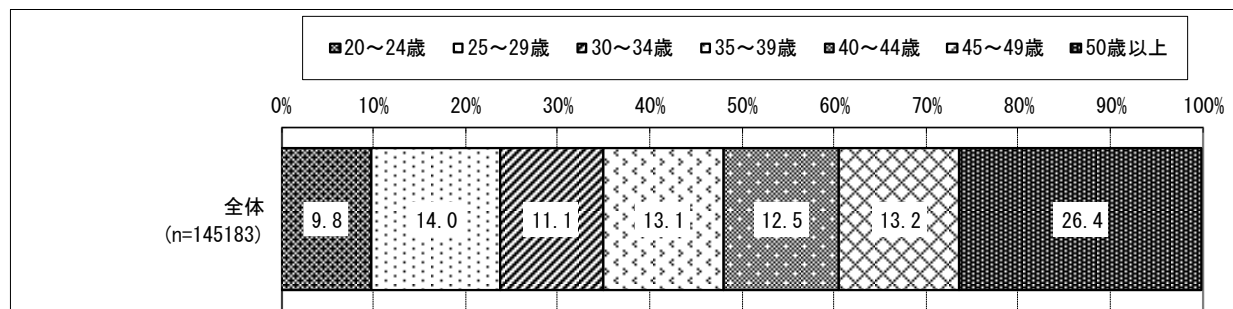


図 1-3 就業歯科衛生士の年齢構成

2. 性別【Q2】

性別を全体でみると、「女性」が 99.5% (n=5359)、「男性」が 0.4% (n=19) である (図 1-4)。

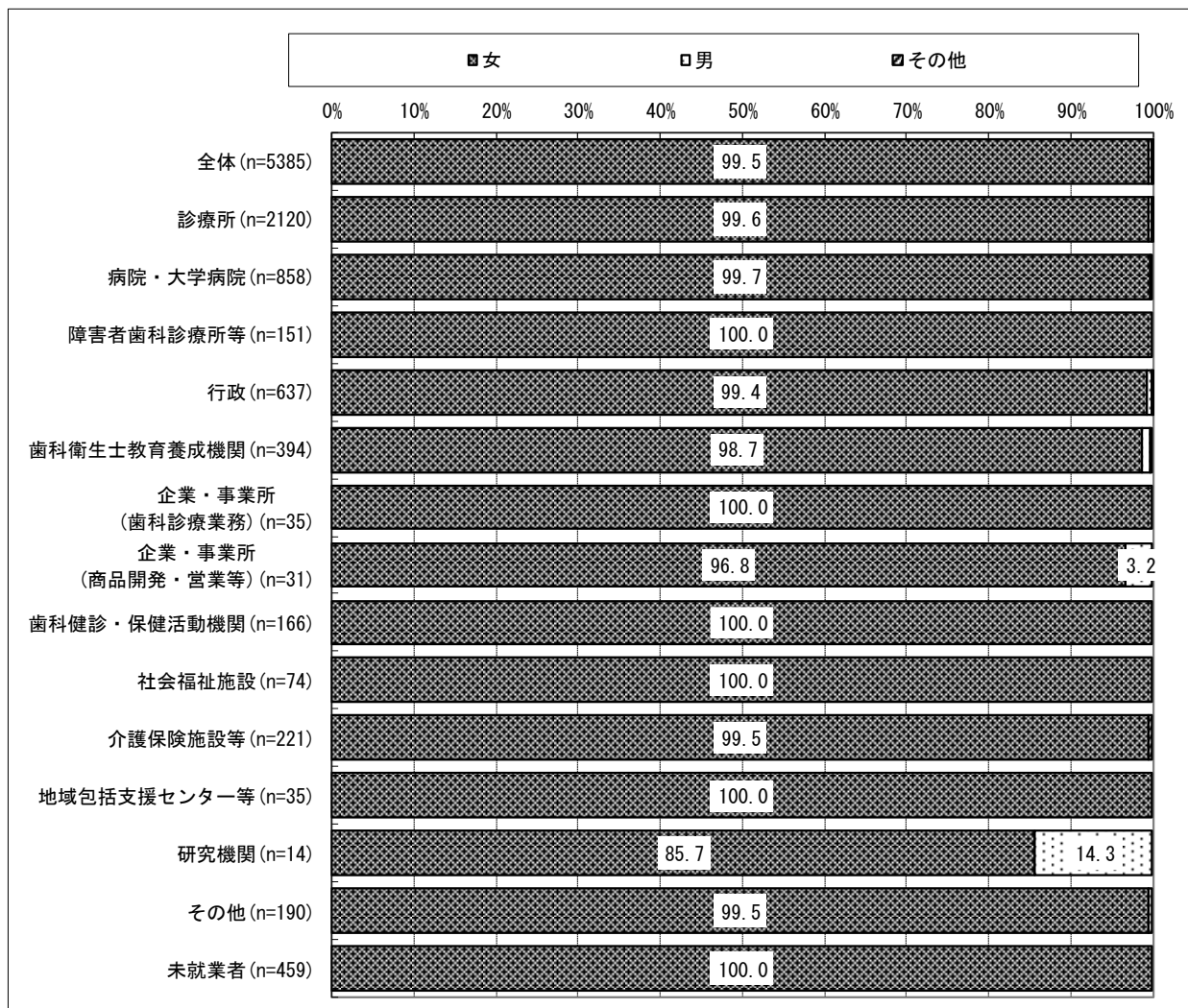


図 1-4 回答者の性別

3. 最終学歴【Q3】

最終学歴を全体でみると、「歯科衛生士専門学校」が74.2%、「短期大学」が9.5%、「大学」が6.8%、「短期大学（専攻科）」が4.4%、「大学院修士課程修了」が2.5%、「大学院博士課程修了」が1.8%である（図1-5）。

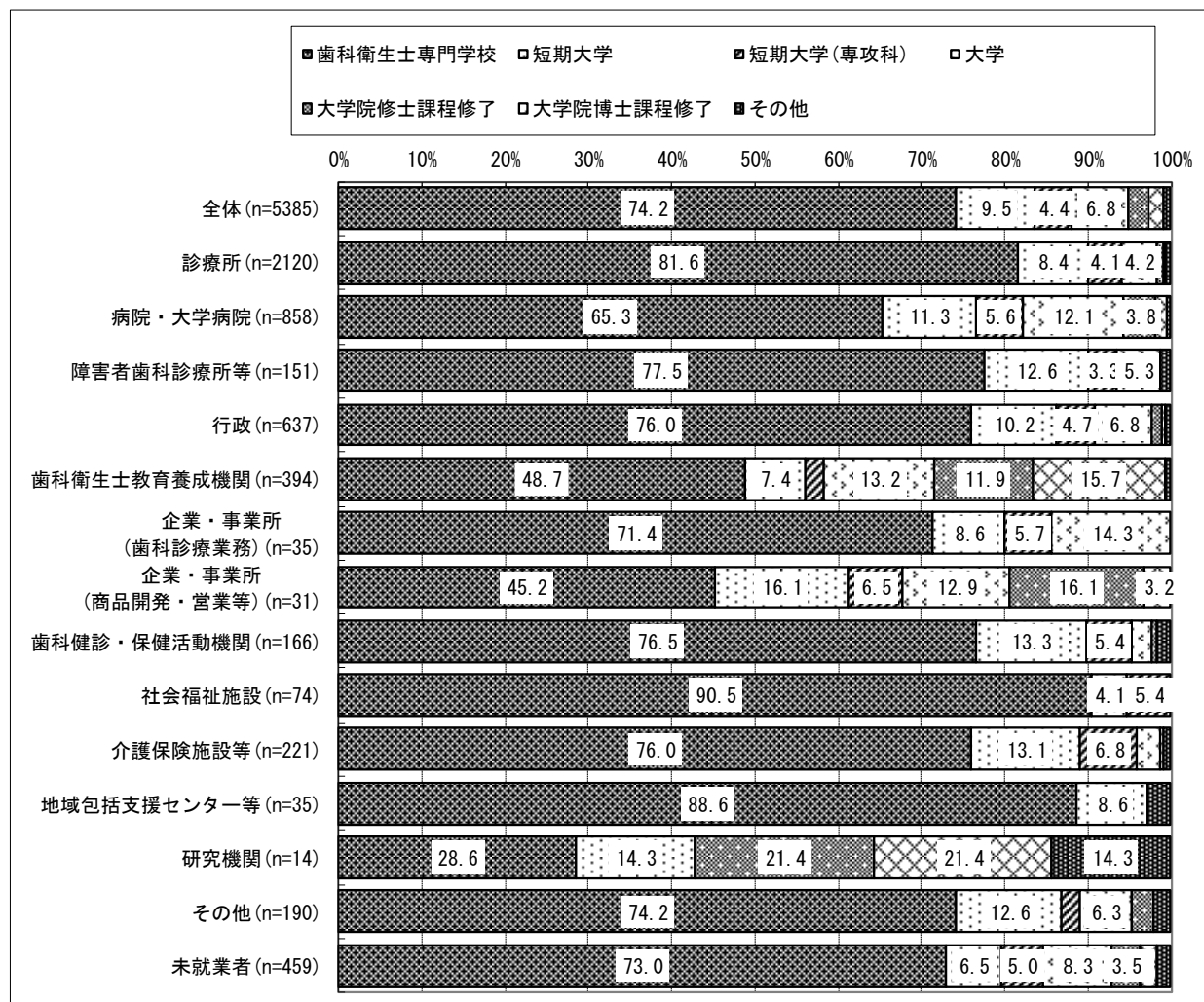


図1-5 最終学歴

4. 就業経験年数【Q4】

歯科衛生士として働いた就業経験年数を全体でみると、「20 年以上」が 61.9%、「15～20 年未満」が 12.2%、「10～15 年未満」が 9.9%、「5～10 年未満」が 9.3%、「5 年未満」が 6.7%である。

就業形態別でみると、「常勤」では「20 年以上」が 56.4%、「5～10 年未満」が 12.0%、「15～20 年未満」が 11.9%、「10～15 年未満」が 10.0%、「5 年未満」が 9.7%であり、「常勤」の平均就業経験年数は 20.9 年である。また、「非常勤」では「20 年以上」が 72.5%、「15～20 年未満」が 13.2%、「10～15 年未満」が 8.6%、「5～10 年未満」が 4.1%、「5 年未満」が 1.6%となり、「非常勤」の平均就業経験年数は 26.3 年である（図 1-6）。

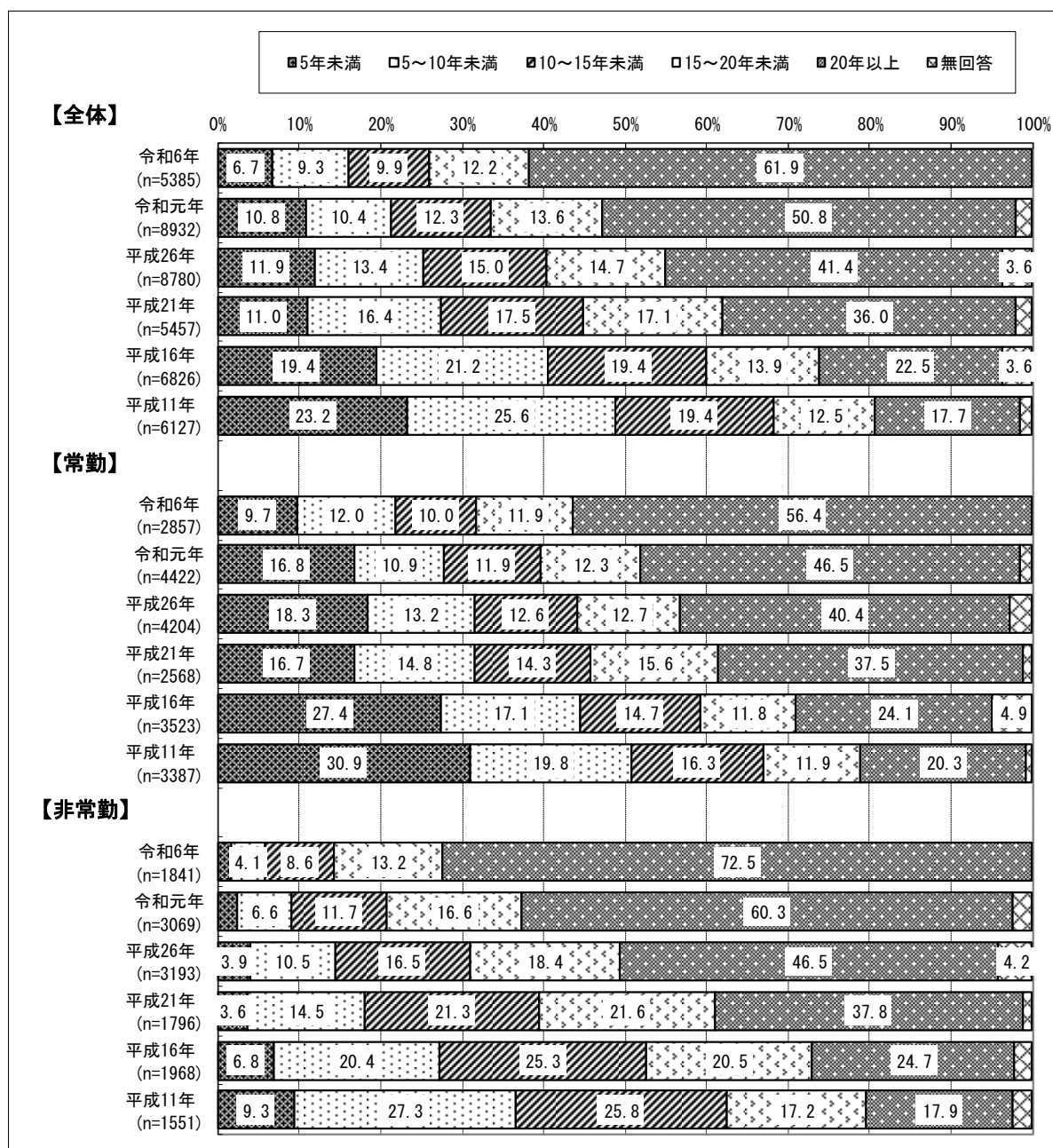


図 1-6 就業経験年数

Ⅱ．就業状況

【全回答者の内、就業者数は 4,926 人である】

1. 歯科衛生士としての就業の有無【Q7】

歯科衛生士としての就業の有無を全回答者でみると、「就業している」が 91.5%で、前回調査の 88.1%と比べ、3.4%の増加である。一方、「就業していない」は 8.5%である（図 2-1）。

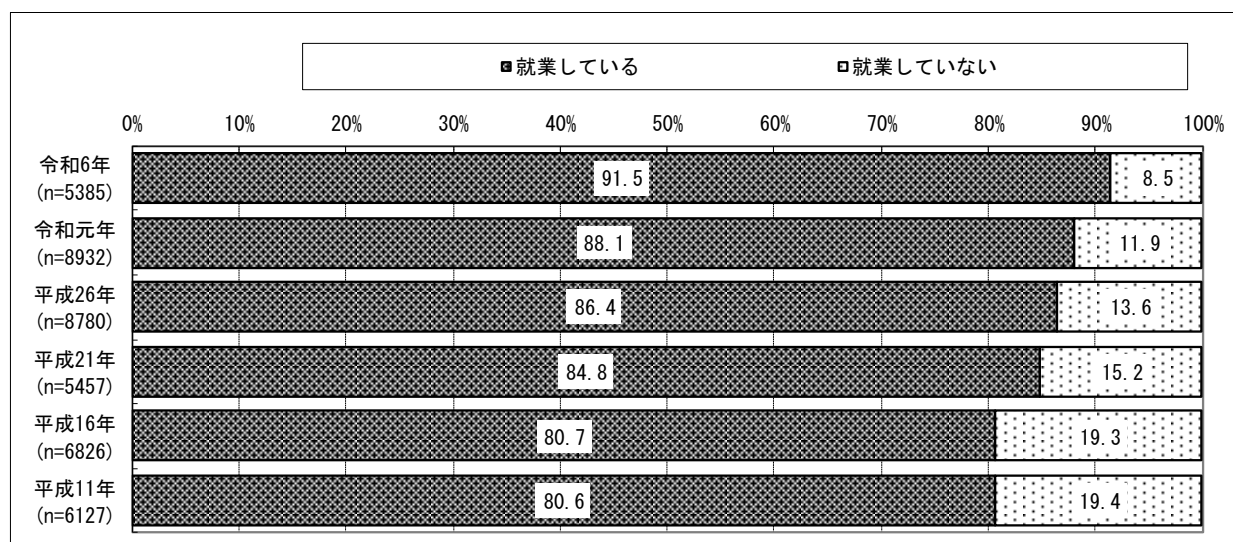


図 2-1 歯科衛生士としての就業の有無

2. 歯科衛生士の会員理由【Q8】

歯科衛生士の会員理由では、全体結果で「歯科衛生士のための情報を得るため」が 77.7%、「研修を受けるため」が 53.8%、「歯科衛生士の職能を守るため」が 43.8%、「専門職として社会から認められるため」が 30.0%、「歯科衛生士保険制度があるため」が 12.8%となった。勤務先別でも大きな差はなく、「診療所」では「歯科衛生士のための情報を得るため」が 79.9%、「研修を受けるため」が 55.9%、「歯科衛生士の職能を守るため」が 40.0%、「専門職として社会から認められるため」が 25.4%、「歯科衛生士保険制度があるため」が 12.9%となる。(図 2-2)。

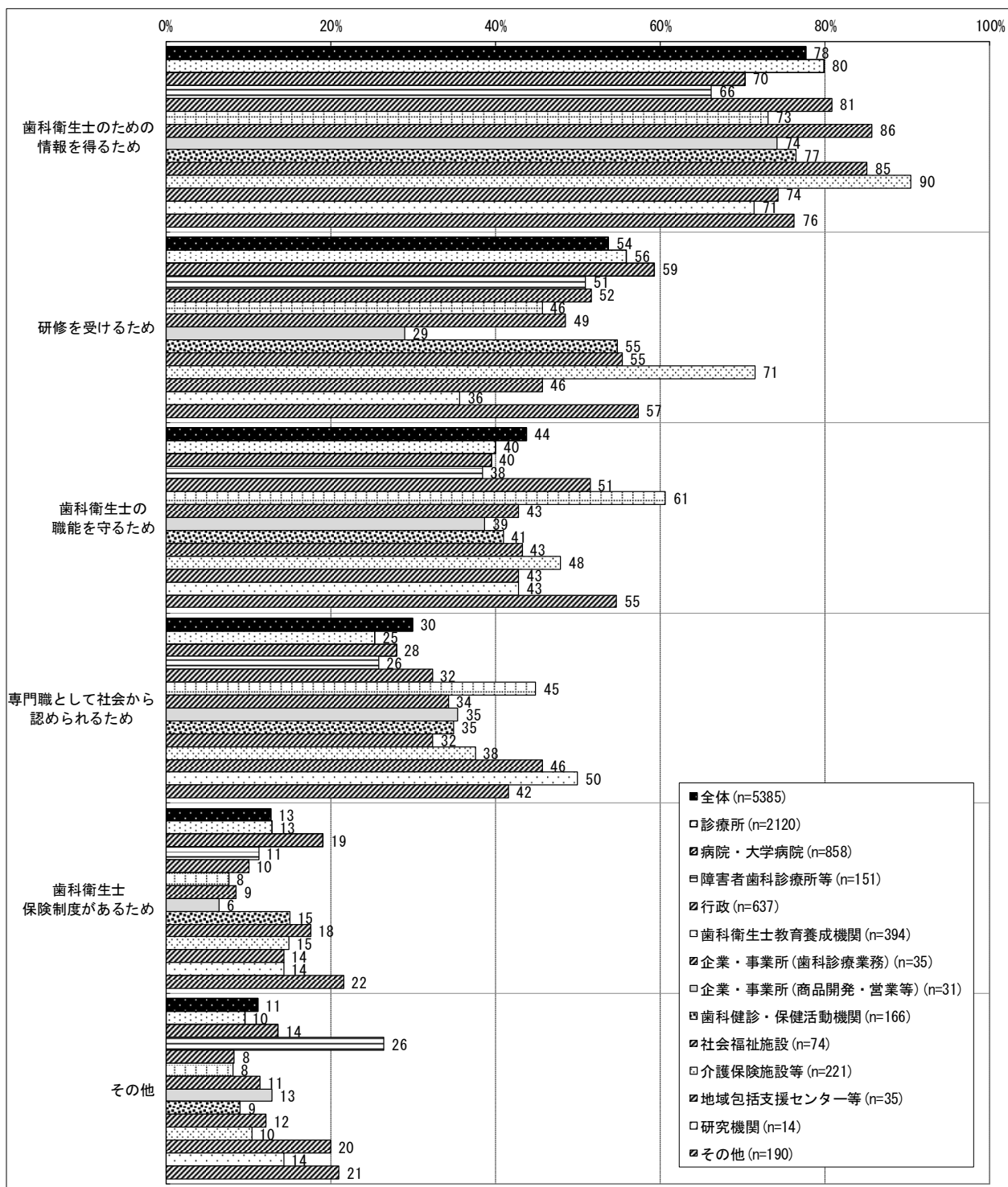


図 2-2 歯科衛生士の会員理由

3. 現在の主な勤務先の就業状況【Q9】

Q7 で歯科衛生士として「就業している」と回答した者について、現在の主な勤務先の就業状況を全体で見ると、「常勤（正規雇用）」が 53.6%、「常勤（任期付き等）」が 4.4%で、常勤での勤務者（「正規雇用」と「任期付き等」の合計）は 58.0%となり、「非常勤（パートタイム等）」が 37.4%、「その他」が 4.6%である（図 2-3）。

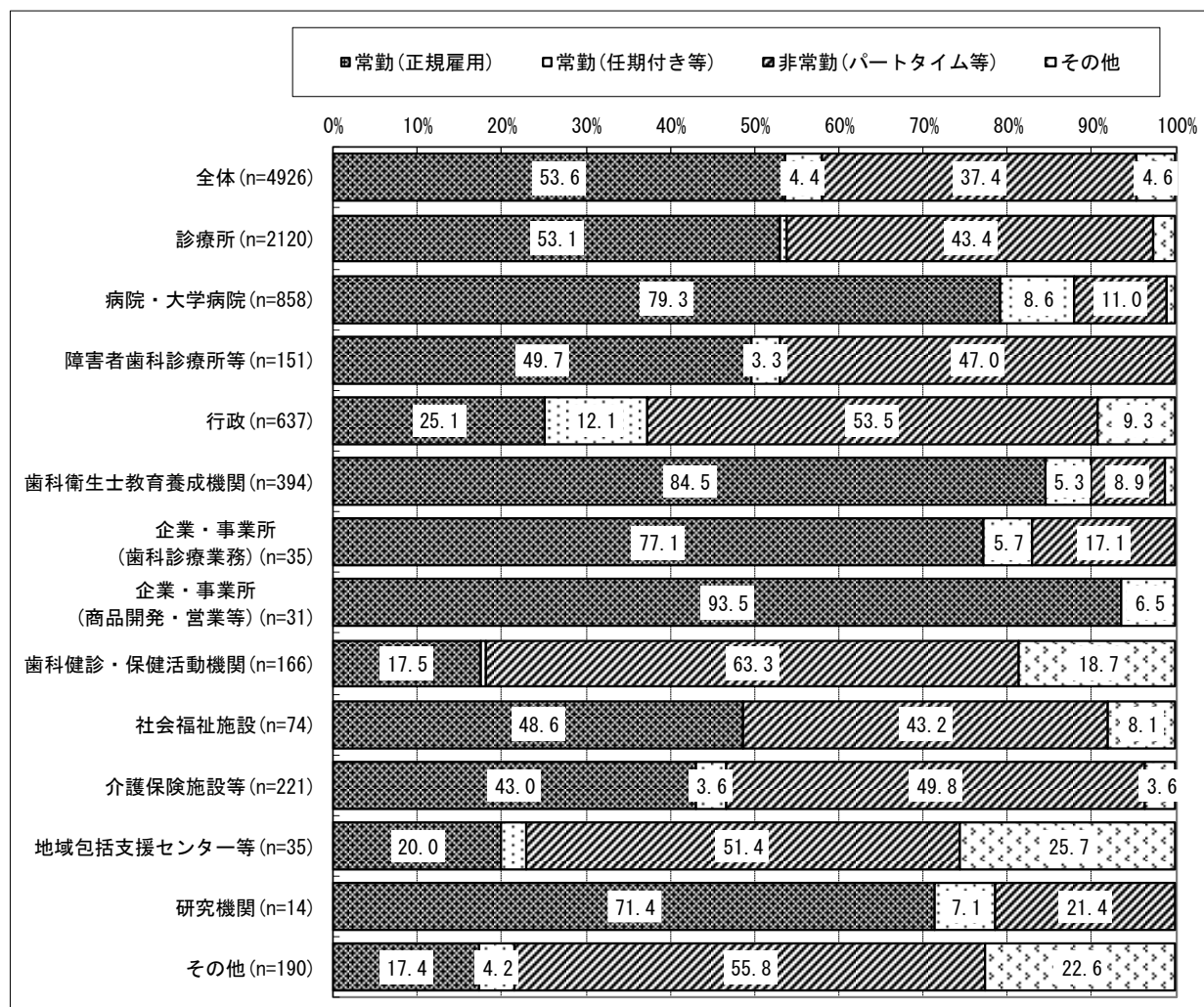


図 2-3 現在の主な勤務先の就業状況

4. 現在の職場における勤務年数（常勤）【Q9-1】

Q9 で現在の主な勤務先の就業状況を「常勤」と回答した者について、勤務年数を全体でみると、「5 年未満」が 28.6%、「5～10 年未満」が 23.7%、「20 年以上」が 21.5%、「10～15 年未満」が 15.6%、「15～20 年未満」が 10.6%である。

回答数が 30 件以上の勤務先別で「5 年未満」をみると、「社会福祉施設」が 33.3%、「診療所」が 32.7%、「病院・大学病院」が 26.4%、「障害者歯科診療所等」が 26.3%、「企業・事業所（商品開発・営業等）」が 25.8%、「行政」が 24.5%、「歯科衛生士教育養成機関」が 24.3%、「介護保険施設等」が 24.3%、「歯科健診・保健活動機関」が 16.7%となる（図 2-4）。

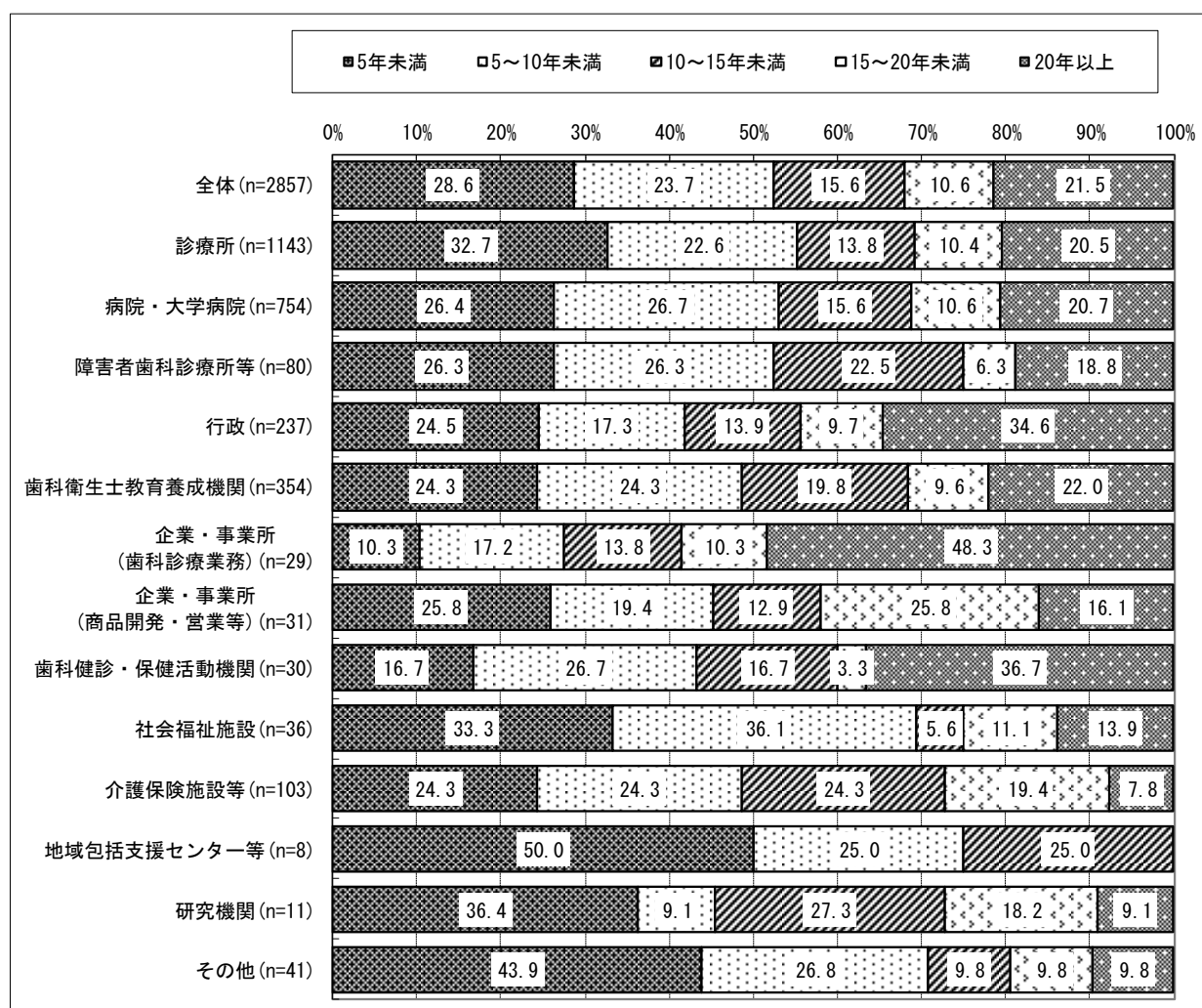


図 2-4 現在の勤務先における勤務年数（常勤）

5. 歯科衛生士としての就業場所（非常勤）【Q9-2】

Q9 で現在の主な勤務先の就業状況を「非常勤」と回答した者について、就業場所を全体でみると、「複数の勤務先で勤務している」が 61.0%、「1 か所のみで勤務している」が 39.0%である。

勤務先別で「病院・大学病院」をみると、「1 か所のみで勤務している」が 66.0%で最も多い（図 2-5）。

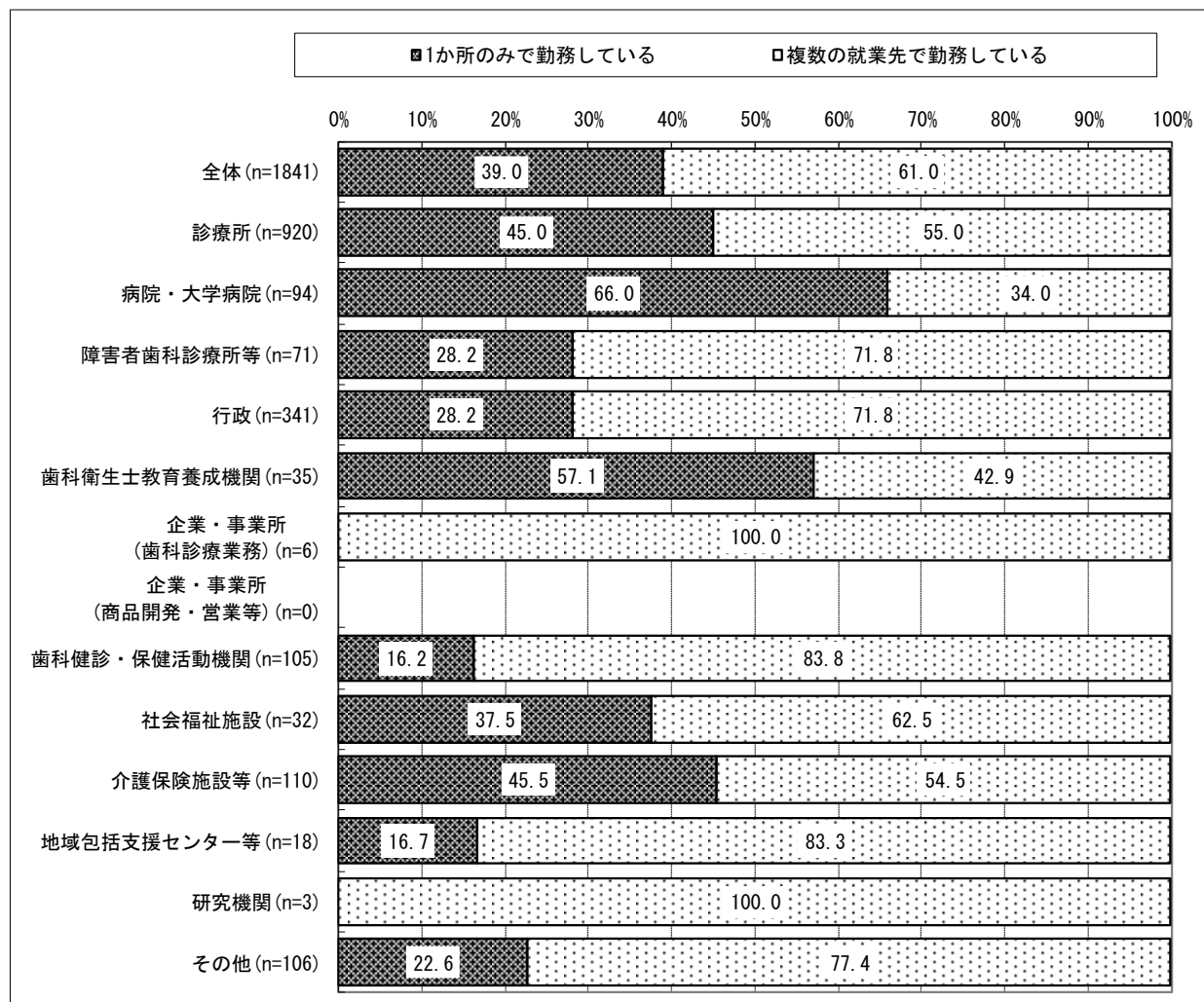


図 2-5 歯科衛生士としての就業場所（非常勤） ㍉

6. 直近1か月間での歯科衛生士としての勤務先の数（非常勤）【Q9-3】

Q9-2 で複数の勤務先で勤務していると回答した者について、勤務先の数（直近1か月間）を全体で見ると、「2か所」が38.7%、「3か所」が28.2%、「5か所以上」が18.0%、「4か所」が15.0%である（図2-6）。

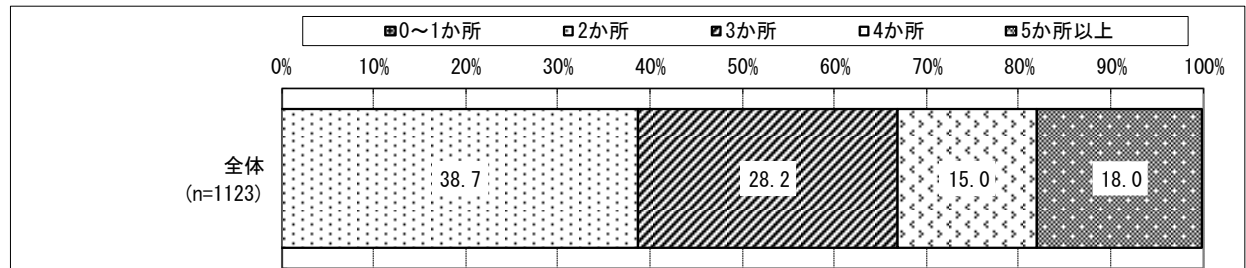


図2-6 直近1か月間での歯科衛生士としての勤務先の数（非常勤）

Ⅲ. 労働条件・福利厚生・給与

1. 就業規則の有無【Q10】

就業規則の有無を全体でみると、「ある」が 80.6%（第 9 回 75.4%、第 8 回 71.8%、第 7 回 69.9%）である。一方、「ない」は 6.2%である（図 3-1）。

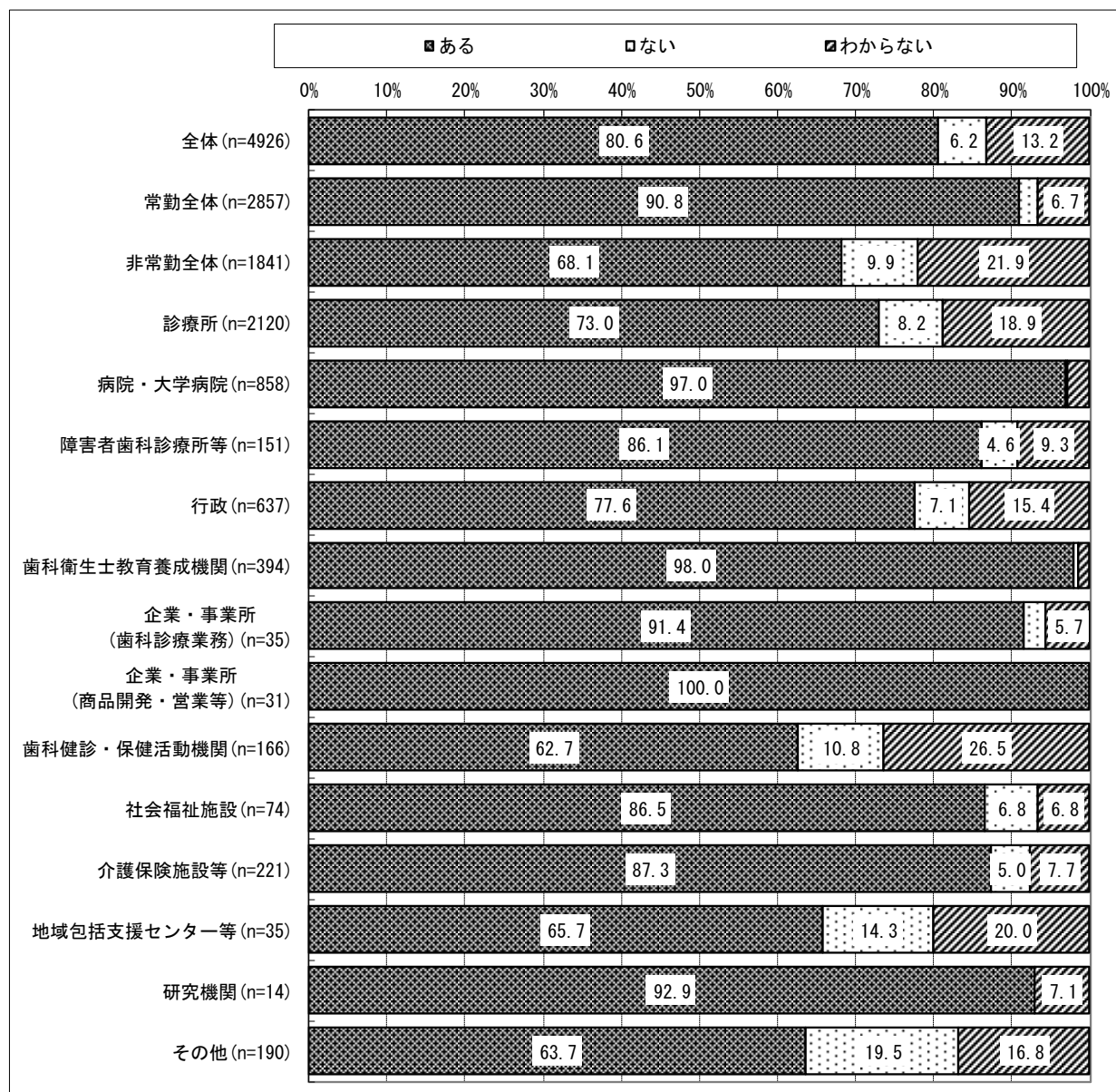


図 3-1 就業規則の有無

2. 勤務日数【Q11】

歯科衛生士としての1週間の勤務日数を「常勤」でみると、「5日」が75.8%、「5.1～7日」が14.1%、「3～4.9日」が9.1%、「3日未満」が1.0%である（図3-2）。

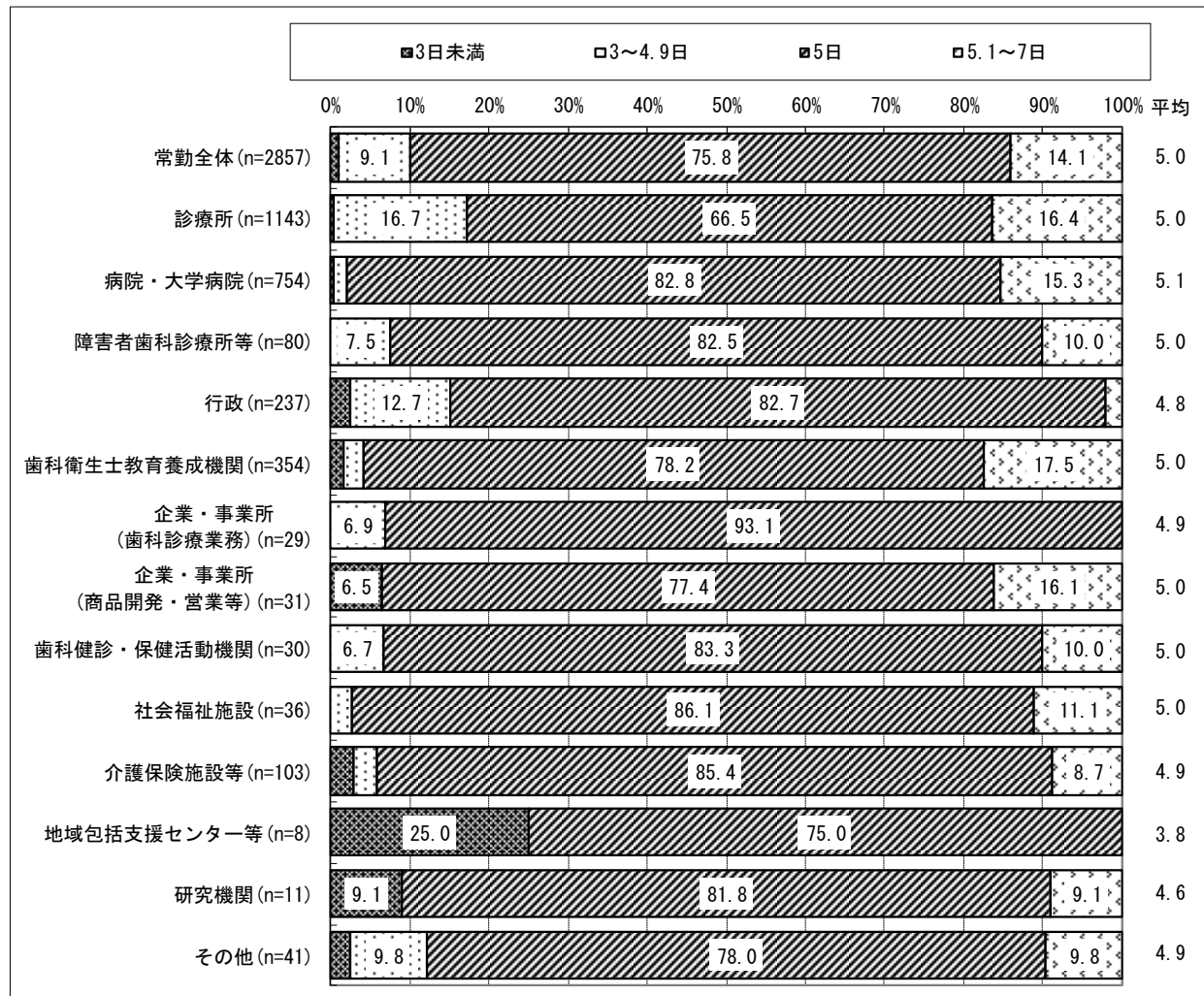


図 3-2 勤務日数（常勤）

3. 勤務時間【Q12】

1日あたりの勤務時間を全体でみると、「8時間」が36.4%、「5時間以上8時間未満」が29.3%、「5時間未満」が16.3%、「8.1時間以上12時間未満」が16.0%、「12.1時間以上24時間」が1.3%、「12時間」が0.6%である。就業形態別でみると、「常勤」では「8時間」が52.9%、「8.1時間以上12時間未満」が24.5%であり、この時間帯内の勤務時間が多い。一方、「非常勤」では「5時間以上8時間未満」が43.0%、「5時間未満」が35.6%となる（図3-3）。

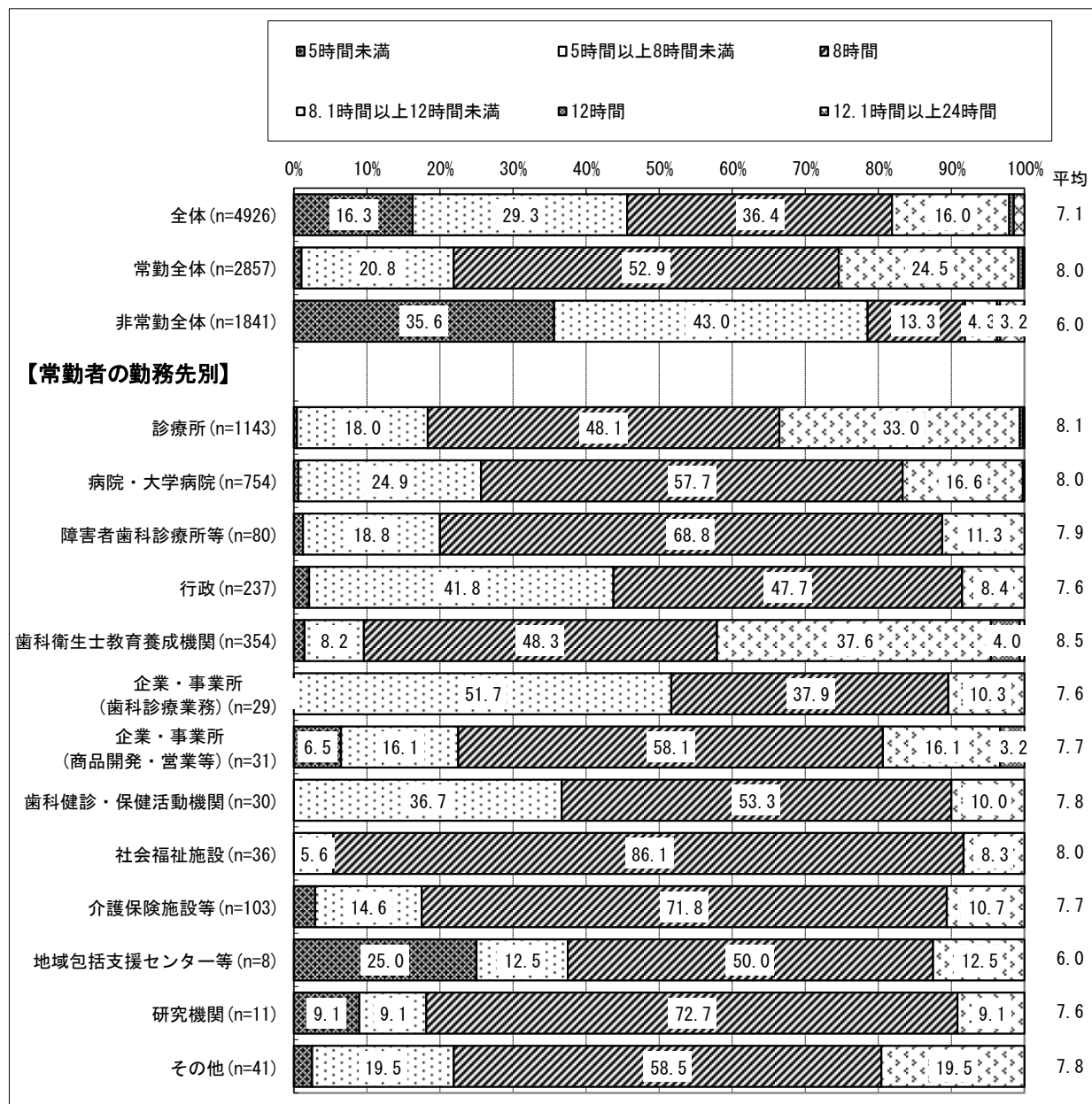


図3-3 勤務時間

4. 勤務形態の内訳【Q13】

勤務形態の内訳を全体でみると、「固定時間制」が81.6%、「裁量労働制」が7.9%、「フレックスタイム制」が5.6%、「その他」が5.0%である（図3-4）。

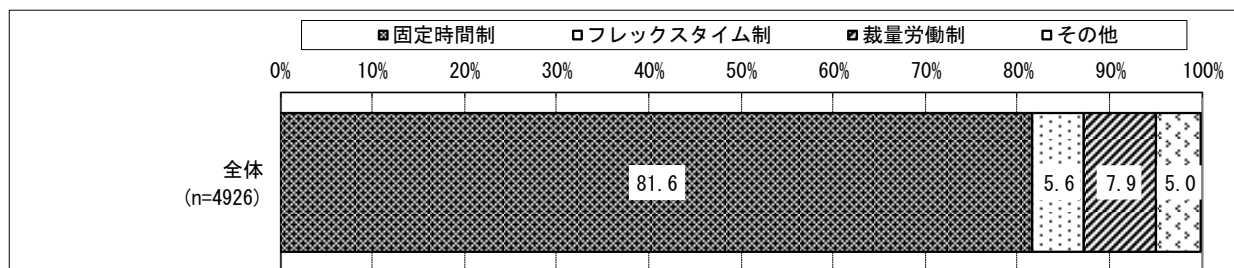


図 3-4 勤務形態

勤務形態別に1日あたりの勤務時間をみると、「5時間未満」は「固定時間制」が11.8%、「フレックスタイム制」が25.5%、「裁量労働制」が36.4%となり、一方で「8時間」の回答は、「固定時間制」が40.4%、「フレックスタイム制」が27.7%、「裁量労働制」が15.0%となる（図3-5）。

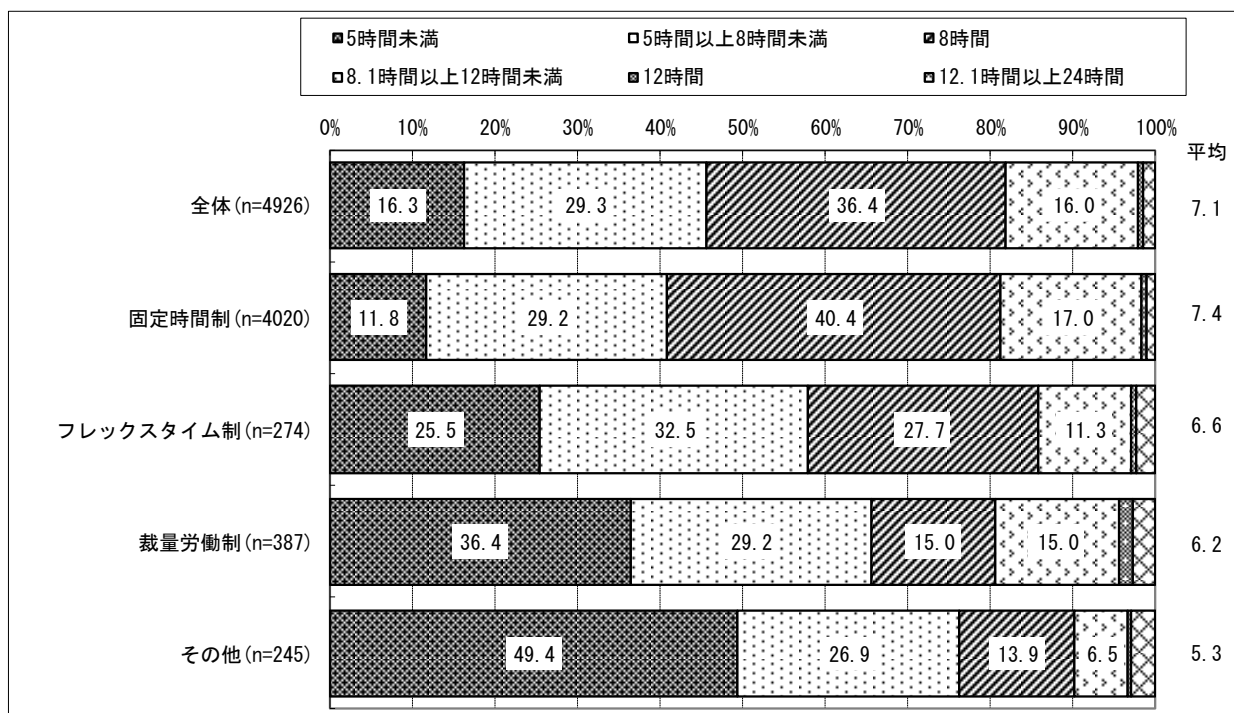


図 3-5 勤務形態と時間

5. 給与の形態【Q14】

給与の形態を全体でみると、「月給」が63.9%、「時間給」が26.6%、「日給」が5.9%、「その他」が3.6%である。

就業形態別でみると、「常勤」では「月給制」が96.1%（前回96.0%、前々回94.7%）、「時間給」が1.8%、「日給」が0.7%である。一方、「非常勤」では「時間給」が64.3%、「月給」が19.1%、「日給」が12.8%である（図3-6）。

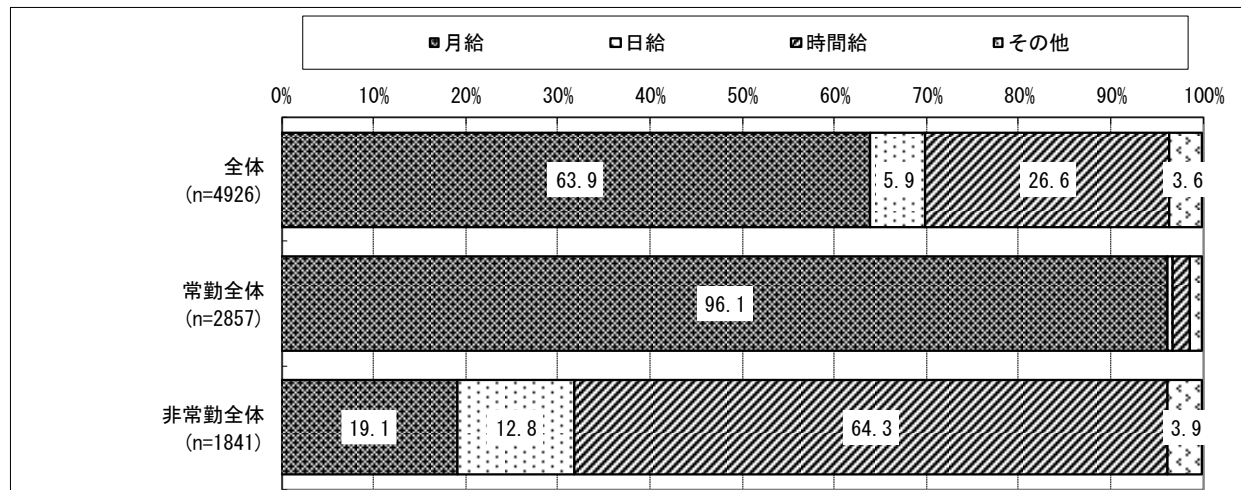


図 3-6 給与の形態

6. 主な勤務先の時給（給与が時給の場合・税込）【Q14-1】

Q14 で給与の形態を「時間給」と回答した者について、就業形態別で主な勤務先の時給（給与が時給の場合）をみると、「常勤」では「1,500 円以上 1,700 円未満」が 25.5%、「1,100 円以上 1,300 円未満」が 23.5%、「1,700 円以上 1,900 円未満」が 19.6%、「1,300 円以上 1,500 円未満」が 11.8%、「900 円以上 1,100 円未満」が 5.9%、「2,100 円以上」と「1,900 円以上 2,100 円未満」が 3.9%、「900 円未満」が 0 件である。

一方、「非常勤」では「1,300 円以上 1,500 円未満」が 28.1%、「1,500 円以上 1,700 円未満」が 22.9%、「1,100 円以上 1,300 円未満」が 21.2%、「1,700 円以上 1,900 円未満」が 10.6%、「1,900 円以上 2,100 円未満」が 5.8%、「900 円以上 1,100 円未満」が 5.2%、「2,100 円以上」が 4.4%、「900 円未満」が 0.3% である。（図 3-7）。

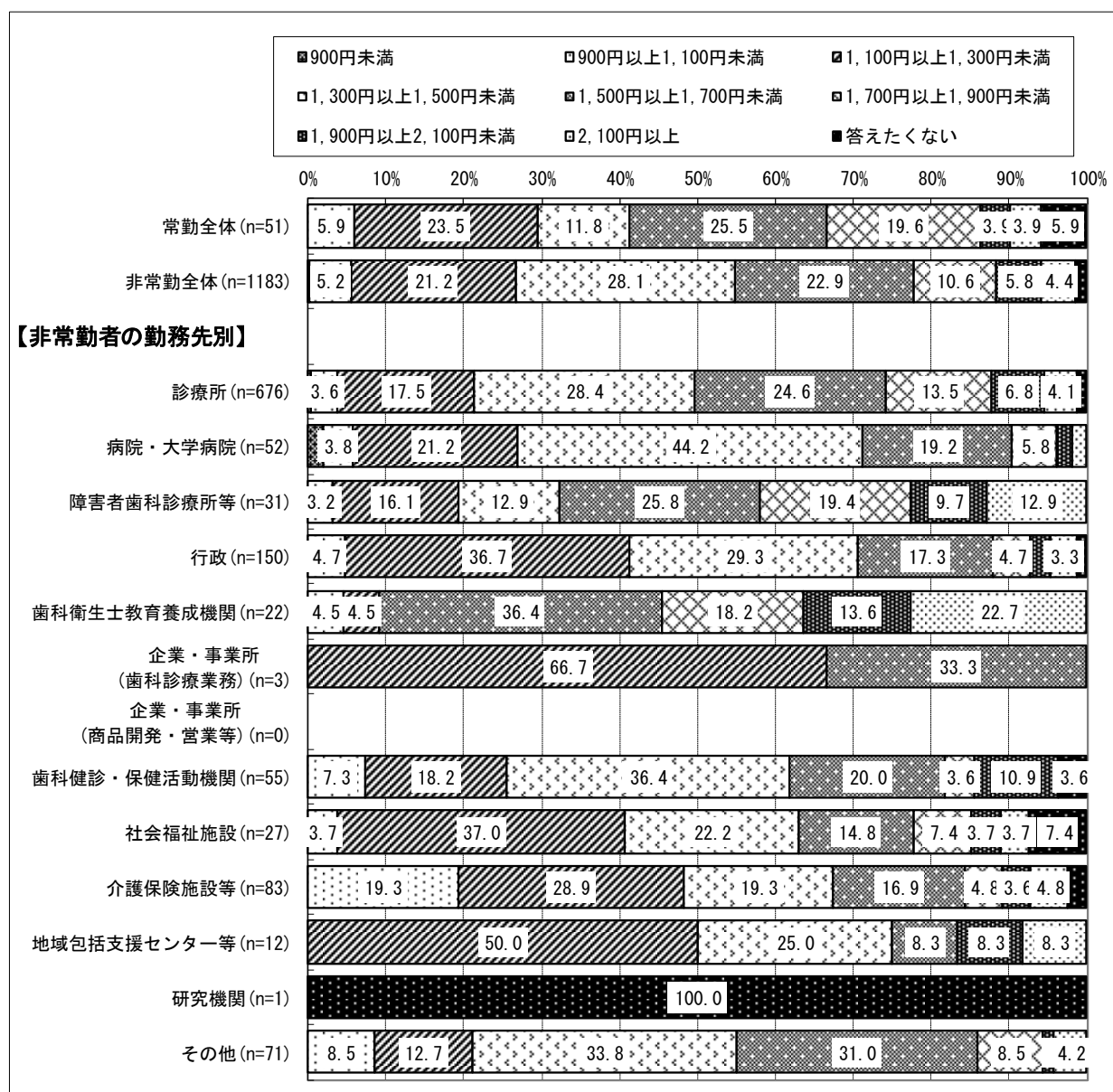


図 3-7 主な勤務先の時給（給与が時給の場合・税込）

7. 歯科衛生士としての全ての年収（税込）【Q15】

就業形態別で歯科衛生士としての全ての年収（税込）をみると、「常勤」では「300 万円以上 400 万円未満」が 34.3%、「130 万円以上 300 万円未満」が 20.8%、「400 万円以上 500 万円未満」が 19.7%、「500 万円以上 600 万円未満」が 10.7%、「600 万円以上 700 万円未満」が 5.2%、「700 万円以上 800 万円未満」が 2.7%、「800 万円以上 900 万円未満」が 1.0%、「130 万円未満」が 0.9%、「900 万円以上 1,000 万円未満」が 0.4%、「1,000 万円以上」が 0.2%である。

一方、「非常勤」では「130 万円未満」が 54.2%、「130 万円以上 300 万円未満」が 33.5%、「300 万円以上 400 万円未満」が 6.2%、「400 万円以上 500 万円未満」が 2.0%、「500 万円以上 600 万円未満」が 0.5%、「1,000 万円以上」が 0.2%、「700 万円以上 800 万円未満」が 0.2%、「600 万円以上 700 万円未満」が 0.1%である。（図 3-8）。

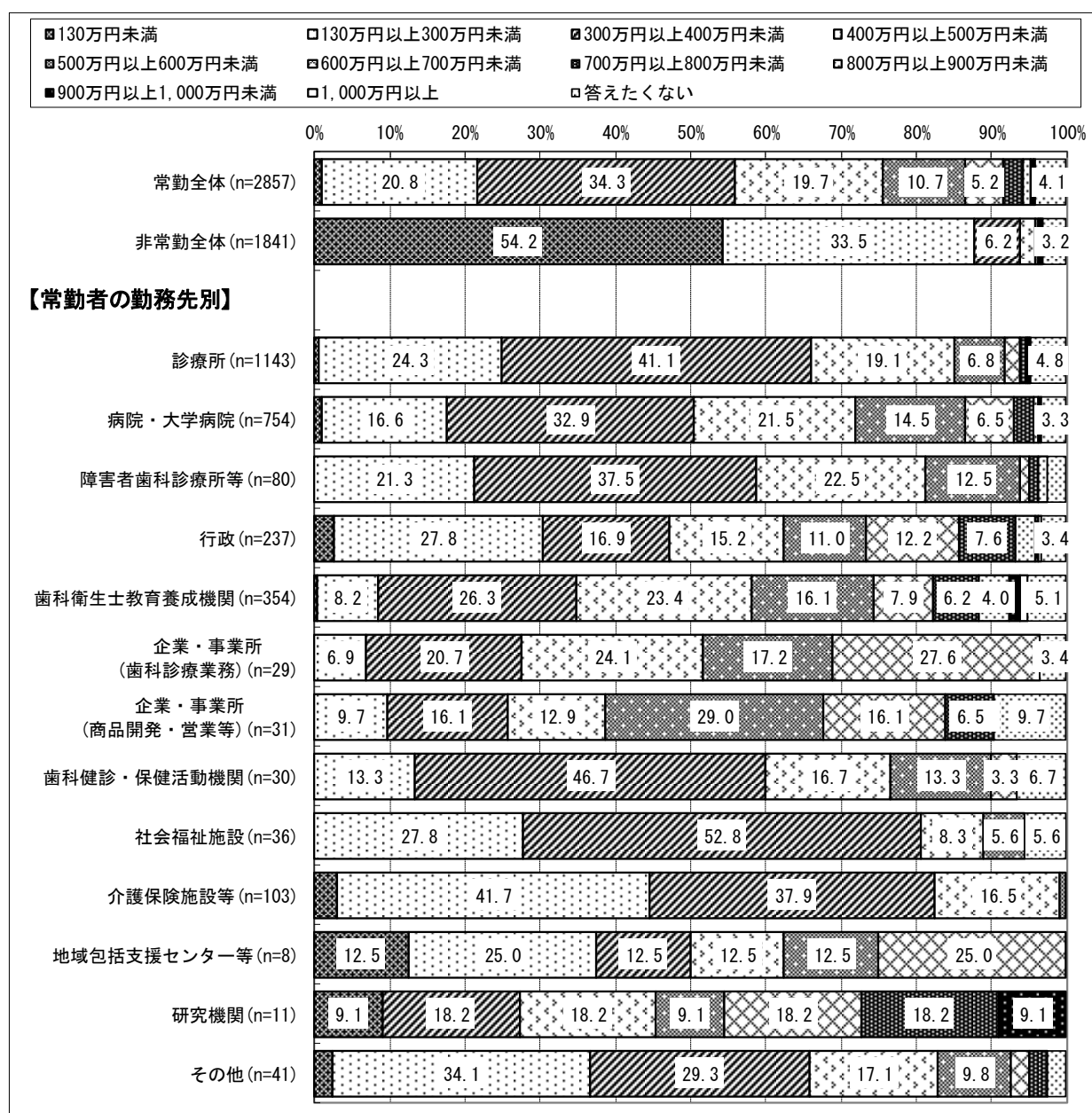


図 3-8 歯科衛生士としての全ての年収（税込）

8. 歯科衛生士としての年収の満足度【Q16】

歯科衛生士としての年収の満足度を全体でみると、「満足」と「ある程度満足」の合計が 38.5%、「不満」と「非常に不満」の合計が 34.4%である。

「常勤」では「満足」と「ある程度満足」の合計が 38.9%、「不満」と「非常に不満」の合計が 38.8%である。「非常勤」では「満足」と「ある程度満足」の合計が 38.2%、「不満」と「非常に不満」の合計が 28.4%となり、「常勤」と「非常勤」の満足度はほぼ同じだが、不満足の場合は「常勤」のほうが高い(図 3-9)。

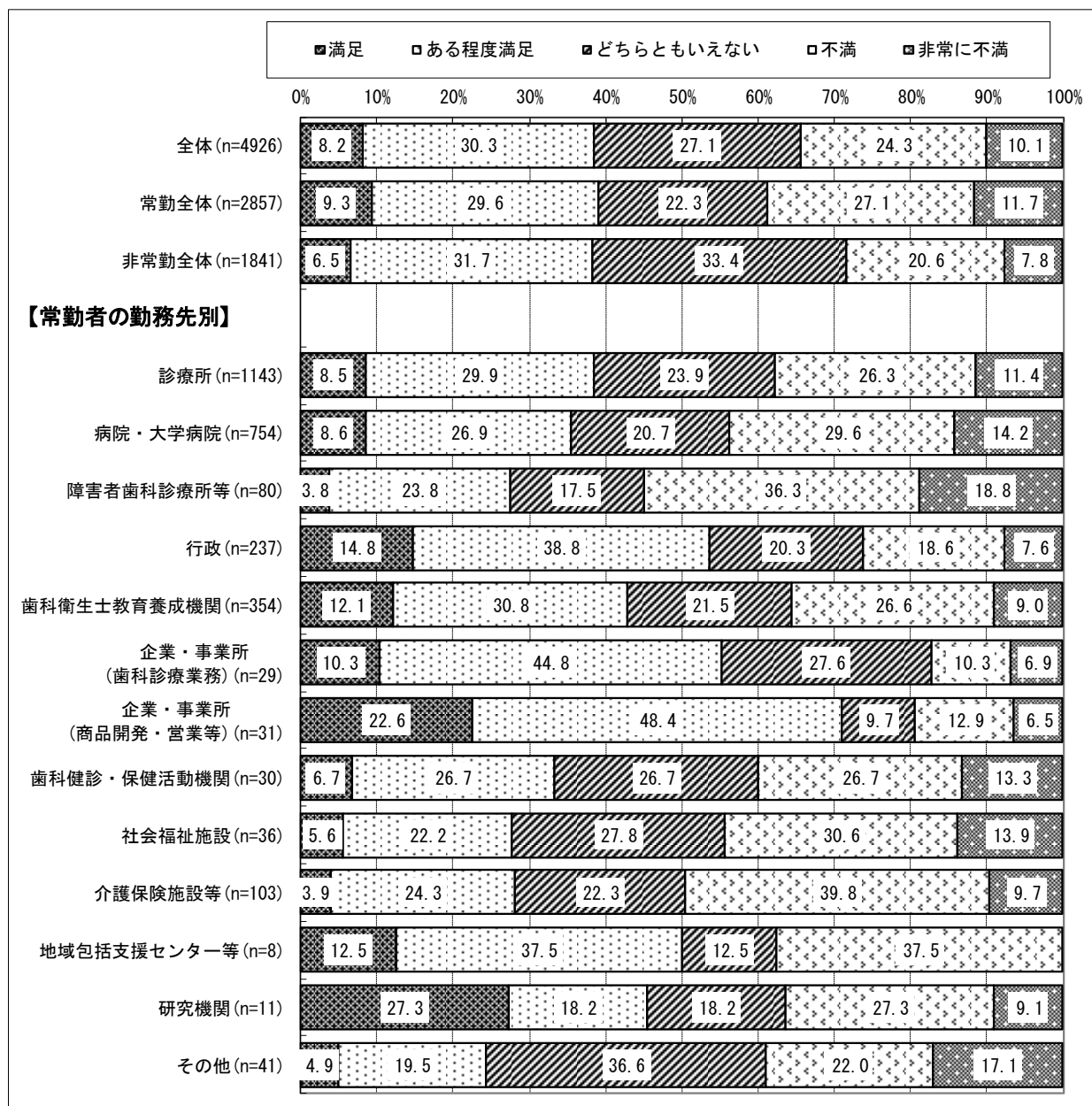


図 3-9 歯科衛生士としての年収の満足度

9. 退職金制度の有無【Q17】

退職金制度の有無の全体、「ある」の回答は48.3%、「ない」は41.3%である。就業形態別では、「ある」の回答は、「常勤」が76.8%（前回74.7%、前々回78.2%）、「非常勤」が8.5%（前回8.3%、前々回9.4%）である（図3-10）。

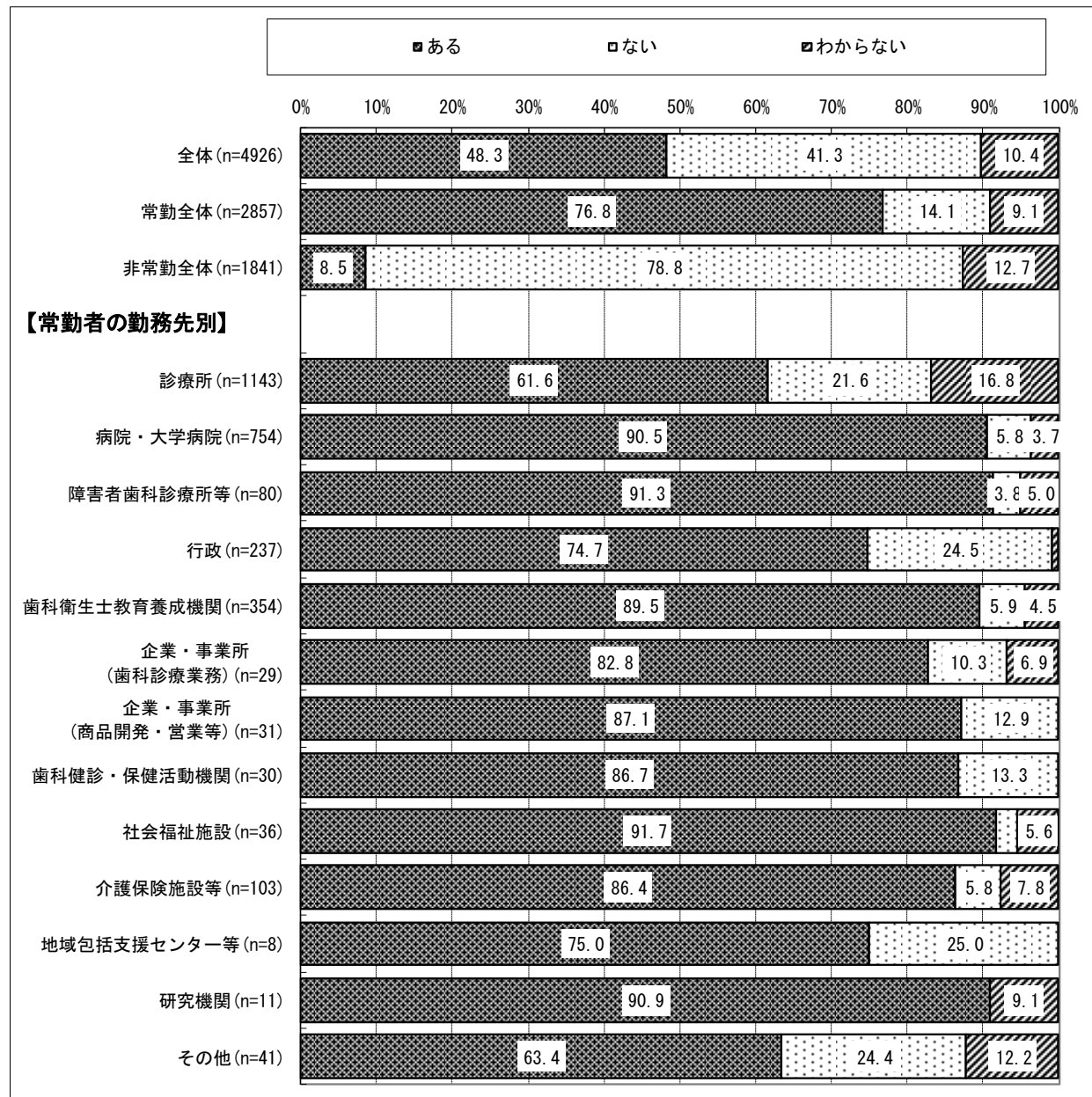


図3-10 退職金制度の有無

10. 公的な健康保険加入の状況【Q18】

公的な健康保険加入の状況を全体でみると、「被保険者の本人となっている」が 76.1%、「被保険者の扶養家族になっている」が 21.6%であり、合計 97.7%の者が被保険者か被扶養者で加入している。

就業形態別でみると、「常勤」が 97.2%（前回 97.6%、前々回 96.8%）で「被保険者の本人となっている」と回答しており、前回と大きく変わらない。一方、「非常勤」では「被保険者の扶養家族になっている」が 47.1%（前回 53.1%、前々回 58.6%）であり、下降を継続させた（図 3-11）。

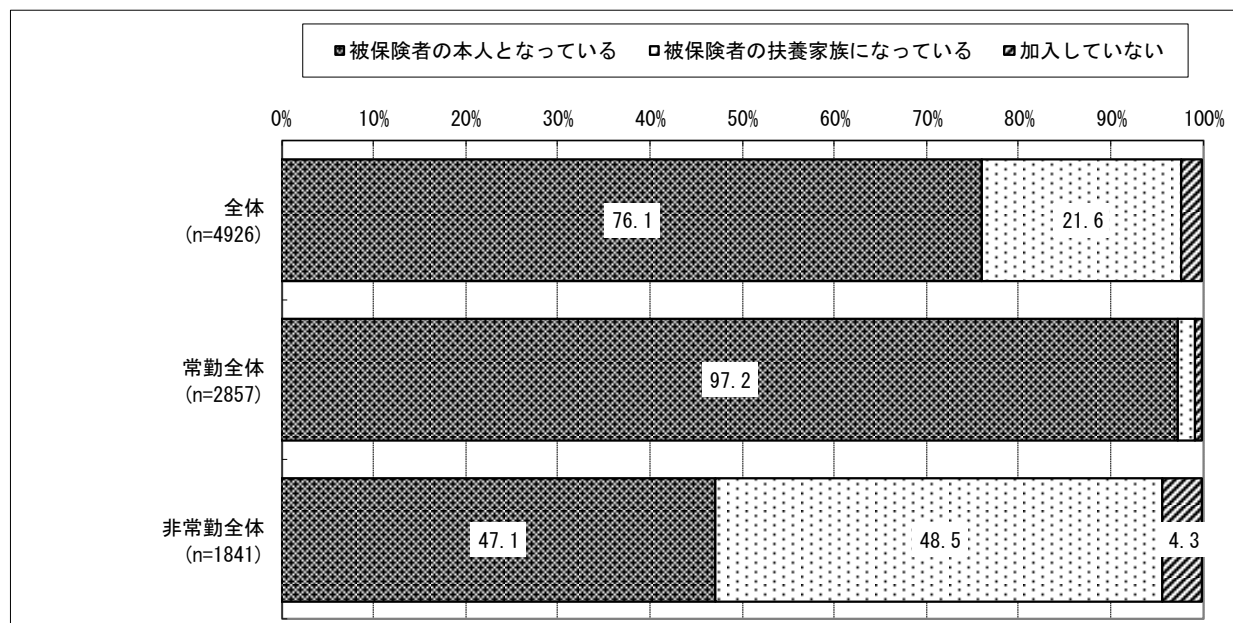


図 3-11 公的な健康保険加入の状況

11. 公的な健康保険の種類【Q18-1】

Q18で「被保険者の本人となっている」と回答した者を対象に、公的な健康保険の種類をみると、「常勤」では「共済組合健康保険」、「全国健康保険協会（協会けんぽ）」、「歯科医師国保」、「健保組合健康保険」、「国民健康保険（勤務先負担有）」、「国民健康保険（勤務先負担無）」の順となる。

一方、「非常勤」では「国民健康保険（勤務先負担無）」、「歯科医師国保」、「全国健康保険協会（協会けんぽ）」、「共済組合健康保険」、「健保組合健康保険」、「国民健康保険（勤務先負担有）」、「後期高齢者医療制度」の順となる。（図 3-12, 3-13）。

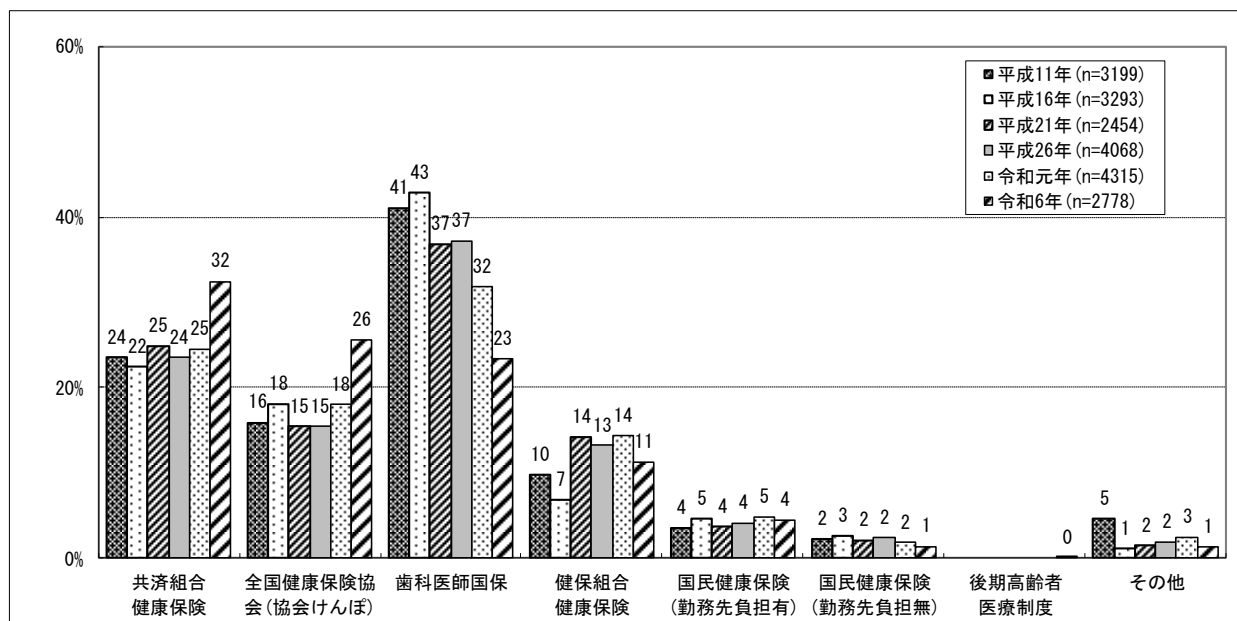


図 3-12 公的な健康保険の種類（常勤）

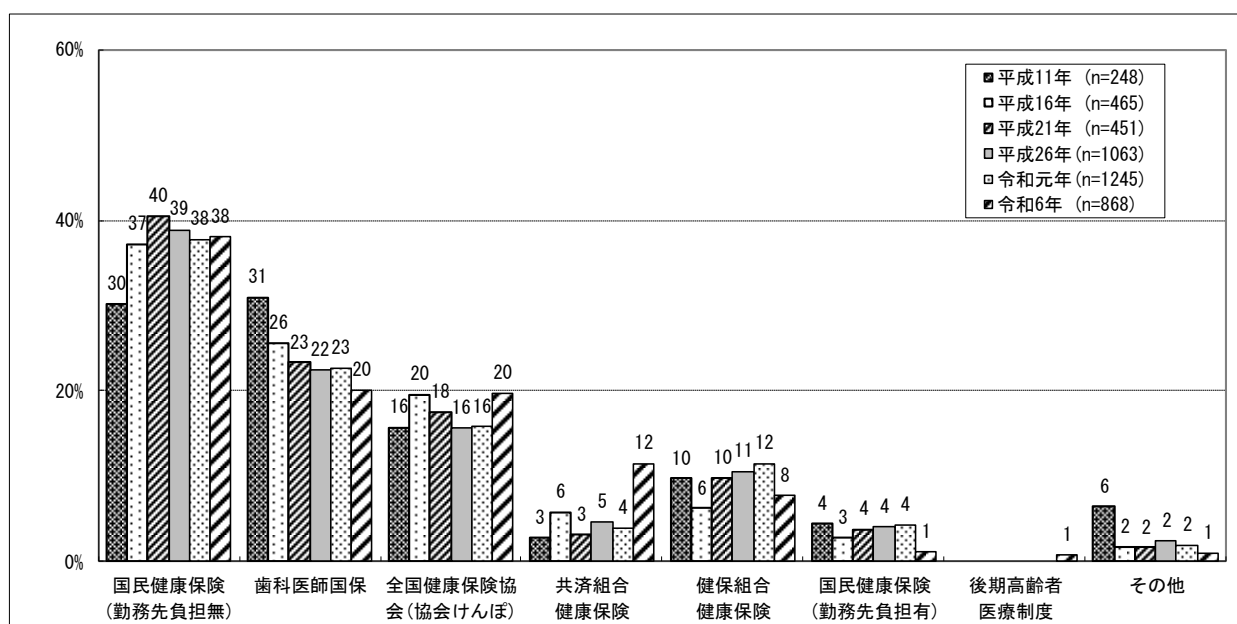


図 3-13 公的な健康保険の種類（非常勤）

12. 年金への加入の状況【Q19】

年金への加入の状況を全体で見ると、「本人が年金制度に加入している」が 79.8%で、前回調査の 77.8%より増加し、「配偶者の年金制度に加入している」が 16.1%、「加入していない」が 4.1%である。

就業形態別で年金への加入の状況を見ると、「本人が年金制度に加入している」では、「常勤」が 97.1%（前回 98.2%、前々回 97.9%）、「非常勤」が 55.4%（前回 50.8%、前々回 44.5%）である（図 3-14）。

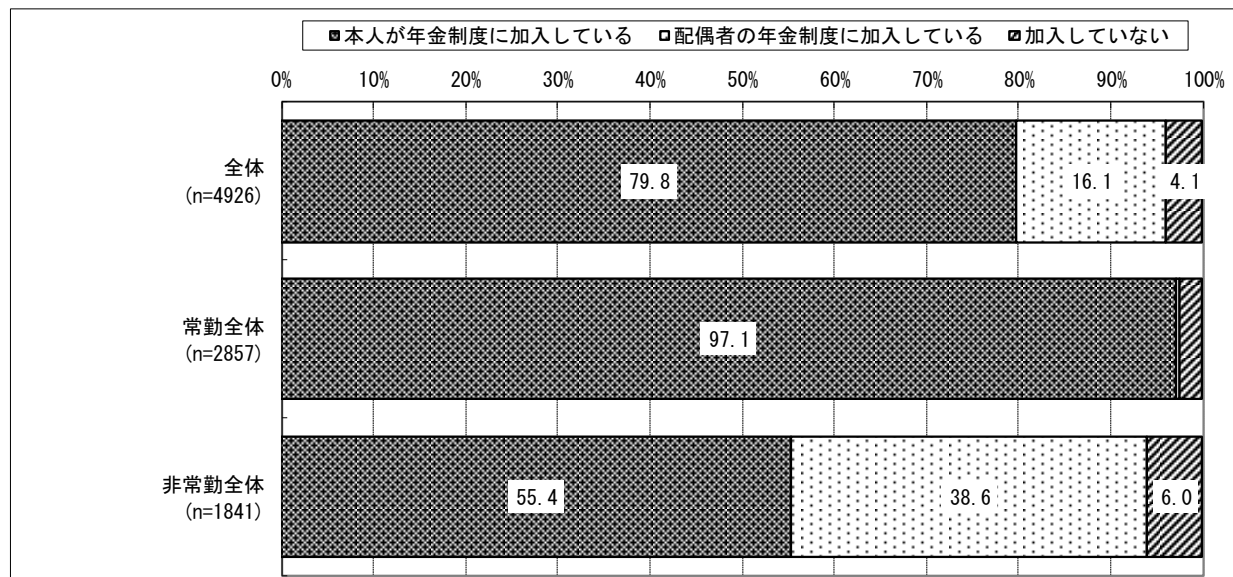


図 3-14 年金への加入の状況

13. 年金の種類【Q19-1】

Q19で「本人が年金制度に加入している」と回答した者を対象に、年金の種類を「常勤」でみると、「厚生年金」、「共済年金」、「個人年金（民間含）」、「国民年金（勤務先負担有）」、「国民年金（勤務先負担無）」、「その他」の順であり、最も多いのが「厚生年金」で65.7%（前回62.6%、前々回54.5%）である。

一方、「非常勤」では「国民年金（勤務先負担無）」が51.2%（前回51.3%、前々回53.9%）で最も多い（図3-15、3-16）。

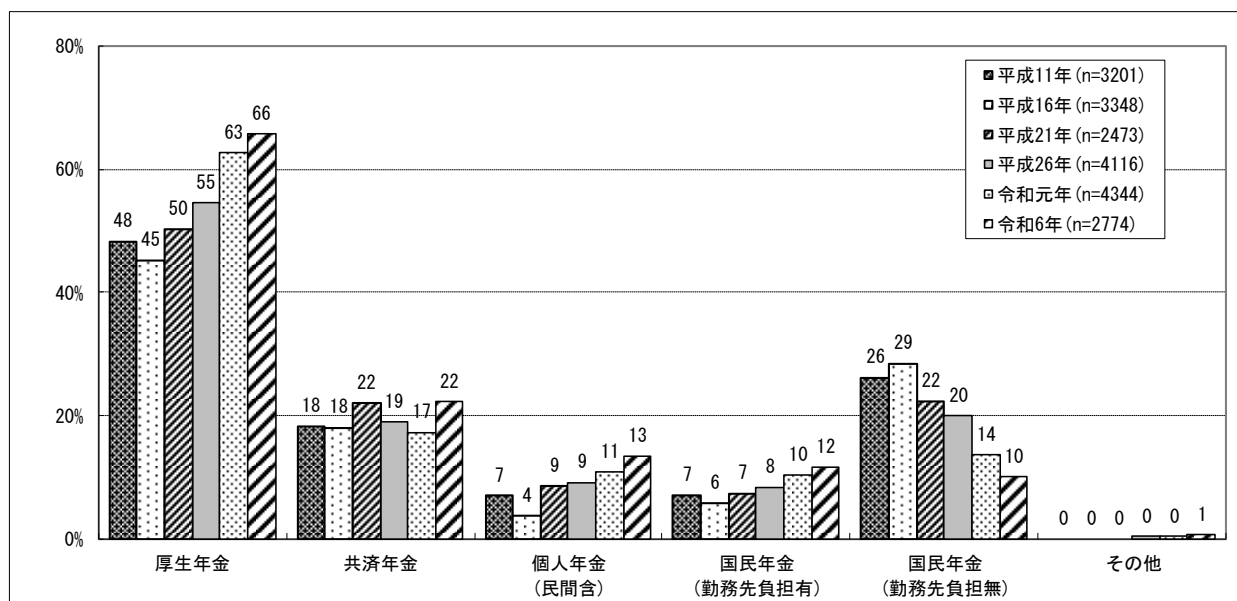


図 3-15 年金の種類（常勤）〔複数回答〕

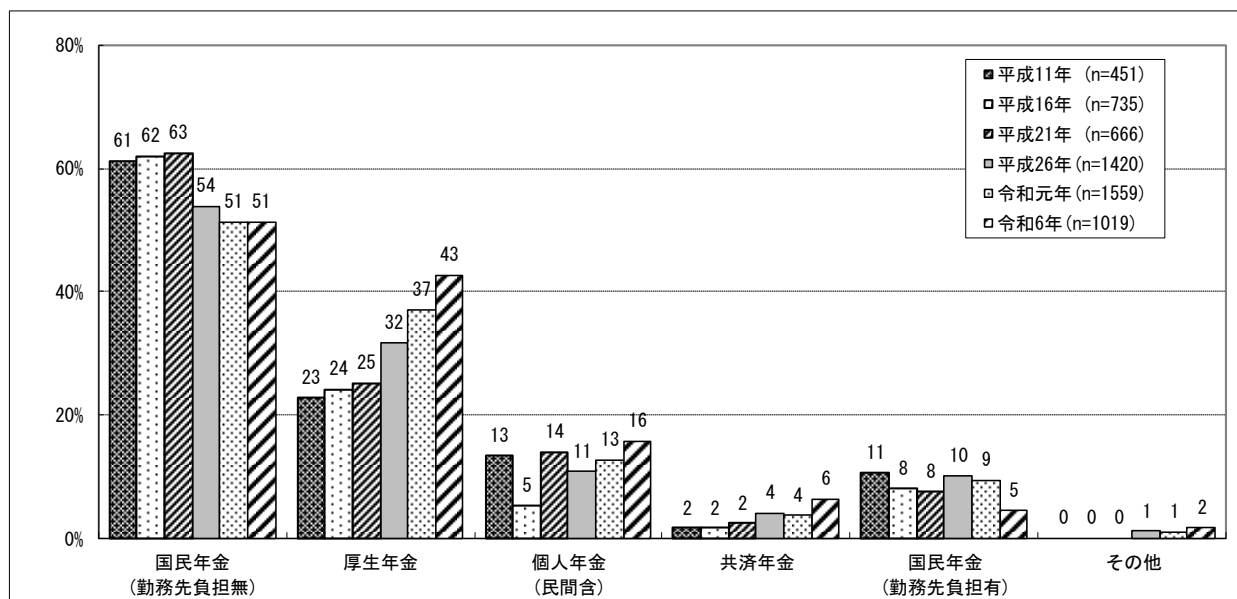


図 3-16 年金の種類（非常勤）〔複数回答〕

14. 雇用保険の加入の有無【Q20】

雇用保険の加入の有無を全体でみると、「加入している」が 66.1%（前回 63.7%、前々回 63.3%）、「加入していない」が 26.5%（前回 27.5%、前々回 34.5%）である。

就業形態別で「加入している」をみると、「常勤」が 87.7%（前回 86.8%、前々回 89.1%）で、「非常勤」が 37.4%（前回 34.0%、前々回 31.1%）である（図 3-17）。

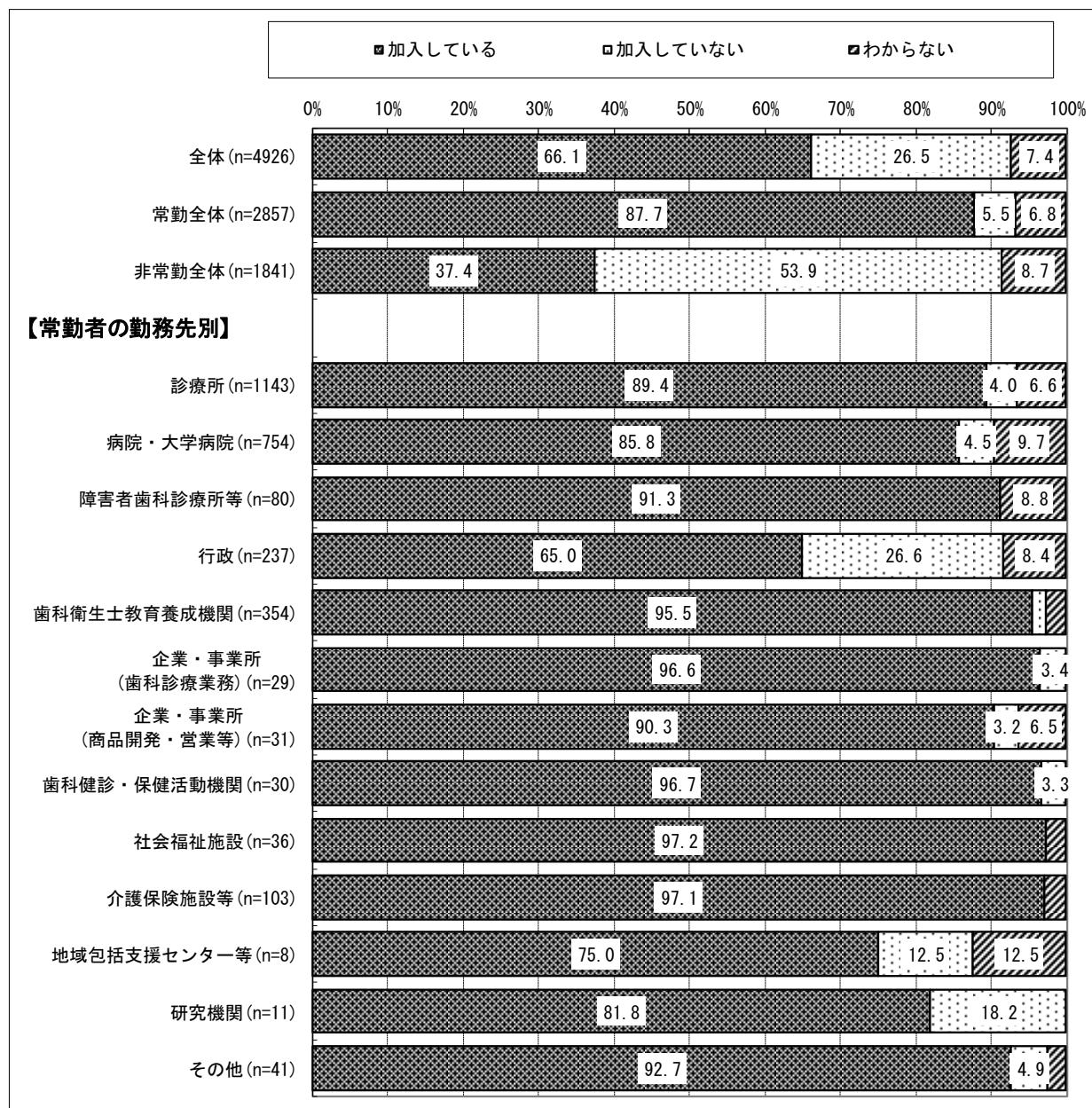


図 3-17 雇用保険の加入の有無

15. 労災保険の加入の有無【Q21】

労災保険の加入の有無を全体でみると、「加入している」が 53.7%（前回 45.7%、前々回 46.6%）、「加入していない」が 23.7%（前回 30.3%、前々回 49.1%）である。

就業形態別で「加入している」をみると、「常勤」が 70.5%（前回 63.1%、前々回 67.2%）、「非常勤」が 30.7%（前回 23.0%、前々回 20.5%）である（図 3-18）。

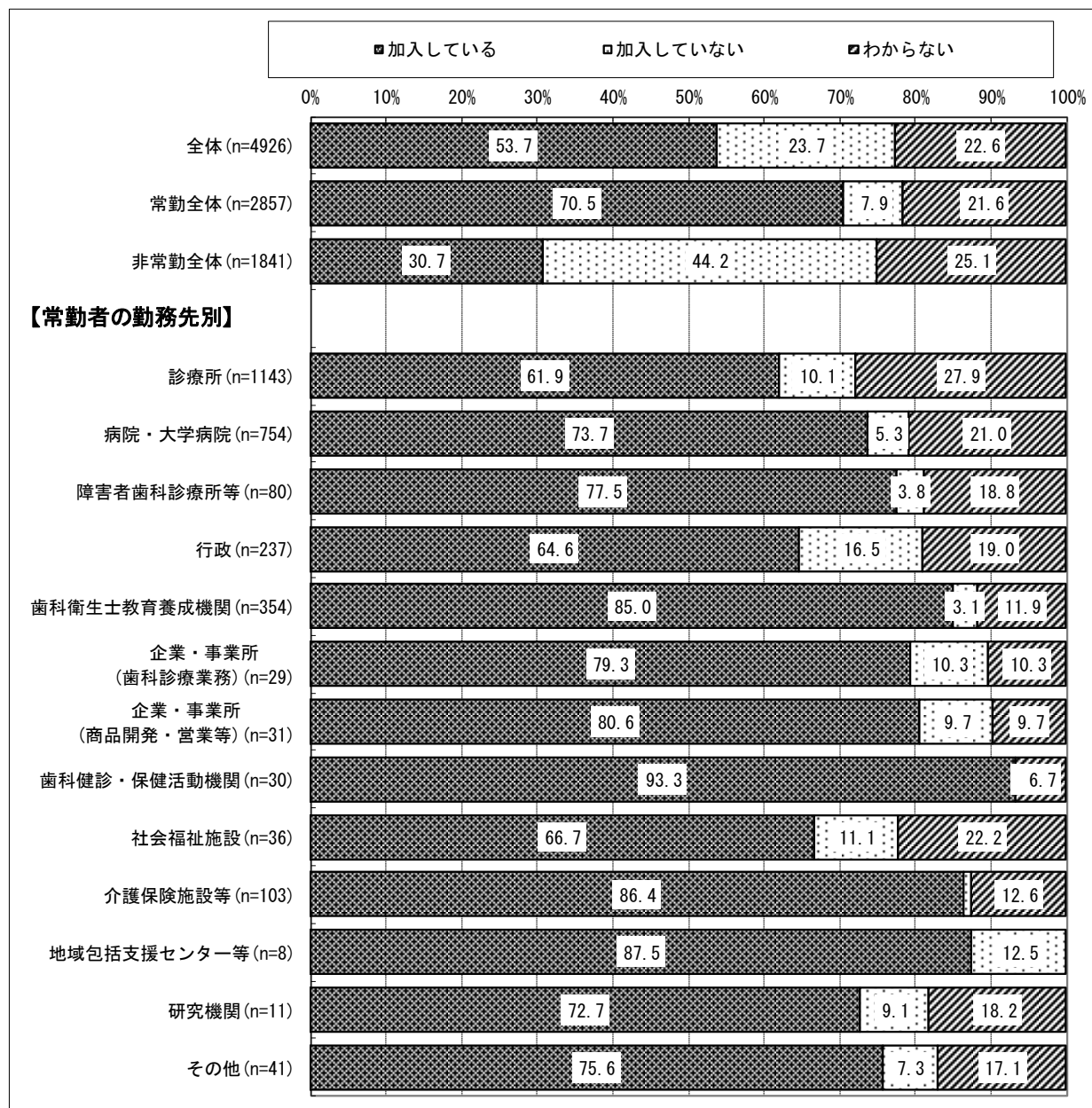


図 3-18 労災保険の加入の有無

IV. 職場環境・職務

1. 歯科衛生士の仕事の魅力【Q5-1】

歯科衛生士の仕事の魅力について、「はい」と回答した者を全体でみると、「国家資格である」が 98.5%、「専門性の高い仕事である」が 96.2%、「人の命や健康を守る仕事である」が 94.3%、「人や社会に貢献できる」が 93.6%、「人に直接関われる・手助けできる」が 93.2%、「転職・就職に困らない」が 81.5%、「収入が安定している」が 52.6%である（図 4-1）。

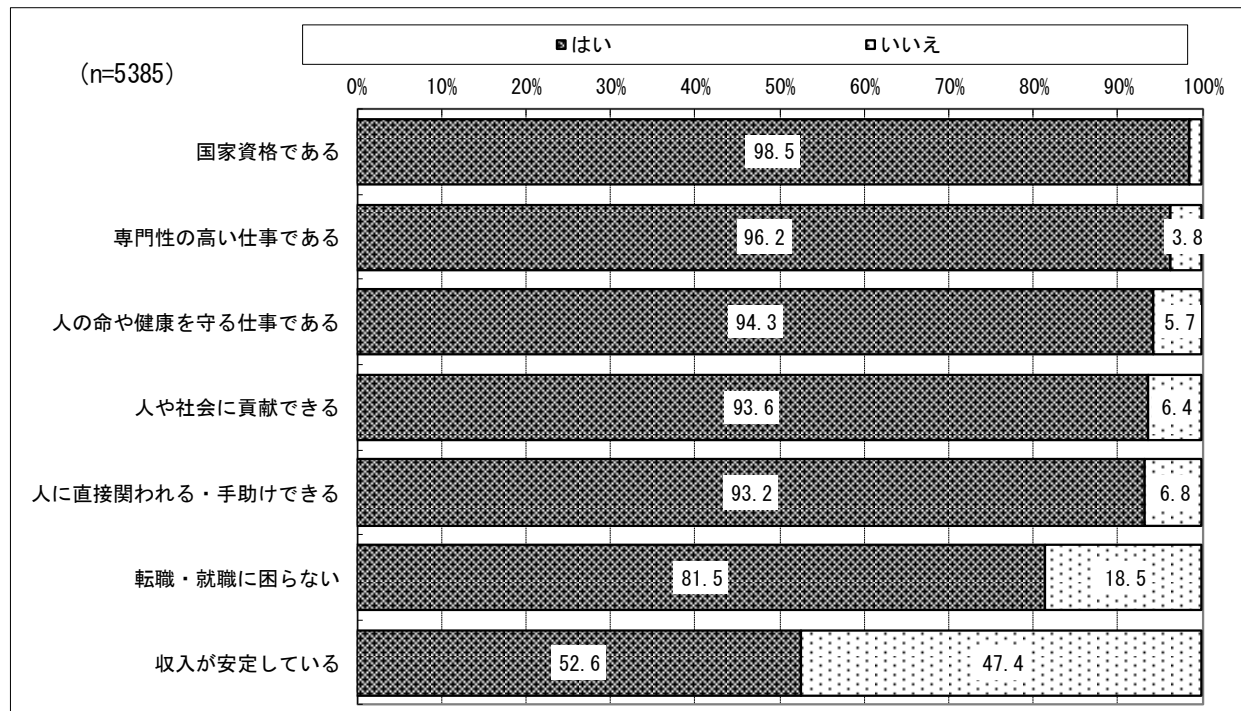


図 4-1 歯科衛生士の仕事の魅力

2. 現在の職場で改善してほしいこと【Q22】

現在の職場で改善してほしいことについて、「はい」と回答した者を全体でみると、「待遇改善（ベースアップ・定期昇給等）」が78.6%、「専門性・資格等の評価」が65.8%、「福利厚生の充実」が57.6%、「教育研修等、レベルアップの機会の充実」が52.5%、「雇用の安定性の確保」が47.2%、「多様な勤務形態・勤務時間の導入」が46.6%、「業務量の軽減」が45.4%、「医療安全体制の充実」が42.9%、「介護支援の充実」が39.5%、「院長等、職場の人間関係」が38.8%、「休暇の取得」が36.1%、「労働時間の短縮」が31.5%、「子育て支援の充実」が26.1%である（図4-2）。

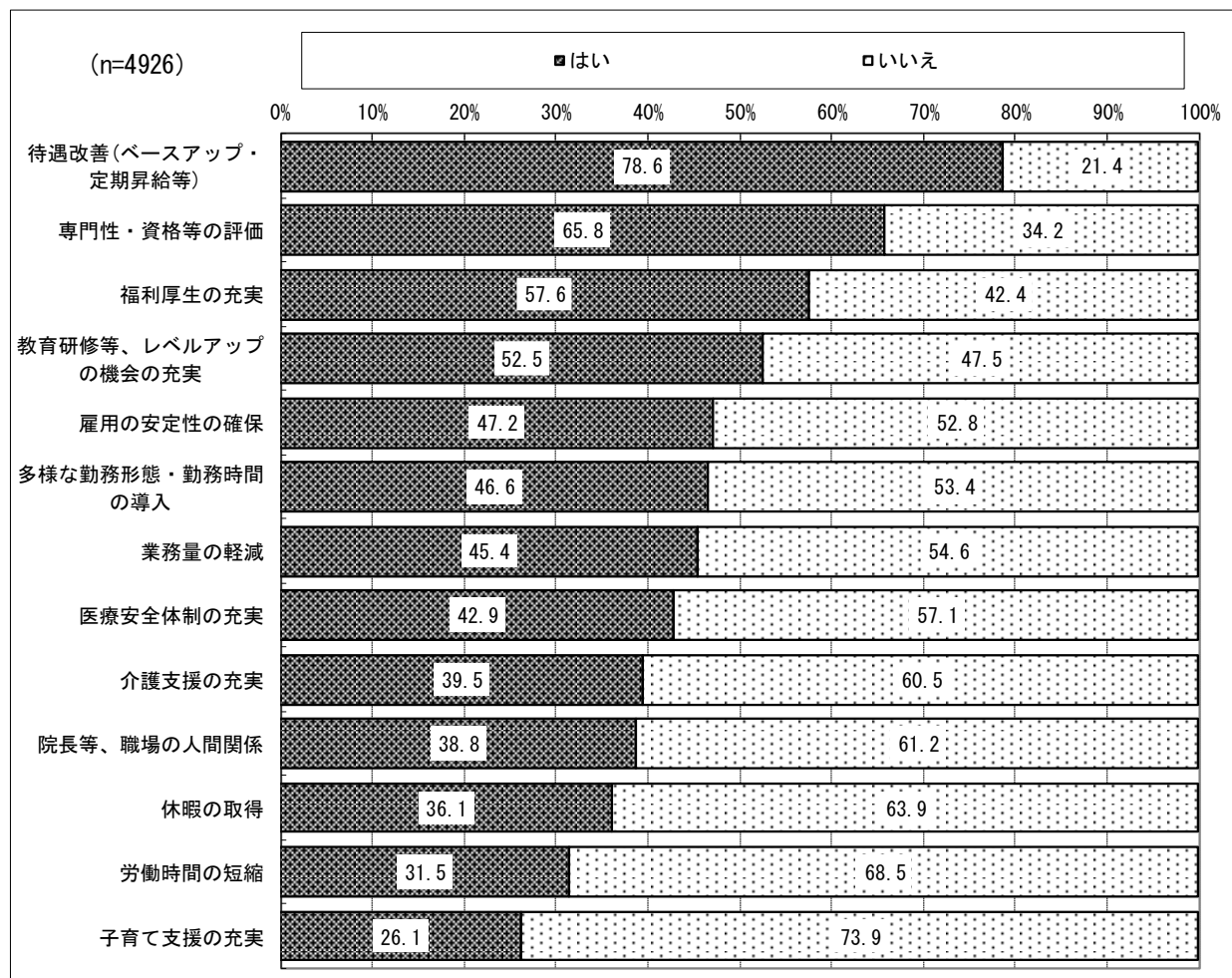


図4-2 現在の職場で改善してほしいこと

3. 歯科衛生士としての仕事に対する意識について【Q23】

歯科衛生士としての仕事に対する意識について、「非常にそう思う」と回答した者を全体でみると、回答率が1割を超えるものは多い順に「歯科衛生士の仕事が好きですか」が35.7%、「歯科衛生士免許の価値を感じていますか」が32.1%、「歯科衛生士として誇りを感じていますか」が31.7%、「現在の仕事にやりがいを感じていますか」が27.9%、「歯科衛生士の仕事はこれからも成長・発展していくと思いますか」が25.3%、「歯科衛生士として働くことに向いていると思いますか」が25.0%、「歯科衛生士という仕事に満足していますか」が23.4%、「歯科衛生士として今後も働きたいと思いますか」が22.1%、「歯科衛生士以外の職業である家族・知人に「歯科衛生士になりたい」と言われたら、歯科衛生士という職業を勧めますか」が15.5%、「私生活と仕事のバランスは両立していますか」が14.4%、「歯科衛生士としての業務内容に満足していますか」が13.7%、「もし、今、あなたが“職業”を自由に選べるとしたら、歯科衛生士という職業を選びますか」が12.2%である（図4-3）。

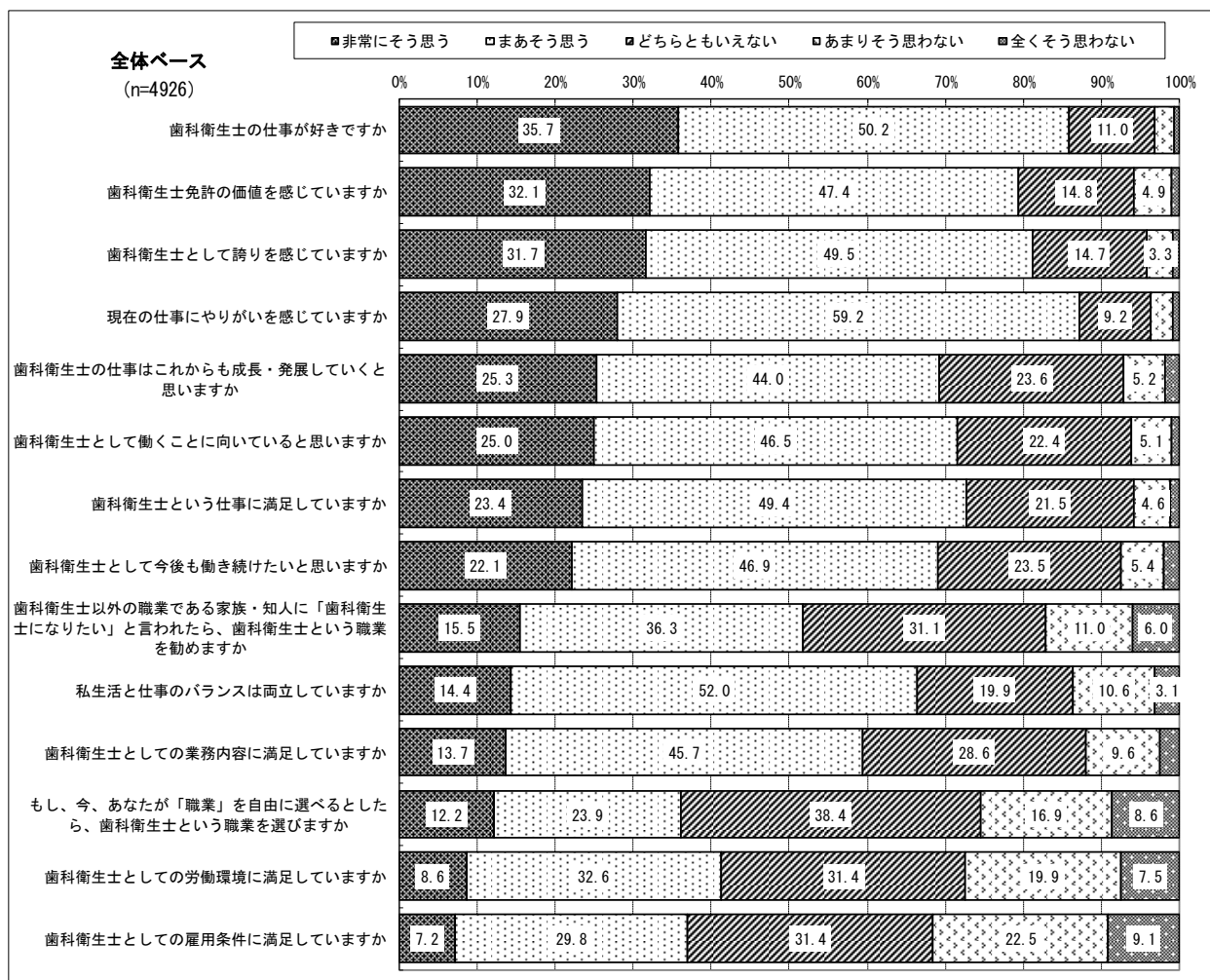


図 4-3 歯科衛生士としての仕事に対する意識について

次に、歯科衛生士としての仕事に対する意識について「非常にそう思う」でみると、「常勤」では、上位 3 つは「歯科衛生士の仕事が好きですか」が 33.8%、「歯科衛生士免許の価値を感じていますか」が 31.6%、「歯科衛生士として誇りを感じていますか」が 30.7%である。一方、「非常勤」では、「歯科衛生士の仕事が好きですか」が 37.5%、「歯科衛生士免許の価値を感じていますか」が 32.0%、「歯科衛生士として誇りを感じていますか」が 32.0%である（図 4-4、4-5）。

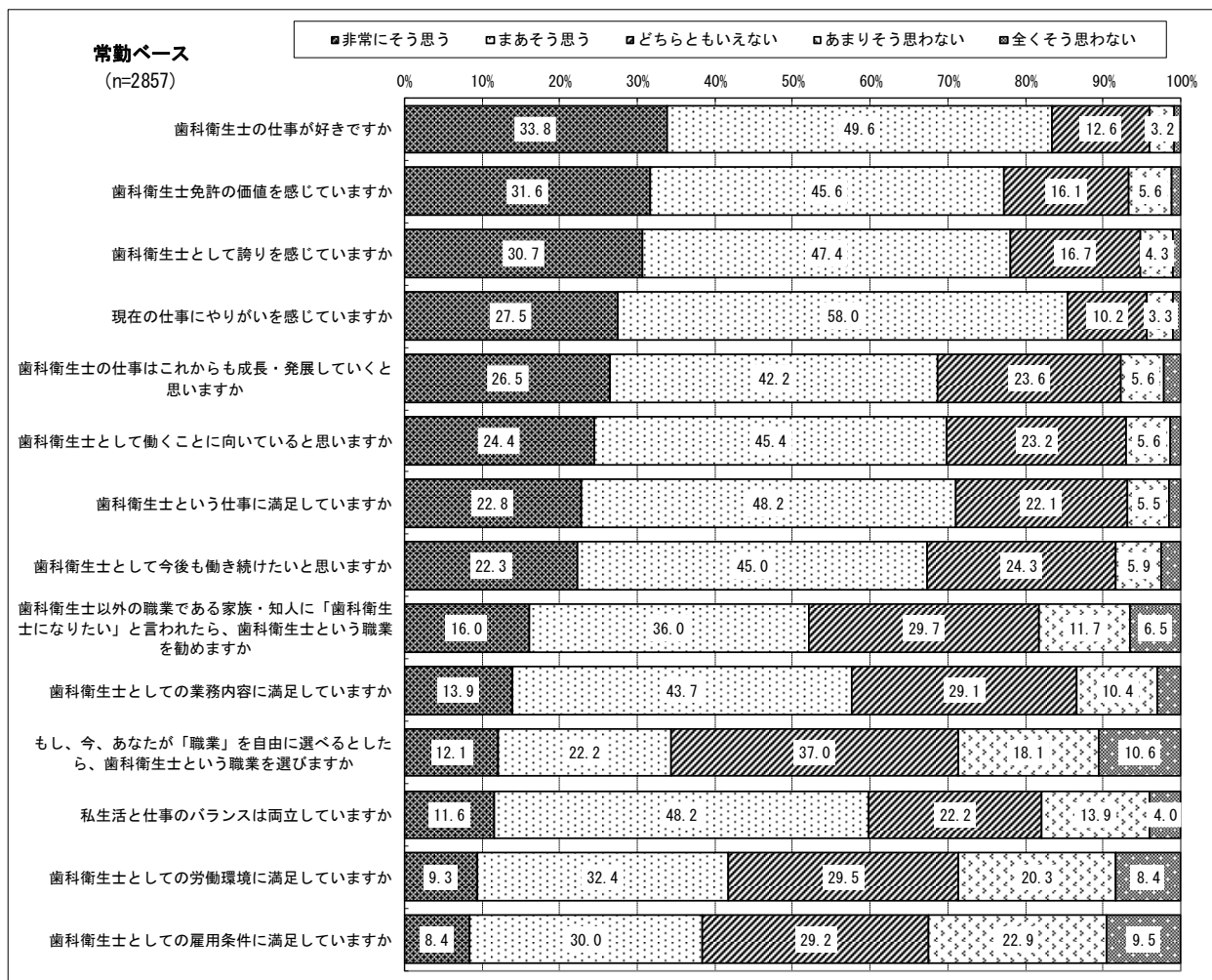


図 4-4 歯科衛生士としての仕事に対する意識について（常勤）

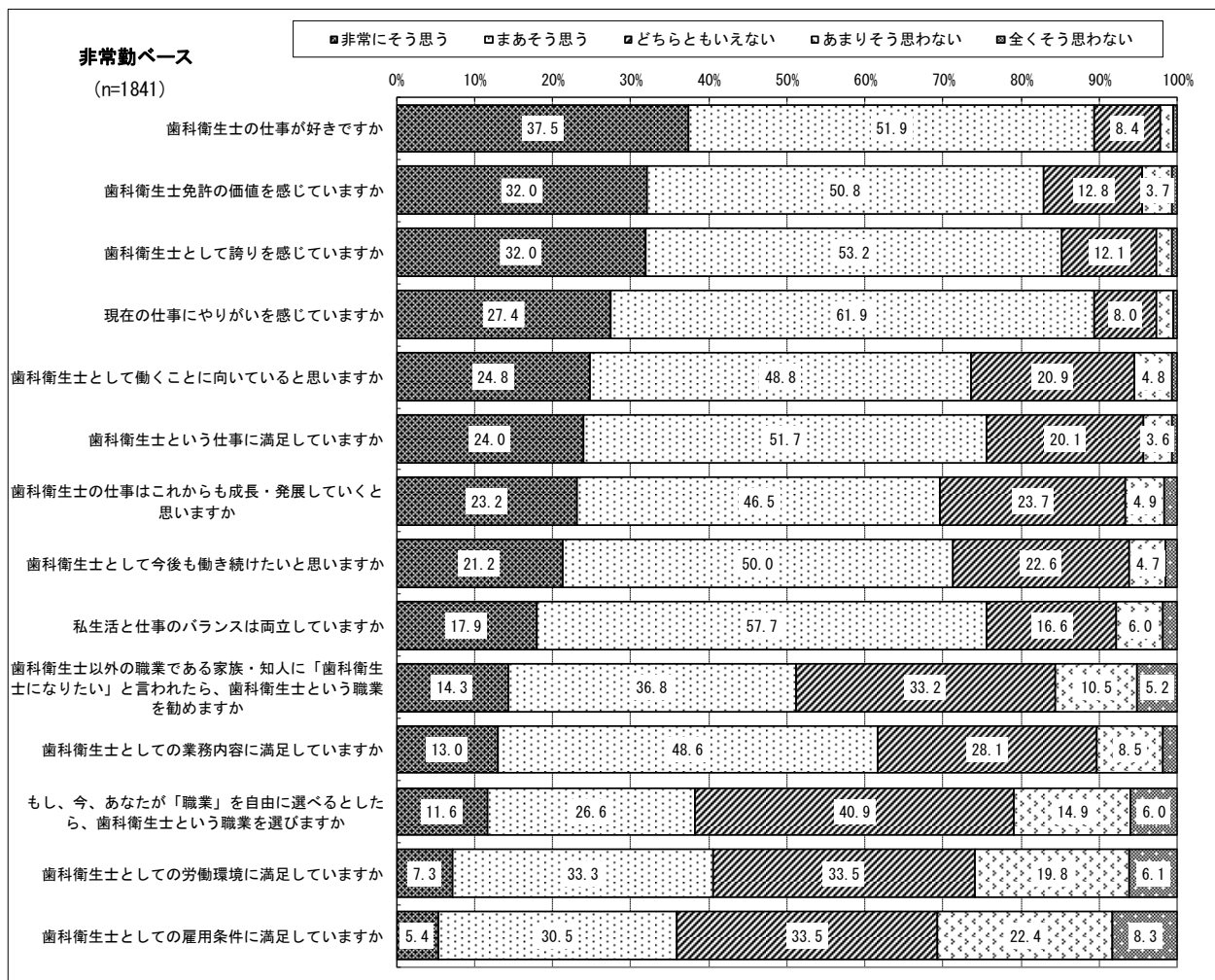


図 4-5 歯科衛生士としての仕事に対する意識について（非常勤）

4. 歯科衛生士として働くことへの満足度【Q24】

歯科衛生士として働くことへの満足度では、全体でみると「大変満足している」が14.9%、「満足している」が58.2%、「どちらともいえない」が22.9%、「不満」が3.2%、「大変不満」が0.9%である。

就業形態別で「大変満足している」と「満足している」の合計でみると、「常勤」が71.1%、「非常勤」が75.8%となる（図4-6）。

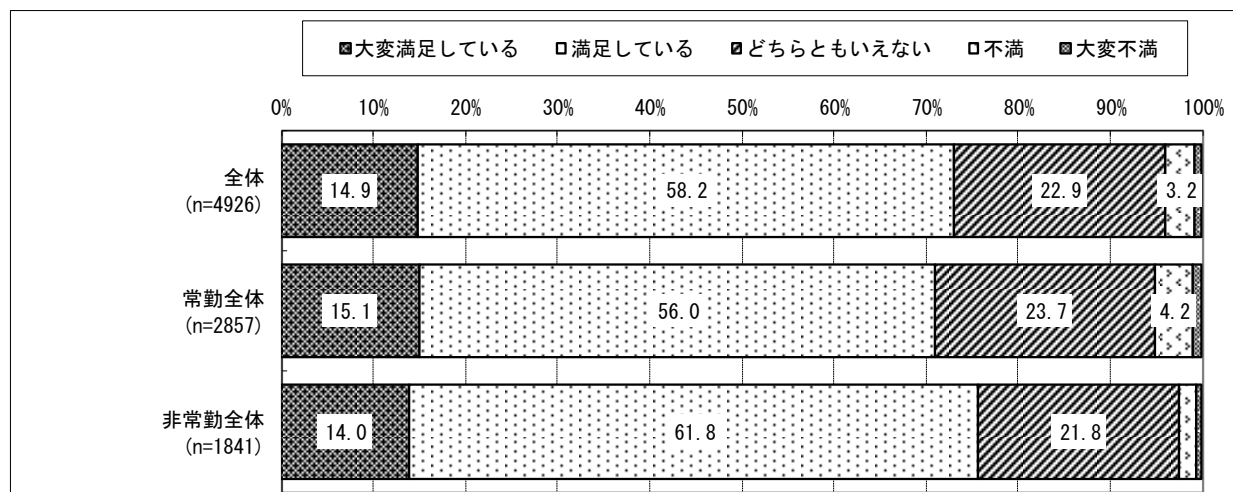


図 4-6 歯科衛生士として働くことへの満足度

5. 仕事上でのストレスの有無【Q25】

歯科衛生士としての仕事上でのストレスについては、全体でみると「非常に感じている」が 19.9%、「まあ感じている」が 47.2%、「どちらともいえない」が 17.6%、「あまり感じていない」が 14.0%、「全く感じていない」が 1.3%である。

就業形態別での「非常に感じている」と「まあ感じている」の合計は、「常勤」が 76.4%、「非常勤」が 54.8%となる（図 4-7）。

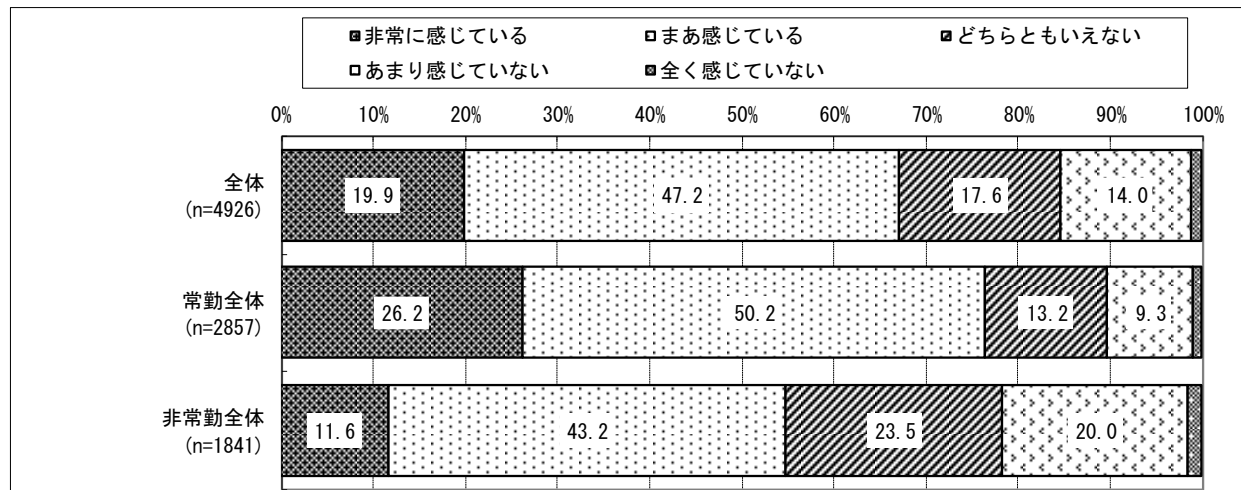


図 4-7 仕事上でのストレスの有無

6. 職場でのハラスメント有無【Q26】

歯科衛生士としての仕事の職場でのハラスメントの有無を全体結果でみると、「いつもある」が7.1%、「時々ある」が33.0%、「どちらともいえない」が19.4%、「あまりない」が25.6%、「全くない」が14.9%となる。

就業形態別での「いつもある」と「時々ある」の合計は「常勤」が45.3%、「非常勤」が33.9%である(図4-8)。

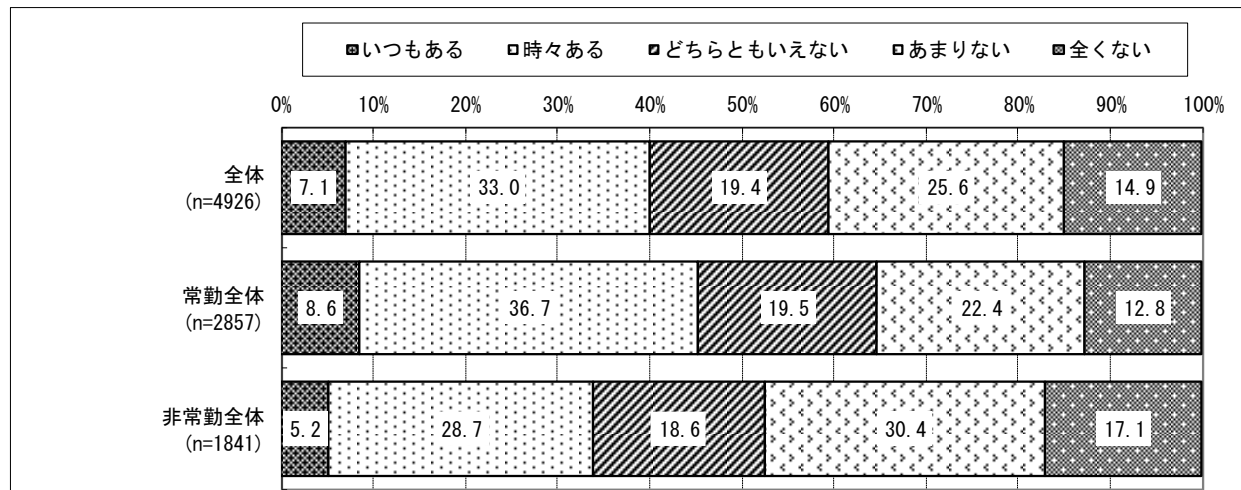


図 4-8 職場でのハラスメント有無

7. 勤務先の変更経験【Q27】

勤務先の変更経験を全体でみると、「勤務先を変ったことはない」が 19.2%（前回 22.2%）である。一方、「1回ある」と「2回ある」と「3回ある」と「4回以上ある」の合計は 80.8%（前回 76.4%）である。変わったことがある者の中で、最も多かったのは「1回ある」が 21.8%（前回 21.4%）で、「4回以上ある」が 22.3%（前回 19.6%）、「2回ある」が 19.6%（前回 17.8%）、「3回ある」が 17.1%（前回 17.6%）である。

就業形態別では「常勤」は「勤務先を変ったことがない」が 27.9%（前回 33.1%）、「1回ある」が 21.8%（前回 21.0%）、「4回以上ある」が 18.5%（前回 16.5%）、「2回ある」が 16.8%（前回 14.7%）、「3回ある」が 14.9%（前回 14.0%）である。一方、「非常勤」では「勤務先を変ったことがない」が 7.9%（前回 7.3%）と少なく、「4回以上ある」が 27.9%（前回 24.7%）、「3回ある」が 19.7%（前回 22.6%）、「2回ある」が 24.1%（前回 22.2%）、「1回ある」が 20.5%（前回 21.8%）である（図 4-9）。

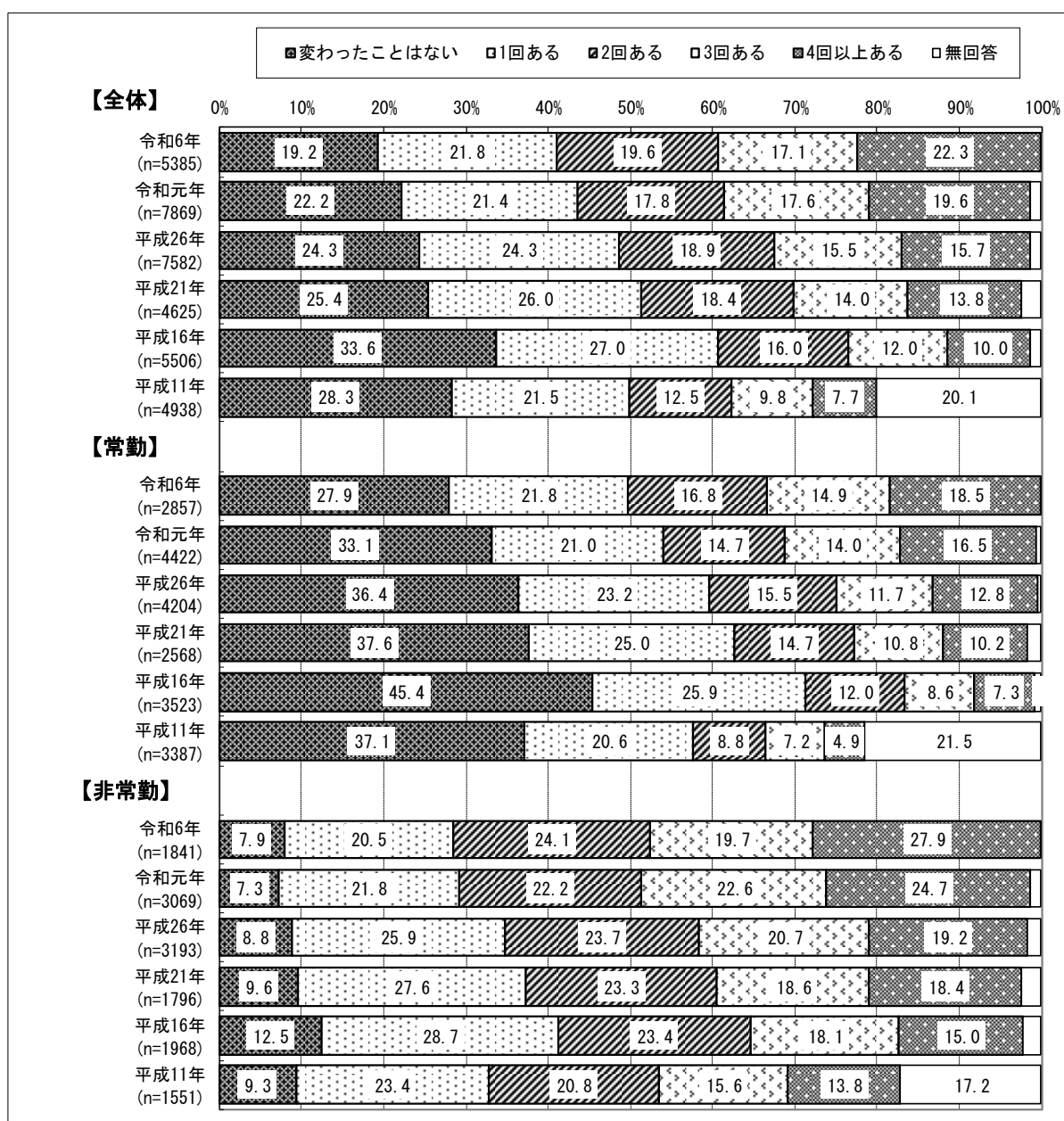


図 4-9 勤務先の変更経験

次に、常勤者の勤務先別で「勤務先を変ったことはない」をみると、回答数が30件以上のもので、「企業・事業所（商品開発・営業等）」が54.8%、「歯科健診・保健活動機関」が43.3%、「病院・大学病院」が39.5%、「障害者歯科診療所等」が32.5%、「行政」が26.6%、「診療所」が26.1%である（図4-10）。

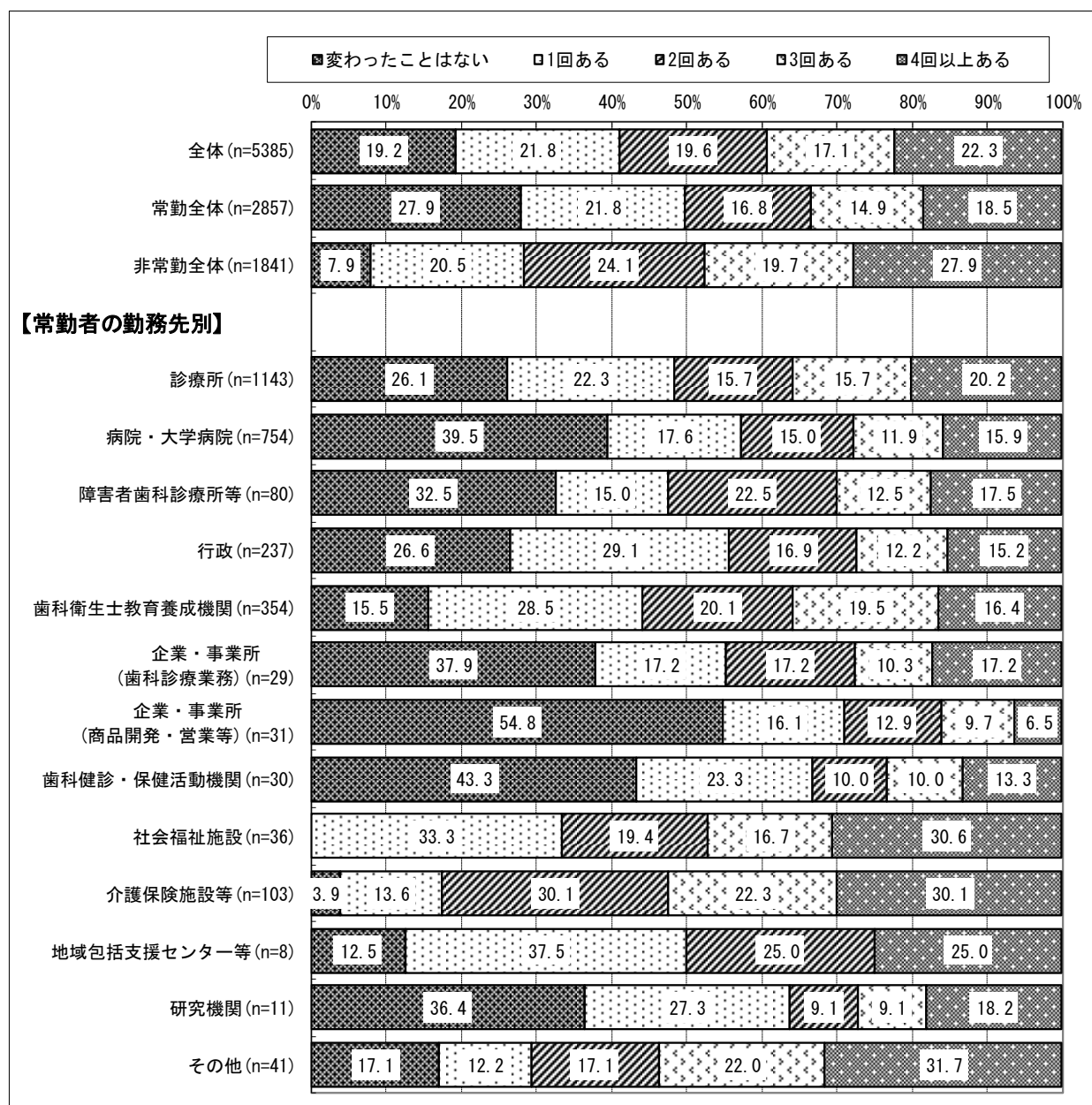


図4-10 勤務先の変更経験

8. 勤務先を変ったことがある人の勤務先変更の理由【Q27-1】

Q27 で「勤務先を変ったことがある」と回答した者について、勤務先変更の理由を全体でみると、「出産・育児」が 33.8%、「経営者との人間関係」が 33.2%、「結婚」が 32.4%、「給与・待遇の面」が 32.3%、「勤務形態・勤務時間」が 31.8%、「仕事内容」が 29.6%、「仕事内容のレベルアップのため」が 25.7%である（図 4-11、表 4-1）。

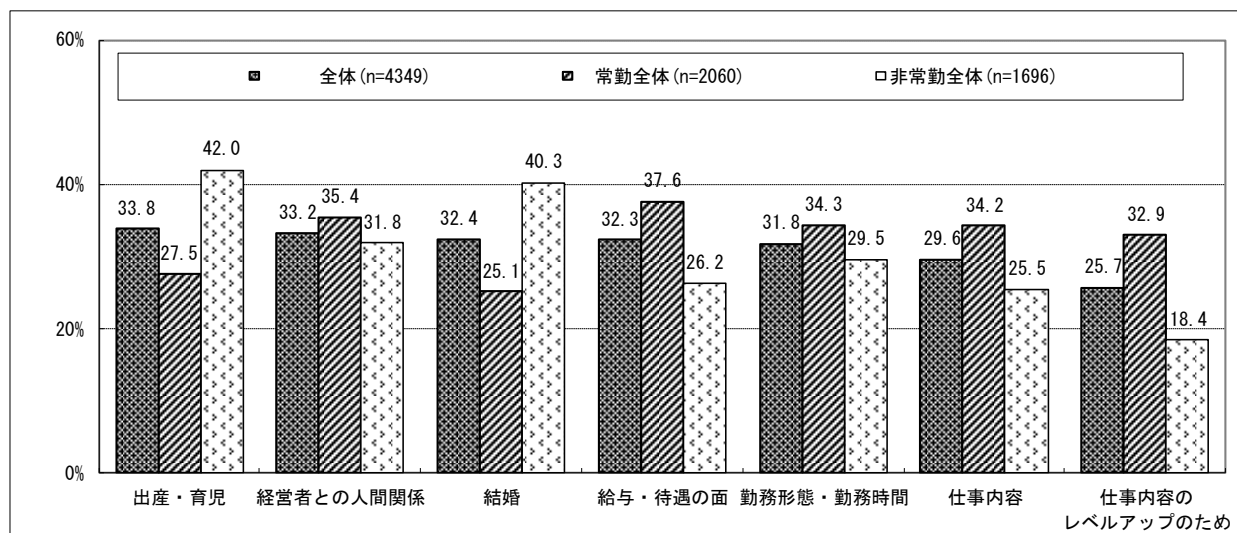


図 4-11 勤務先を変ったことがある人の勤務先変更の理由（上位 7 項目）〔複数回答〕

次に、Q27 で「勤務先を変ったことがある」と回答した者について、勤務先変更の主な理由を全体でみると、「出産・育児」が 14.7%、「経営者との人間関係」が 13.1%、「結婚」が 11.5%、「仕事内容のレベルアップのため」が 7.9%、「給与・待遇の面」が 6.8%、「家庭の事情」が 6.8%、「仕事内容」が 5.4%である（図 4-12、表 4-2）。

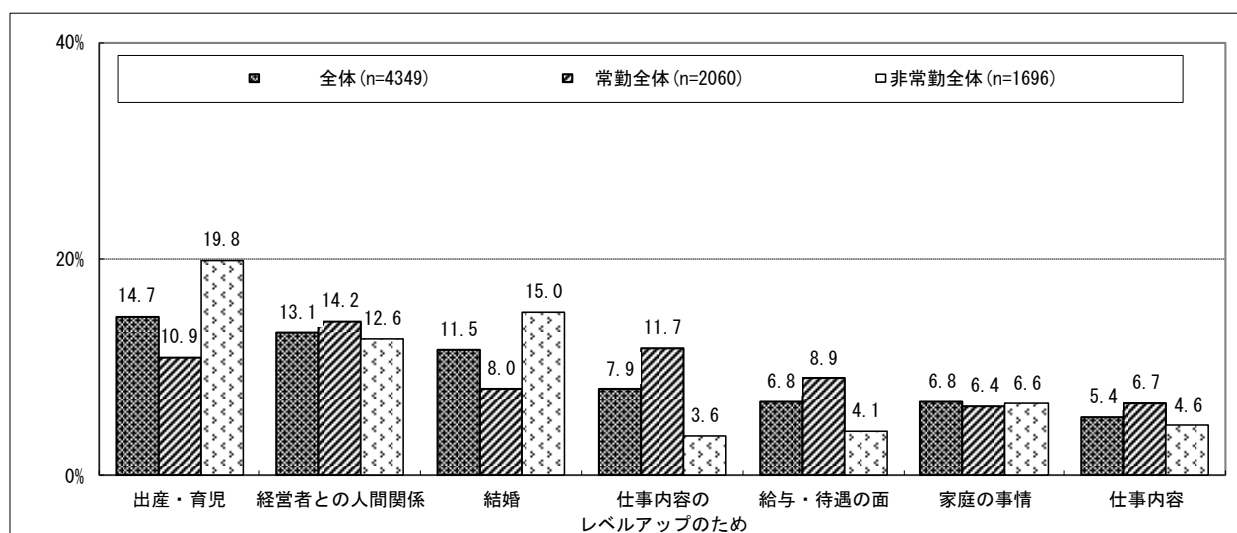


図 4-12 勤務先を変ったことがある人の勤務先変更の主な理由（上位 7 項目）

表 4-1 勤務先変更の理由の割合（常勤者の勤務先別）〔複数回答〕

(%)

	n=	給与・待遇の面	経営者との人間関係	勤務形態・勤務時間	仕事内容	仕事内容のレベルアップのため	出産・育児	結婚
常勤	2060	37.6	35.4	34.3	34.2	32.9	27.5	25.1
診療所	845	38.7	41.5	36.0	33.3	25.9	28.4	27.3
病院・大学病院	456	43.9	34.4	38.8	38.4	41.0	28.5	25.7
障害者歯科診療所等	54	33.3	35.2	35.2	29.6	22.2	29.6	27.8
行政	174	41.4	28.2	34.5	34.5	33.9	25.3	25.9
歯科衛生士教育養成機関	299	29.4	22.7	22.1	36.5	44.1	22.4	15.7
企業・事業所(歯科診療業務)	18	38.9	16.7	27.8	33.3	22.2	33.3	16.7
企業・事業所(商品開発・営業等)	14	35.7	42.9	35.7	21.4	35.7	14.3	14.3
歯科健診・保健活動機関	17	47.1	47.1	52.9	29.4	29.4	11.8	11.8
社会福祉施設	36	27.8	41.7	36.1	38.9	27.8	41.7	25.0
介護保険施設等	99	26.3	38.4	33.3	23.2	24.2	37.4	36.4
地域包括支援センター等	7	28.6	28.6	28.6	－	42.9	－	28.6
研究機関	7	42.9	－	28.6	28.6	85.7	14.3	－
その他	34	26.5	38.2	35.3	32.4	35.3	17.6	23.5

表 4-2 勤務先変更の主な理由の割合（常勤者の勤務先別）

(%)

	n=	経営者との人間関係	仕事内容のレベルアップのため	出産・育児	給与・待遇の面	結婚	仕事内容	家庭の事情
常勤	2060	14.2	11.7	10.9	8.9	8.0	6.7	6.4
診療所	845	18.1	6.2	11.0	8.8	9.1	4.7	7.1
病院・大学病院	456	10.5	15.4	10.5	10.7	8.3	5.7	5.7
障害者歯科診療所等	54	11.1	5.6	16.7	9.3	7.4	7.4	5.6
行政	174	13.8	12.1	10.9	8.6	13.2	9.2	6.3
歯科衛生士教育養成機関	299	7.0	25.1	10.0	8.0	4.3	12.0	5.7
企業・事業所(歯科診療業務)	18	5.6	5.6	22.2	11.1	5.6	11.1	5.6
企業・事業所(商品開発・営業等)	14	28.6	14.3	－	21.4	－	－	－
歯科健診・保健活動機関	17	35.3	17.6	－	5.9	5.9	－	－
社会福祉施設	36	19.4	－	11.1	8.3	5.6	13.9	5.6
介護保険施設等	99	17.2	8.1	14.1	8.1	3.0	5.1	10.1
地域包括支援センター等	7	－	14.3	－	－	14.3	－	14.3
研究機関	7	－	42.9	14.3	－	－	14.3	－
その他	34	17.6	8.8	8.8	－	5.9	5.9	2.9

9. 転職又は現在の勤務先を替えたいと考えたことの有無【Q28】

転職又は現在の勤務先を替えたいと考えたことの有無を全体でみると、「考えたことはない」が 35.2%、「考えたことがある（歯科衛生士として）」が 32.1%、「考えたことがある（歯科衛生士以外の職）」が 14.9%、「現在考えている（歯科衛生士としての職を継続）」が 12.2%、「現在考えている（歯科衛生士以外の職）」が 5.5%である（図 4-13）。



図 4-13 転職又は現在の勤務先を替えたいと考えたことの有無

転職又は現在の勤務先を替えたいと考えたことの有無で、「考えたことはない」との回答を年齢別にみると、「65歳以上」が64.5%、「60～64歳」が49.0%、「55～59歳」が35.5%、「20～24歳」が34.3%、「50～54歳」が31.2%、「45～49歳」が29.3%、「35～39歳」が27.5%、「40～44歳」が25.7%、「25～29歳」が25.0%、「30～34歳」が22.0%である（図4-14）。

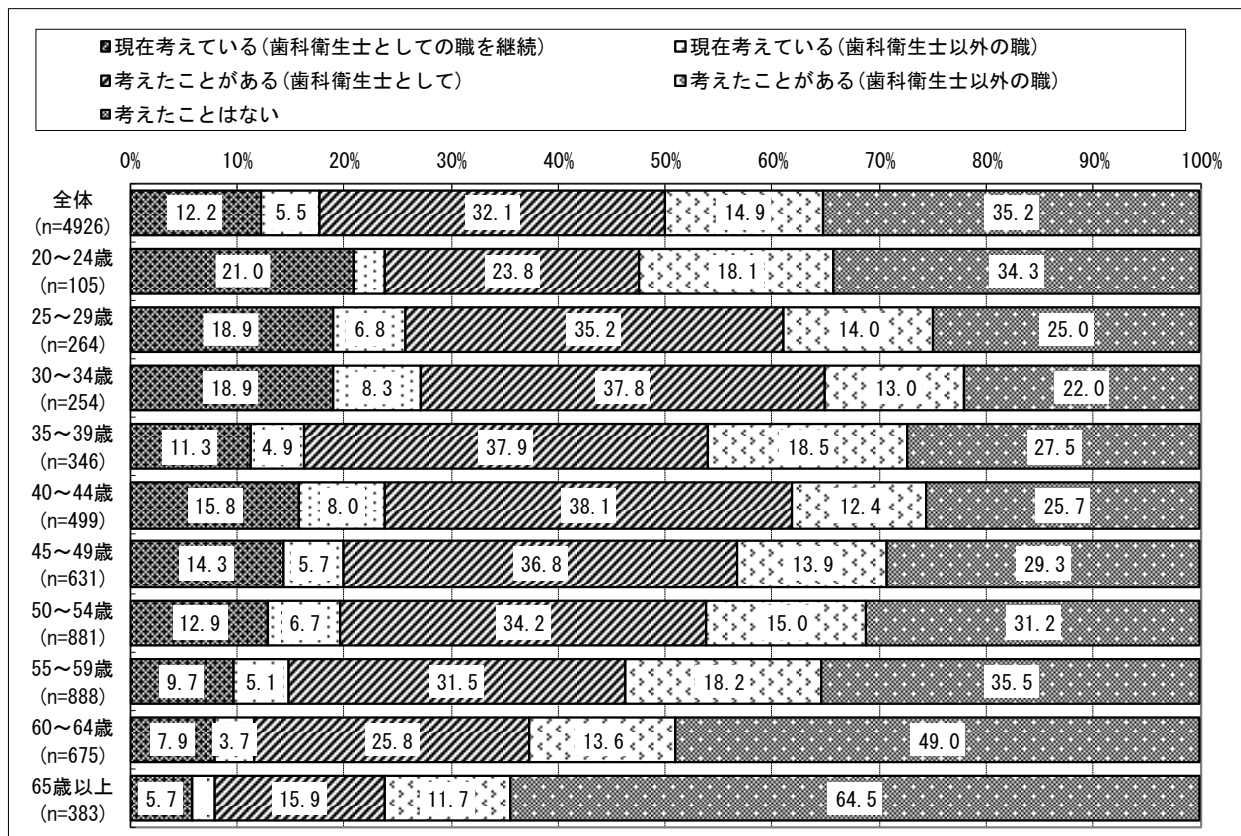


図4-14 転職又は現在の勤務先を替えたいと考えたことの有無と年齢

10. 転職又は現在の勤務先を替えたいと考えた理由【Q28-1】

Q28 で転職又は現在の勤務先を替えることについて「現在考えている、考えたことがある」と回答した者について、その理由を全体でみると、「給与・待遇の面」が 46.5%、「仕事内容」が 34.4%、「勤務形態・勤務時間」が 30.9%、「自分の健康」が 23.1%、「経営者との人間関係」が 22.8%、「長時間勤務・過重労働」が 21.5%、「仕事内容のレベルアップのため」が 20.7%である（図 4-15）。

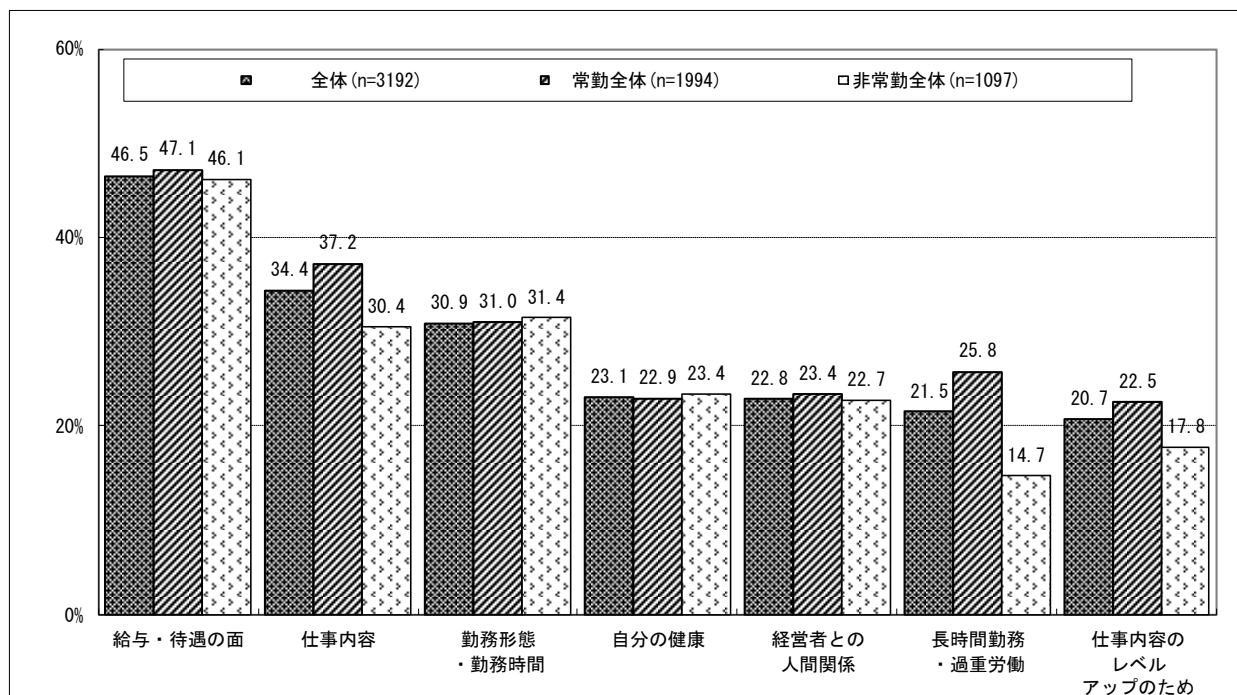


図 4-15 転職又は現在の勤務先を替えたいと考えた理由（上位 7 項目）〔複数回答〕

次に、Q28 で転職又は現在の勤務先を替えることについて「現在考えている、考えたことがある」と回答した者について、その主な理由を全体でみると、「給与・待遇の面」が 19.5%、「経営者との人間関係」が 9.3%、「仕事内容」が 7.9%、「同僚との人間関係」が 6.5%、「歯科以外への興味」が 6.5%、「仕事内容のレベルアップのため」が 6.5%、「自分の健康」が 5.7%である（図 4-16）。

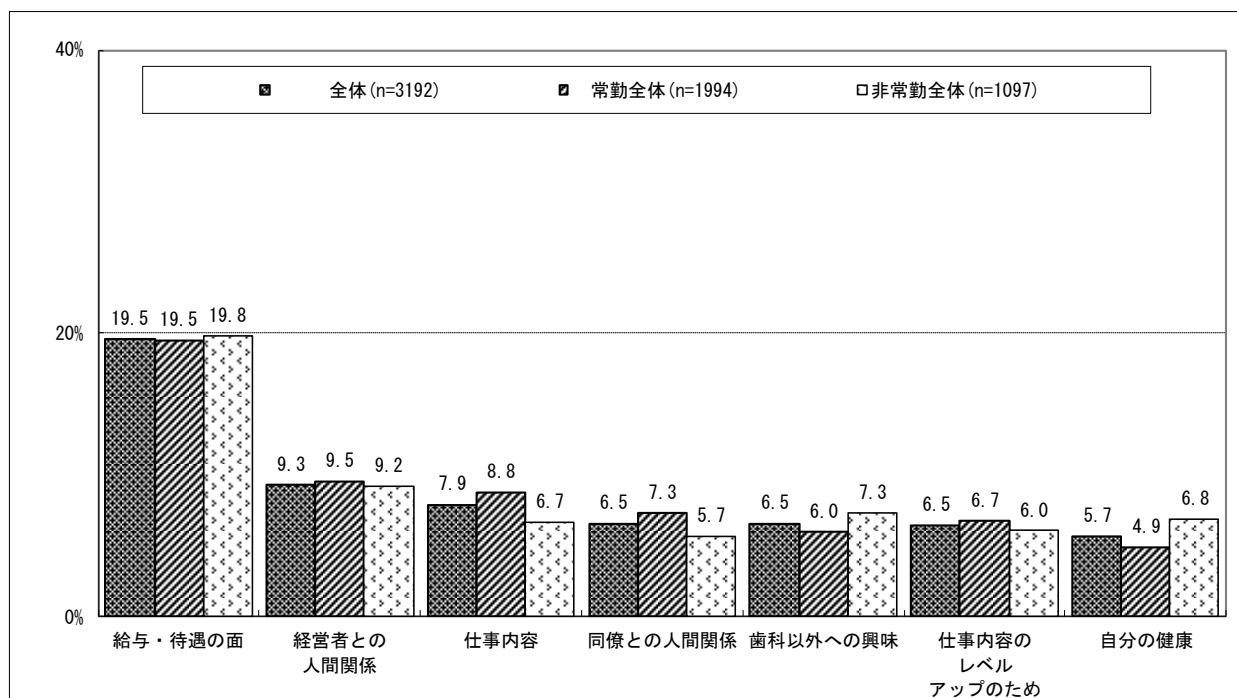


図 4-16 転職又は現在の勤務先を替えたいと考えた主な理由（上位 7 項目）

11. 日本歯科衛生士会認定の資格【Q29】

日本歯科衛生士会認定の資格について、「【知っている】今後取得したい」を多い順に全体でみると、上位5つは「摂食嚥下リハビリテーション（認定分野A）」が41.6%、「糖尿病予防指導（認定分野A）」が38.1%、「医科歯科連携・口腔機能管理（認定分野A）」が34.0%、「在宅療養指導・口腔機能管理（認定分野A）」と「生活習慣病予防（認定分野A）」が32.9%である（図4-17）。

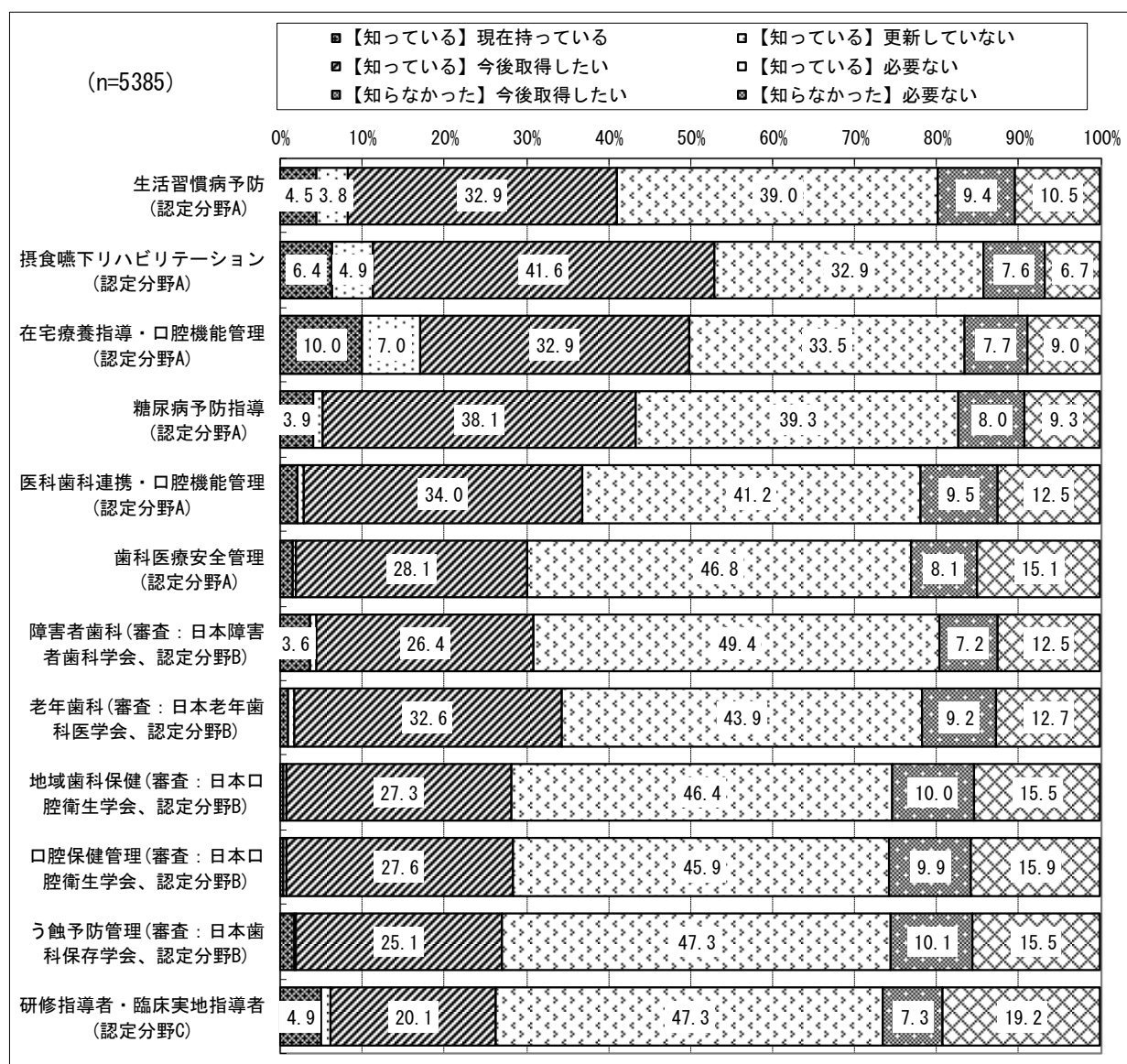


図4-17 日本歯科衛生士会認定の資格

12. 日本歯科衛生士会認定のほかに認定を受けている学会等の有無【Q30】

日本歯科衛生士会認定のほかに認定を受けている学会等の有無を全体でみると、「ある」が19.1%（前回13.6%）、「ない」が80.9%（前回83.7%）である。

就業形態別で「ある」をみると、「常勤」が26.2%（前回17.8%）、「非常勤」が10.5%（前回7.9%）である。

常勤者の勤務先別で「ある」をみると、「歯科衛生士教育養成機関」が44.1%（前回38.5%）で多く、「病院・大学病院」が37.1%（前回27.8%）となっている（図4-18）。

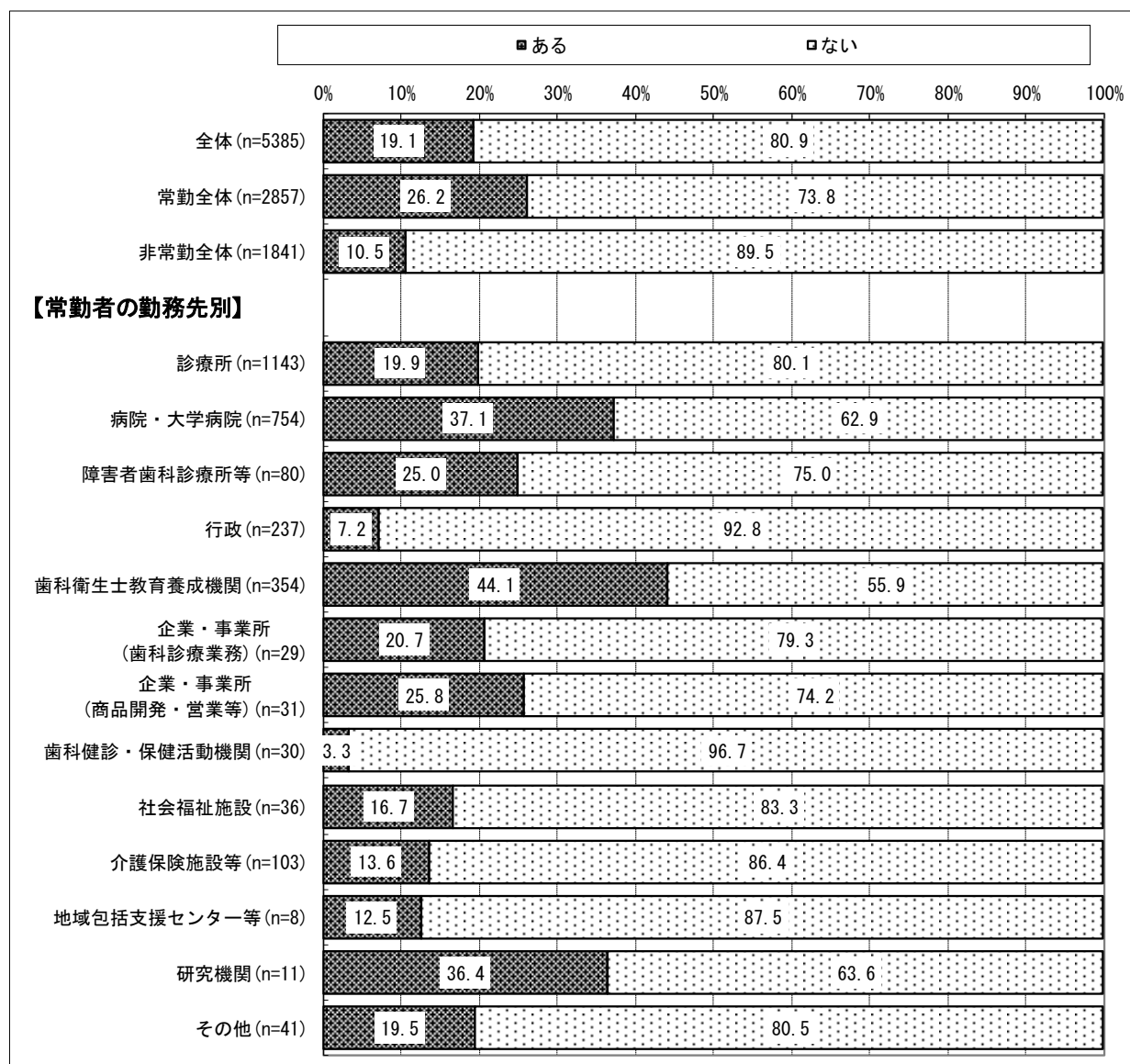


図 4-18 日本歯科衛生士会認定のほかに認定を受けている学会等の有無

13. 学会等の認定の種類【Q30-1】

Q30 で日本歯科衛生士会認定のほかに認定を受けている学会等が「ある」と回答した者について、学会等の認定の種類を全体でみると、「日本口腔ケア学会」が18.2%、「日本歯周病学会」が14.9%、「日本摂食嚥下リハビリテーション学会」が13.9%、「全国歯科衛生士教育協議会」が12.7%、「日本口腔インプラント学会」が8.6%である（図4-19）。

「その他」の内訳を多い順でみると、「日本医療機器学会」「日本スポーツ歯科医学会」「日本ヘルスケア歯科学会」と続く

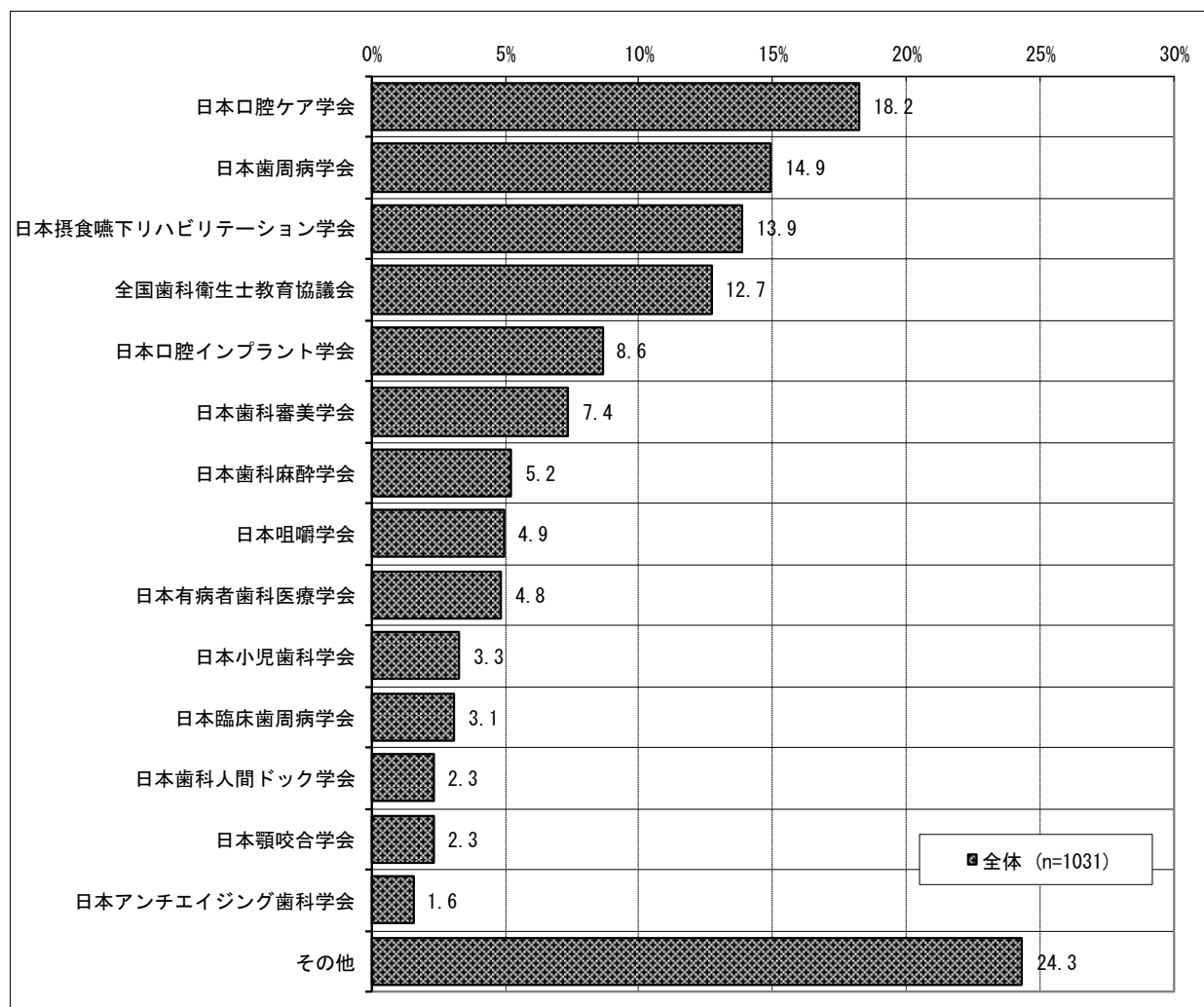


図4-19 学会等の認定の種類〔複数回答〕

V. 研究活動

1. 研修会の参加状況【Q6】

研修会の参加状況について全体でみると、「はい」が88.0%、「いいえ」が12.0%である（図5-1）。

Q6で研修会の参加状況について「ある」と回答した者について、過去3年間に参加した研修会を全体でみると「歯科衛生士会の研修」が86.8%、「勤務先での研修」が53.0%、「日本歯科衛生学会以外の学会」が43.3%、「日本歯科衛生学会」が32.4%、「DH-Ken」が29.4%、「その他」が13.8%である（図5-2）。

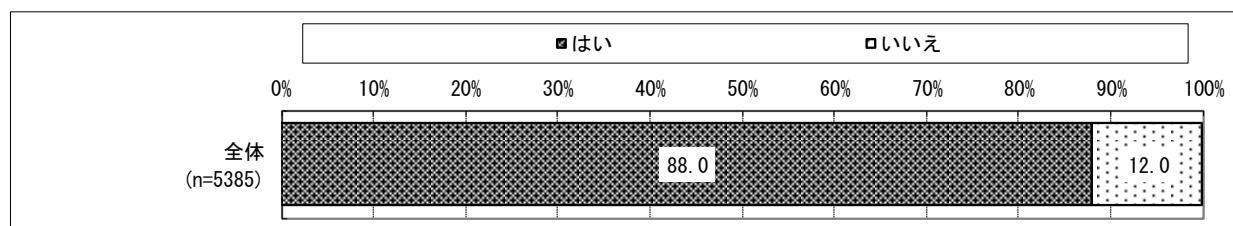


図5-1 過去3年間の研修会参加有無

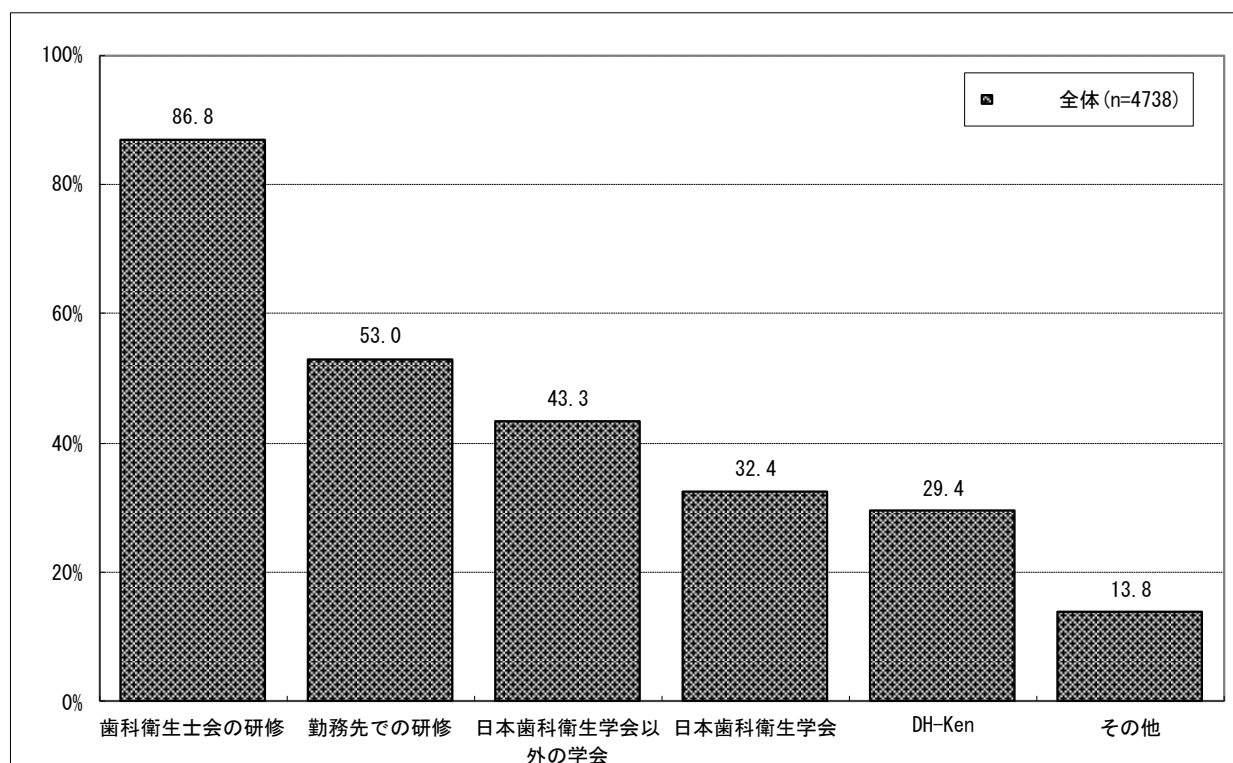


図5-2 過去3年間に参加した研修会

2. 学会発表等に向けた研究活動の有無（過去3年間）【Q31】

学会発表等に向けた研究活動の有無（過去3年間）を全体でみると、「している」が16.5%（前回17.6%、前々回19.3%）、「していない」が83.5%（前回81.3%、前々回79.5%）である。

勤務先別で「している」をみると、「歯科衛生士教育養成機関」が39.1%（前回37.6%）、「企業・事業所（商品開発・営業等）」が38.7%（前回27.8%）、「病院・大学病院」が37.6%（前回38.6%）、「障害者歯科診療所等」が34.4%（前回40.1%）である（図5-3）。

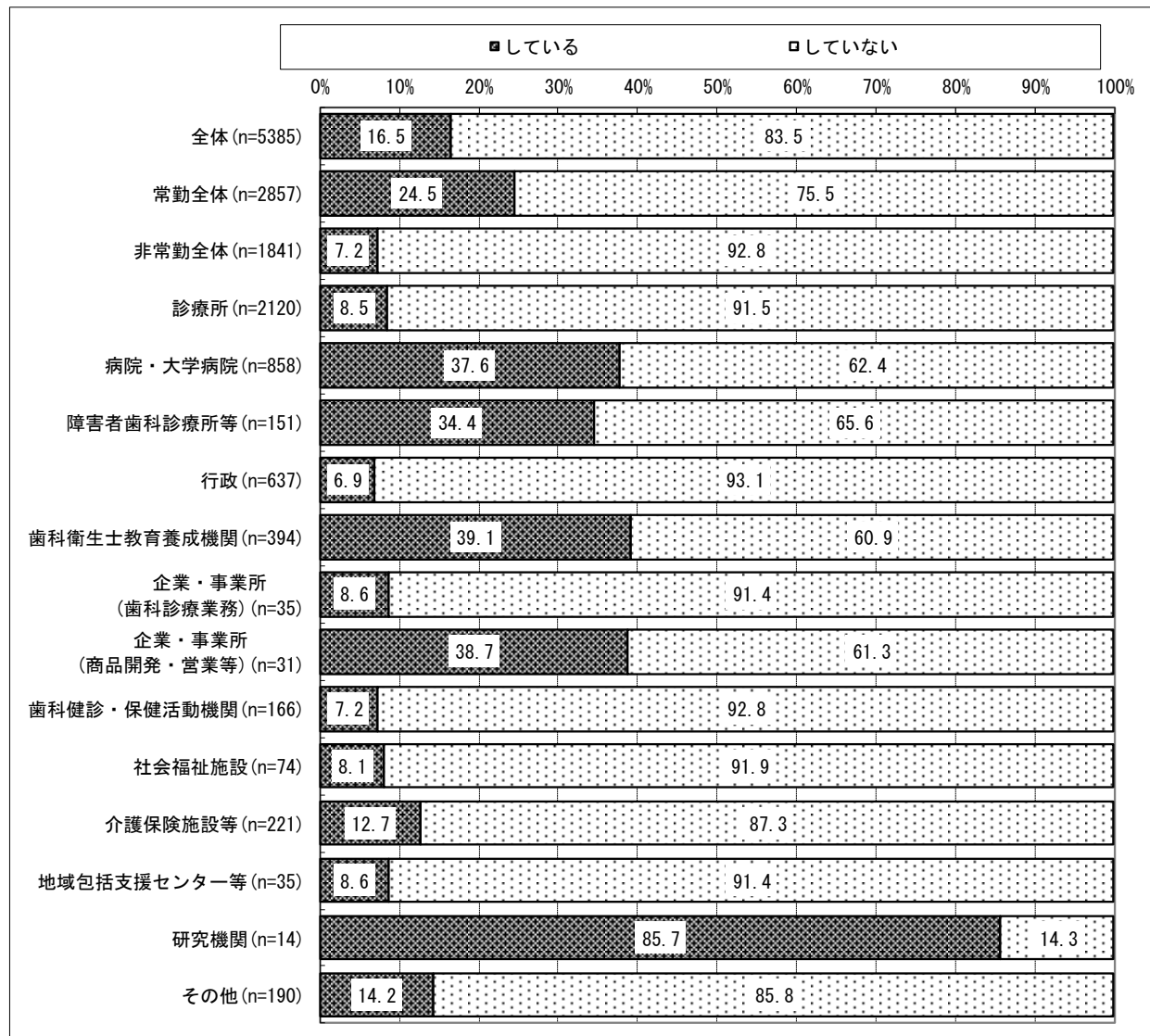


図 5-3 学会発表等に向けた研究活動の有無（過去3年間）

3. 研究をしていない理由【Q31-1】

Q31 で学会発表等に向けた研究活動を「していない」と回答した者について、その理由を全体でみると、「時間がない」が 45.0%（前回 40.1%、前々回 44.3%）、「必要性を感じない」が 29.6%（前回 28.4%、前々回 19.0%）、「興味がない」が 29.4%（前回 28.7%、前々回 19.0%）、「指導者・相談者がいない」が 27.9%（前回 24.7%、前々回 28.2%）、「方法がわからない」が 23.9%（前回 24.0%、前々回 35.8%）である（図 5-4）。

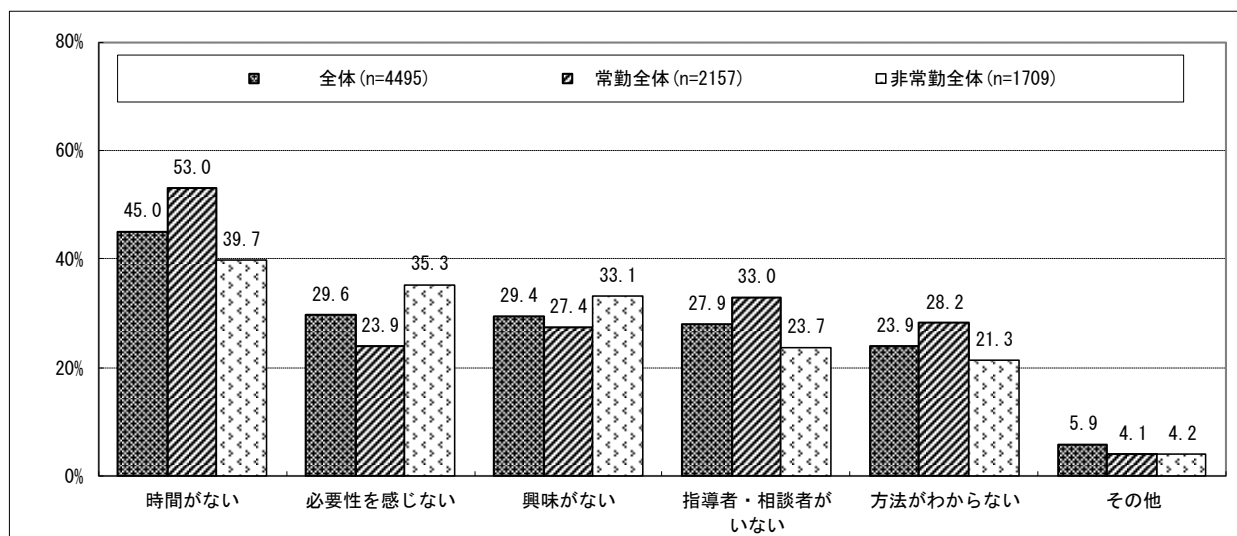


図 5-4 研究をしていない理由〔複数回答〕

4. 今後の研究の実施意向【Q31-2】

Q31 で学会発表等に向けた研究活動を「していない」と回答した者について、今後の研究の実施意向を全体でみると、「研究をしてみようと思う」が 20.0%（前回 21.5%、前々回 31.3%）、「研究をしてみようと思わない」が 80.0%（前回 76.7%、前々回 66.0%）である。

勤務先別では「研究をしてみようと思う」が高いのは「病院・大学病院」が 38.3%、「障害者歯科診療所等」が 36.4%、「歯科衛生士教育養成機関」が 30.8%である（図 5-5）。

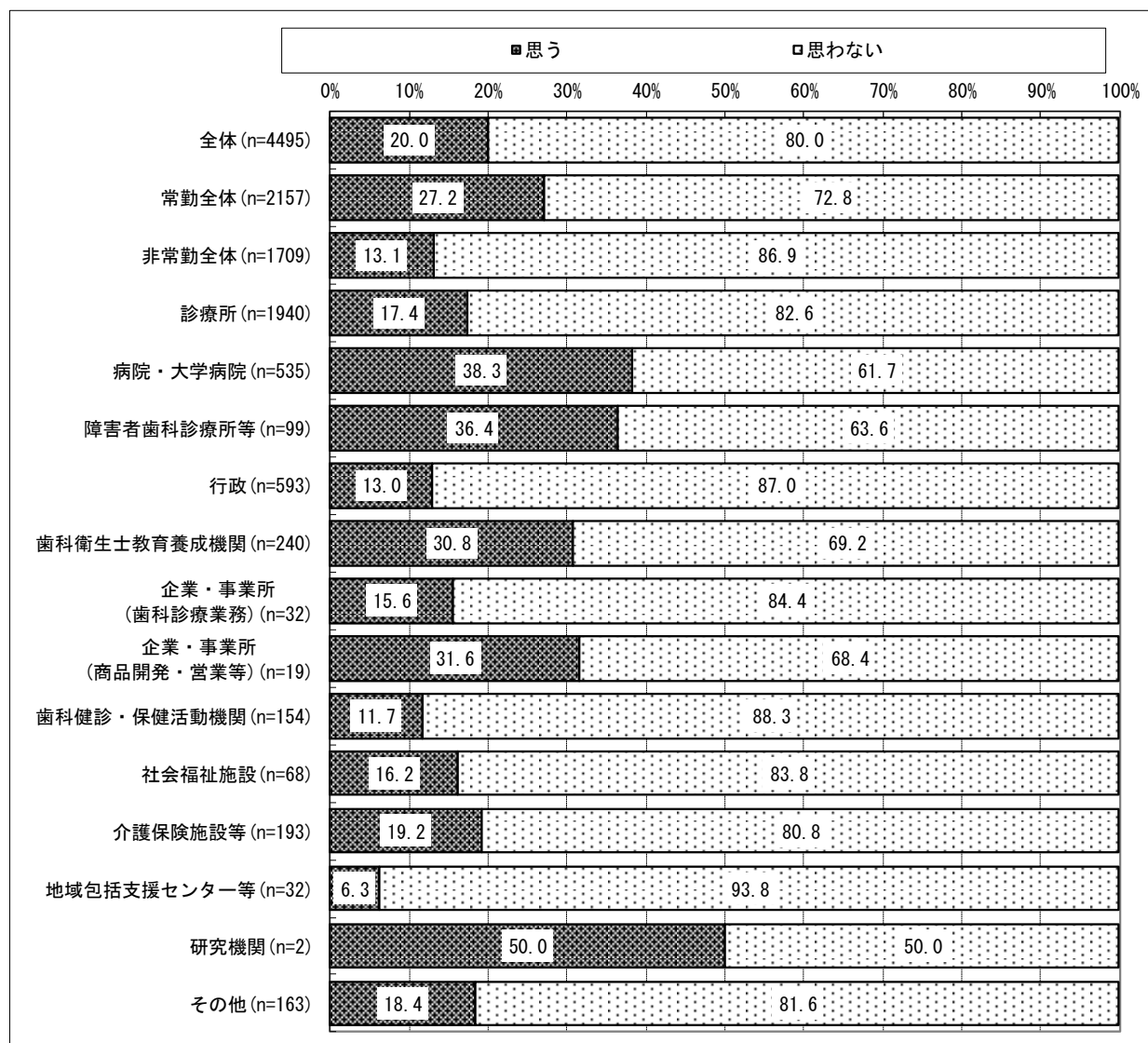


図 5-5 今後の研究の実施意向

5. 学会出席に関して、勤務先からの経済的支援（学会参加費・旅費等）の有無【Q33】

学会出席に関して、勤務先からの経済的支援（学会参加費・旅費等）の有無を全体でみると、「ある」が41.9%（前回42.9%）、「ない」が58.1%（前回54.2%）である。

就業形態別で「ある」をみると、「常勤」が57.7%（前回59.5%）、「非常勤」が20.3%（前回20.9%）である（図5-6）。

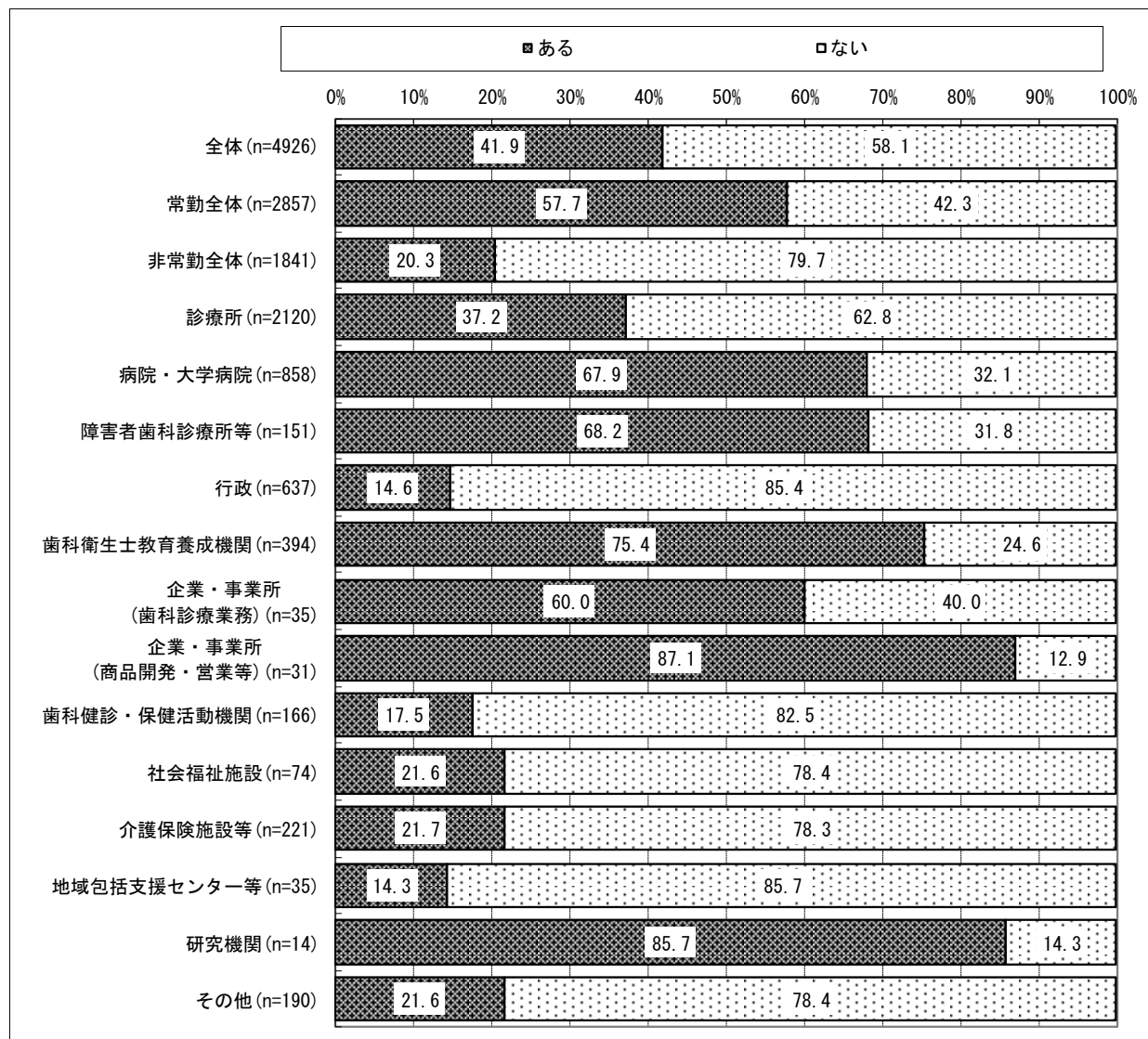


図5-6 学会出席に関して、勤務先からの経済的支援（学会参加費・旅費等）の有無

6. 専門職として最新の知識や情報の入手経路【Q34】

専門職として最新の知識や情報の入手経路を全体でみると、「日本歯科衛生士会会報（歯科衛生だより）」が 83.4%、「学会・研修会等への参加」が 60.9%、「日本歯科衛生士会ウェブサイト」が 38.4%、「日本歯科衛生学会誌」が 36.2%、「関連学会ホームページ」が 30.7%、「SNS」が 27.0%、「職場同僚から」が 26.3%、「歯科商業誌」が 22.7%、「公的機関（官公庁等）ホームページ」が 16.7%、「学会学術雑誌（和文）」が 11.8%、「学術雑誌（英文）」が 2.0%、「International Journal of Dental Hygiene」が 1.6%である（図 5-7）。

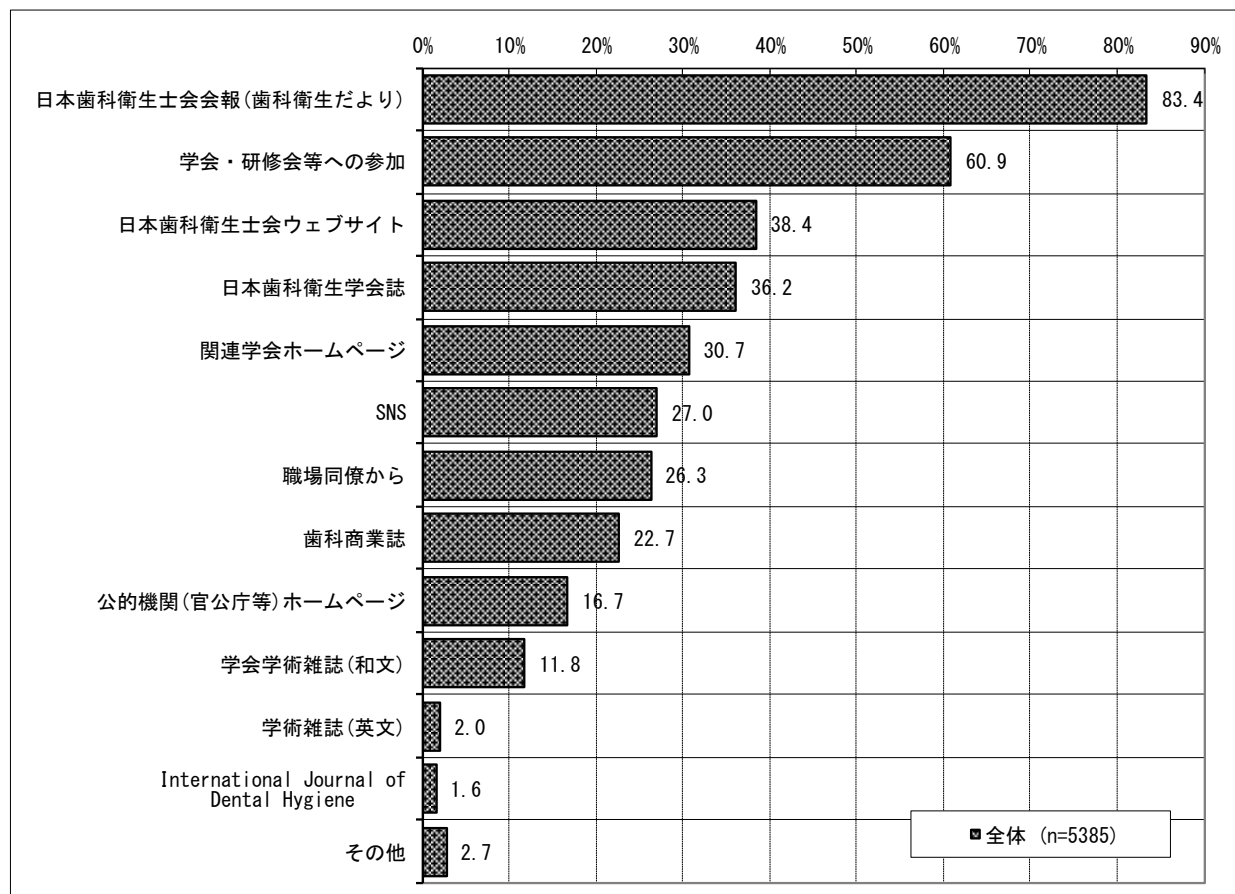


図 5-7 専門職として最新の知識や情報の入手経路〔複数回答〕

7. 研究活動を推進するための必要な条件【Q32】

研究活動を推進するための必要な条件を全体でみると、「研究の支援(指導者等)」が78.0%(前回75.0%、前々回80.3%)、「職場の理解」が59.5%(前回55.2%、前々回54.4%)、「研究費の助成」が47.7%(前回38.6%、前々回42.3%)、「研究の手引書」が43.4%(前回28.6%、前々回32.0%)、「発表の場」が21.4%(前回18.0%、前々回15.0%)である(図5-8)。

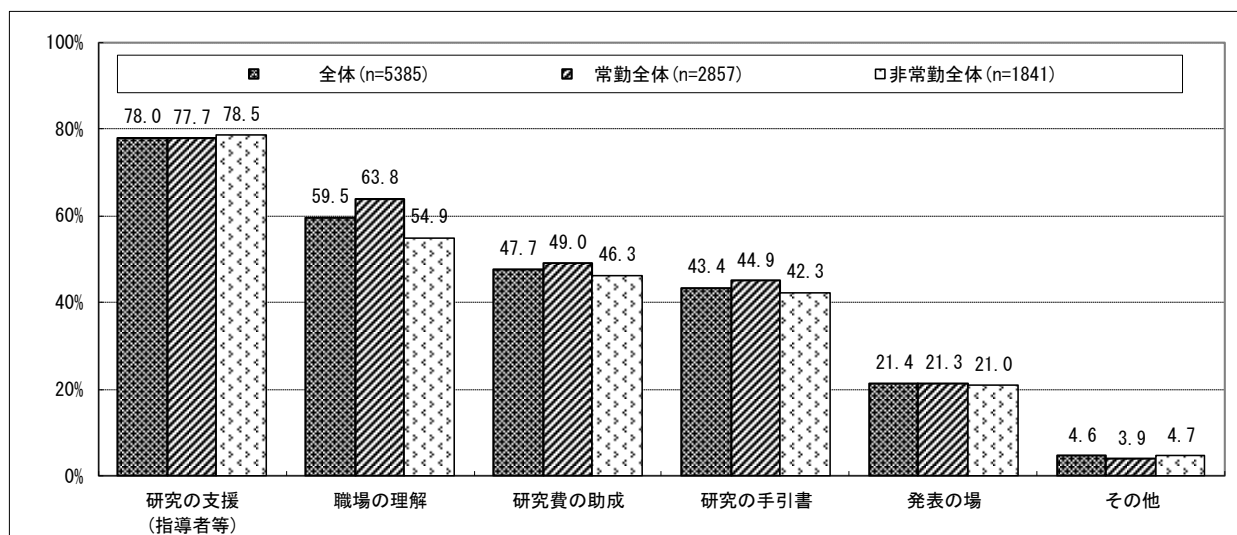


図5-8 研究活動を推進するための必要な条件〔複数回答〕

8. 日本歯科衛生学会以外の所属学会の有無【Q35】

日本歯科衛生学会以外の所属学会の有無を全体でみると、「所属している」が33.1%（前回28.2%、前々回25.4%）、「所属していない」が66.9%（前回69.3%、前々回72.0%）である。

就業形態別で「所属している」をみると、「常勤」が44.0%（前回36.3%、前々回32.8%）、「非常勤」が20.5%（前回17.4%、前々回16.1%）であり、前回や前々回の調査と比較すると「常勤」、「非常勤」とも所属している割合が増加している（図5-9）。

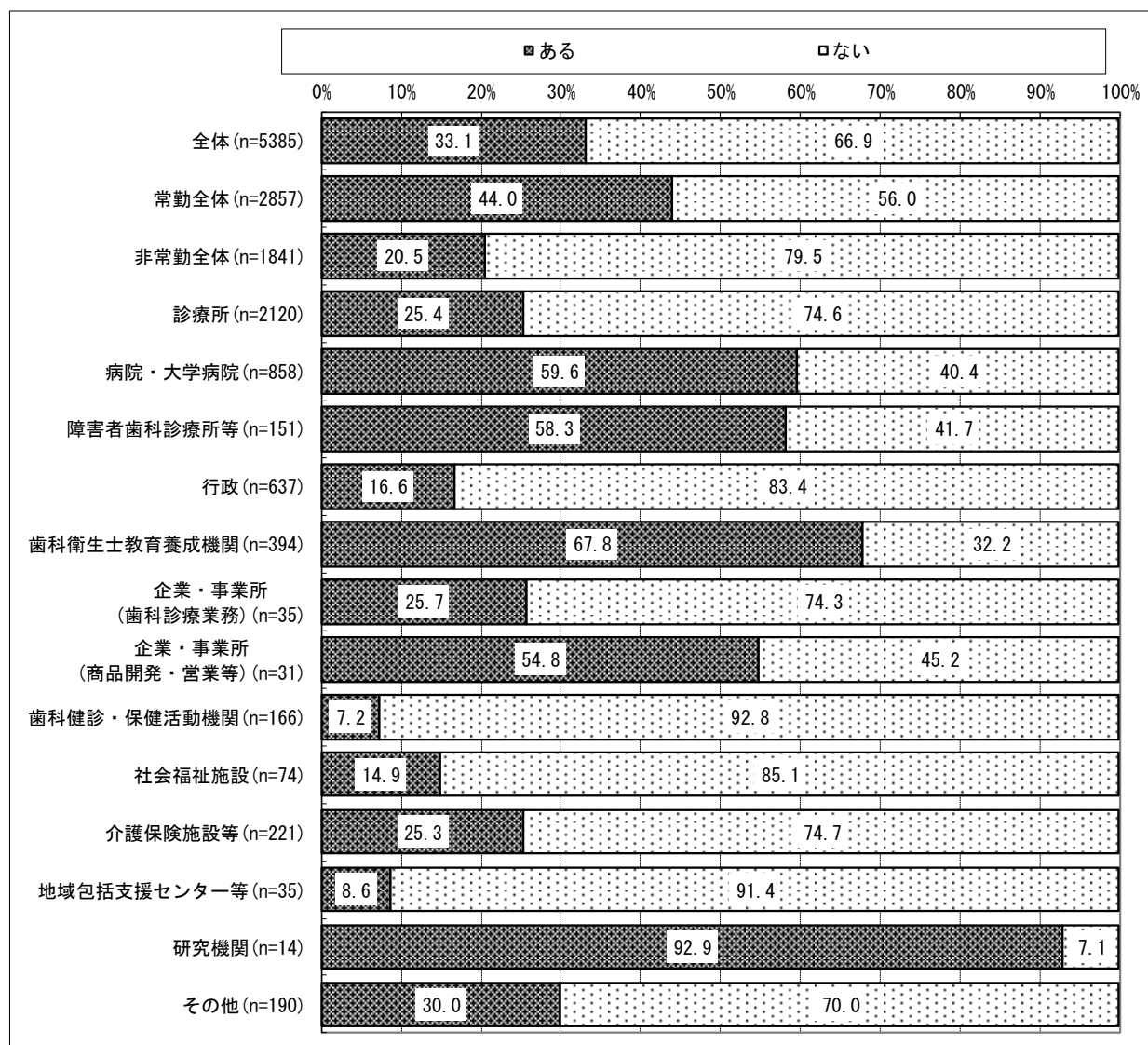


図5-9 日本歯科衛生学会以外の所属学会の有無

9. 所属学会の状況【Q35-1】

Q35 で日本歯科衛生学会以外の学会に「所属している」と回答した者について、所属学会の状況を全体でみると、「日本摂食嚥下リハビリテーション学会」が 22.4%、「日本口腔ケア学会」が 19.5%、「日本障害者歯科学会」が 19.0%、「日本歯周病学会」が 16.1%、「日本老年歯科医学会」が 15.0%、「日本歯科衛生教育学会」が 12.6%、「日本口腔衛生学会」が 11.1%、「日本口腔インプラント学会」が 7.5%、「日本歯科審美学会」が 6.1%、「日本小児歯科学会」が 5.8%、「日本臨床歯周病学会」が 4.4%、「日本歯科保存学会」が 4.2%、「日本咀嚼学会」が 3.2%、「日本歯科医学教育学会」が 2.8%、「日本公衆衛生学会」が 2.5%、「日本顎咬合学会」が 2.0%、「日本口腔外科学会」が 1.9%、「日本歯科医療管理学会」が 1.7%、「日本歯科人間ドック学会」が 0.8%、「日本口腔筋機能療法学会」が 0.8%である（図 5-10）

「その他」の内訳を多い順でみると、「日本歯科麻酔学会」「日本有病者歯科医療学会」と続く

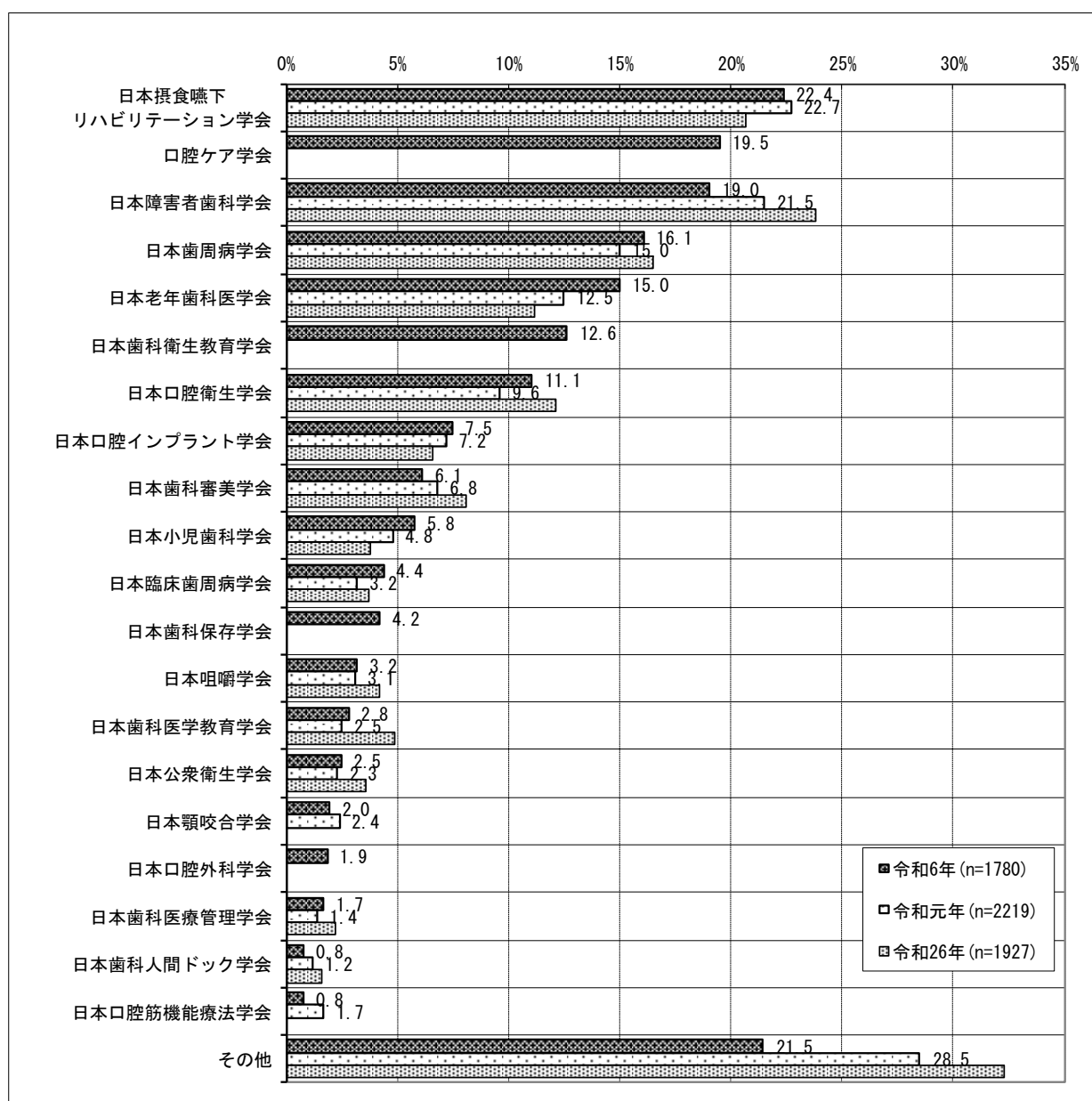


図 5-10 所属学会の状況〔複数回答〕

VI. 現在の勤務先

1. 勤務先【Q36】

就業者全体の勤務先分布は、「診療所」が43.0%（前回48.2%、前々回50.2%）、「病院・大学病院」が17.4%（16.6前回%、前々回14.5%）、「行政（保健所・市町村等）」が12.9%（前回11.6%、前々回13.0%）、「歯科衛生士教育養成機関」が8.0%（前回6.4%、前々回6.2%）、「介護保険施設」が4.5%（前回4.7%、前々回4.3%）、「障害者歯科診療所等」が3.1%（前回3.1%、前々回3.2%）である。

勤務先を年代別でみると、「25～29歳」は「病院・大学病院」が42.4%で最も多いが、それ以外の年代では「診療所」が最も多い。（図6-1）。

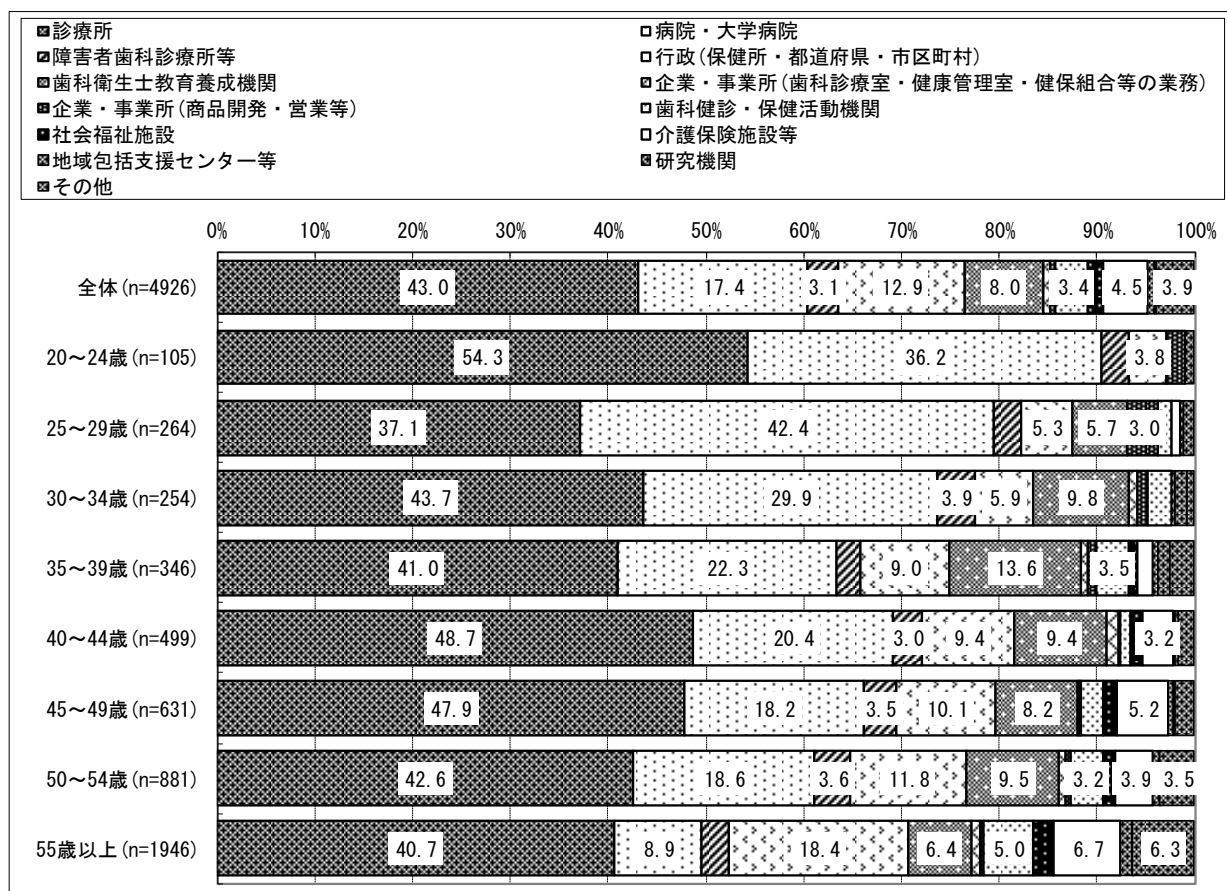


図 6-1 勤務先（年齢別）

VII. 歯科医療施設（診療所・病院・大学病院等）

【歯科医療施設の回答者数は全体で 3,164 人である】

1. 勤務先の経営形態【Q37】

勤務先の経営形態を全体でみると、「個人診療所」が 43.4%、「医療法人」が 27.8%、「公的医療機関（公立病院・診療所等）」が 10.3%、「公益法人（財団法人・社団法人等）」が 8.1%、「学校法人」が 7.0%、「企業・健保組合等の診療所等」が 1.8%、「その他」が 1.6%である。

就業形態別で「個人診療所」をみると、「常勤」が 32.7%（前回 37.4%）、「非常勤」が 62.0%（前回 61.1%）であり、「非常勤」の勤務者が多い（図 7-1）。

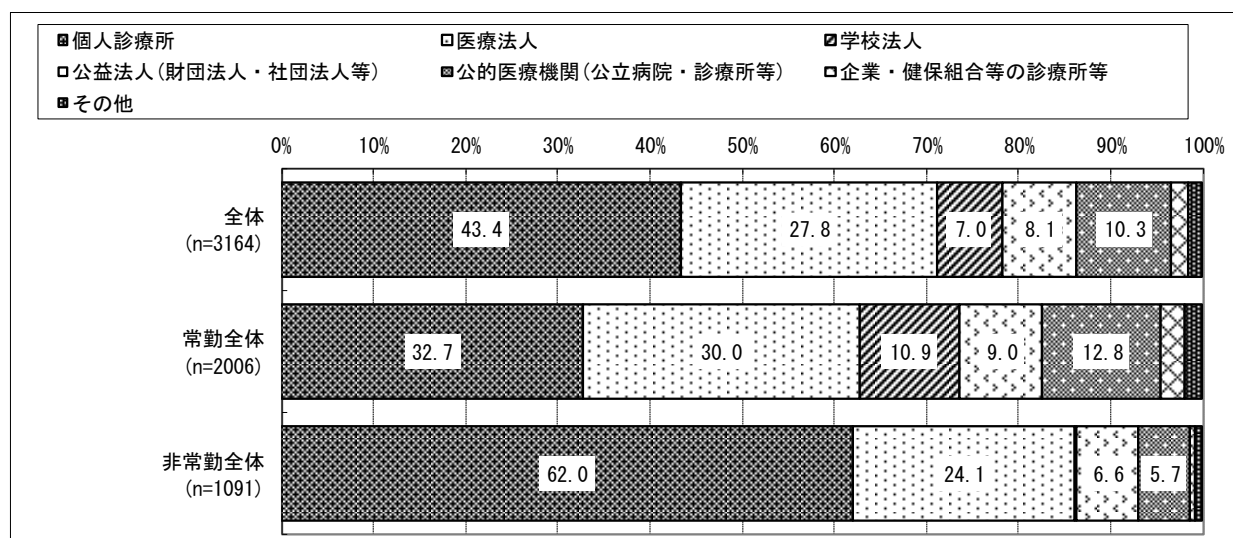


図 7-1 勤務先の経営形態

2. 標榜科名【Q38】

標榜科名を全体でみると、「歯科」が 79.0%、「歯科口腔外科」が 36.1%、「小児歯科」が 29.5%、「矯正歯科」が 21.6%である。

勤務先別でみると、「診療所」では「歯科」が 95.6%、「企業・事業所（歯科診療業務）」では「歯科」が 68.6%、「病院・大学病院」では「歯科口腔外科」が 66.2%、「障害者歯科診療所等」では「歯科」が 76.2%でそれぞれ最も多い（図 7-2）。

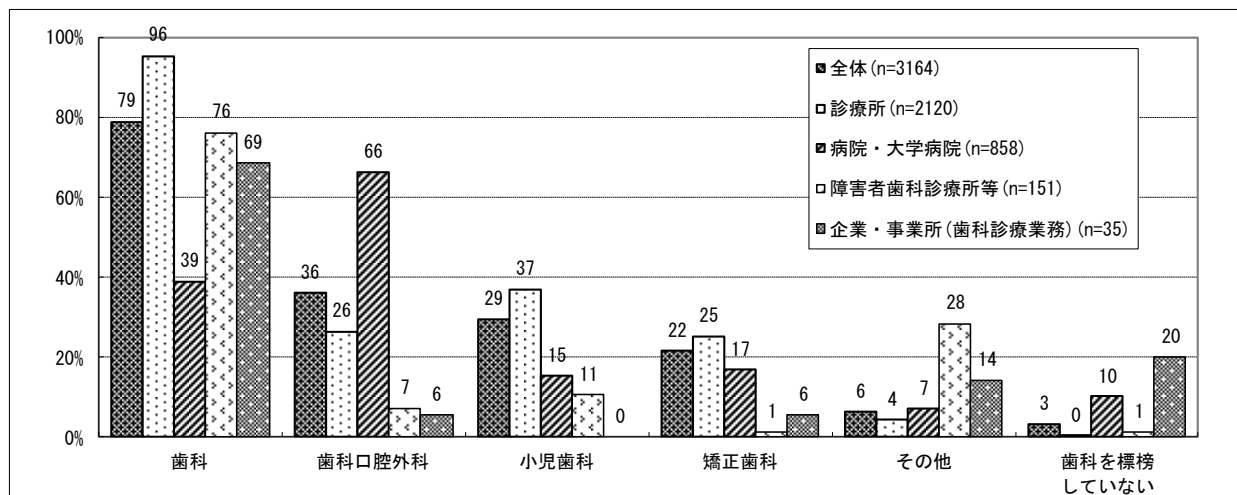


図 7-2 標榜科名〔複数回答〕

3. 勤務先の勤務者の人数【Q39】

従事している診療所（室、科）の勤務者の人数を全体でみると、「5～9名」が35.6%、「10～19名」が29.6%、「2～4名」が12.5%、「40名以上」が8.8%、「20～29名」が8.1%、「30～39名」が4.5%である。

勤務先別でみると、「病院・大学病院」の平均人数が最も多く74.6人、一方で「診療所」の平均人数は最も少なく13.1人である（図7-3）。

従事している歯科の診療所（室、科）での勤務先別の人員有無を全体でみると、「常勤」では「歯科医師」が92.2%、「歯科衛生士」が88.3%、「歯科業務補助者（歯科助手・看護助手）」が47.9%、「非常勤」では「歯科衛生士」が64.8%、「歯科医師」が48.6%、「歯科業務補助者（歯科助手・看護助手）」が34.3%で、それぞれの上位3つの職種である（図7-4）。

職種別の人員構成の平均は全体で「歯科医師」が8.0人、「歯科衛生士」が5.9人、「看護師」6.7人である、勤務先別では「診療所」は「歯科医師」が3.2人、「歯科衛生士」が5.1人、「看護師」0.2人、「病院・大学病院」では、「歯科医師」が20.2人、「歯科衛生士」が7.5人、「看護師」23.9人である（図7-5、7-6、7-7）。

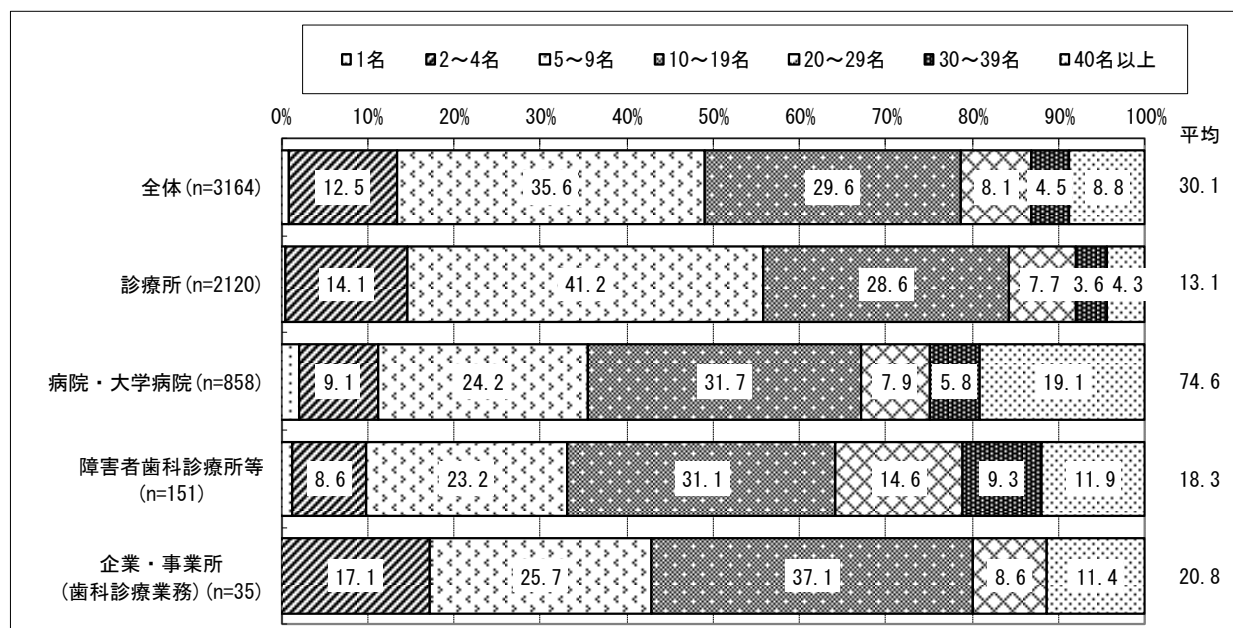


図 7-3 勤務先の勤務者人数

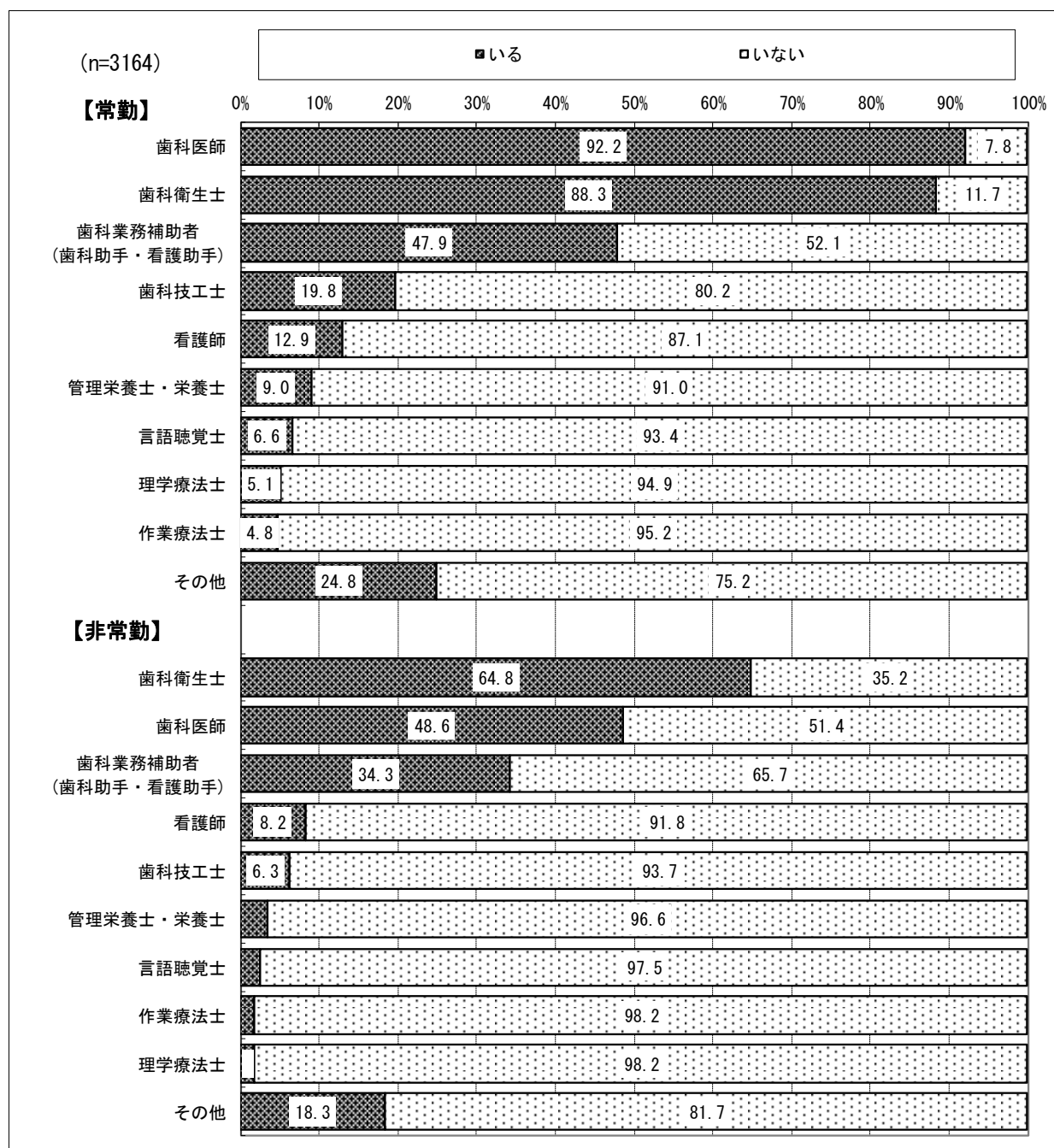


図 7-4 勤務先の人員有無

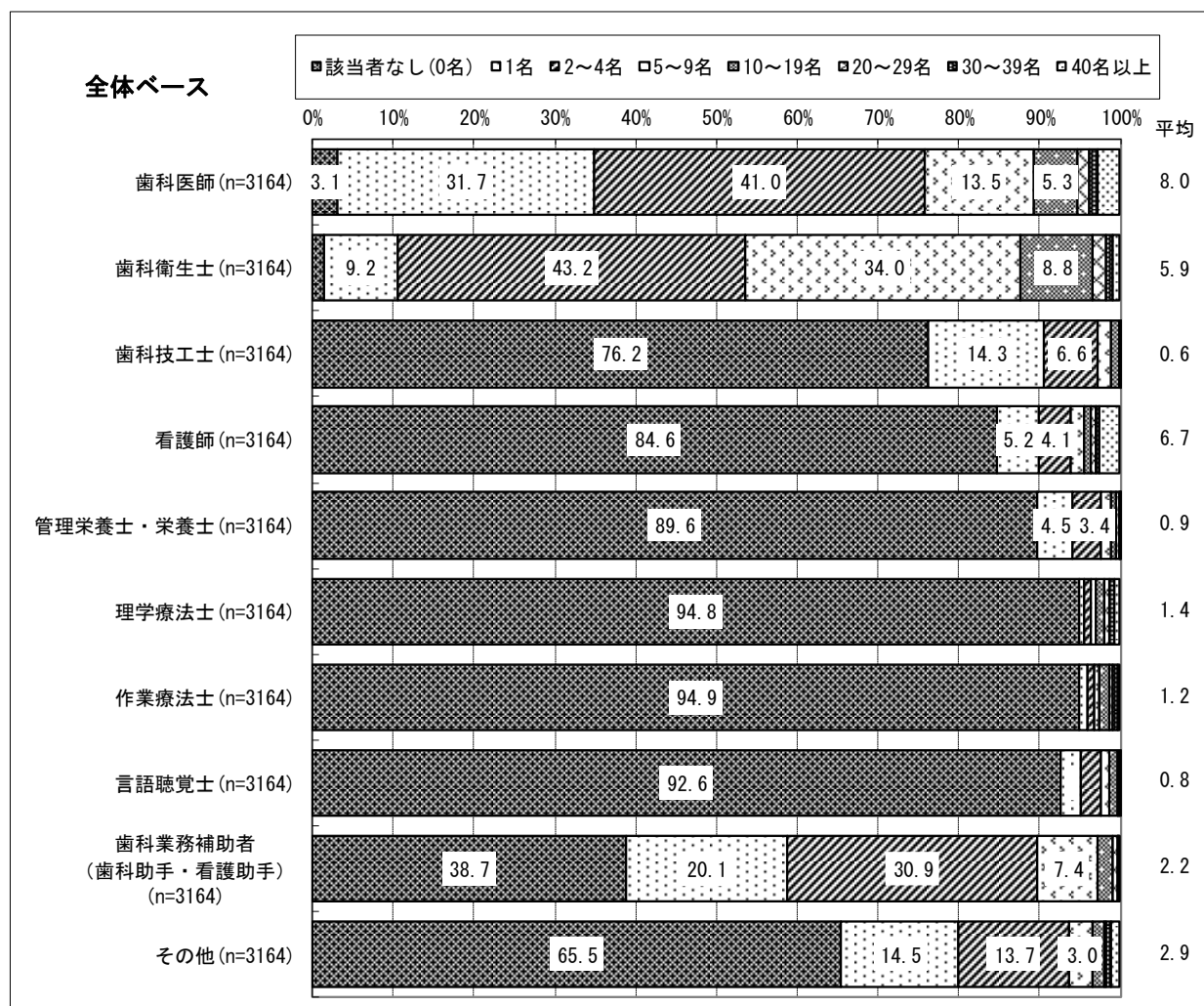


図 7-5 勤務先の職種別人員構成（全体）

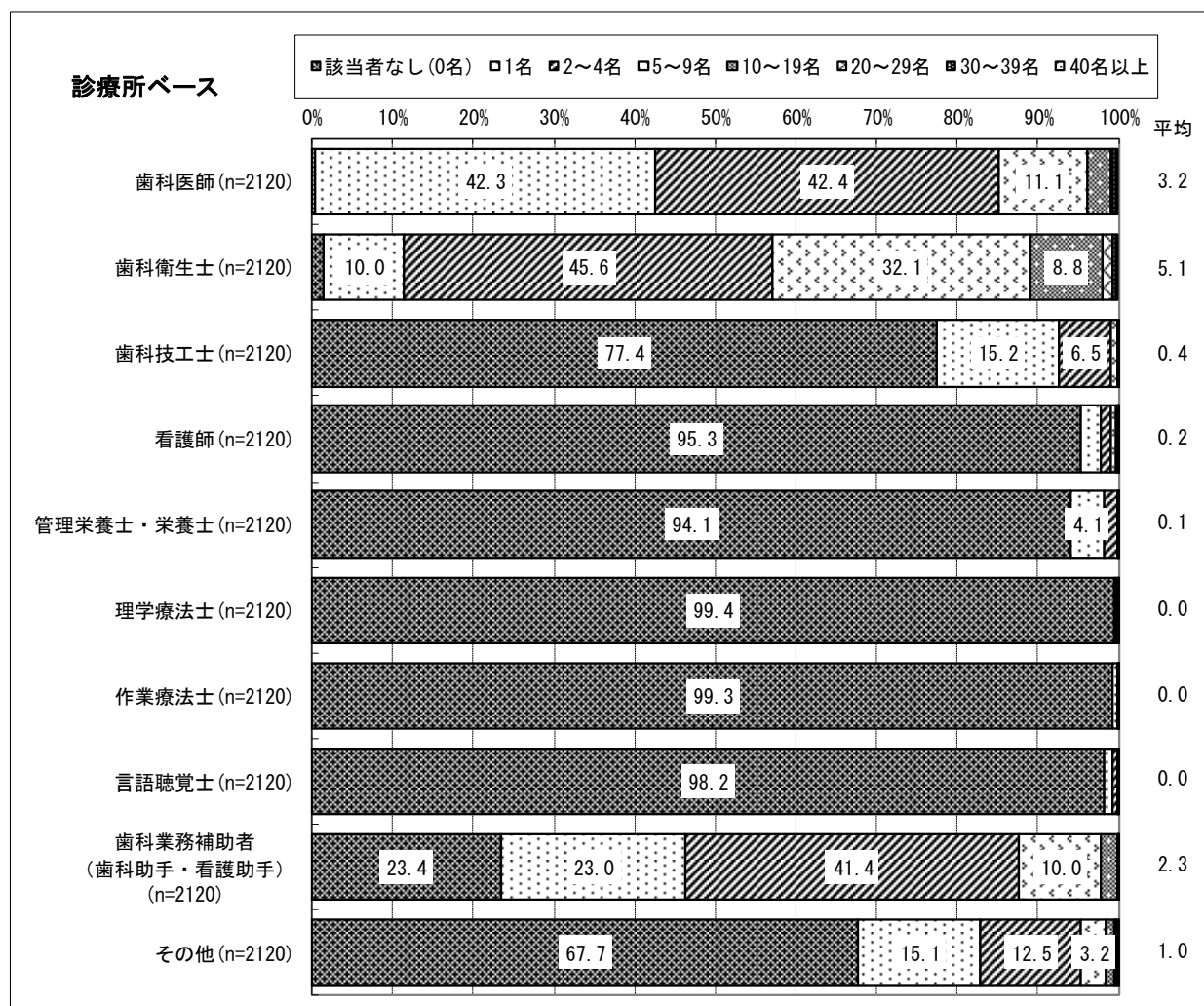


図 7-6 勤務先の職種別人員構成（診療所）

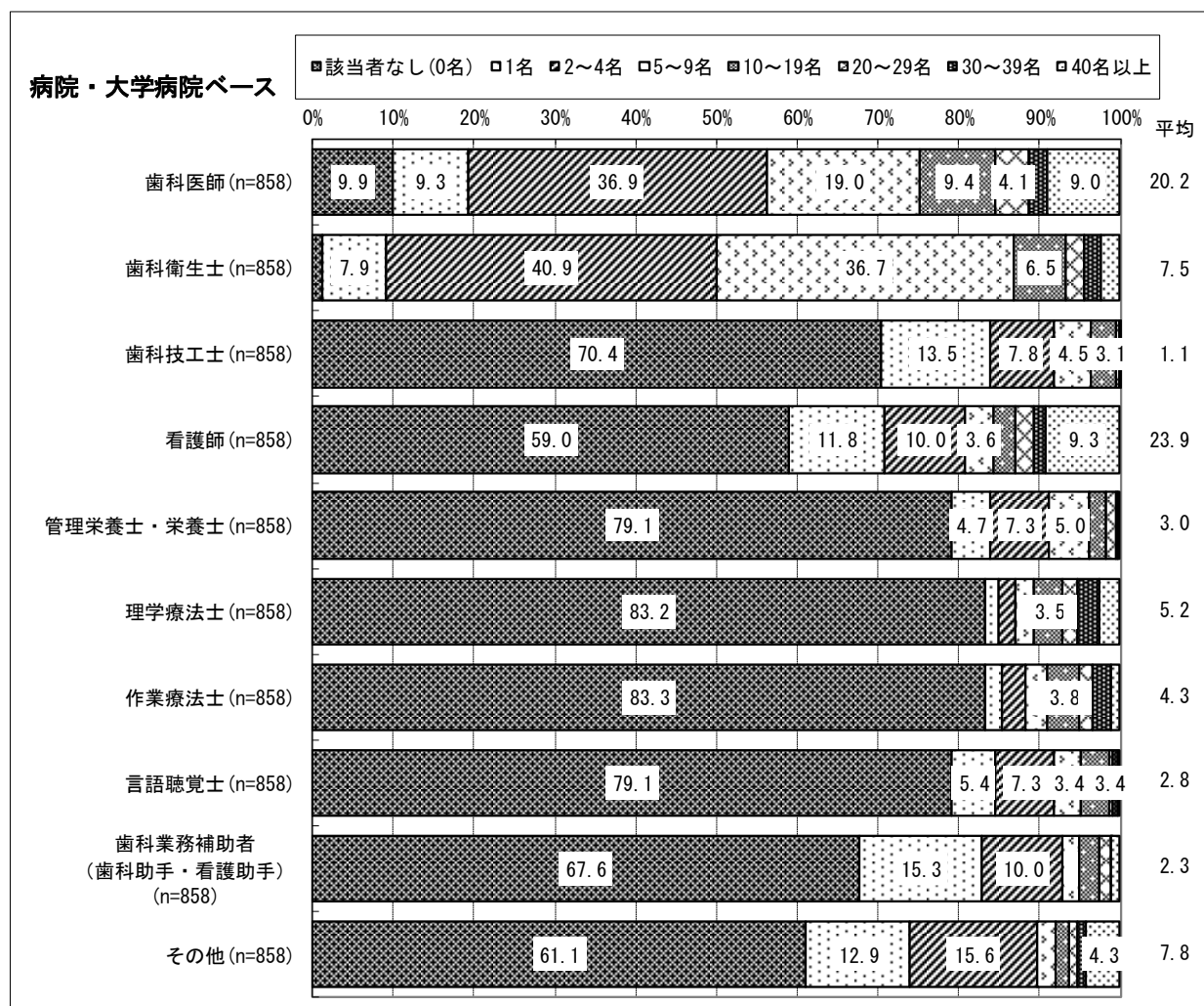


図 7-7 勤務先の職種別人員構成（病院・大学病院）

4. 勤務先の設備【Q40-1】

4a. ユニット数

勤務している診療所（室、科）のユニット数を全体でみると、「3台」が22.6%、「4台」が19.1%、「6～9台」が18.3%、「5台」が14.7%、「0～2台」が14.4%、「10台以上」が10.9%で平均7.6台である。

勤務先別でみると、「診療所」の平均は5.2台、「病院・大学病院」では14.4台、「障害者歯科診療所等」では4.3台、「企業・事業所（歯科診療業務）」では3.1台である（図7-8）。

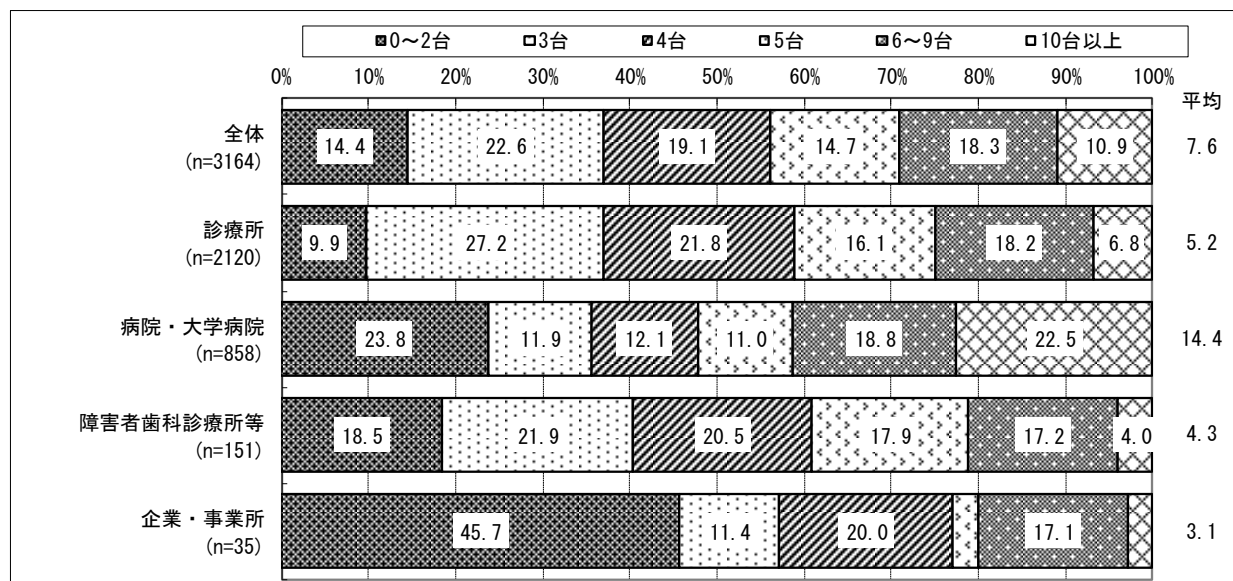


図7-8 ユニット数

4b-1. 歯科衛生士専用のユニットの有無【Q40-2】

歯科衛生士専用のユニットの有無を全体でみると、「ある」が 40.9%（前回 34.0%）、「ない」が 59.1%（前回 63.9%）で、「ない」ところに勤務している者が多い。

勤務先別で「ある」をみると、「企業・事業所（歯科診療業務）」が 48.6%（前回 49.4%）、「診療所」が 44.5%（前回 36.5%）、「病院・大学病院」が 36.4%（前回 29.6%）、「障害者歯科診療所等」が 13.9%（前回 15.7%）である（図 7-9）。

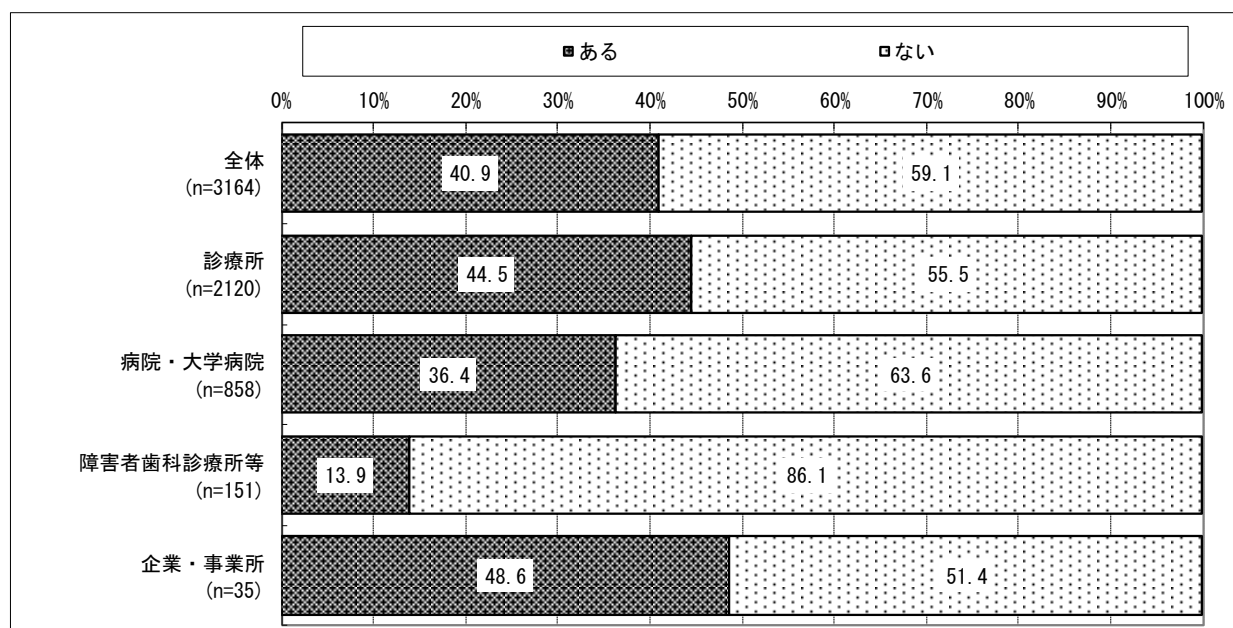


図 7-9 歯科衛生士専用のユニットの有無

4b-2. 歯科衛生士専用のユニットの台数

Q40-2 で「ある」と回答した者を対象に、従事している診療所等における歯科衛生士専用ユニットの台数を全体でみると、「1台」が35.2%、「2台」が28.0%、「3台」が16.3%、「5台以上」が10.7%、「4台」が9.8%で平均2.6台である。

勤務先別でみると、平均台数は「障害者歯科診療所等」が3.5台（前回3.5台、前々回2.7台）、「病院・大学病院」が2.7台（前回2.4台、前々回2.2台）、「診療所」が2.6台（前回2.3台、前々回2.1台）、「企業・事業所（歯科診療業務）」が1.6台（前回1.9台、前々回1.6台）である（図7-10）。前回と比較すると微増である。

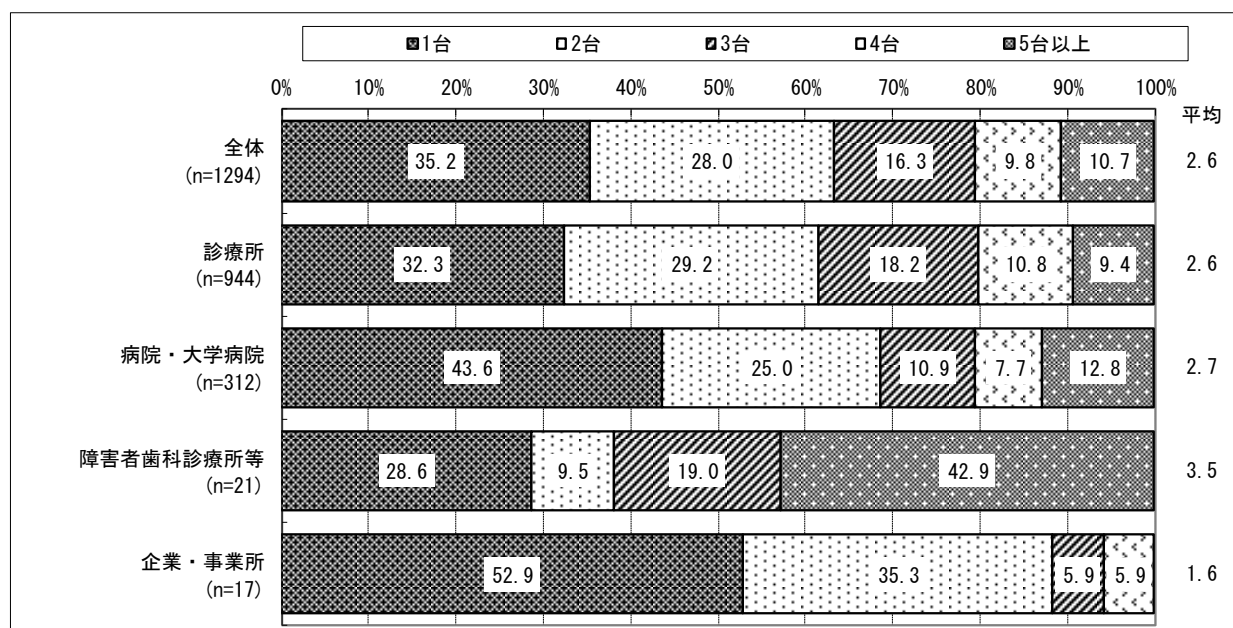


図 7-10 歯科衛生士専用のユニットの台数

5. 在宅療養支援歯科診療所、在宅療養支援歯科病院の指定施設【Q41】

在宅療養支援歯科診療所または在宅療養支援歯科病院の指定施設かどうかでは、全体でみると、「指定施設である（はい）」が29.3%、「指定施設でない（いいえ）」が70.7%である（図7-11）。

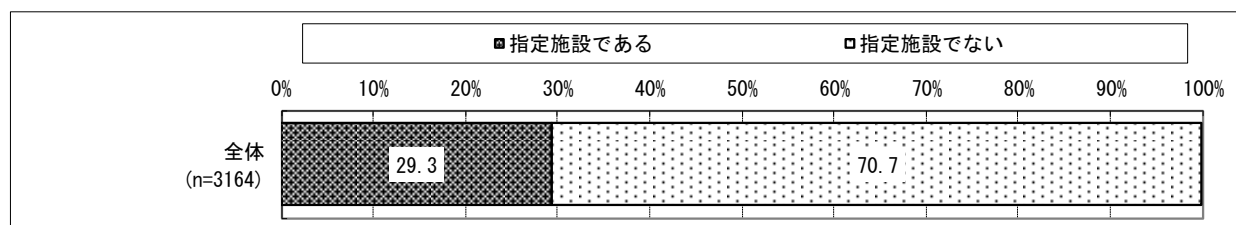


図7-11 在宅療養支援歯科診療所、在宅療養支援歯科病院の指定施設

6. 歯科予防処置の実施状況【Q42-1】

歯科予防処置を「実施している」でみると、「予防的歯石除去（歯周治療以外の機械的歯面清掃等）」が88.5%、「フッ化物歯面塗布」が82.6%、「シーラント」が58.1%である（図7-12）。

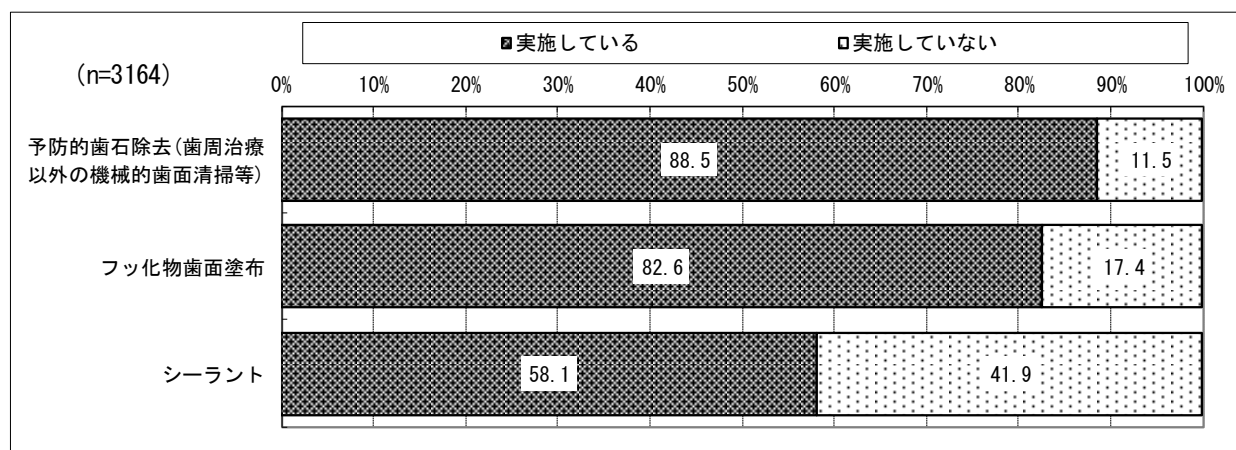


図7-12 歯科予防処置の実施状況

7. 歯科診療の補助の実施状況【Q42-2】

7-1) 聞きとり・医療面接・相談指導・インフォームドコンセント

聞きとり・医療面接・相談指導・インフォームドコンセントにおける業務を「実施している」でみると、「患者・家族との相談・対応」が 91.6%、「口腔内の予備診査（問診含）」が 90.7%、「治療内容の説明・相談」が 89.1%、「術前の注意事項の説明」が 88.5%、「医薬品の授与と服薬指導」が 76.1%である（図 7-13）。

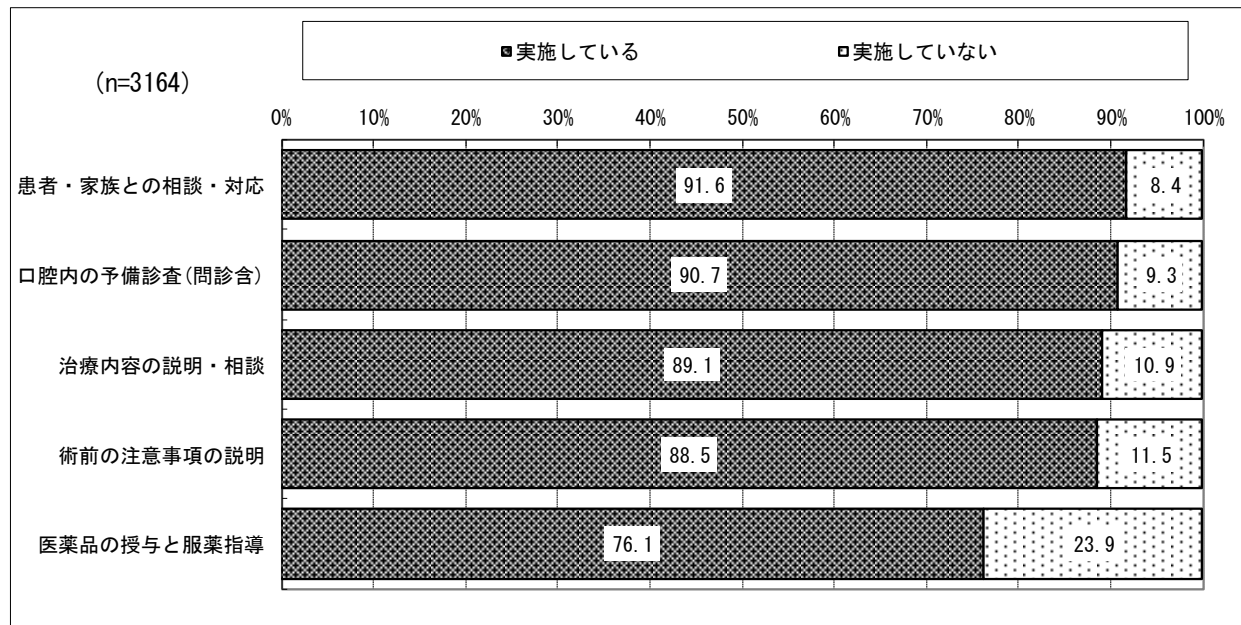


図 7-13 聞きとり・医療面接・相談指導・インフォームドコンセント

7-2) 検査・モニタリング

検査・モニタリングにおける業務を「実施している」でみると、「口腔内写真」が 71.5% (前回 66.1%)、「バイタルチェック (血圧、脈拍、体温等)」が 68.5% (前回 60.6%)、「嚥下機能検査」が 36.4% (前回 23.6%)、「歯列の検査」が 36.3% (前回 29.3%)、「心電計及びモニターの装着」が 32.6% (前回 29.5%)、「咀嚼機能検査」が 30.6% (前回 17.0%)、「咬合検査、咬合接触検査」が 29.5% (前回 23.6%)、「カリエスリスク検査 (う蝕活動性試験含)」が 21.7% (前回 14.9%)、「ペリオリスク判定」が 14.7% (前回 10.8%)、「口臭度チェック・判定」が 11.5% (前回 11.1%)、である (図 7-14)。

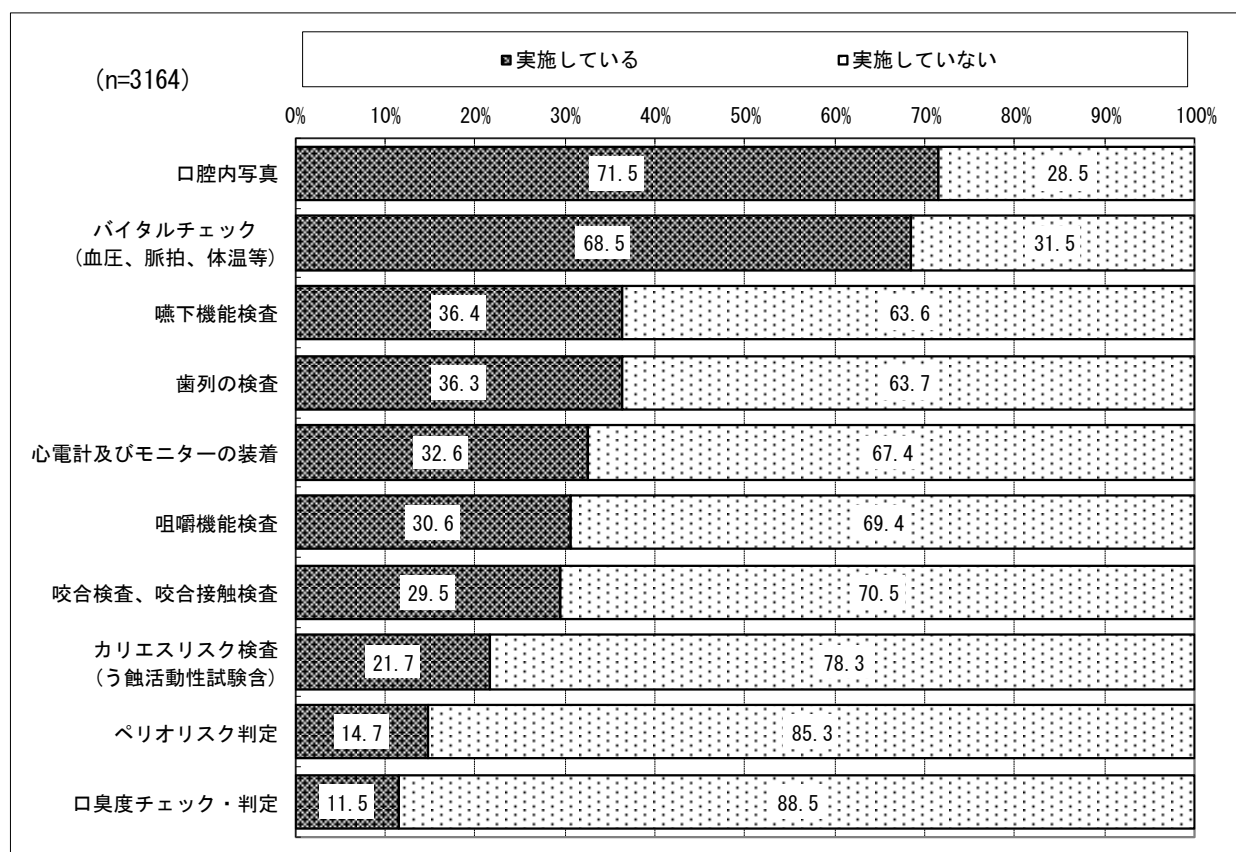


図 7-14 検査・モニタリング

7-3) 歯周治療

歯周治療における業務を「実施している」でみると、「スケーリング・ルートプレーニング」が 93.8% (前回 93.5%)、「歯周組織検査 (プロービング、歯肉炎症度、歯牙動揺度など)」が 93.2% (前回 91.5%)、「SPT・メインテナンス」が 85.8% (前回 83.1%)、「歯周外科手術の補助」が 60.1% (前回 62.1%) である (図 7-15)。

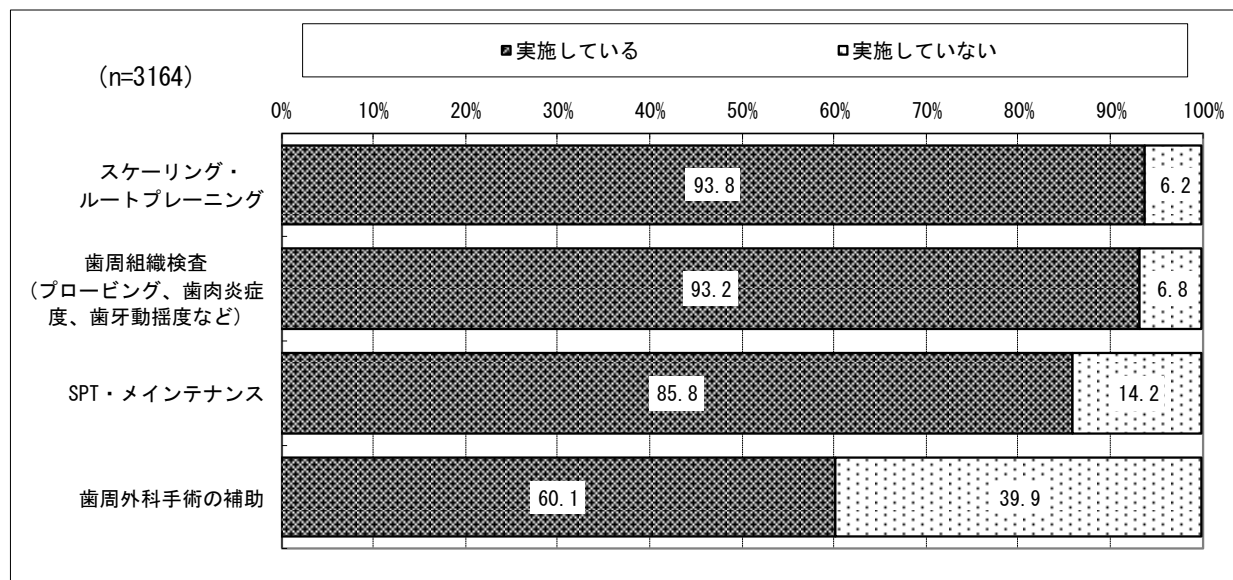


図 7-15 歯周治療

7-4) 口腔機能低下症

口腔機能低下症における業務を「実施している」でみると、「検査結果に基づく口腔機能を高める指導」が 46.4% (前回 31.7%)、「口腔機能低下症に関する検査」が 44.9% (前回 26.9%) である (図 7-16)。

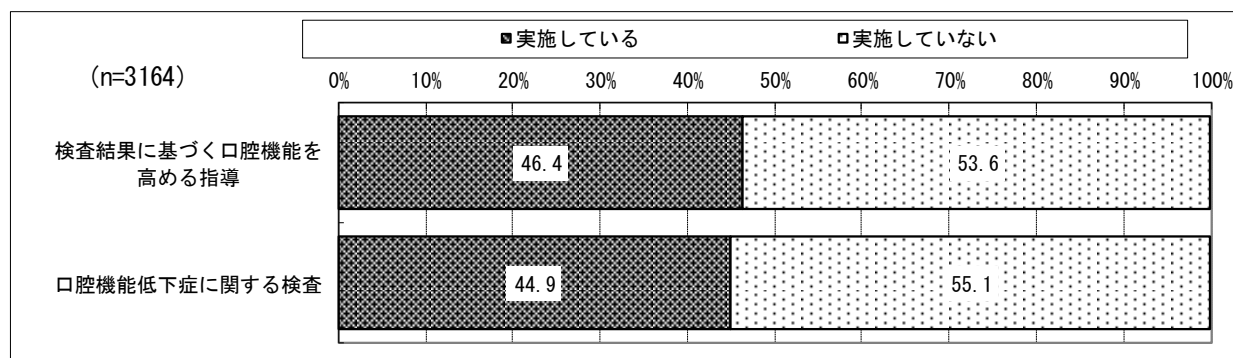


図 7-16 口腔機能低下症

7-5) 口腔機能発達不全症

口腔機能発達不全症についての歯科診療の補助としての実施状況では、「検査結果に基づく口腔機能を高める指導」が29.5%、「口腔機能発達不全症に関する検査」が27.2%である。(図7-17)。

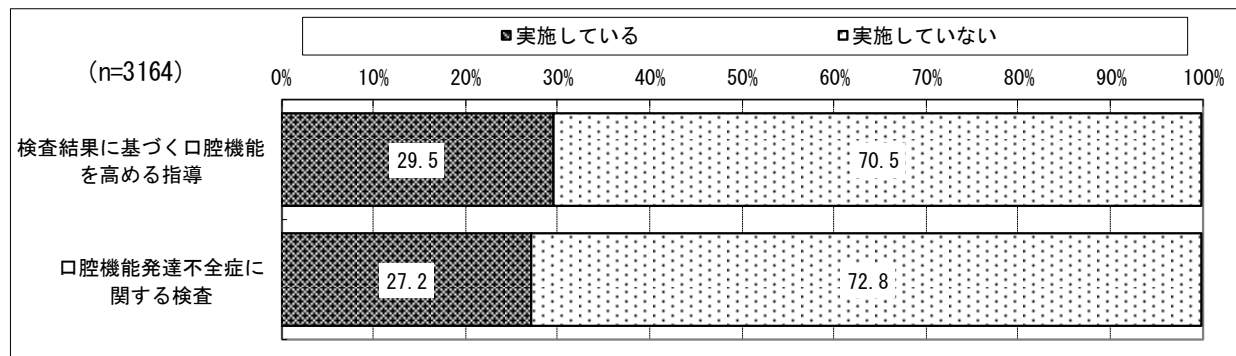


図7-17 口腔機能発達不全症

7-6) 印象採得・咬合採得

印象採得・咬合採得における業務を「実施している」でみると、「スタディモデルの印象採得」が74.6%、「スプリント用印象採得」が65.2%、「インレー窩洞の咬合採得」が61.0%、「インレー窩洞の印象採得」が60.1%、「クラウン・ブリッジの咬合採得」が60.0%、「クラウン・ブリッジの印象採得」が59.4%、「スプリント用咬合採得」が48.0%、「支台歯形成の前準備（歯肉圧排）」が36.7%、「口腔内スキャナーによる印象採得」が18.7%である（図7-18）。

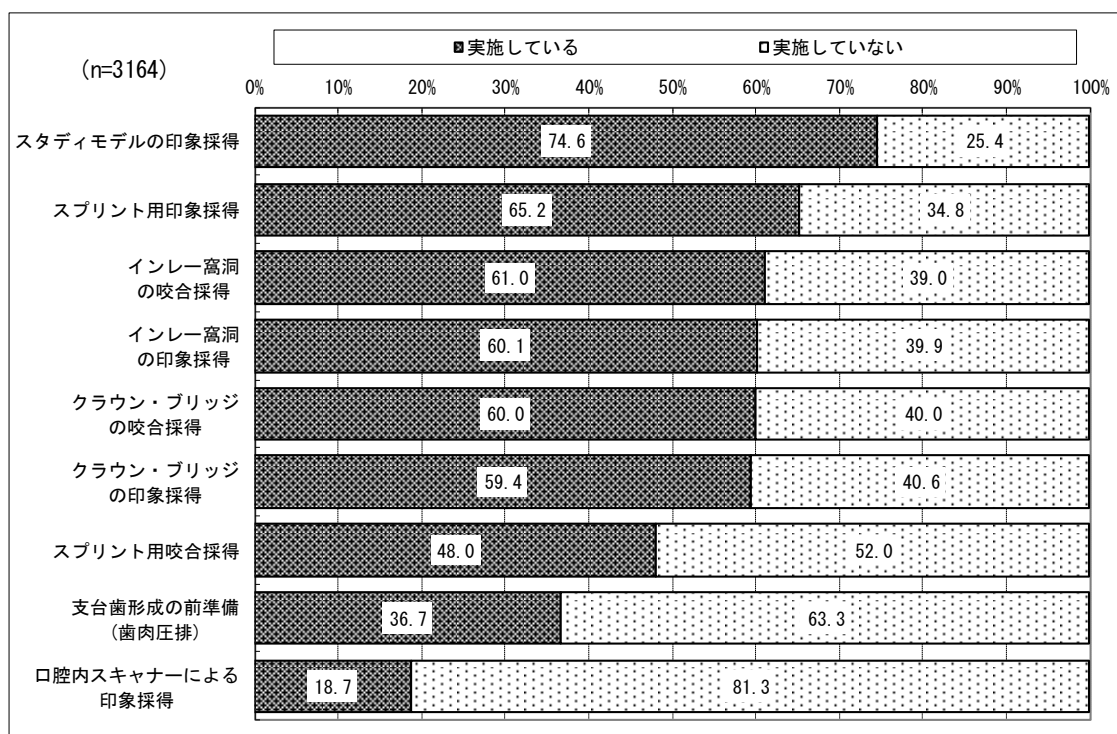


図7-18 印象採得・咬合採得

7-7) 矯正歯科【標榜科名で矯正歯科と回答した者】

矯正歯科における業務を「実施している」でみると、「印象採得（平行模型用全顎印象）」が 28.7%、「筋機能訓練（MFT）」が 19.2%、「装置の撤去」が 16.2%、「装置の研磨・調整」が 15.2%、「ブラケットのボンディング」が 14.0%、「セファロトレース」が 12.1%、「バンディング」が 7.3%である（図 7-19）。

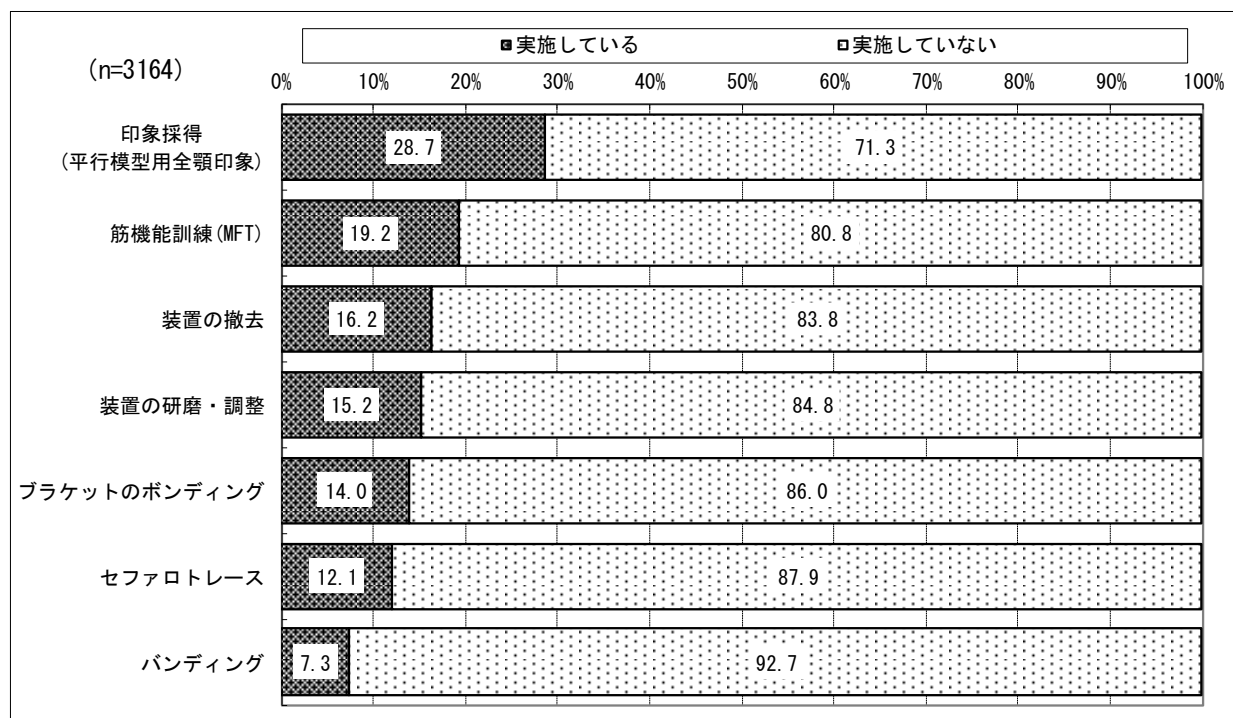


図 7-19 矯正歯科【標榜科名で矯正歯科と回答した者】

7-8) 口腔インプラント

口腔インプラントにおける業務を「実施している」でみると、「インプラント体周囲のスクーリング」が 43.7%、「インプラント体の動揺度検査」が 39.9%、「インプラント周囲のプロービング」が 39.0%、「インプラント手術の補助」が 37.0%、「手術前・後の注意事項の説明」が 36.1%である（図 7-20）。

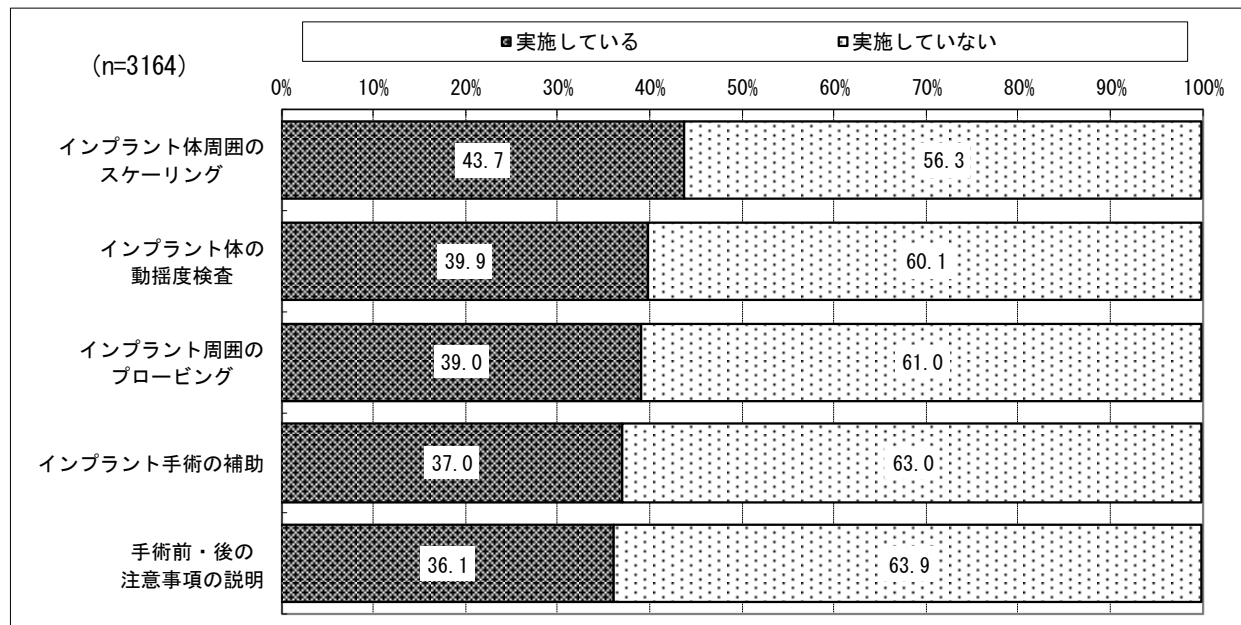


図 7-20 口腔インプラント

7-9) 静脈路等

静脈路等における業務を「実施している」でみると、「輸液剤の交換・輸液速度の調節」が5.8%、「薬剤の投与」が5.6%、「点滴」が5.3%、「採血」が4.6%、「静脈確保」が4.5%である（図 7-21）。

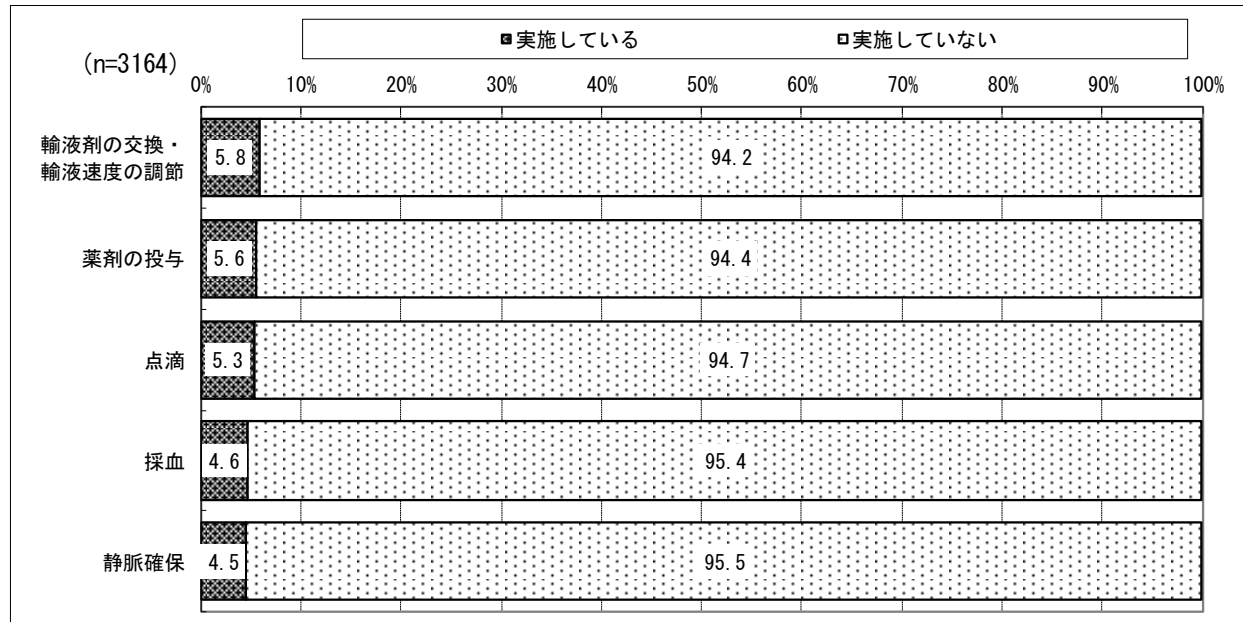


図 7-21 静脈路等

7-10) 障害者歯科

障害者歯科における業務を「実施している」でみると、「口腔衛生管理」が 52.0%、「一般歯科治療時のモニタリング機器装置・モニタリング・記録」が 26.0%、「摂食機能療法・間接訓練」が 20.7%、「行動調整」が 19.3%、「ラバーダム防湿」が 18.2%、「咽頭部の吸引」が 15.5%、「摂食機能療法・直接訓練」が 14.9%、「筋機能療法 (MFT)」が 13.7%、「摂食訓練時の気切部気管吸引」が 6.1%である (図 7-22)。

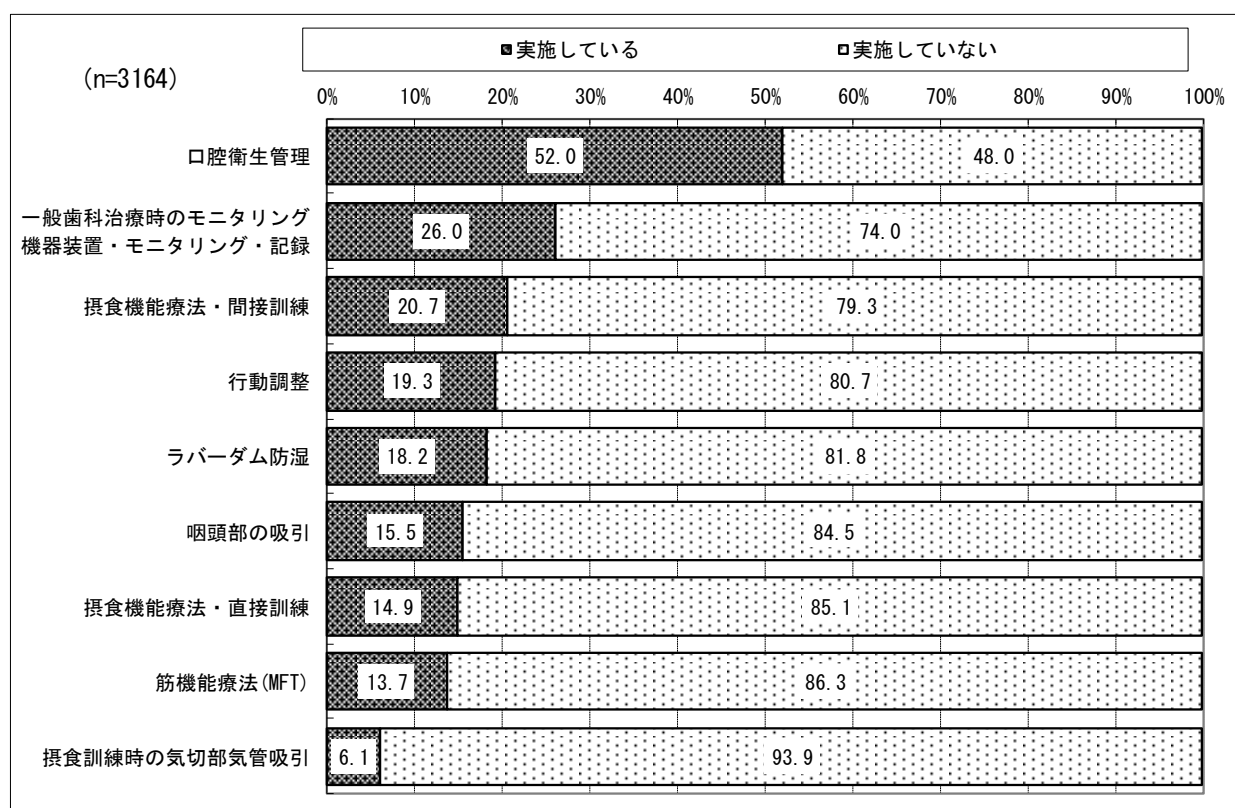


図 7-22 障害者歯科

7-11) 療養上の指導等

療養上の指導等における業務を「実施している」でみると、「義歯の清掃・取り扱い等の指導」が 88.9%、「歯科衛生実地指導（歯周疾患患者）」が 85.9%、「歯科衛生実地指導（小児患者）」が 71.3%、「フッ化物洗口法の指導」が 53.9%、「入院患者に対する口腔ケア・指導管理（訪問含む）」が 51.7%、「禁煙指導」が 35.5%、「電話による相談・指導」が 32.6%である（図 7-23）。

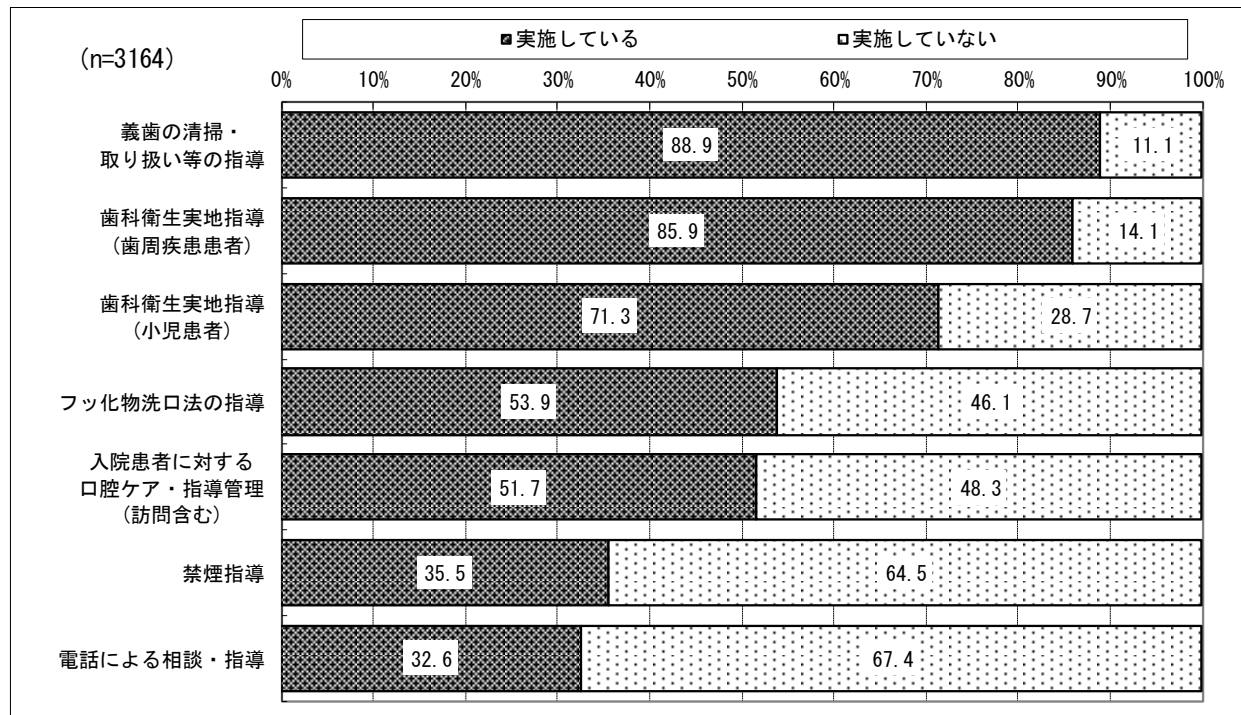


図 7-23 療養上の指導等

7-12) 在宅・施設等への歯科訪問業務

在宅施設等への訪問業務における業務を「実施している」でみると、「在宅患者への歯科訪問診療の補助」が 39.7%、「在宅患者への訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導含む）」が 38.3%、「ケアマネジャー・他職種との連絡・調整」が 29.7%、「摂食嚥下機能障害の間接訓練」が 24.7%、「口腔ケアプランの作成」が 22.9%、「カンファレンス等への参加」が 20.6%、「摂食嚥下機能障害の直接訓練」が 16.3%、「咽頭部の吸引」が 12.5%である（図 7-24）。

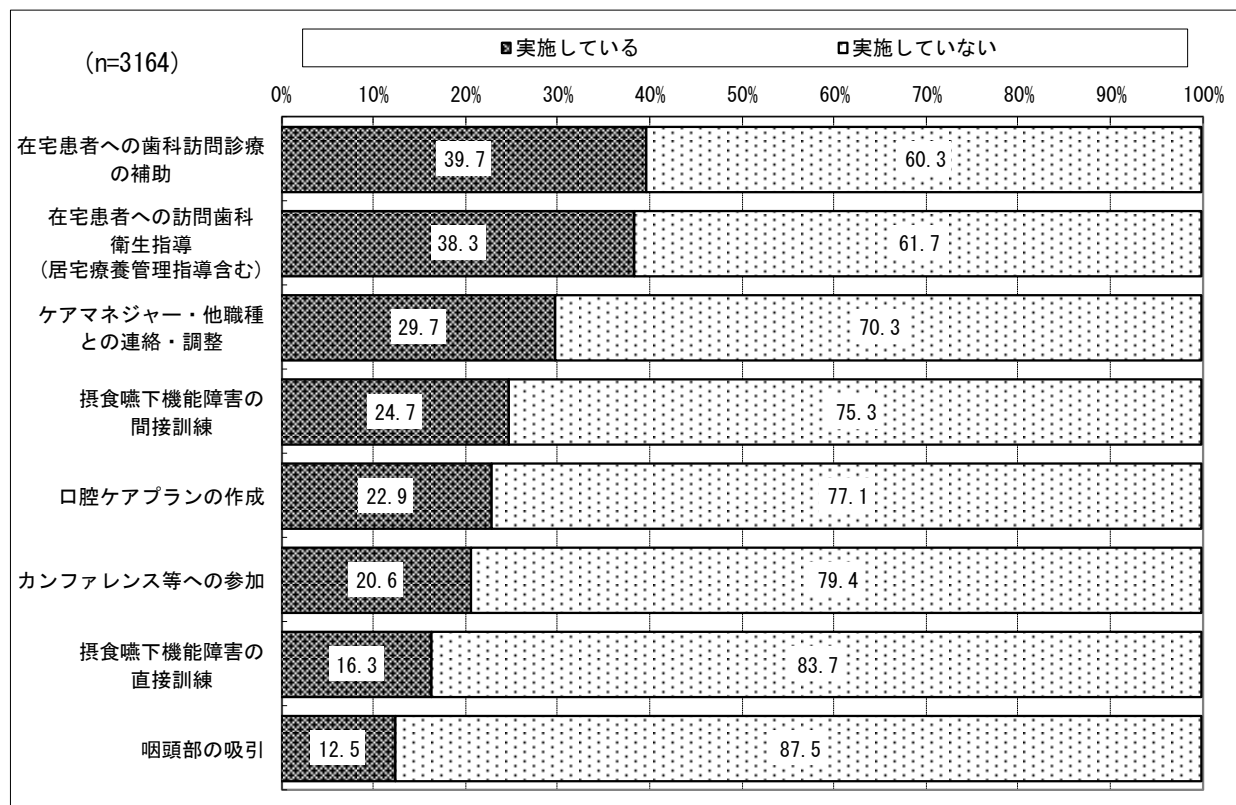


図 7-24 在宅・施設等への歯科訪問業務

8. 歯科訪問診療の際、連携している職種【Q44】

Q43-2-12 で在宅・施設等への歯科訪問業務を1つでも「実施している」と回答した者を対象に、歯科訪問診療の際、連携している職種を「連携している」でみると、「歯科医師」が81.5%、「施設職員」が67.9%、「ケアマネジャー」が67.3%、「介護職」が58.5%、「医師」が57.6%、「看護師・准看護師」が53.5%、「地域包括支援センターの関連職種」が42.1%、「言語聴覚士」が27.0%、「管理栄養士・栄養士」が26.7%、「理学療法士」が22.5%、「作業療法士」が19.6%である（図7-25）。

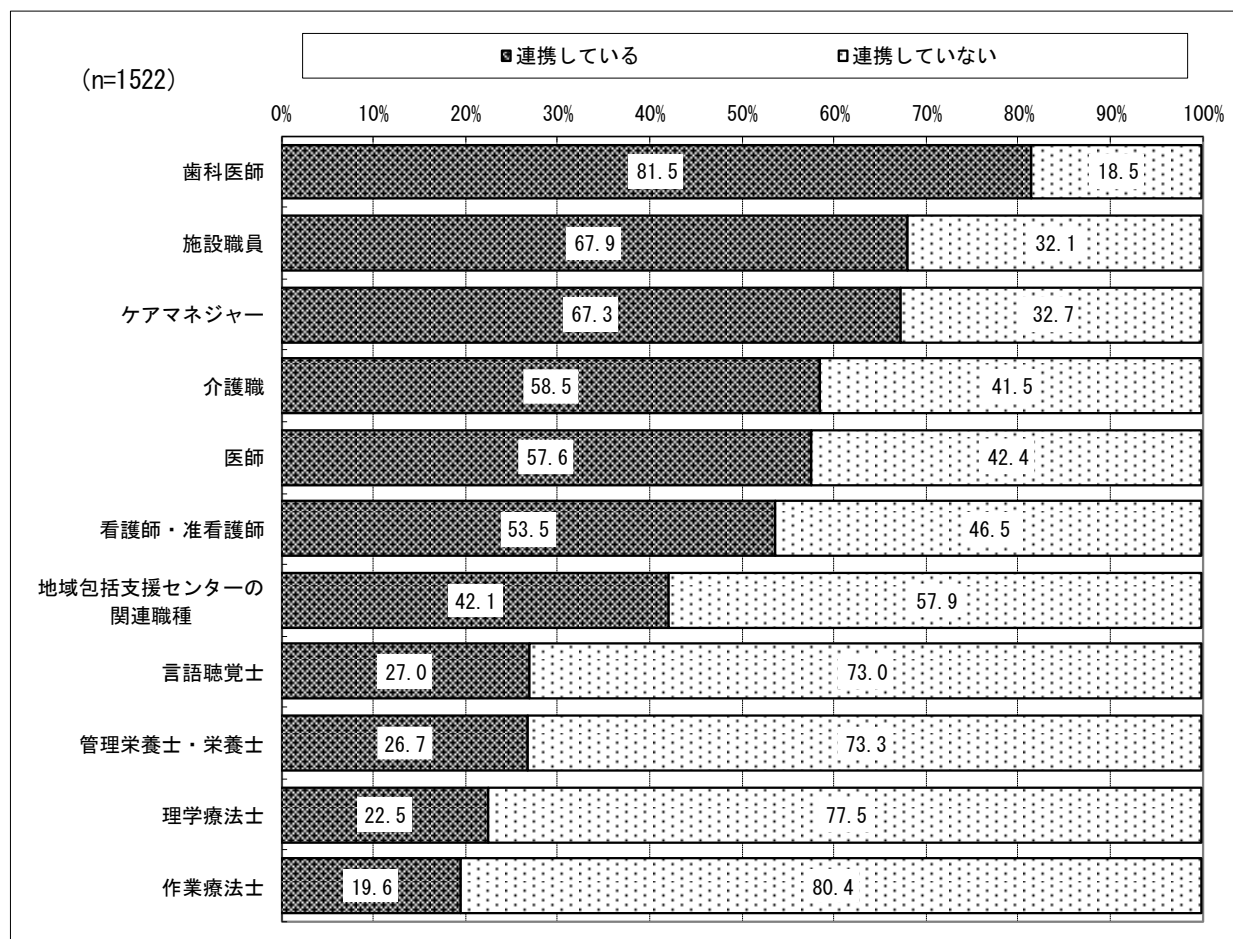


図7-25 歯科訪問診療の際、連携している職種

9. 外来患者や入院患者（他医療機関の入院患者を含む）に対して周術期等の口腔機能管理の実施の有無【Q45A】

外来患者や入院患者（他医療機関の入院患者を含む）に対して周術期等の口腔機能管理の実施の有無を全体でみると、「実施している」が 53.4%（前回 46.0%、前々回 30.1%）、「実施していない」が 46.6%（前回 48.3%、前々回 64.6%）である。勤務先別では「病院・大学病院」が 82.4%で最も高い（図 7-26）。

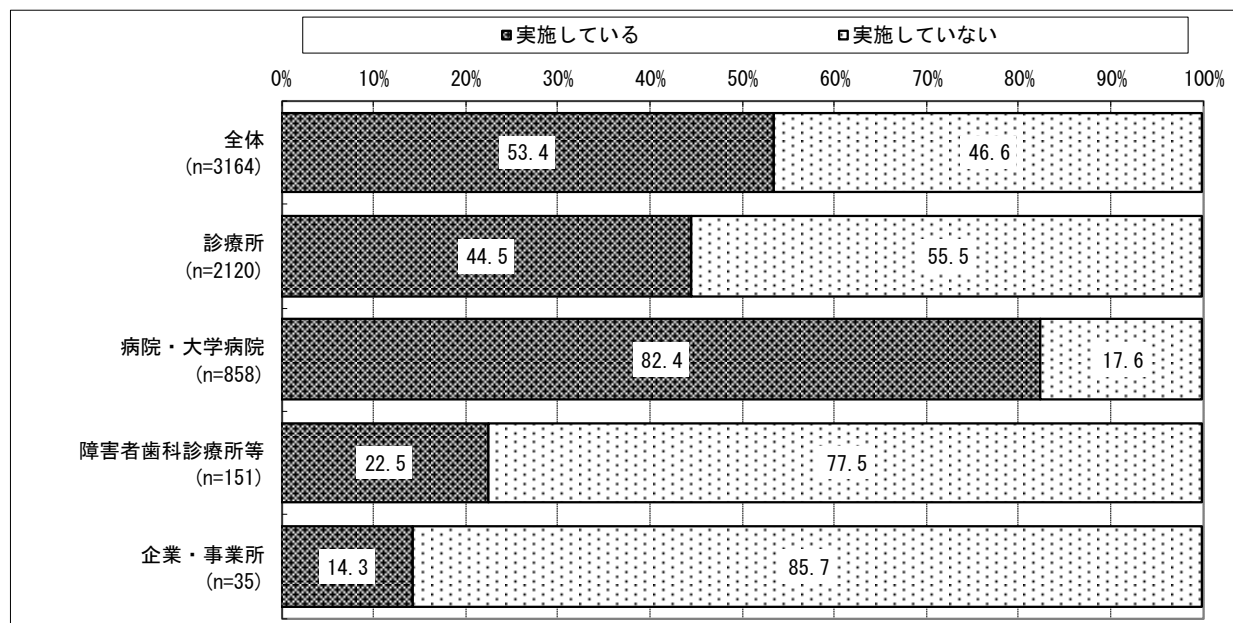


図 7-26 外来患者や入院患者（他医療機関の入院患者を含む）に対して周術期等の口腔機能管理の実施の有無

10. 周術期等の口腔機能管理における歯科衛生士業務の内容【Q45A-1】

Q45A で周術期等の口腔機能管理を「実施している」と回答した者を対象に、歯科衛生士が実施している業務内容をみると、「歯石除去および機械的歯面清掃」が 95.8%、「術者による歯磨き（歯間部清掃も含む）」が 95.7%、「義歯の清掃」が 94.2%、「口腔清掃等の実地指導（患者本人・介護者・家族等）」が 92.5%、「舌や粘膜の清掃」が 89.1%、「口腔内保湿」が 80.2%、「洗口または含嗽指導」が 80.1%、「フッ化物歯面塗布（根面含む）」が 65.4%、「口腔内アセスメント」が 64.6%、「歯肉、粘膜等への薬物塗布」が 62.5%、「摂食嚥下訓練」が 39.8%、「栄養指導」が 25.7%である（図 7-27）。

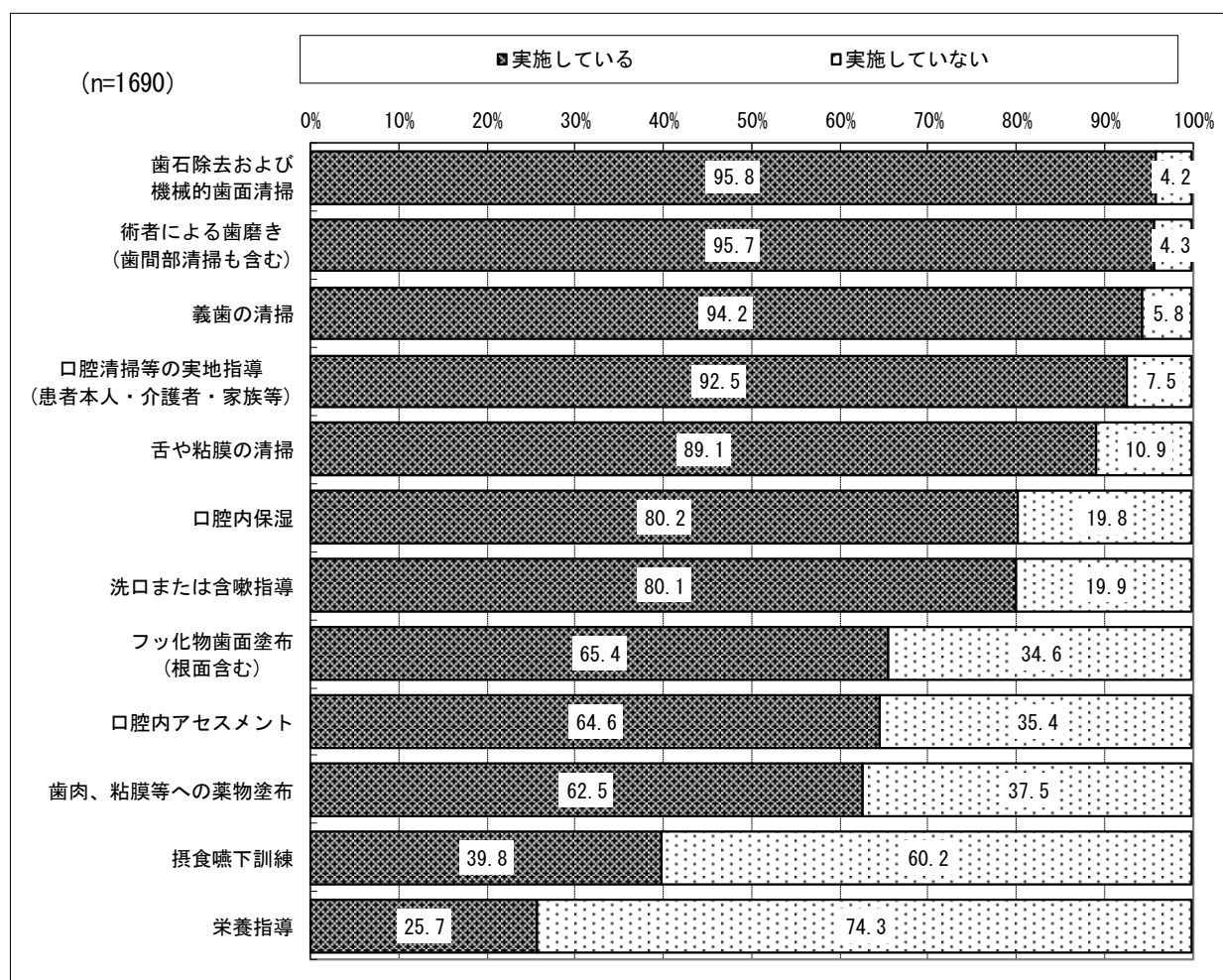


図 7-27 周術期等の口腔機能管理における歯科衛生業務の内容

11. 診療報酬の周術期等専門的口腔衛生処置の算定の有無【Q45A-2】

Q45A で周術期等の口腔機能管理を「実施している」と回答した者を対象に、診療報酬の周術期等専門的口腔衛生処置の算定の有無を全体でみると、「算定している」が 73.4%（前回 59.9%）、「算定していない」が 26.6%（前回 31.7%）であり、前回から実施の回答が 1 割以上増えている（図 7-28）。

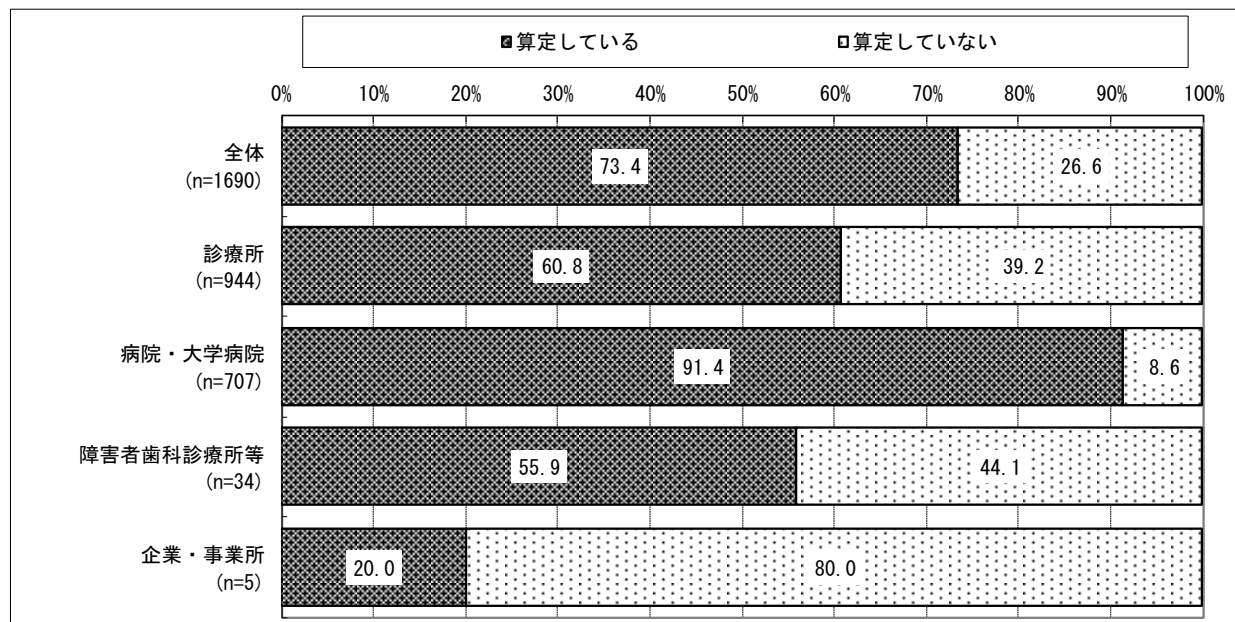


図 7-28 診療報酬の周術期等専門的口腔衛生処置の算定の有無

12. 入院患者（他医療機関の入院患者を含む）に対して回復期等の口腔機能管理の実施【Q45B】

入院患者（他医療機関の入院患者を含む）に対して回復期等の口腔機能管理の実施状況では、「実施している」が26.5%、「実施していない」が73.5%である（図7-29）。

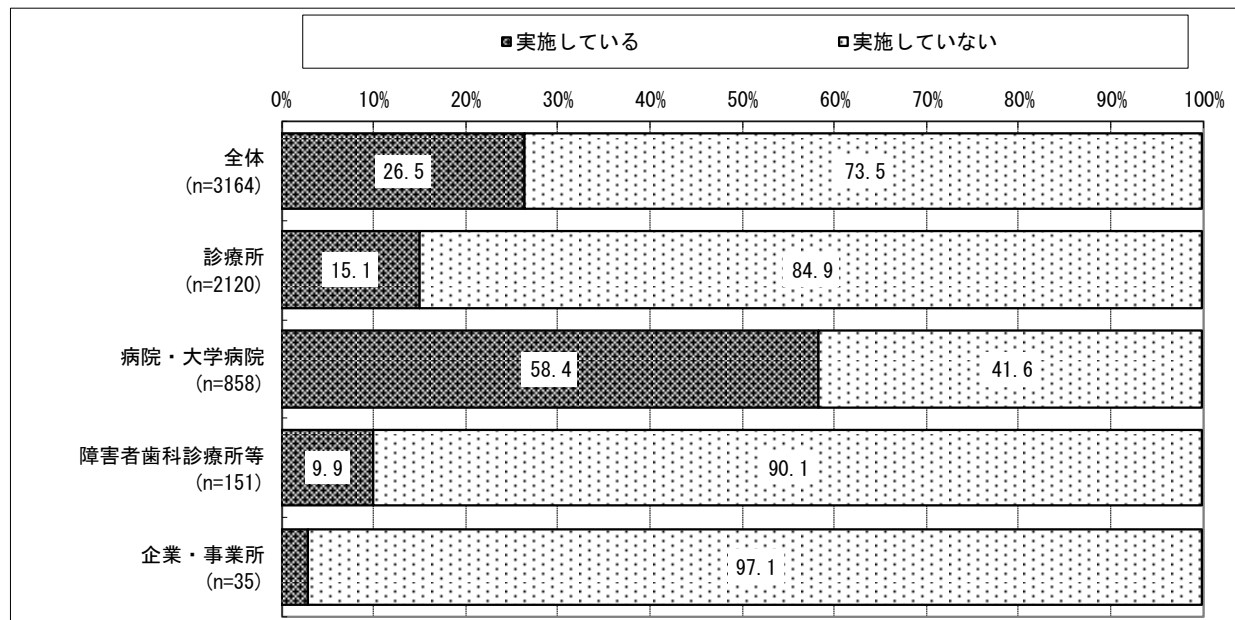


図7-29 入院患者（他医療機関の入院患者を含む）に対して回復期等の口腔機能管理の実施

13. 周術期等の口腔機能管理における歯科衛生士業務の内容【Q45B-1】

Q45B で入院患者(他医療機関の入院患者を含む)に対して回復期等の口腔機能管理を「実施している」と回答した者を対象に、専門的口腔衛生処置として実際の実施をみると、「術者による歯磨き(歯間部清掃も含む)」が94.9%、「義歯の清掃」が92.6%、「舌や粘膜の清掃」が92.1%、「口腔清掃等の実地指導(患者本人・介護者・家族等)」が91.4%、「歯石除去および機械的歯面清掃」が88.6%、「口腔内保湿」が87.9%、「洗口または含嗽指導」が84.3%、「口腔内アセスメント」が72.3%、「歯肉、粘膜等への薬物塗布」が69.7%、「フッ化物歯面塗布(根面含む)」が59.7%、「摂食嚥下訓練」が47.4%、「栄養指導」が30.7%である(図7-30)。

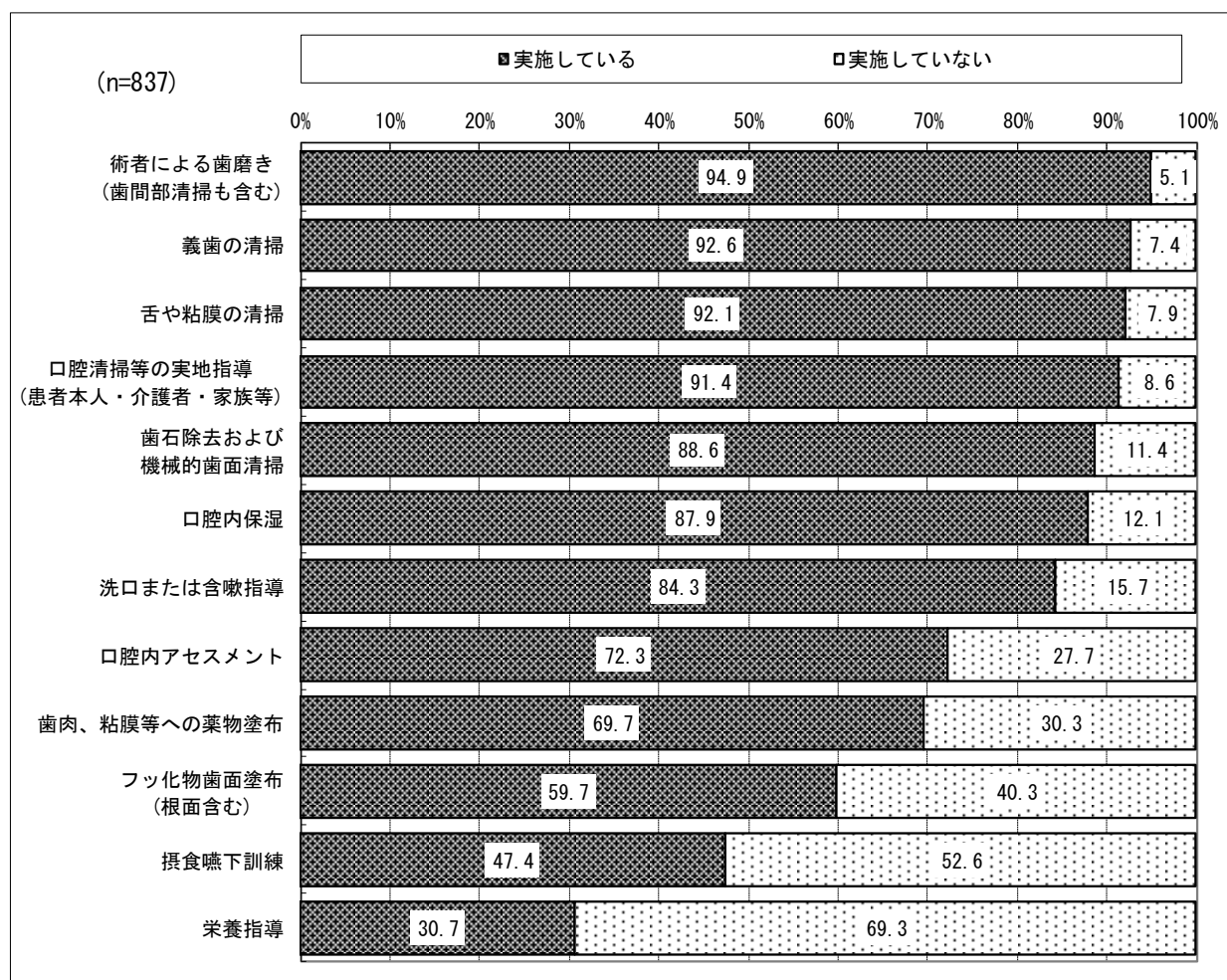


図7-30 回復期等の口腔機能管理における歯科衛生業務の内容

14. 診療報酬の回復期等専門的口腔衛生処置の算定の有無【45B-2】

Q45B で入院患者（他医療機関の入院患者を含む）に対して回復期等の口腔機能管理を「実施している」と回答した者を対象に、診療報酬の回復期等専門的口腔衛生処置の算定の有無をみると、「算定している」が 54.1%、「算定していない」が 45.9%である（図 7-31）

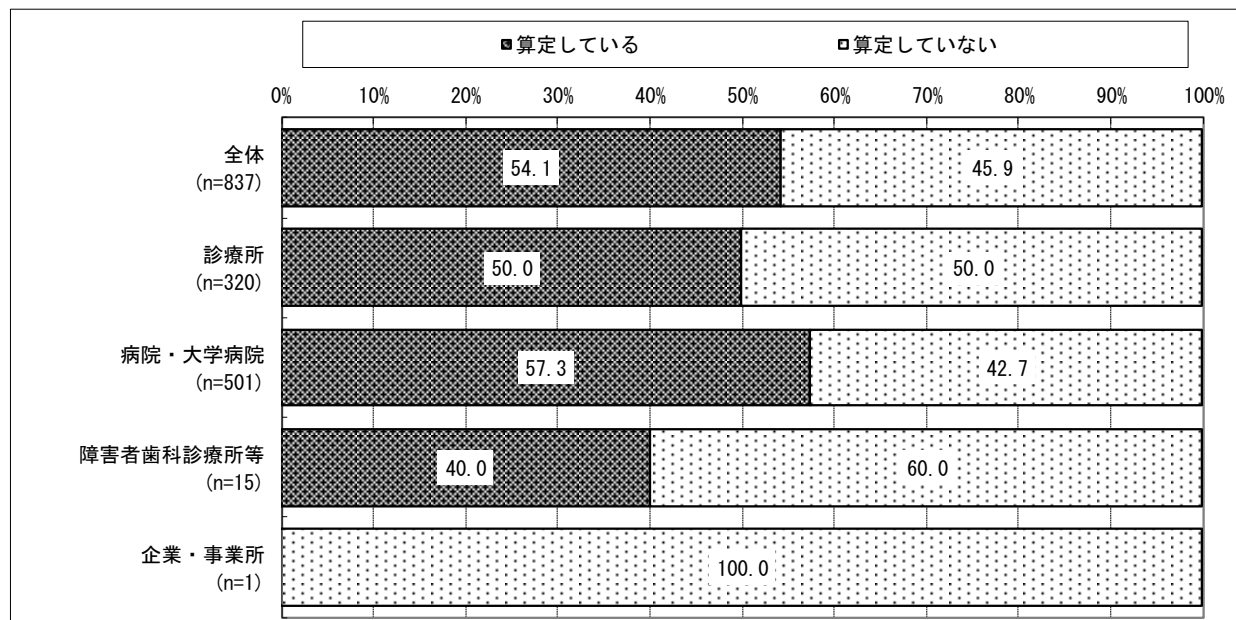


図 7-31 診療報酬の回復期等専門的口腔衛生処置の算定の有無

15. 医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）の有無【Q46】

医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）の有無を全体でみると、「口腔ケア」が 33.7%、「摂食嚥下」が 22.4%、「栄養サポート」が 18.3%、「医療安全対策」が 14.4%、「感染（制御）対策」が 11.5%、「緩和ケア」が 9.1%、「がん治療」が 7.7%、「呼吸サポート」が 4.6%、「褥瘡対策」が 1.7%、「その他」が 1.8%であり、「該当なし」が 54.5%である（図 7-32）。

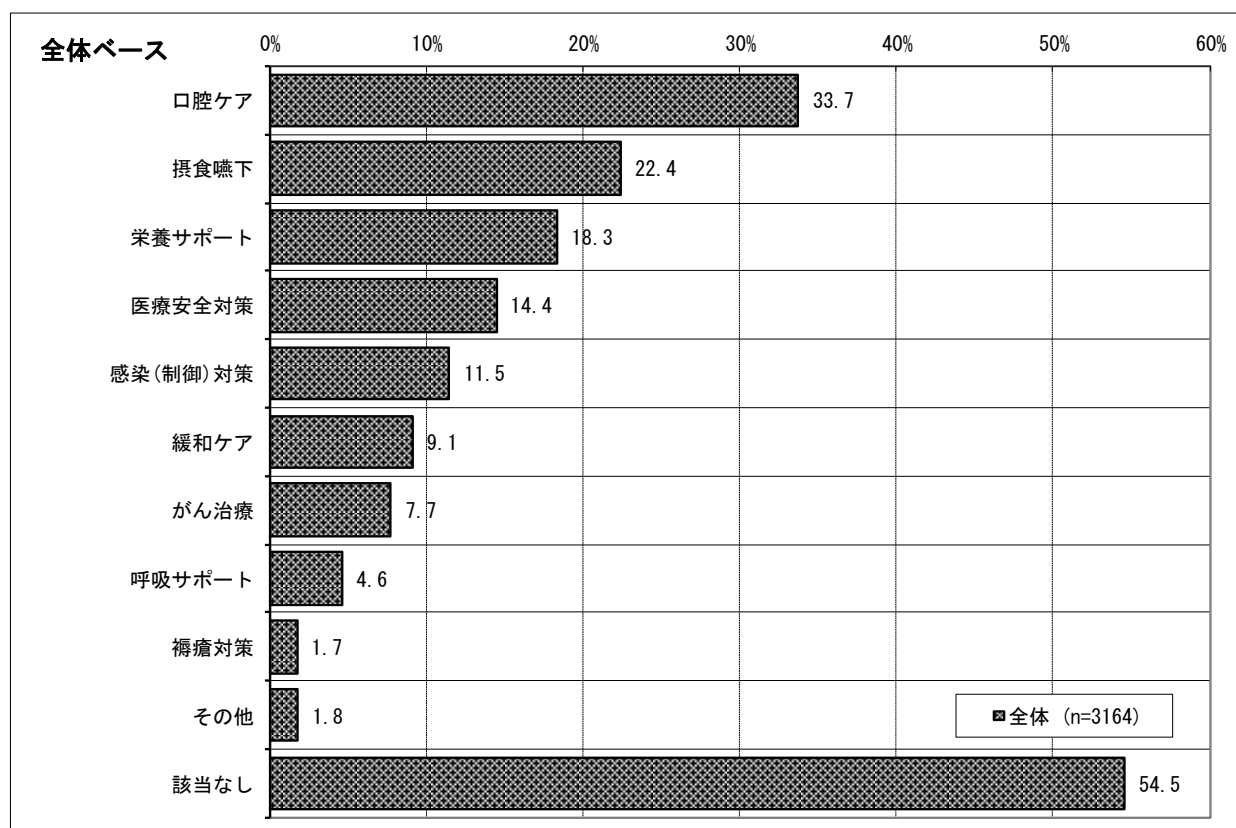


図 7-32 医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）の有無

次に、医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）の有無を「診療所」でみると、「口腔ケア」が25.6%、「摂食嚥下」が12.1%、「医療安全対策」が6.9%、「栄養サポート」が6.2%、「感染（制御）対策」が5.5%、「緩和ケア」が2.9%、「がん治療」が2.7%、「褥瘡対策」が0.8%、「呼吸サポート」が0.7%、「その他」が0.4%であり、「該当なし」が69.6%である（図7-33）。

また「病院・大学病院」でみると、「口腔ケア」が55.7%、「栄養サポート」が50.9%、「摂食嚥下」が48.4%、「医療安全対策」が33.6%、「感染（制御）対策」が27.0%、「緩和ケア」が25.8%、「がん治療」が21.4%、「呼吸サポート」が14.8%、「褥瘡対策」が4.5%、「その他」が5.5%であり、「該当なし」が14.5%である（図7-34）。

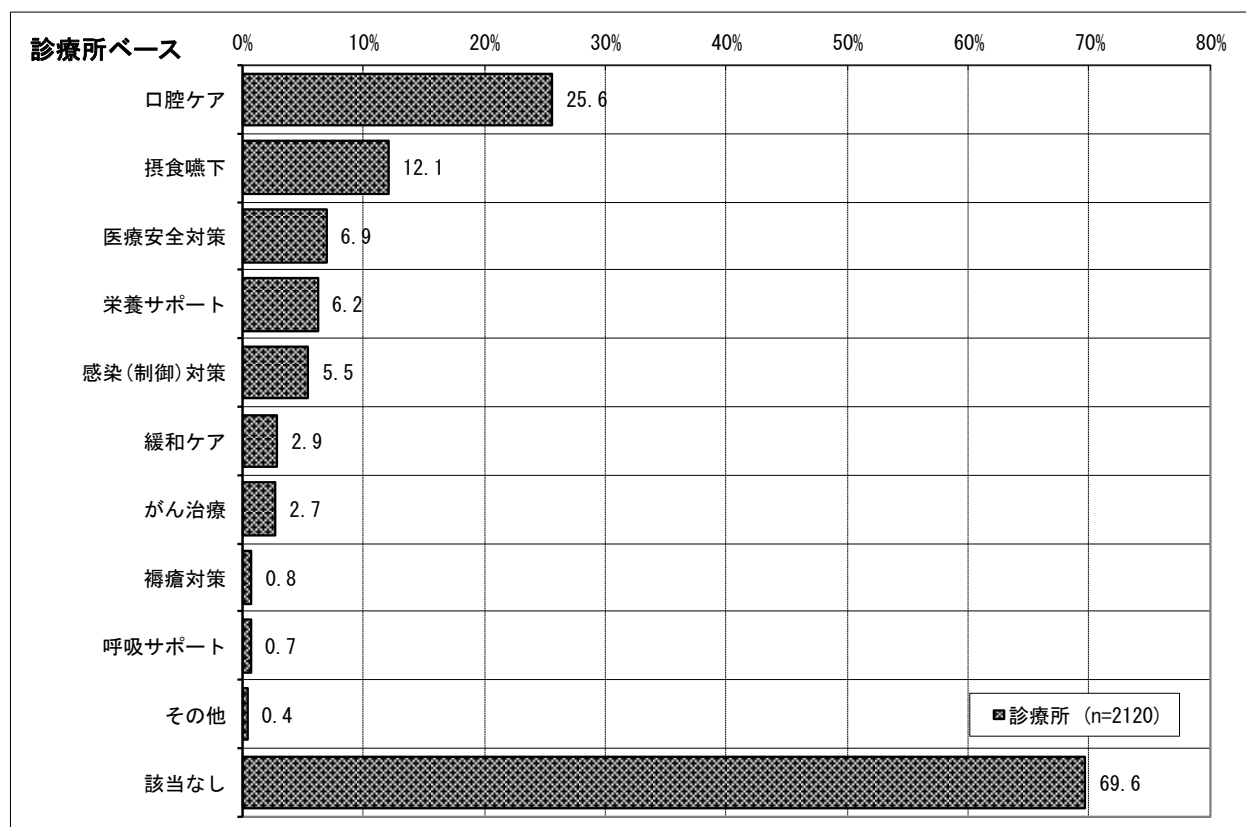


図7-33 医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）の有無（診療所）

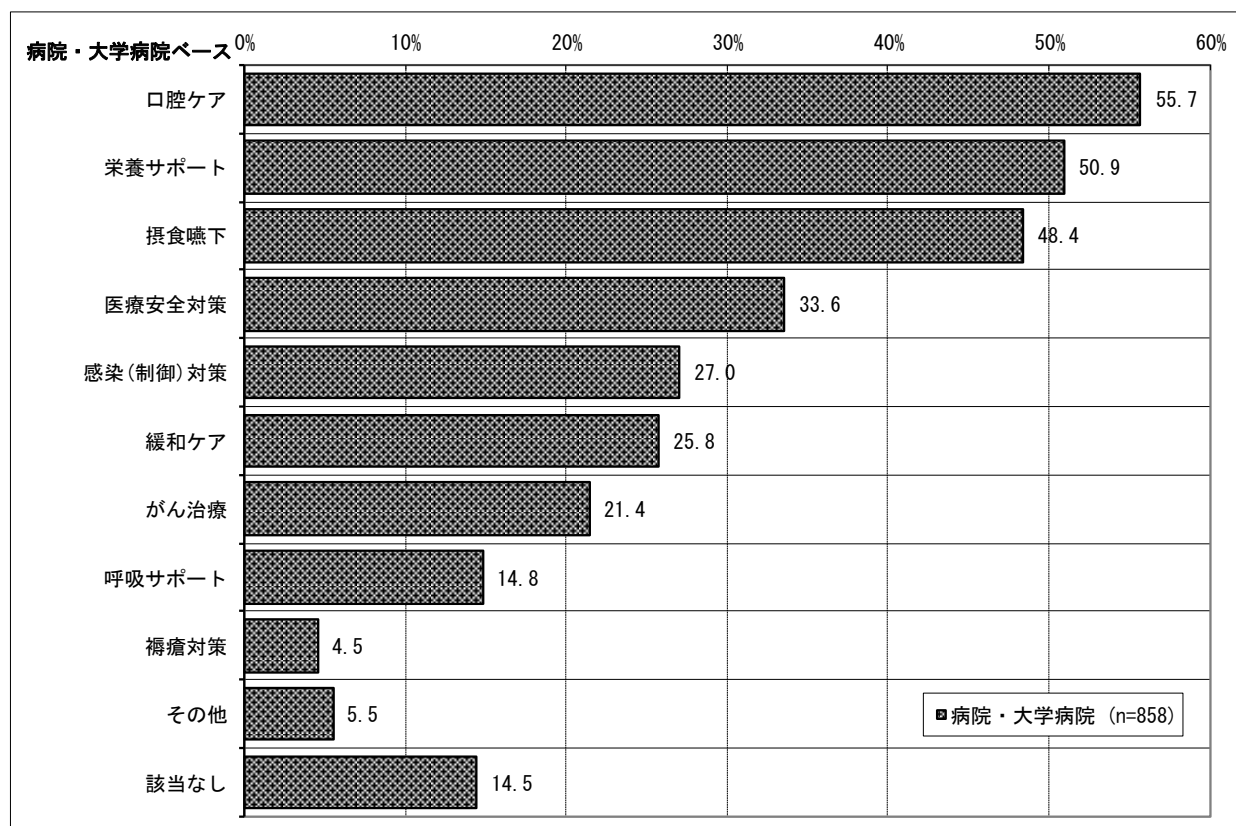


図 7-34 医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）の有無（病院・大学病院）

16. 診療室の事務・管理等【Q43-2-13】

診療室の事務・管理等を「実施している」でみると、「器材・器具の滅菌・消毒」が 83.1%、「薬剤・器材の発注・管理」が 81.7%、「スタッフの指導管理」が 66.7%、「コンピュータ入力事務」が 54.9%、「受付事務」が 54.2%、「実習生（歯科衛生士学生）の指導管理」が 40.7%、「レセプト事務」が 27.8%である（図 7-35）。

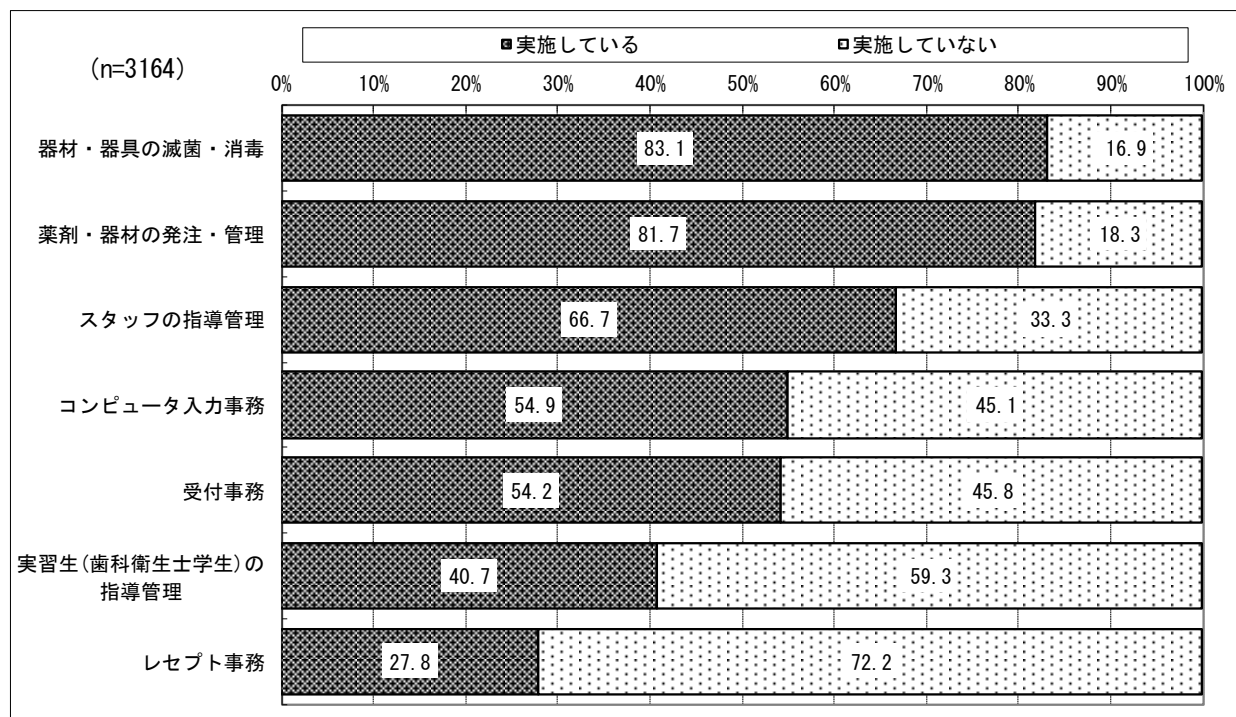


図 7-35 診療室の事務・管理等

VIII. 行政（保健所・都道府県・市区町村）

【行政の回答者数は全体で 913 人である】

1. 勤務する地方自治体【Q47】

勤務する地方自治体を全体でみると、「その他の市」が 41.4%、「政令指定都市」が 16.2%、「都道府県」が 14.4%、「中核市」が 12.7%、「町村」が 11.6%、「特別区」が 3.5%である（図 8-1）。

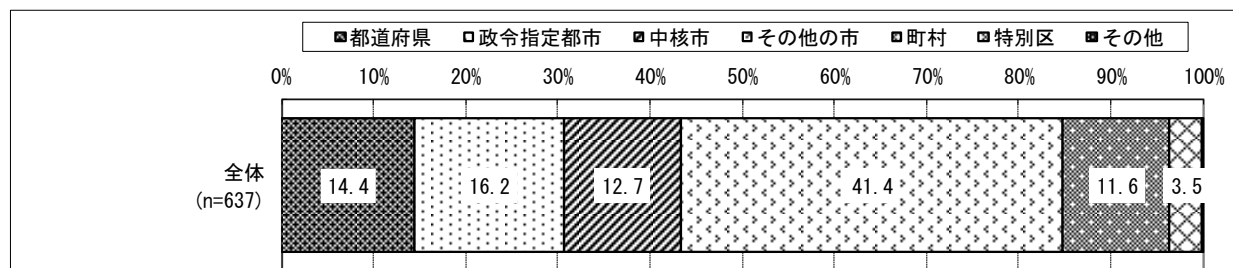


図 8-1 勤務する地方自治体

2. 実際に勤務している所【Q48】

実際に勤務している所を全体でみると、「市役所・区役所・町村役場」が 39.1%、「市町村・特別区保健センター」が 37.0%、「保健所（都道府県）」が 9.9%、「保健所（政令市、特別区）」が 8.3%、「都道府県庁」が 4.2%、「その他」が 1.4%である（図 8-2）。

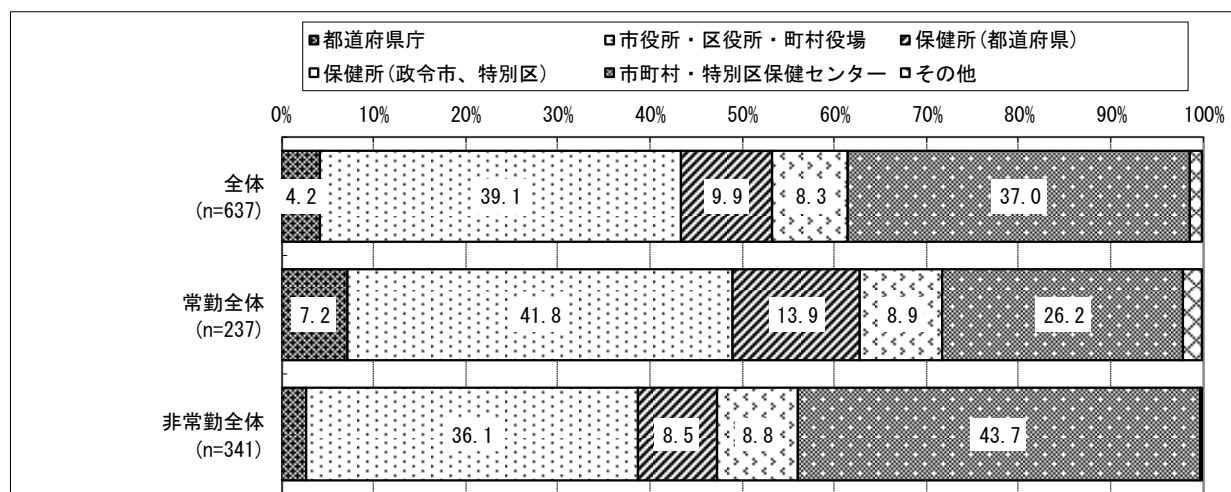


図 8-2 実際に勤務している所

3. 担当している主な業務【Q49】

担当している主な業務を全体でみると、「母子保健」が83.0%、「成人保健」が50.5%、「介護予防事業」が49.5%、「学校保健」が39.7%、「障害（児）者」が21.0%、「要介護高齢者支援」が21.0%、「庶務」が17.3%、「がん・特定健診等」が11.9%、「難病患者」が7.1%、「感染症予防」が3.6%である（図8-3）。

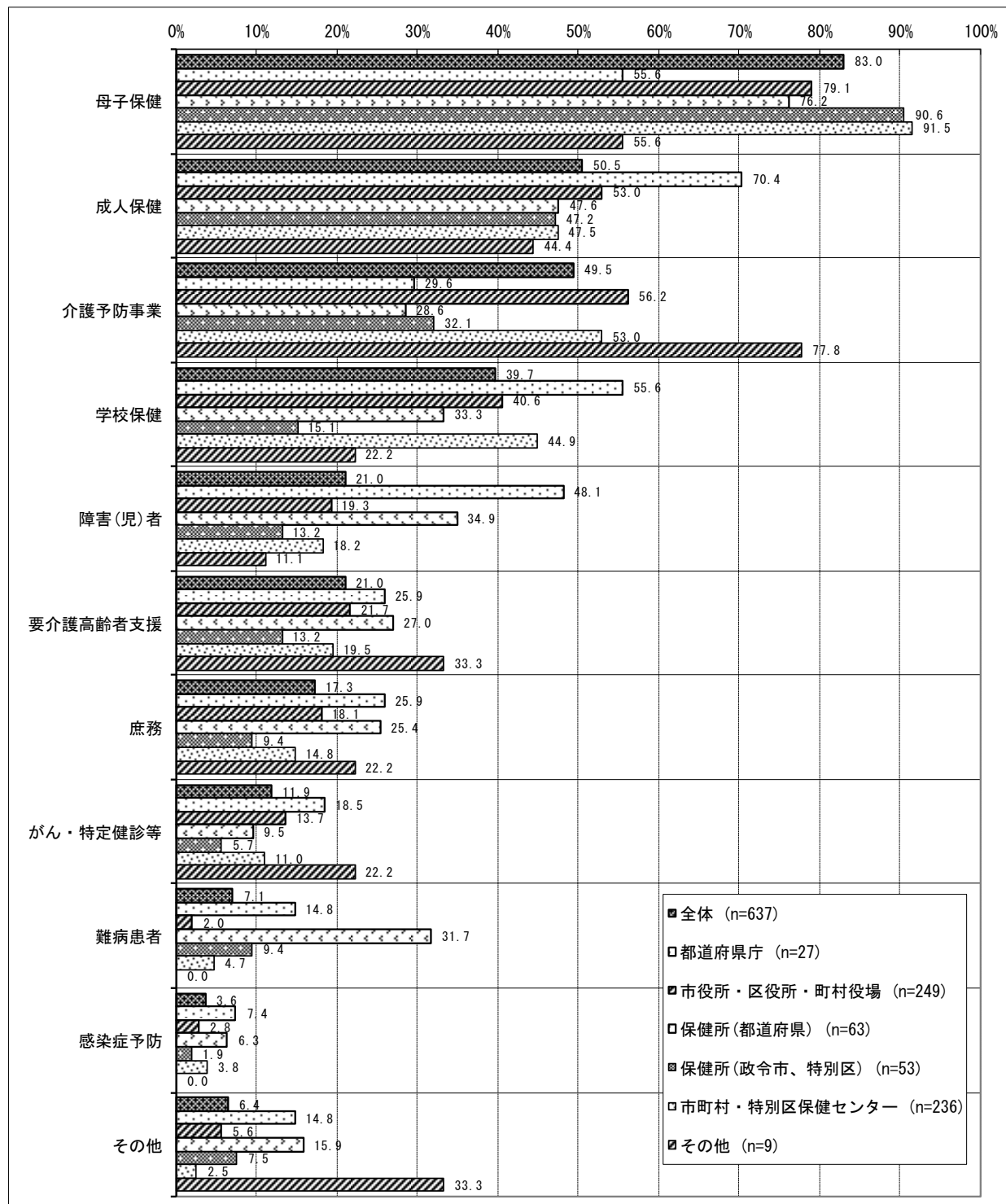


図8-3 担当している主な業務〔複数回答〕

4. 所属している直属の係（班）の上司の職種【Q50】

所属している直属の係（班）の上司の職種を全体でみると、「保健師」が 47.7%、「歯科衛生士（本人含む）」が 19.5%、「事務職」が 11.6%、「歯科医師」が 6.9%、「栄養士」が 3.3%、「看護師」が 0.3%、「直属の上司はいない」が 8.5%である。

勤務先別でみると、「市役所・区役所・町村役場」では「保健師」が 54.6%、「保健所（都道府県）」では「保健師」が 47.6%、「保健所（政令市、特別区）」では「歯科衛生士」が 43.4%、「市町村・特別区保健センター」では「保健師」が 49.2%で、それぞれ最も多い（図 8-4）。

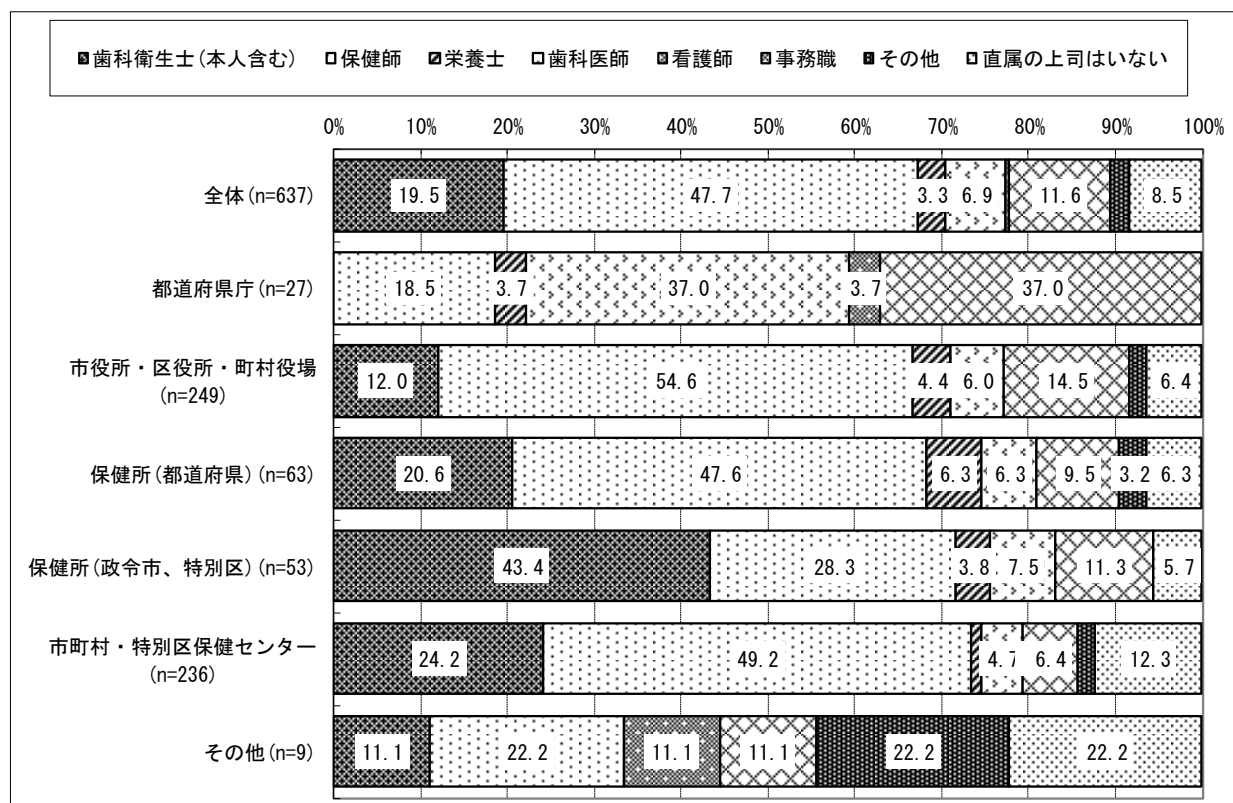


図 8-4 所属している直属の係（班）の上司の職種

5. 自身が直属の上司にあたるか【50SQ】

自身が直属の上司にあたるかどうかについての回答では、全体でみると「自身は直属上司にあたる」が7.3%、「自身は直属上司ではない」が92.7%である。

勤務先別でみると、「保健所（都道府県）」が「自身が直属上司にあたる」の回答が最も多く、23.1%である（図8-5）。

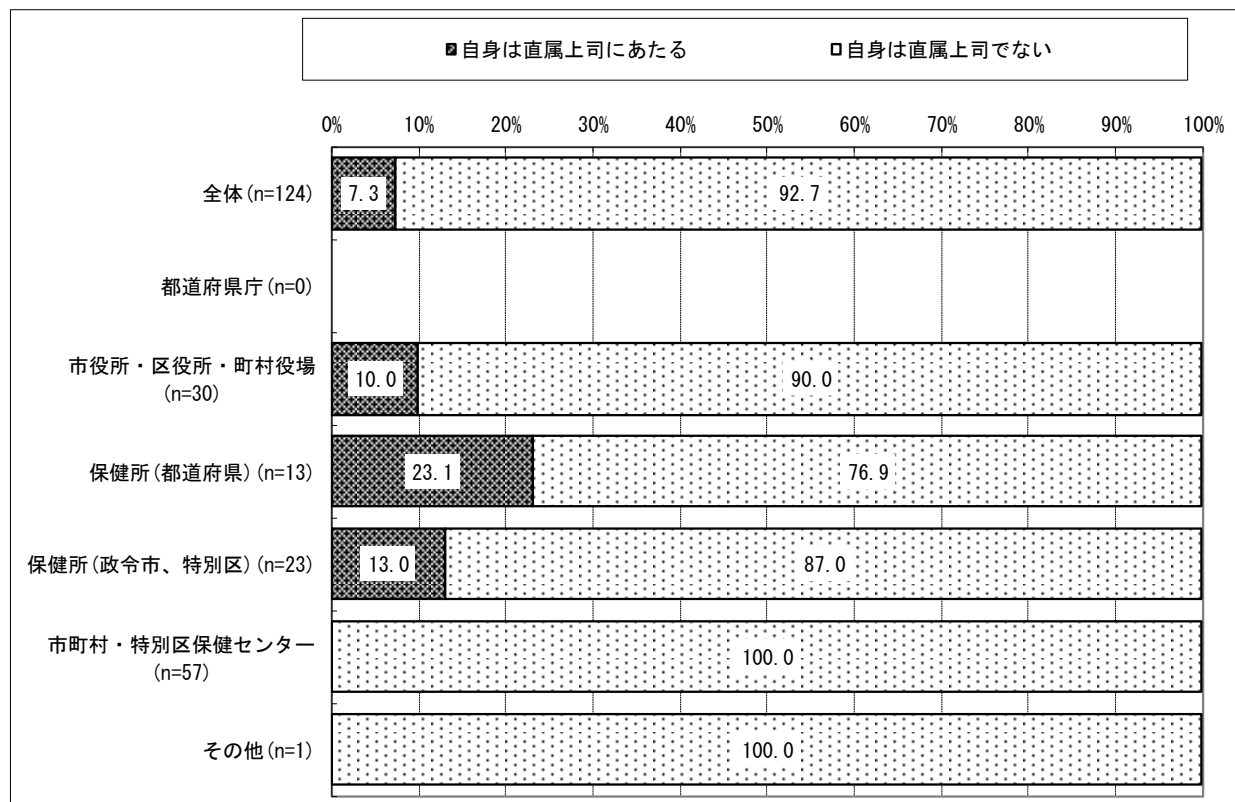


図 8-5 自身が直属の上司にあたるか

6. 職場での立場（常勤）【Q51】

職場での立場を「常勤」でみると、「歯科衛生士」が74.7%、「その他」が7.4%、「主査」が5.8%、「主任」が5.5%、「主事」が5.5%、「係長（業務兼任）」が1.6%、「係長（専任）」が1.4%、「主事」が1.1%、「補佐（専任）」が0.9%、「補佐（業務兼任）」が0.8%、「課長」が0.6%、「部長」が0.2%である。

勤務先別で「歯科衛生士」をみると、「市町村・特別区保健センター」が80.9%でもっとも多い（図8-6）。

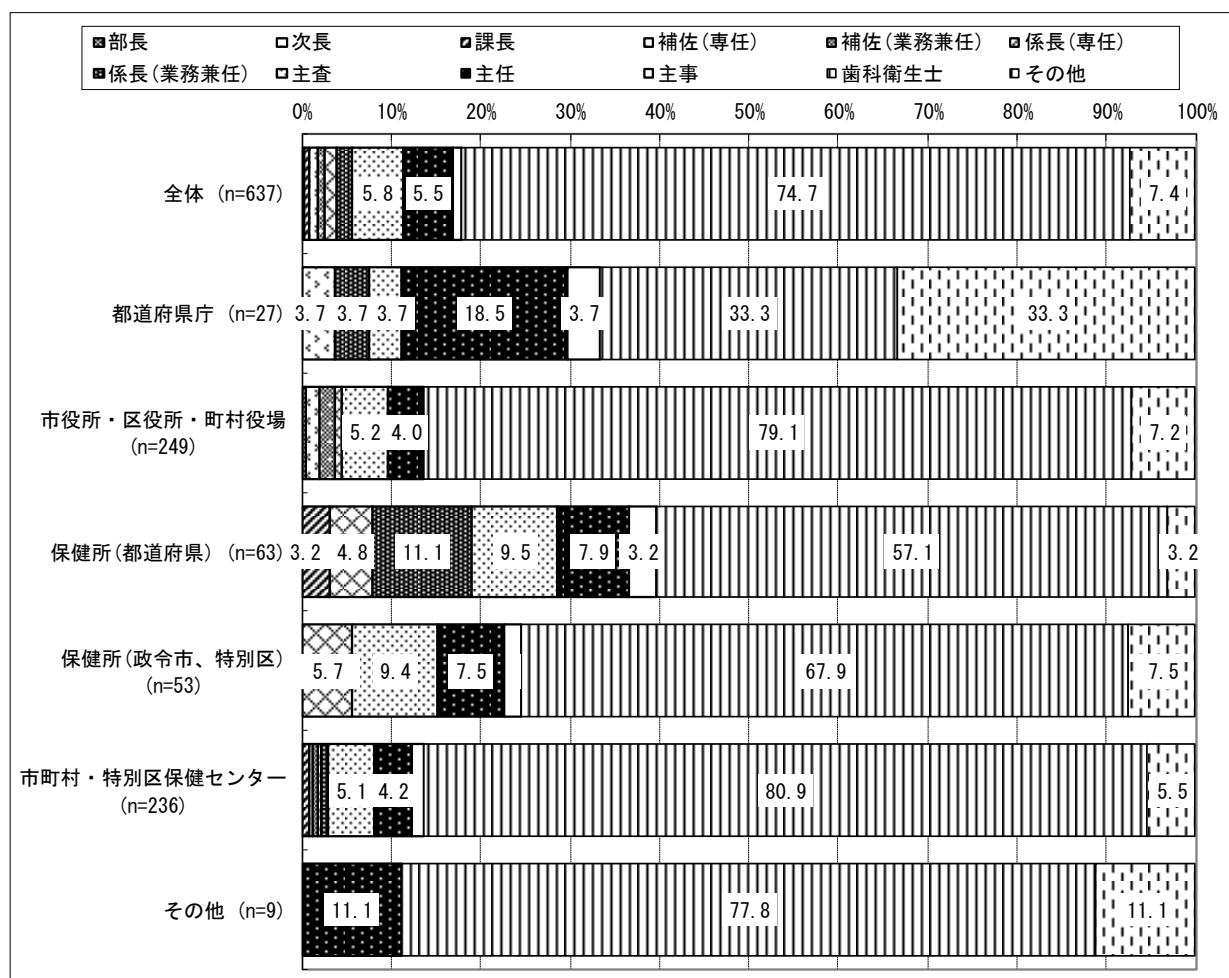


図 8-6 職場での立場（常勤）

7. 対人サービスの実施の有無【Q52】

対人サービスの実施の有無を全体でみると、「行っている」が 75.8%、「行っていない」が 24.2%である。

勤務先別で「行っている」をみると、「市役所・区役所・町村役場」が 80.7%、「市町村・特別区保健センター」が 78.0%、「保健所（都道府県）」が 68.3%が多い（図 8-7）。

就業形態別で「行っている」をみると、「常勤」が 86.1%、「非常勤」が 69.5%である（図 8-8）。

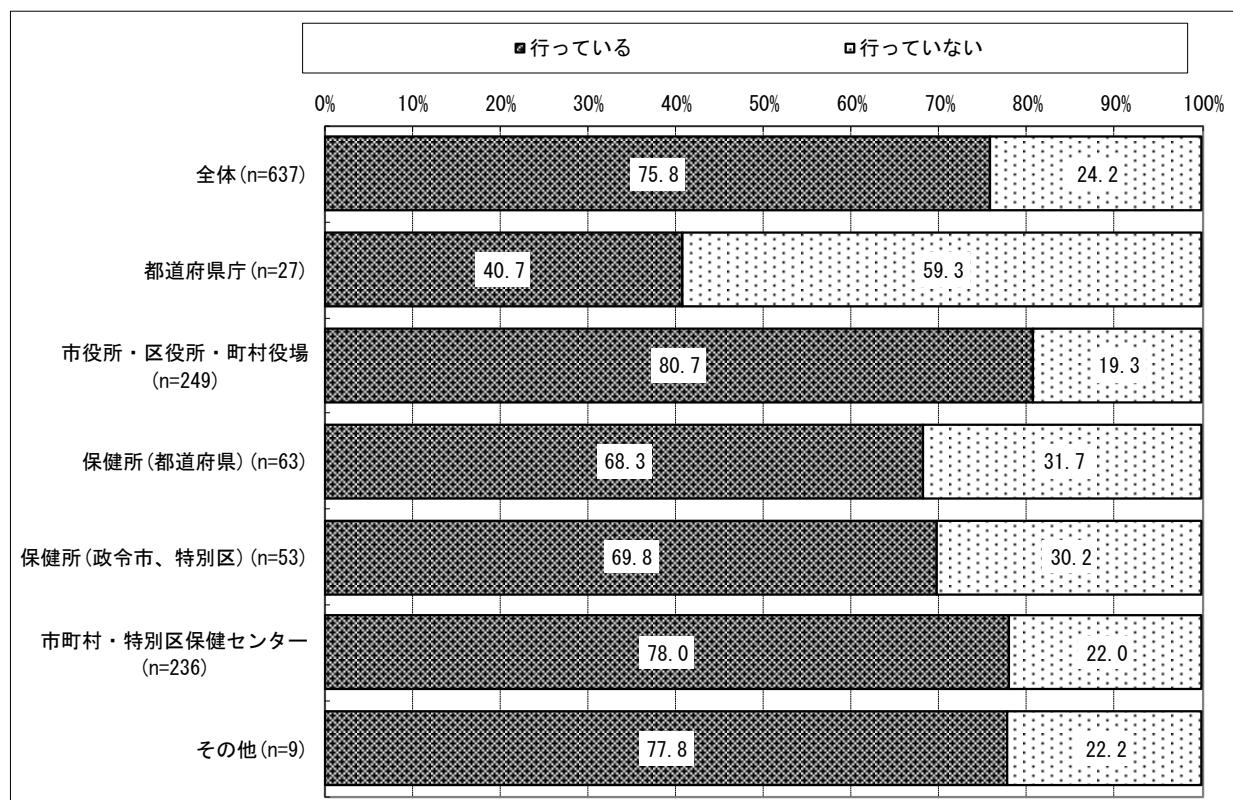


図 8-7 対人サービスの実施の有無

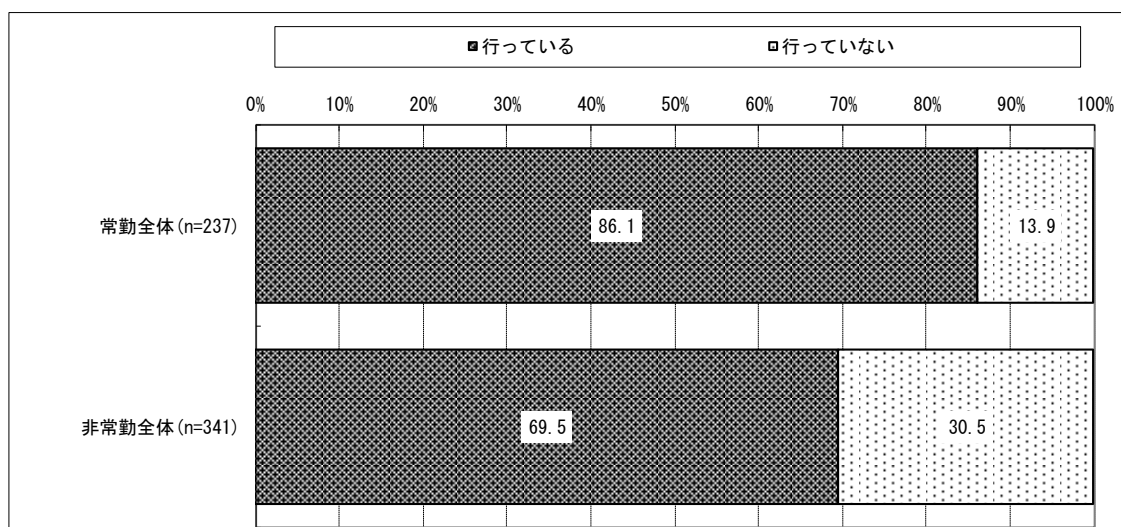


図 8-8 対人サービスの実施の有無（就業形態別）

8. 歯科健康相談（所内・所外を含む）の実施の有無【Q52-1】

Q52 で対人サービスを「行っている」と回答した者を対象に、歯科健康相談（所内・所外を含む）の実施の有無を全体でみると、「している」が93.4%、「していない」が6.6%である。

勤務別先で実施「している」をみると、「保健所（政令市、特別区）」が94.6%、「市役所・区役所・町村役場」が94.0%、「市町村・特別区保健センター」が93.5%、「保健所（都道府県）」が93.0%である（図8-9）。

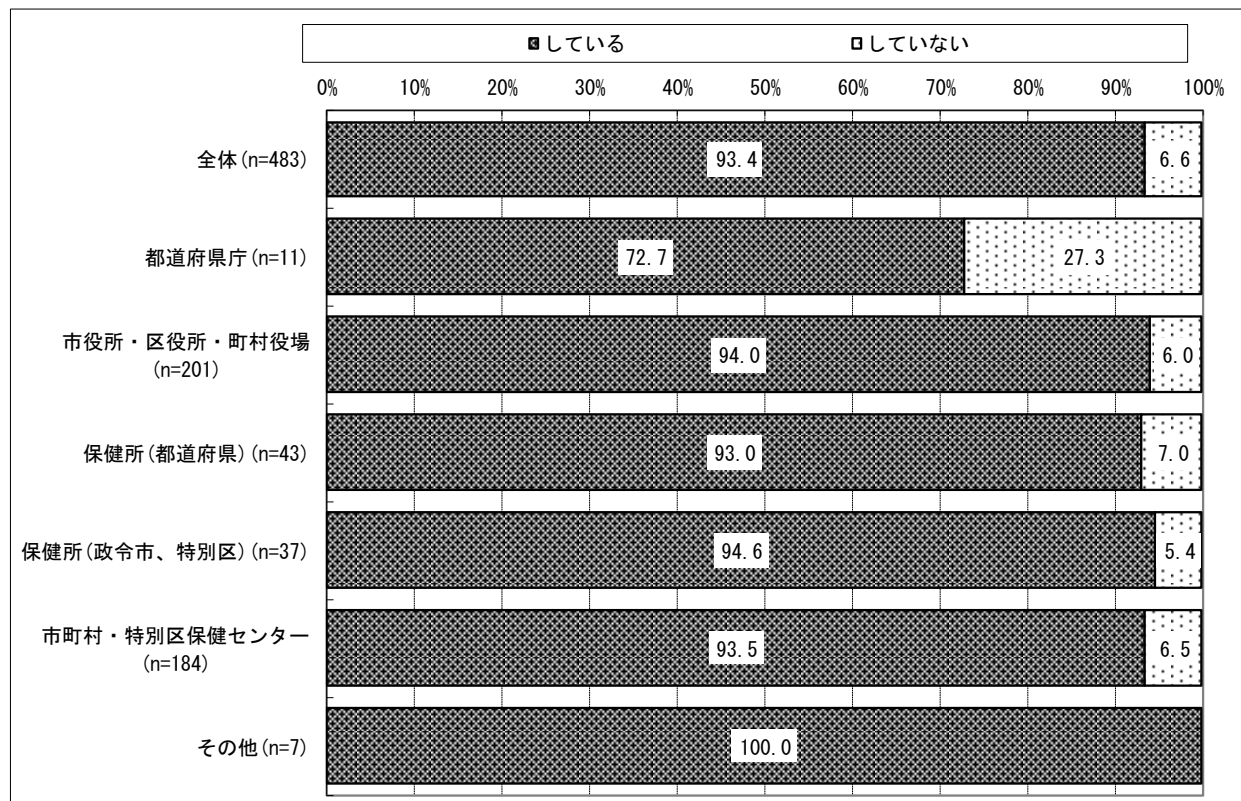


図 8-9 歯科健康相談（所内・所外を含む）の実施の有無

9. 歯科健康相談（所内・所外を含む）の対象者【Q52-2】

Q52-1 で歯科健康相談を「実施している」と回答した者について、歯科健康相談の対象者を全体でみると、「乳幼児」が 86.3%、「成人一般」が 64.1%、「一般高齢者」が 61.4%、「妊産婦」が 56.5%、「保育所・幼稚園、認定こども園児」が 45.7%が多い（図 8-10）。

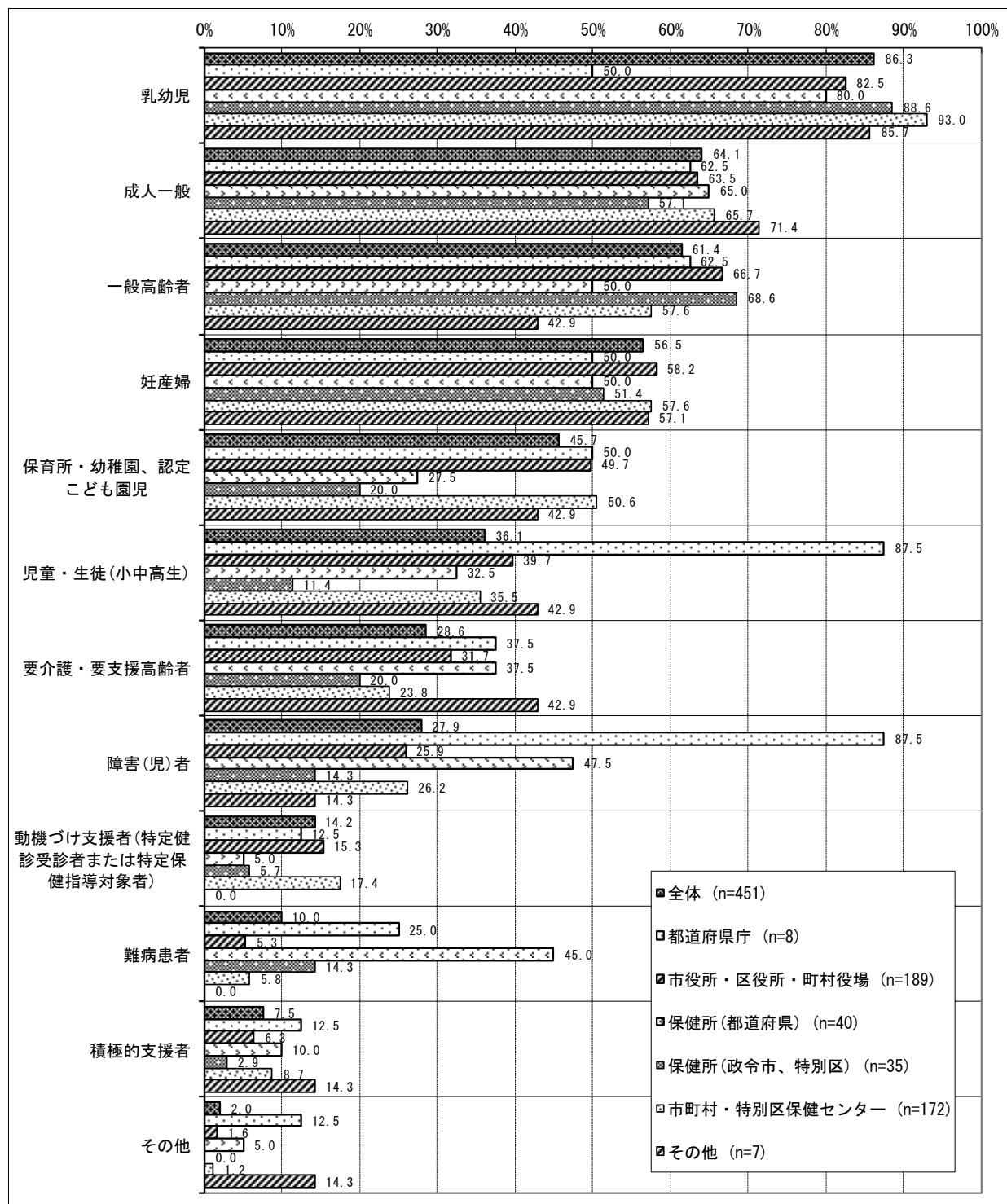


図 8-10 歯科健康相談（所内・所外を含む）の対象者〔複数回答〕

10. 歯科健康教育の実施の有無【Q53】

Q52 で対人サービスを「行っている」と回答した者を対象に、歯科健康教育の実施の有無を全体でみると、「している」が 89.9%、「していない」が 10.1%である。

勤務先別で実施「している」をみると、「保健所（政令市、特別区）」が 91.9%、「市町村・特別区保健センター」が 90.2%で高い（図 8-11）。

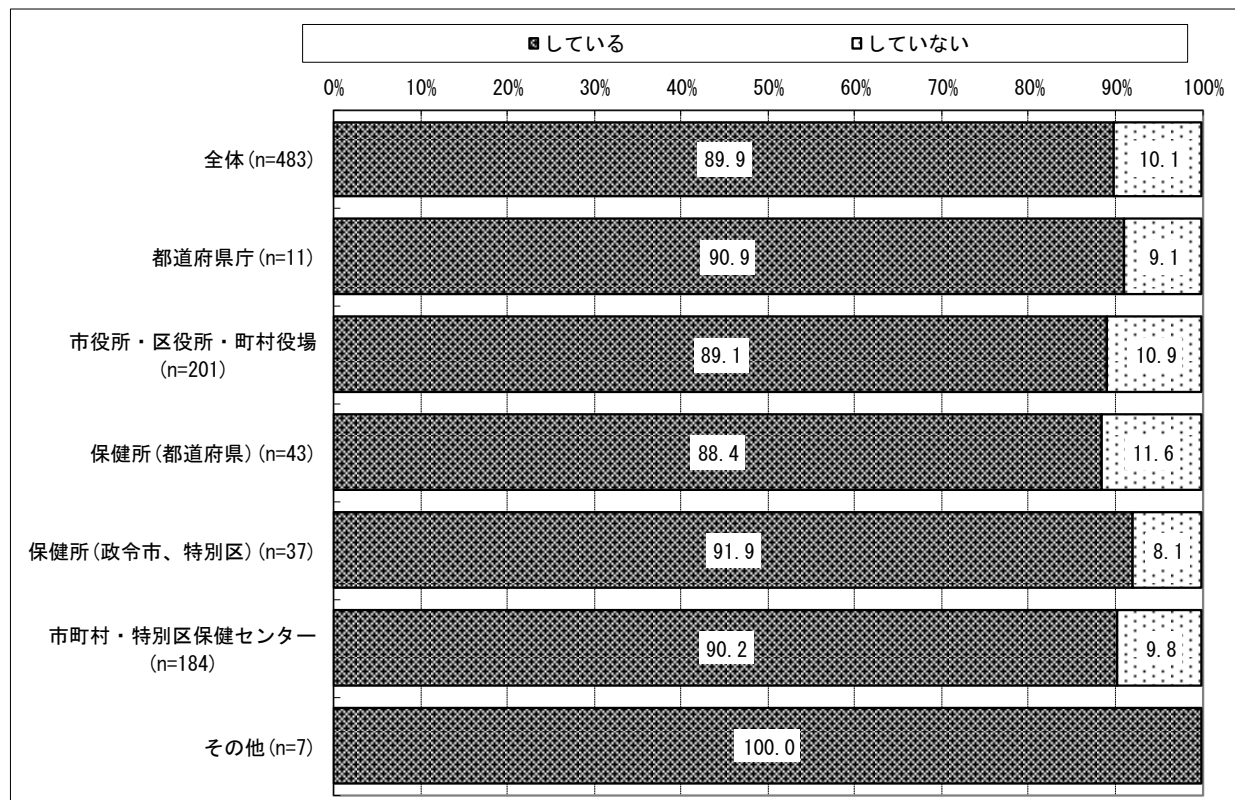


図 8-11 歯科健康教育の実施の有無

11. 歯科健康教育の対象者【Q53-1】

Q53 で歯科健康教育を「実施している」と回答した者について、歯科健康教育の対象者を全体でみると、「乳幼児」が74.0%、「一般高齢者」が65.7%、「保育所・幼稚園、認定こども園児」が57.8%、「成人一般」が56.5%、「妊産婦」が51.6%で回答が多い（図8-12）。

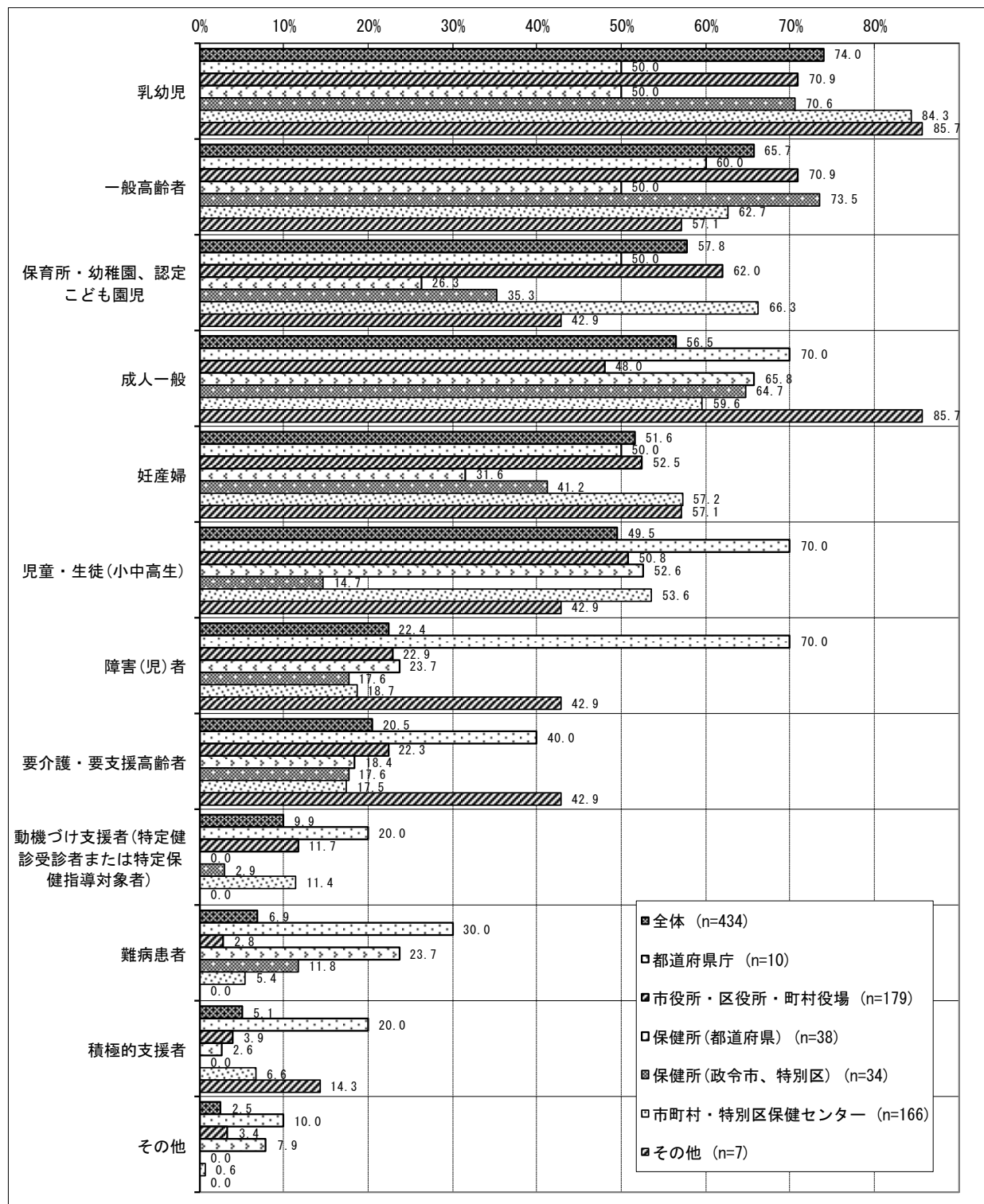


図8-12 歯科健康教育の対象者〔複数回答〕

12. 歯科健康診査事業の従事の有無【Q54】

Q52 で対人サービスを「行っている」と回答した者を対象に、歯科健康診査事業に従事しているかどうかを全体でみると、「している」が75.4%、「していない」が24.6%である。

勤務先別で従事「している」をみると、「市町村・特別区保健センター」の84.8%が最も多く、次いで「保健所（政令市、特別区）」が75.7%、「市役所・区役所・町村役場」が73.6%である（図8-13）。

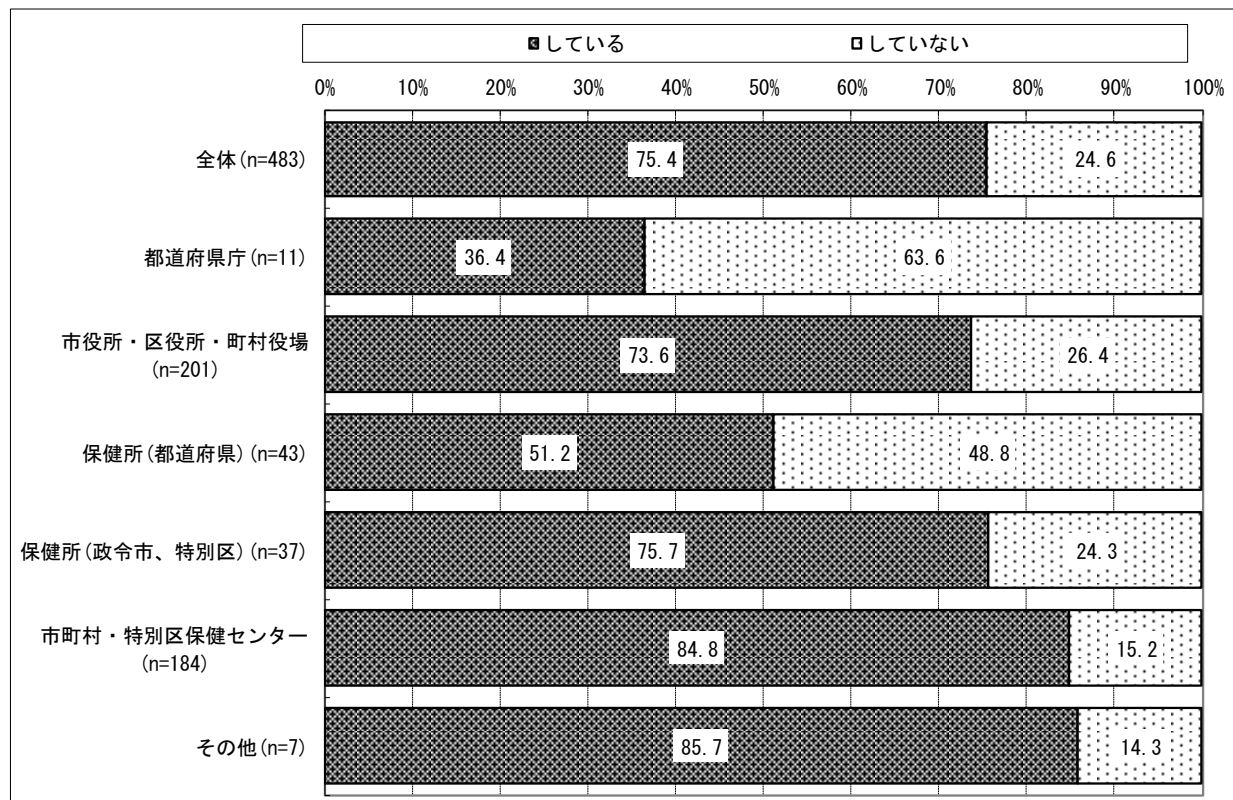


図 8-13 歯科健康診査事業の従事の有無

13. 従事している歯科健康診査事業【Q54-1】

Q54 で歯科健康診査事業に「従事している」と回答した者を対象に、従事内容を全体でみると、「1歳6か月児健診（保健指導・健診補助）」が90.7%、「3歳児健診（保健指導・健診補助）」が89.6%、「乳幼児健診（保健指導・健診補助）」が71.4%で以下は3割台以下と多くない（図8-14）。

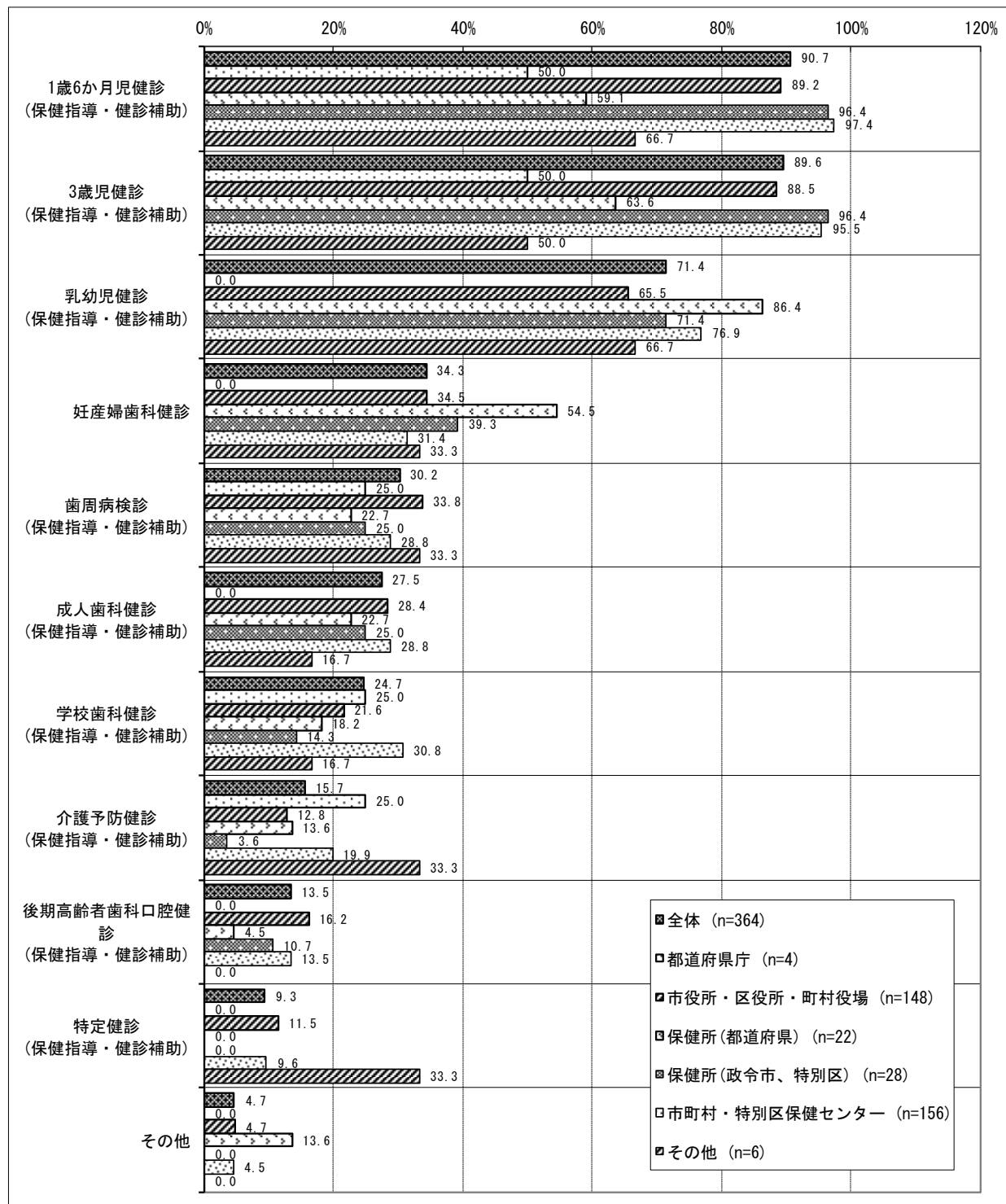


図 8-14 従事している歯科健康診査事業〔複数回答〕

14. 歯科予防処置の実施の有無【Q55】

Q52 で対人サービスを「行っている」と回答した者を対象に、歯科予防処置の実施の有無を全体でみると、「している」が 57.8%、「していない」が 42.2%である。

勤務先別で実施「している」をみると、「保健所（政令市、特別区）」が 70.3%、「市町村・特別区保健センター」が 64.7%が多い（図 8-15）。

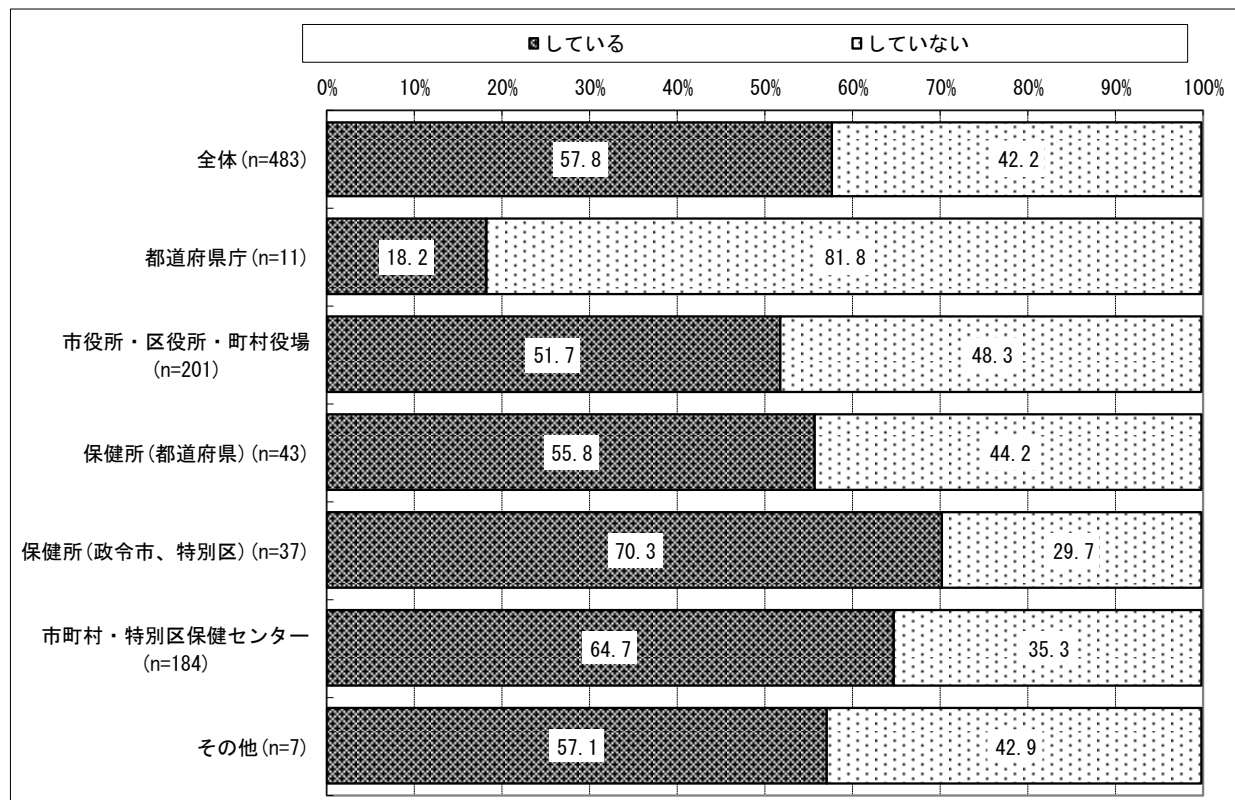


図 8-15 歯科予防処置の実施の有無

15. 実施している予防処置【Q55-1】

Q55 で歯科予防処置を「実施している」と回答した者を対象に、実施内容を全体でみると、「フッ化物歯面塗布」が 96.4%、「フッ化物洗口」が 29.7%、「予防的歯石除去」が 4.7%である（図 8-16）。

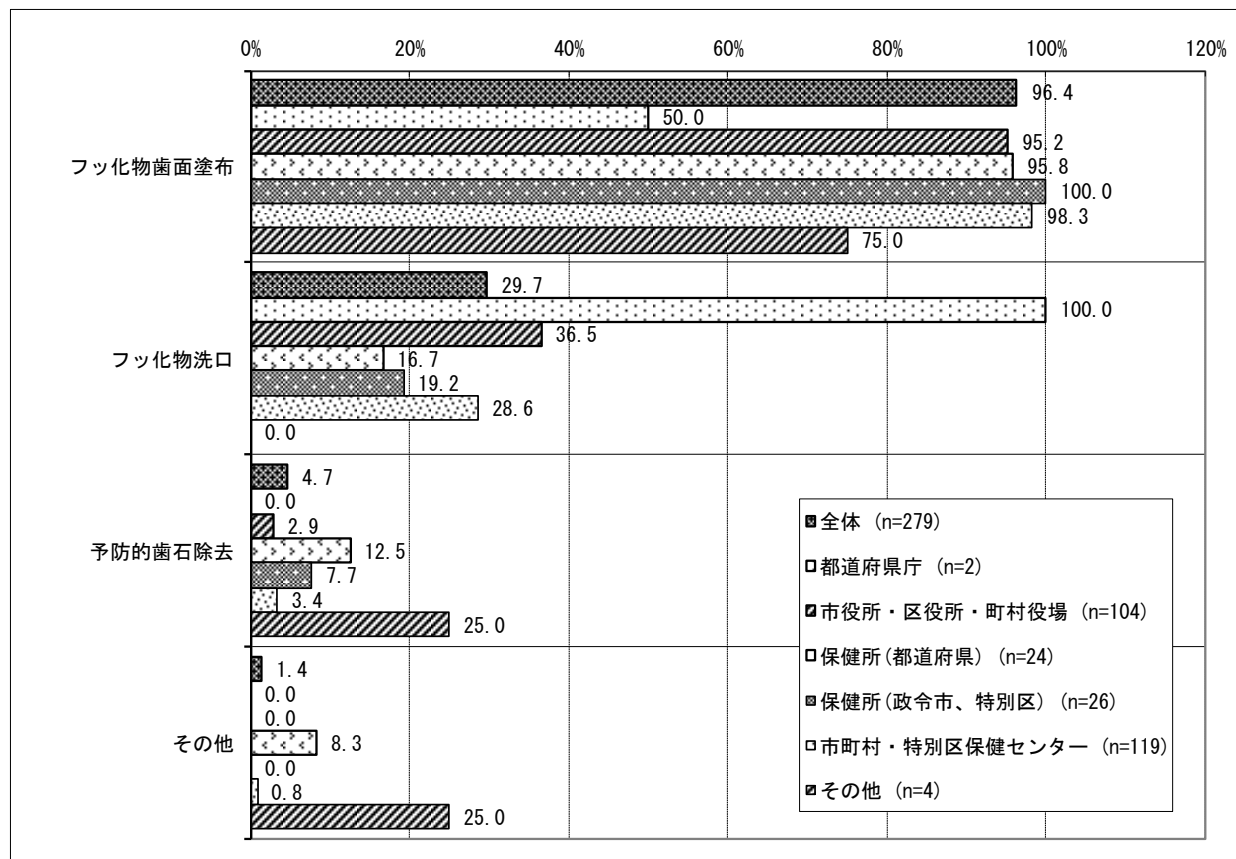


図 8-16 実施している予防処置〔複数回答〕

16. 訪問指導の実施の有無【Q56】

Q52 で対人サービスを「行っている」と回答した者を対象に、訪問指導の実施の有無を全体でみると、「している」が 42.4%、「していない」が 57.6%である。

勤務先別で実施「している」をみると、「保健所（都道府県）」が 58.1%、「市役所・区役所・町村役場」が 50.7%が多い（図 8-17）。

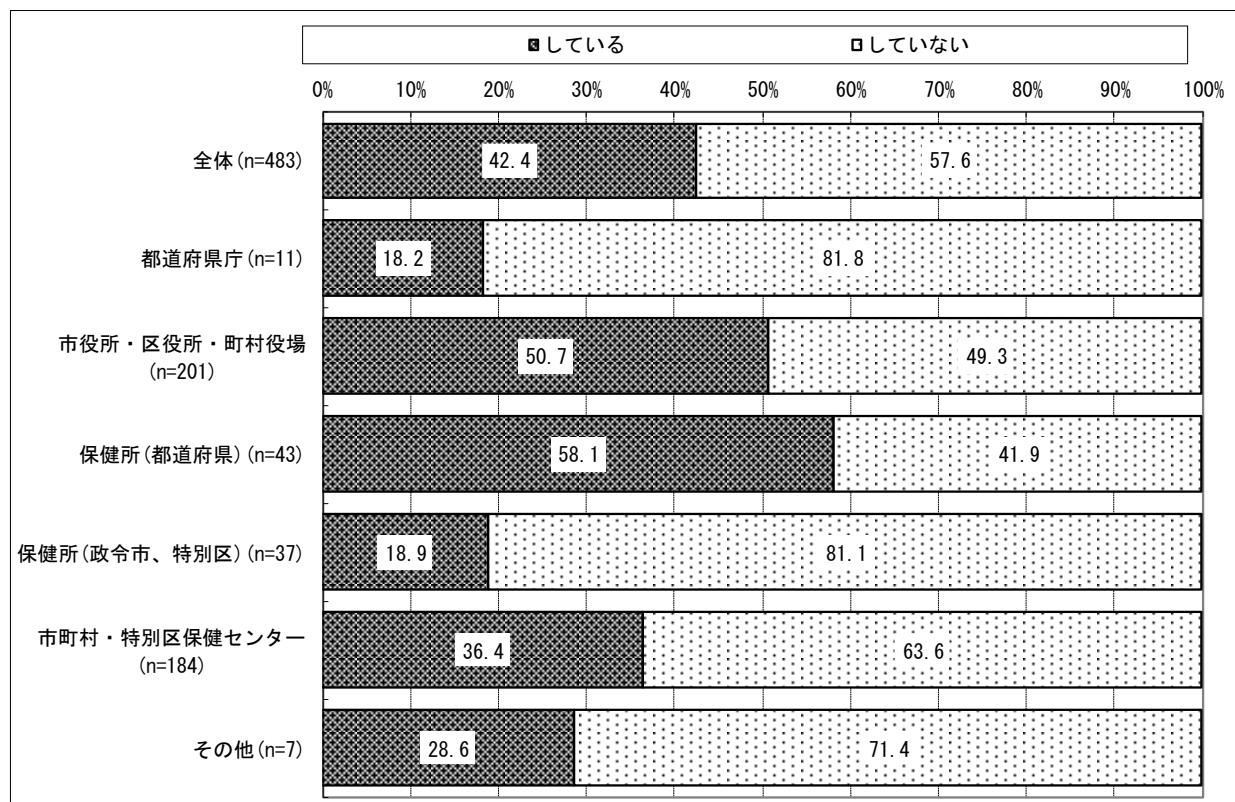


図 8-17 訪問指導の実施の有無

17. 訪問指導の対象者【Q56-1】

Q56 で訪問指導を「実施している」と回答した者について、訪問指導の対象者を全体でみると、「虚弱・要支援・要介護高齢者」が 58.0%、「乳幼児」が 41.0%、「障害（児）者」が 40.0%、「難病患者」が 18.5%、「精神障害者（ひきこもり者等を含む）」が 13.2%、「その他」が 15.6%である（図 8-18）。

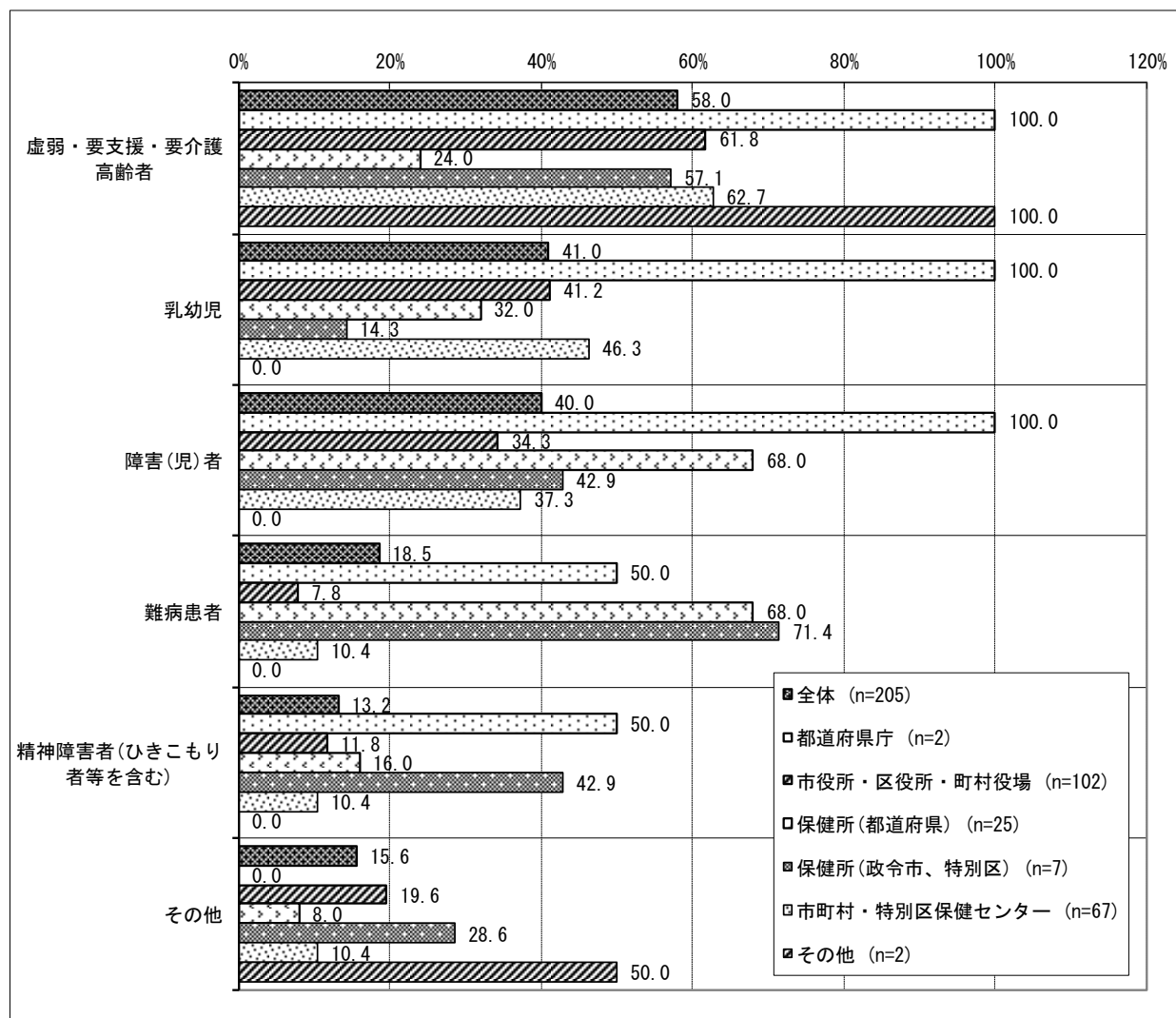


図 8-18 訪問指導の対象者〔複数回答〕

18. 歯科衛生士および他の専門職に対する研修・教育の企画の有無【Q57】

歯科衛生士および他の専門職に対する研修・教育の企画の有無を全体でみると、「している」が28.1%、「していない」が71.9%である。

勤務先別で企画「している」をみると、「保健所（都道府県）」が54.0%と多い（図8-19）。

就業形態別で企画「している」をみると、「常勤」が47.7%、「非常勤」が15.2%である（図8-20）。

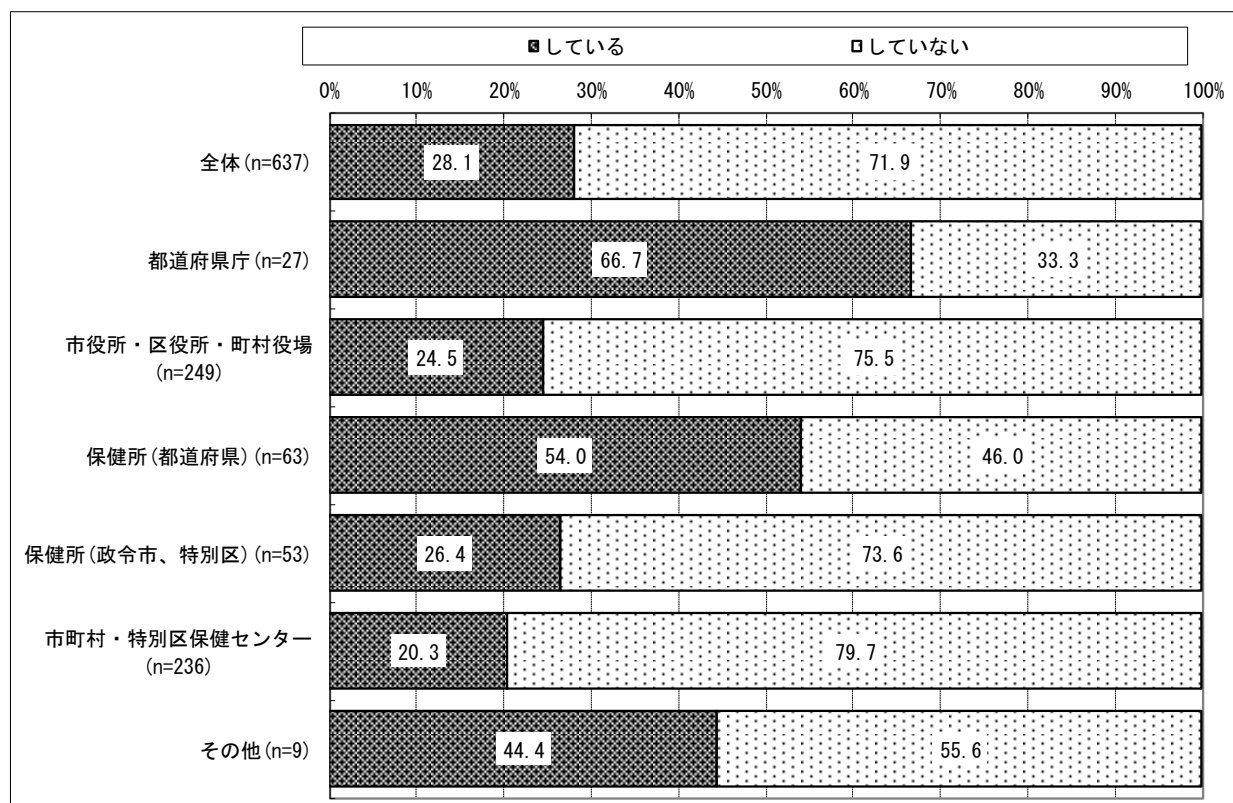


図 8-19 歯科衛生士および他の専門職に対する研修・教育の企画の有無

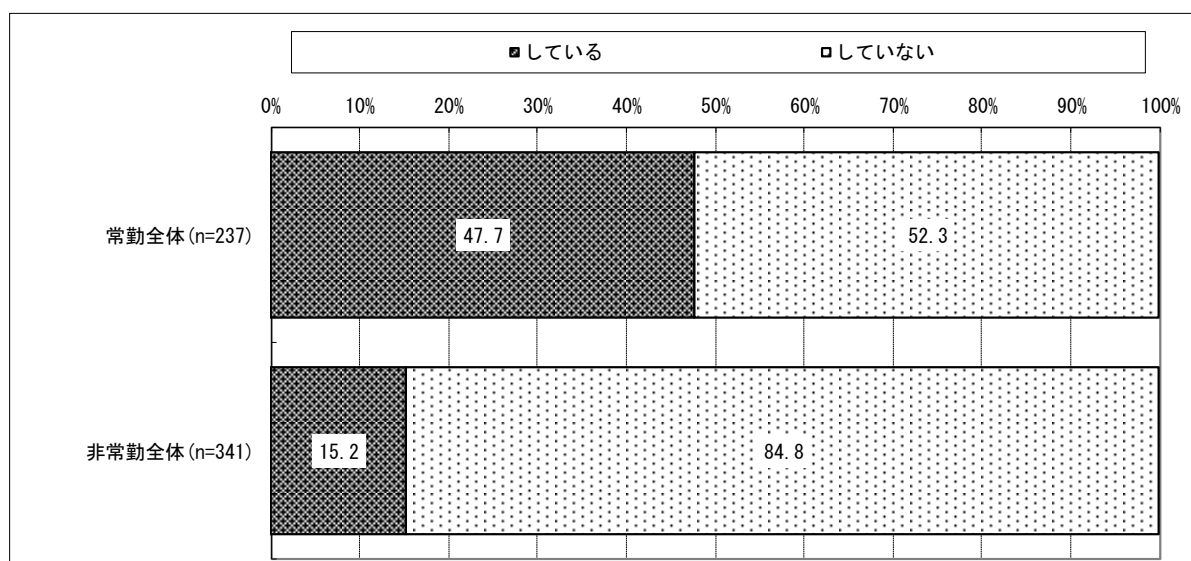


図 8-20 歯科衛生士および他の専門職に対する研修・教育の企画の有無（就業形態別）

19. 実施している研修・教育の企画【Q57-1】

Q57 で歯科衛生士および他の専門職に対する研修・教育を「企画している」と回答した者について、実施している研修・教育の企画を全体でみると、「市区町村単位の研修」が 53.1%、「保健所単位の研修」が 30.2%、「他団体と共催の研修」が 27.9%、「都道府県単位の研修」が 13.4%である（図 8-21）。

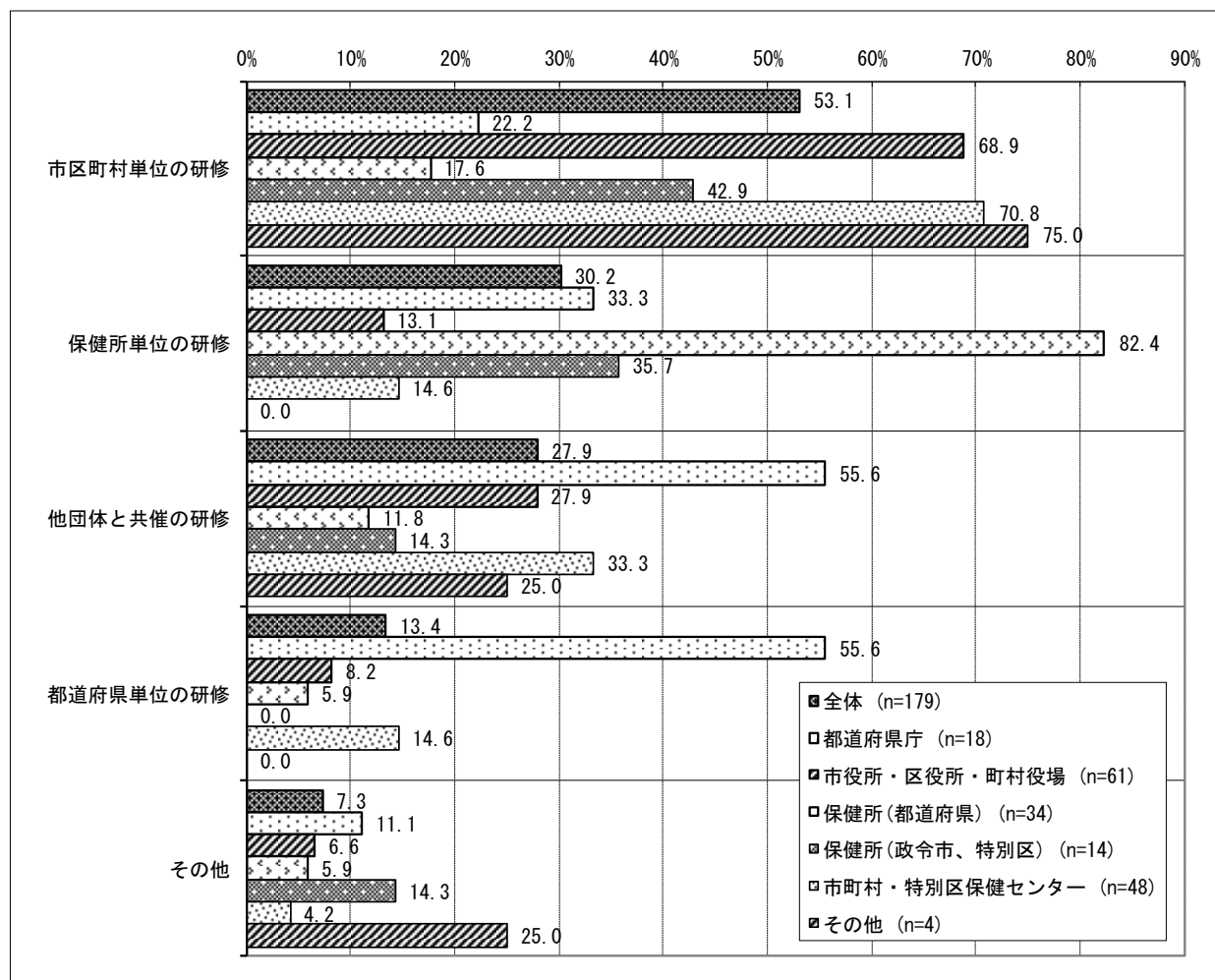


図 8-21 実施している研修・教育の企画〔複数回答〕

20. 企画や調整に参加している事業【Q58】

企画や調整に参加している事業を全体でみると、多い順に、「母子保健・学校保健に関すること」が64.5%、「健康増進に関すること」が54.2%、「介護予防事業に関すること」が49.8%、「健康づくり計画・地域歯科保健医療計画に関すること」が48.7%、「住民参加型の事業に関すること」が41.0%、「8020運動推進特別事業に関すること」が38.3%、「地域包括ケアシステムに関すること」が24.2%、「災害支援・災害受援計画等」が22.8%、「臨地実習に関すること」が15.1%、「歯科衛生士の人材育成、復職支援等」が14.8%である（図8-22）。

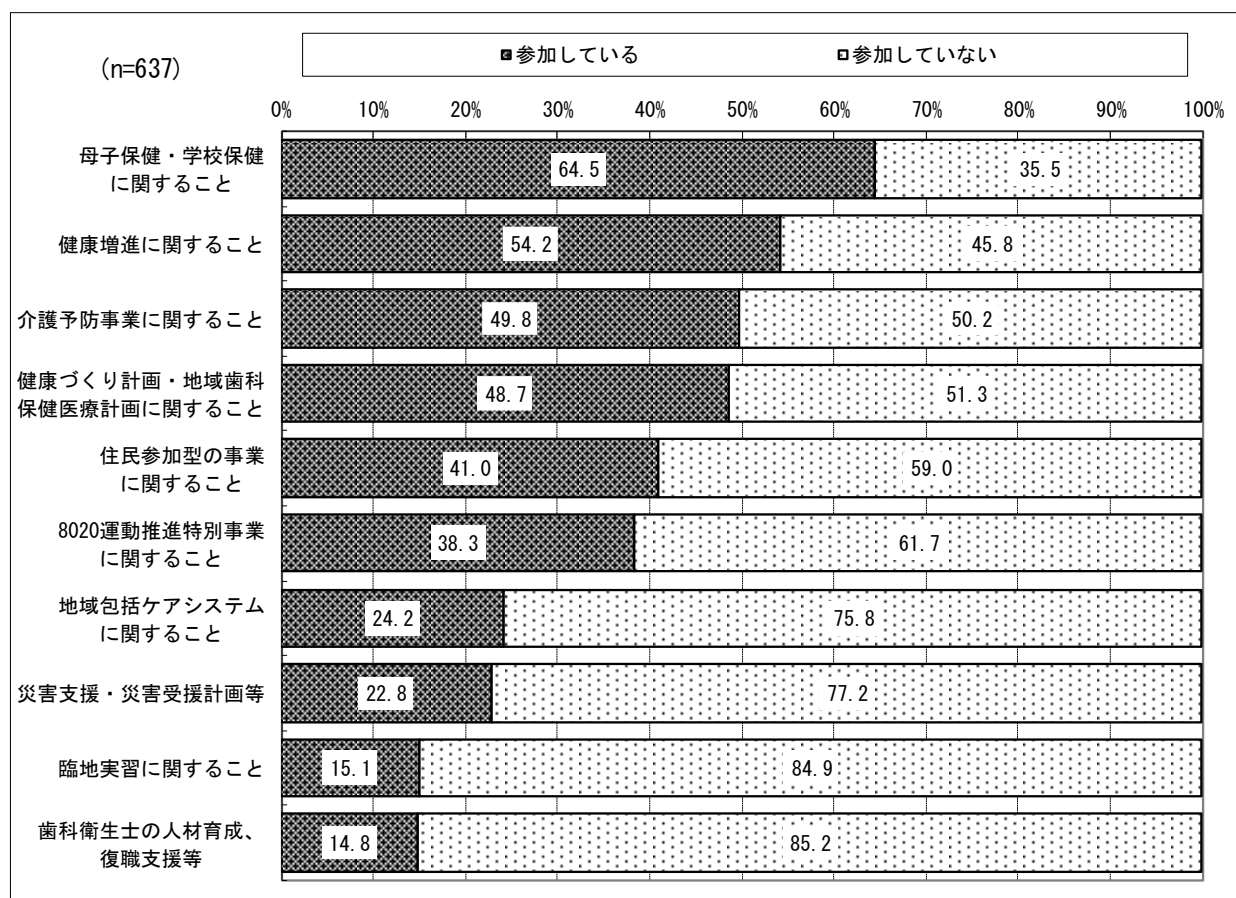


図 8-22 企画や調整に参加している事業（全体）

21. 食育に関する事業等に参加または協力の有無【Q59】

食育に関する事業等に参加または協力の有無を全体でみると、「している」が42.4%（前回44.8%、前々回26.7%）、「していない」が57.6%（前回54.3%、前々回69.1%）である。

勤務先別で参加・協力「している」を回答数30件以上でみると、「市役所・区役所・町村役場」が45.0%、「保健所（都道府県）」が44.4%で高い（図8-23）。

就業形態別で参加・協力「している」をみると、「常勤」が59.9%、「非常勤」が31.7%である（図8-24）。

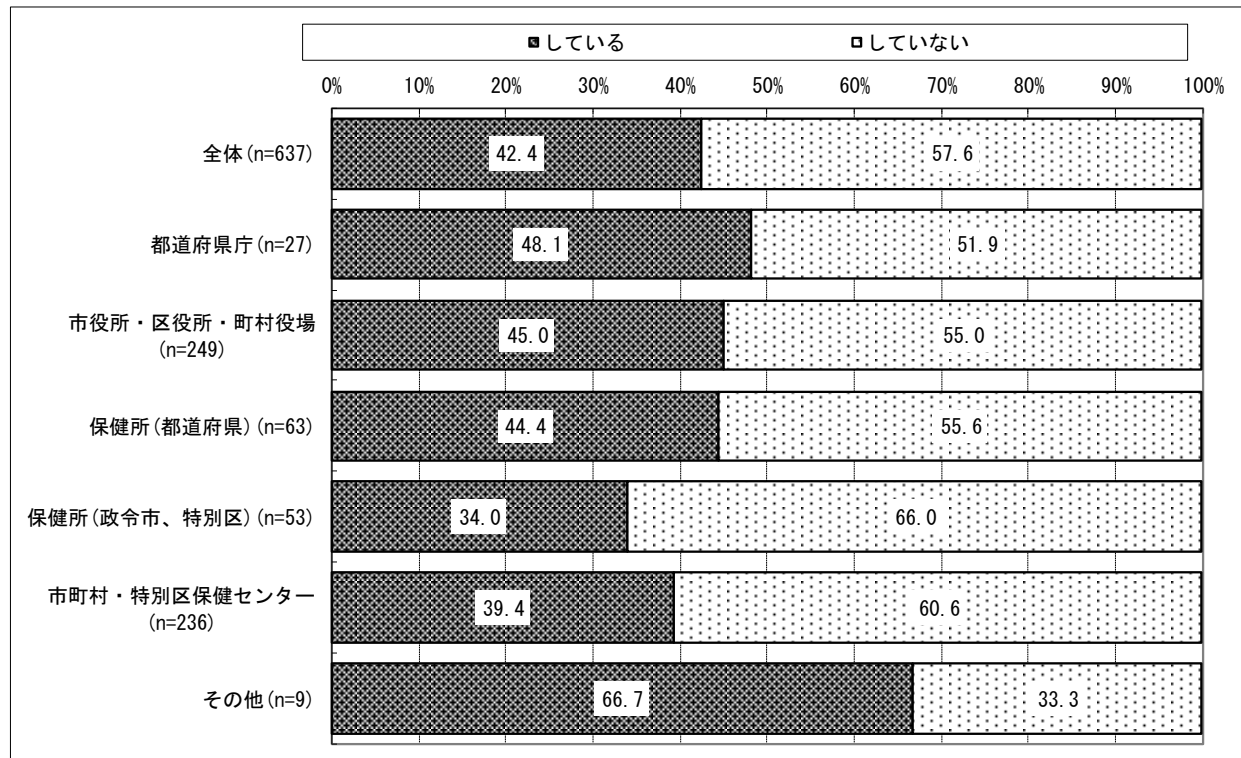


図 8-23 食育に関する事業等に参加または協力の有無

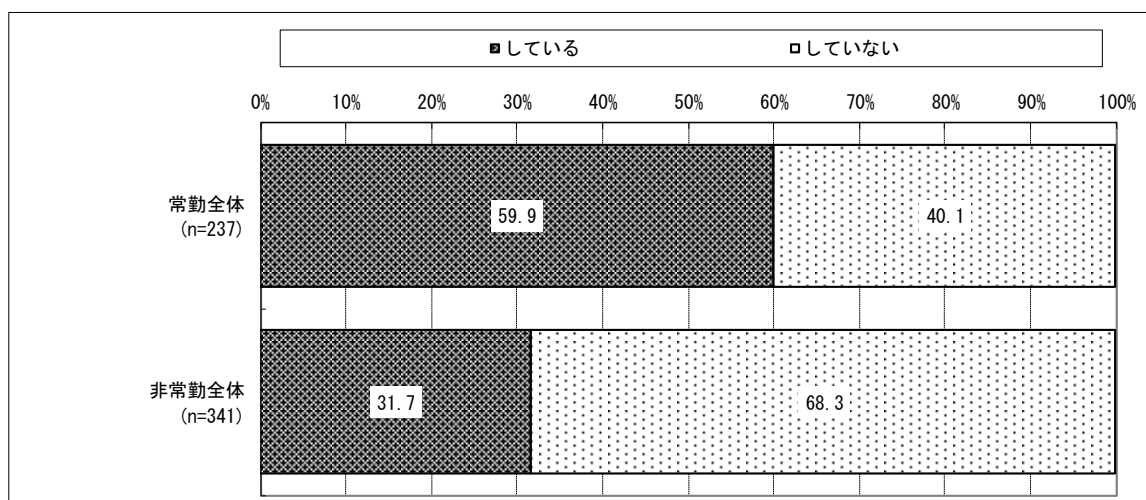


図 8-24 食育に関する事業等に参加または協力の有無（就業形態別）

22. 食育に関する事業等の対象者【Q59-1】

Q59 で食育に関する事業等に「参加・協力している」と回答した者について、事業等の対象者を全体でみると、「乳幼児」が74.1%、「高齢者」が39.3%、「保育所・幼稚園・認定こども園児」が37.4%、「妊産婦」が32.6%、「児童・生徒（小中高生）」が27.8%、「成人」が27.4%、「障害（児）者」が7.4%である（図8-25）。

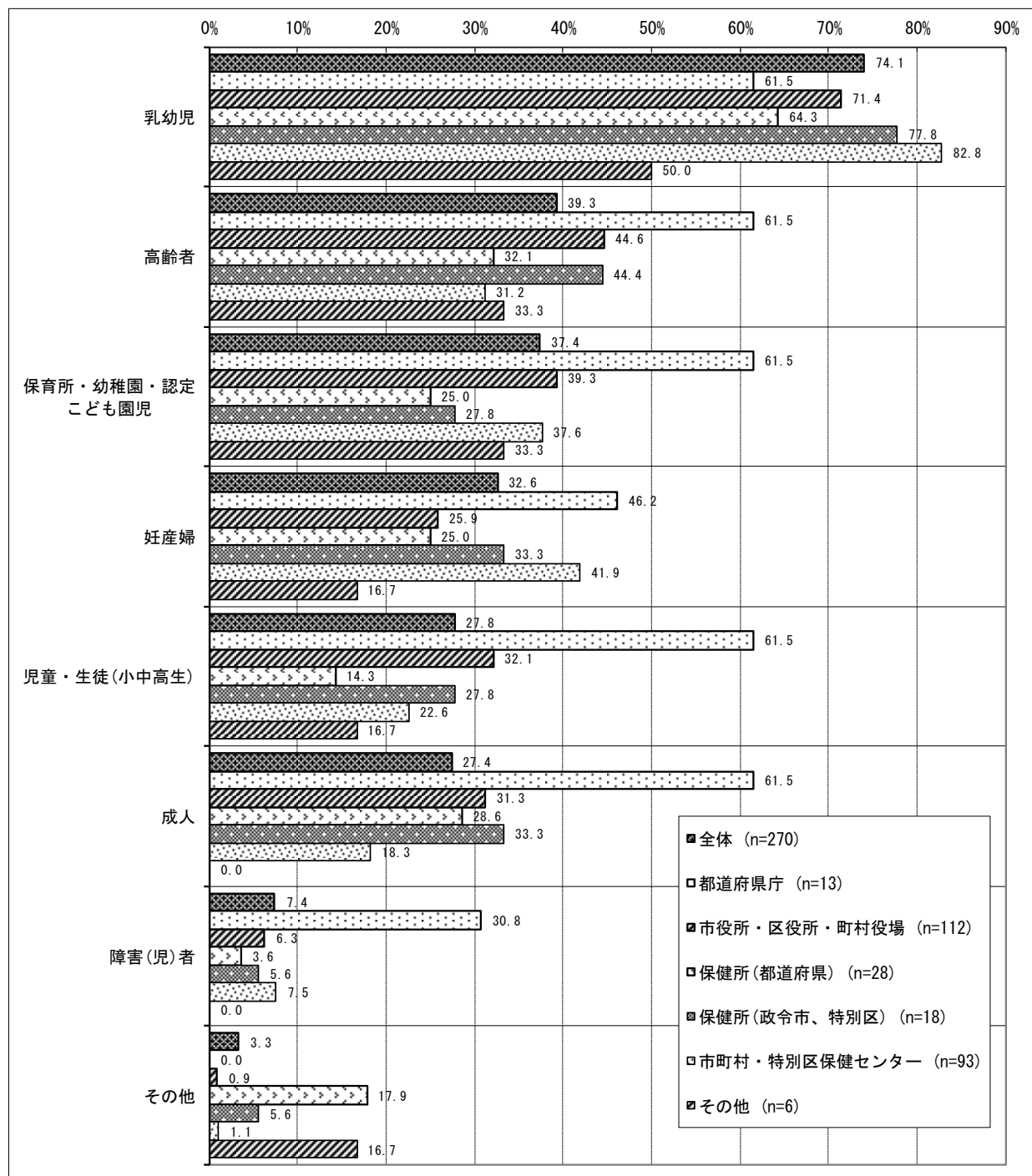


図8-25 食育に関する事業等の対象者〔複数回答〕

23. 食育に関する事業等で連携している職種【Q59-2】

Q59 で食育に関する事業等に「参加・協力している」と回答した者について、事業等で連携している職種を全体でみると、「管理栄養士・栄養士」が95.6%、「保健師」が57.4%、「歯科医師」が17.0%、「事務職」が8.1%、「看護師」が5.9%、「医師」が1.9%である（図8-26）。

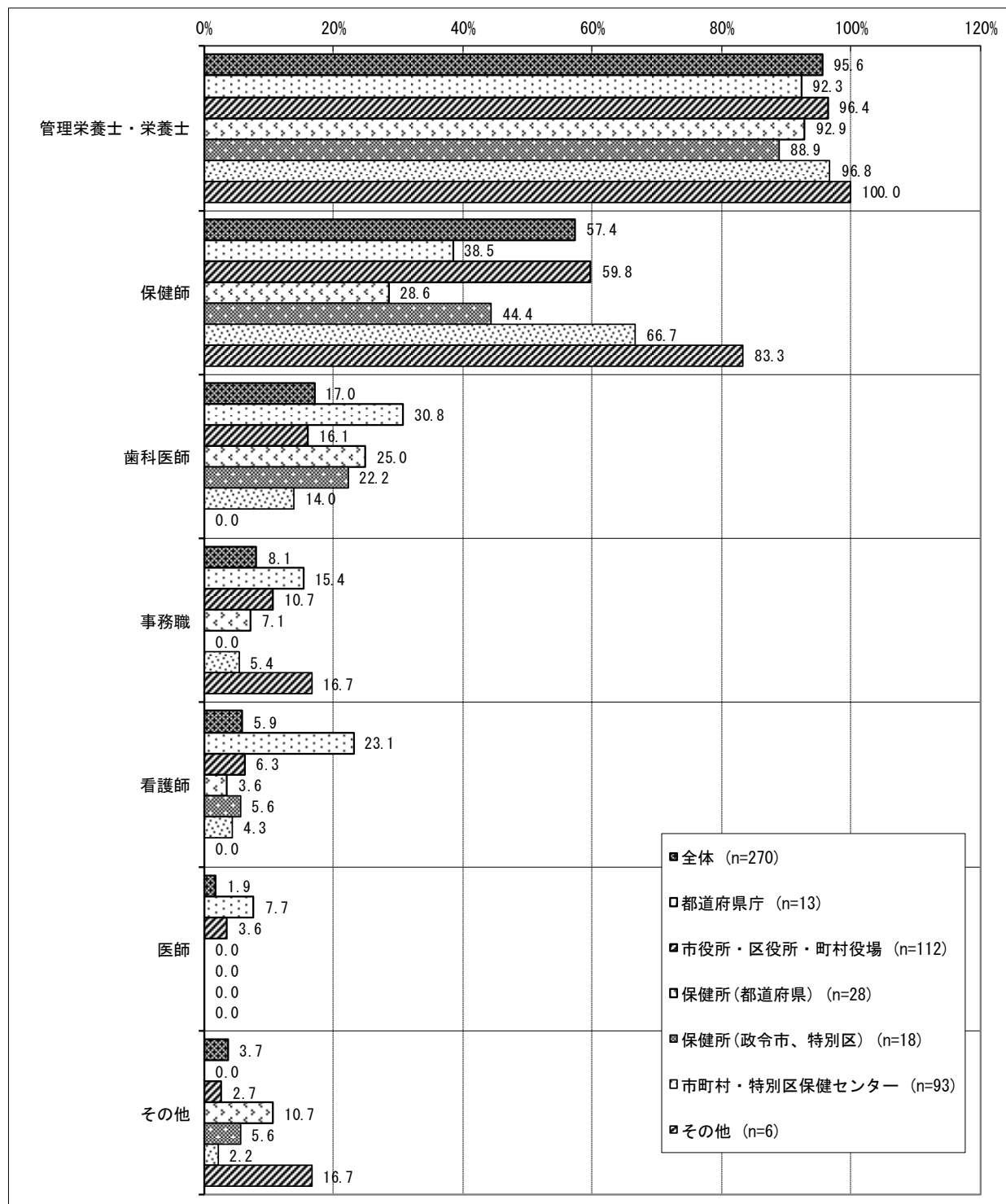


図8-26 食育に関する事業等で連携している職種〔複数回答〕

IX. 歯科衛生士教育養成機関

【歯科衛生士教育養成機関の回答者数は全体で 394 人である】

1. 勤務先の設置主体【Q60】

勤務先の設置主体を全体でみると、「学校法人」が 61.7%、「社団法人（一般・公益含む）」が 21.6%、「国公立」が 11.7%、「医療法人」が 2.5%、「財団法人（一般・公益含む）」が 0.8%である。

就業形態別で「学校法人」をみると、「常勤」が 63.6%、「非常勤」で 40.0%である（図 9-1）。

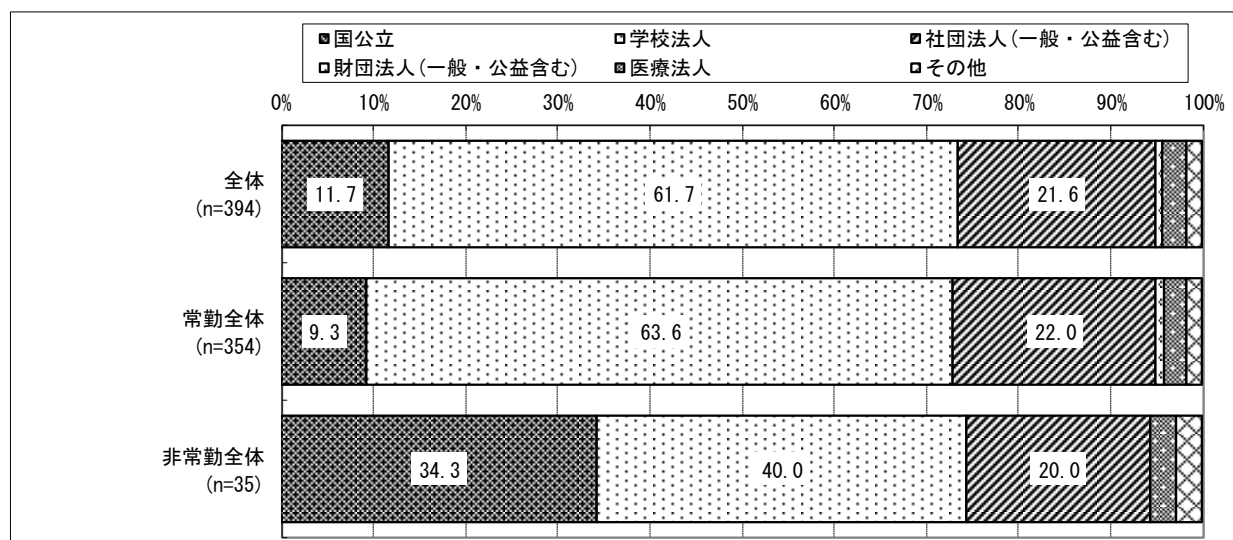


図 9-1 勤務先の設置主体

2. 教務経験年数【Q61】

教務経験年数を全体でみると、「10年以上20年未満」が33.8%、「5年以上10年未満」が21.1%、「20年以上30年未満」が14.2%、「30年以上」が11.7%、「1年以上3年未満」が10.7%、「3年以上5年未満」が5.1%、「1年未満」が3.6%である（図9-2）。

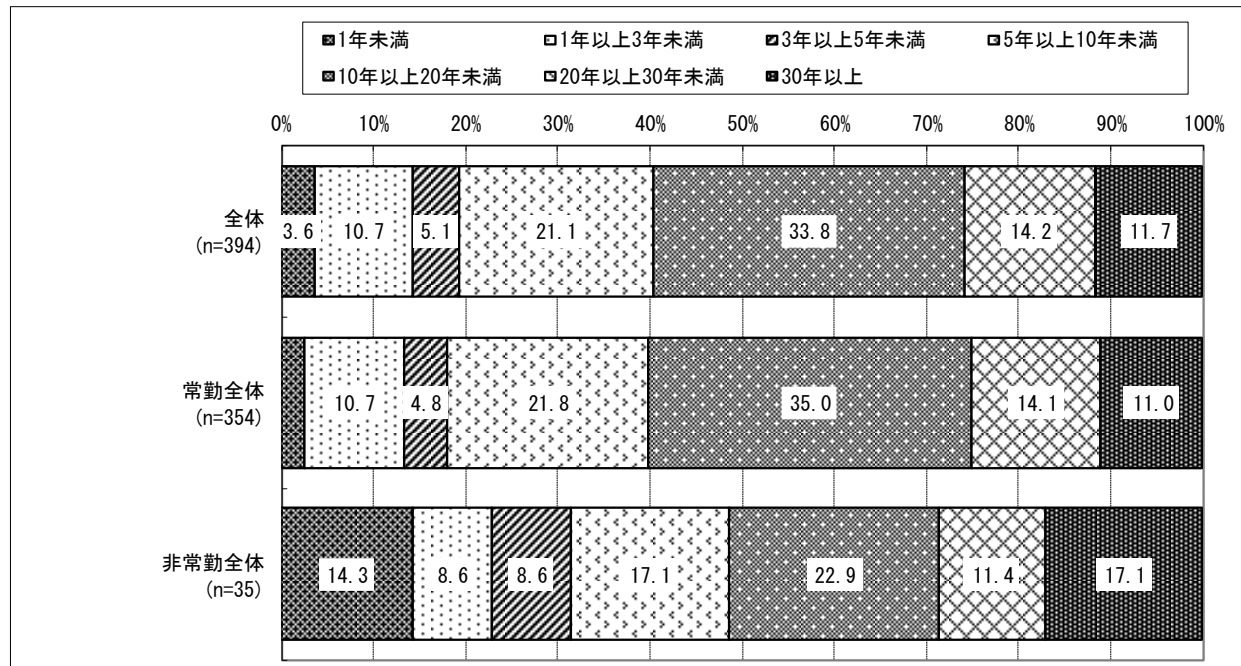


図 9-2 教務経験年数

3. 歯科衛生士としての業務に従事した職域【Q62】

歯科衛生士としての業務に従事した職域を「常勤」でみると、「診療所」が75.1%、「病院」が27.7%、「公衆衛生（地域保健・行政等）」が13.6%、「歯科衛生士教育養成機関」が12.7%、「事業所（企業・健康組合等）」が4.2%、「老人保健福祉施設」が2.0%、「社会福祉施設」が1.4%、「介護支援事業所」が1.4%である（図9-3）。

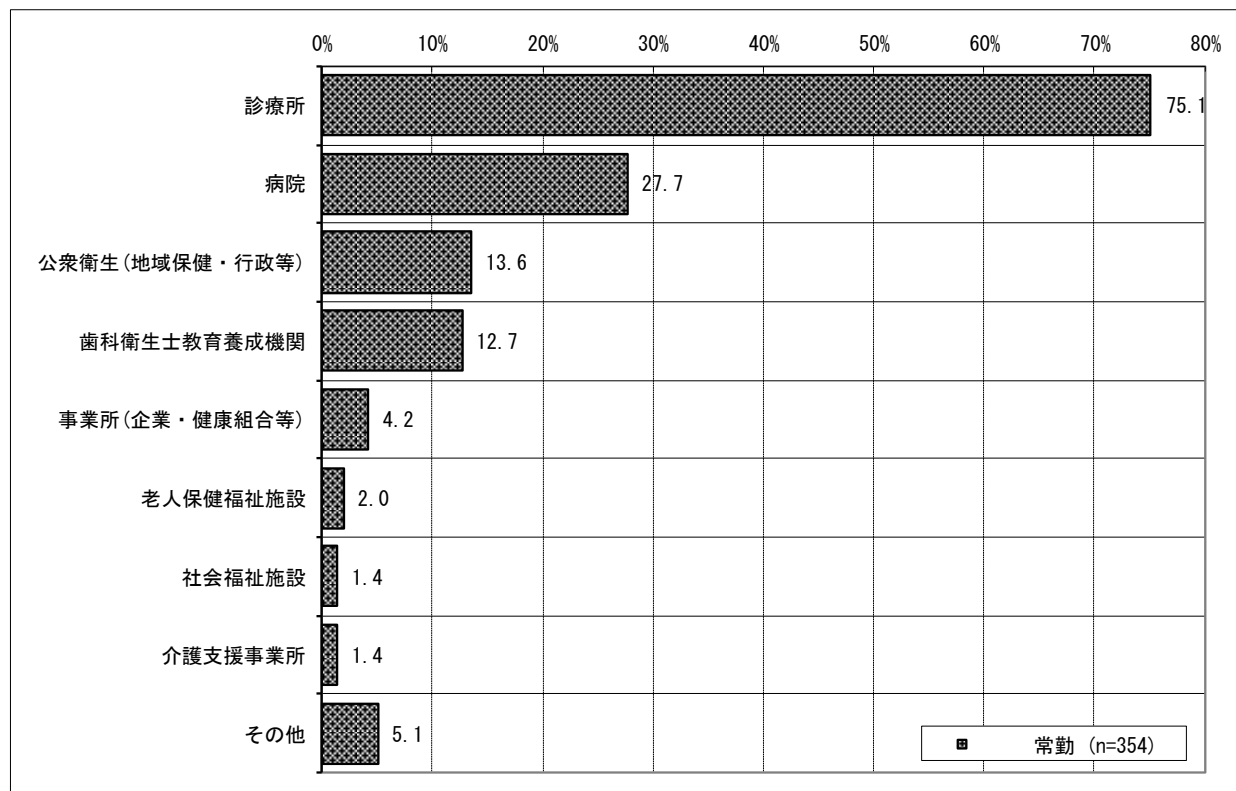


図9-3 歯科衛生士としての業務に従事した職域（常勤）〔複数回答〕

4. 学校での立場【Q63】

学校での立場を「常勤」でみると、「専任講師・教員」が40.1%、「教務（室長、科長、主任）」が24.9%、「講師」が8.5%、「助教」が8.2%、「教授」が6.5%、「准教授」が6.2%、「助手」が2.5%、「副校長」が0.6%、「学校長」が0.3%である（図9-4）。

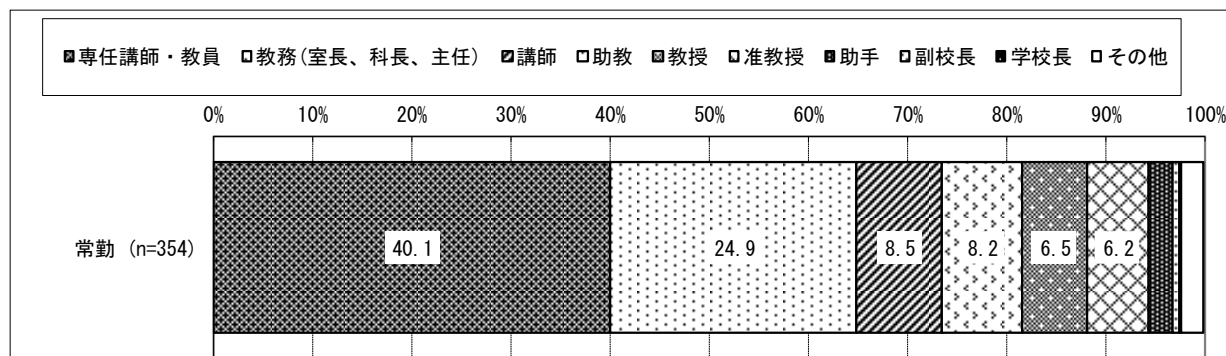


図9-4 学校での立場

5. 全国歯科衛生士教育協議会（全衛協）専任教員認定等の取得【Q64】

全国歯科衛生士教育協議会（全衛協）専任教員認定等の取得を「常勤」でみると、「取得している」が54.8%、「現在、取得中」が26.3%である。一方、「取得していない」は18.9%である（図9-5）。

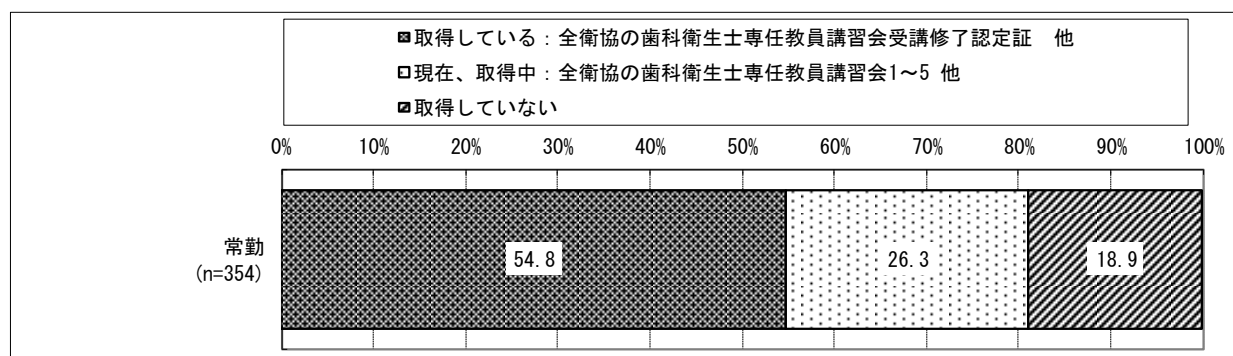


図9-5 全国歯科衛生士教育協議会（全衛協）専任教員認定等の取得（常勤）

6. 教員としての業務【Q65】

教員としての業務を「常勤」でみると、「教育」が98.9%、「生活指導」が77.1%、「社会貢献」が45.8%、「学校運営」が44.6%、「研究」が41.2%、「臨床」が35.0%である（図9-6）。

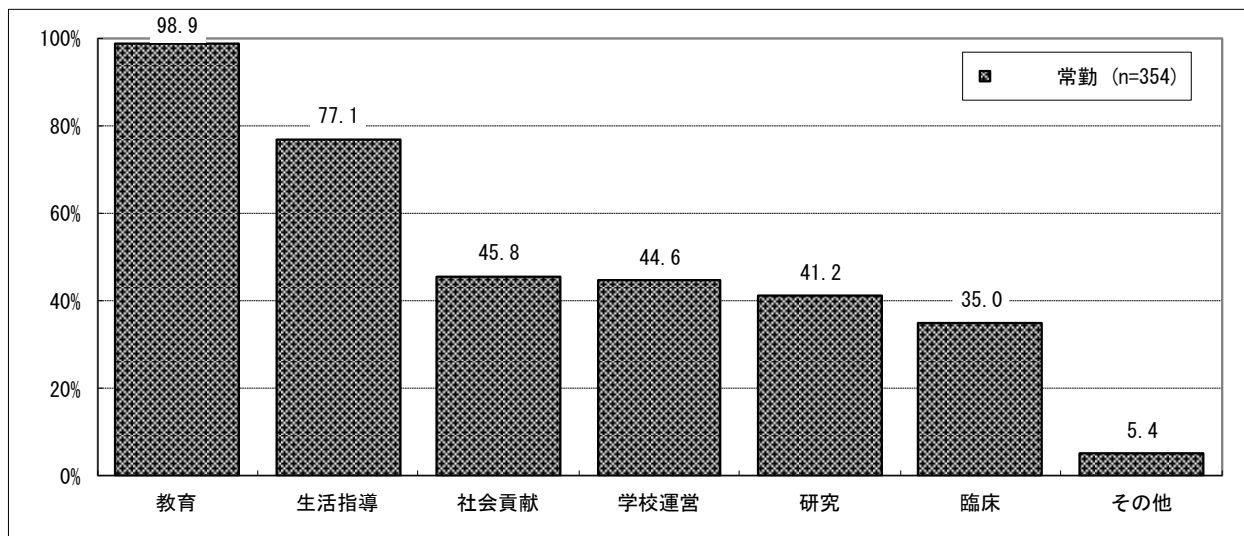


図9-6 教員としての業務（常勤）

7. 教職へのやりがい【Q68】

教職へのやりがいを「常勤」でみると、「非常にある」と「ややある」の合計は83.6%であり、ほとんどの者がやりがいを感じている。一方、「どちらともいえない」が14.1%、「ない」と「全くない」の合計は2.3%である（図9-7）。

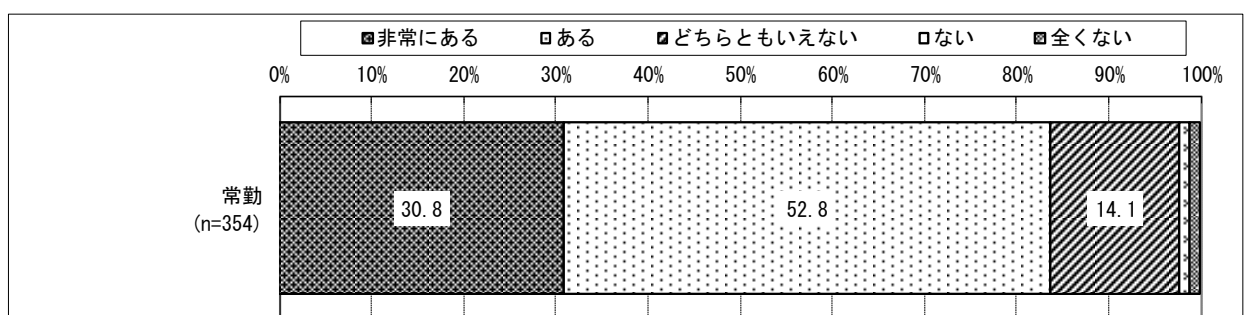


図9-7 教職へのやりがい（常勤）

8. 教職業務の改善要望の有無【Q69】

教職業務の改善要望の有無について「常勤」でみると、「ある」が 89.5%、「ない」が 10.5%であり、改善要望をしている割合が多い（図 9-8）。

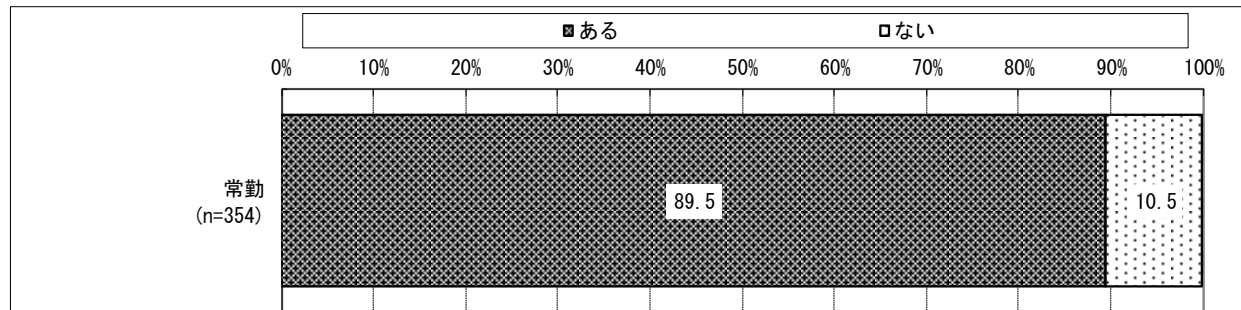


図 9-8 教職業務の改善要望の有無（常勤）

9. 最も改善してほしいこと【Q69-1】

Q69 で教員業務の改善要望が「ある」と回答した者を対象に、最も改善してほしいことを「常勤」でみると、「教育以外の業務に関すること」が 53.6%、「勤務体制に関すること」が 22.4%、「学校側と教員側の意見交換」が 8.8%、「講義・実習時間に関すること」が 8.5%である（図 9-9）。

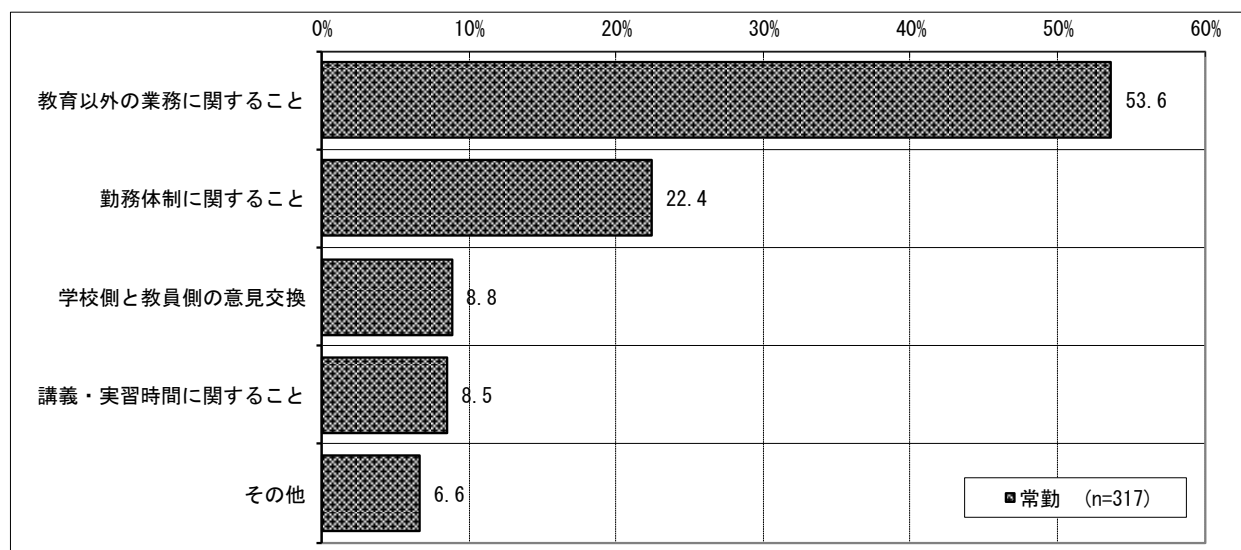


図 9-9 最も改善してほしいこと（常勤）

10. 現在、担当している講義、実習・演習【Q66-1】

現在、担当している講義を全体でみると、「d. 歯科保健指導論」が 40.6%、「b. 歯科予防処置論」が 38.1%、「c. 歯科診療補助論」が 35.3%、「a. 歯科衛生士概論」が 29.7%、「h. 歯科衛生研究」が 16.0%、「f. 摂食嚥下・訓練法」が 15.5%、「e. 栄養指導」が 11.9%、「g. 災害支援」が 9.6%である(図 9-10)。

「その他」の内訳を多い順でみると、「臨床実習」「臨地実習」「口腔保健管理」「国家試験対策」「口腔衛生学」である。

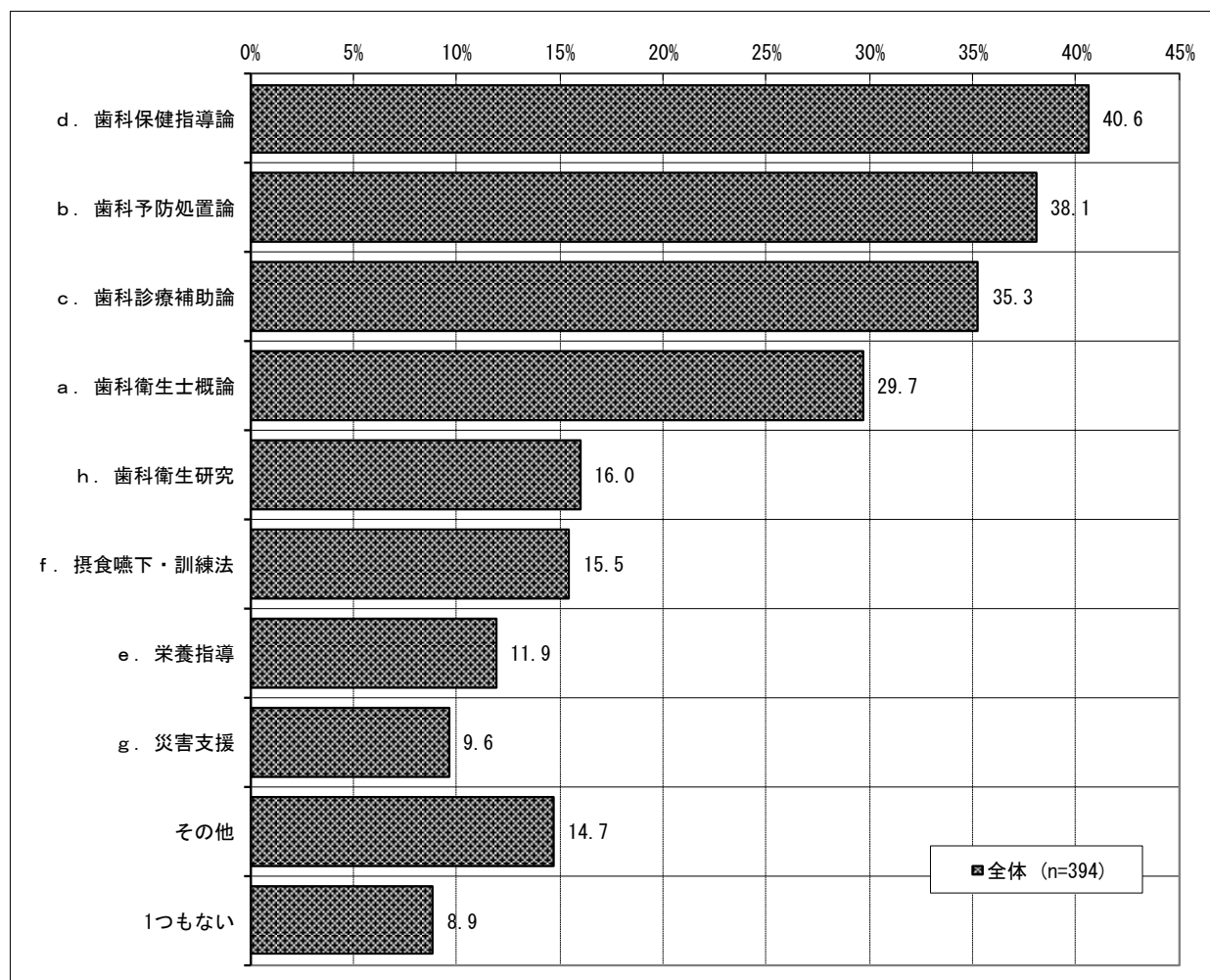


図 9-10 現在、担当している講義

現在、担当している実習・演習を全体でみると、「b. 歯科予防処置論」が 56.1%、「c. 歯科診療補助論」が 56.1%、「d. 歯科保健指導論」が 51.8%、「h. 歯科衛生研究」が 23.1%、「f. 摂食嚥下・訓練法」が 15.5%、「a. 歯科衛生士概論」が 7.1%、「e. 栄養指導」が 4.6%、「g. 災害支援」が 2.5%である（図 9-11）。

「その他」の内訳を多い順でみると、「臨床実習」「臨地実習」である。

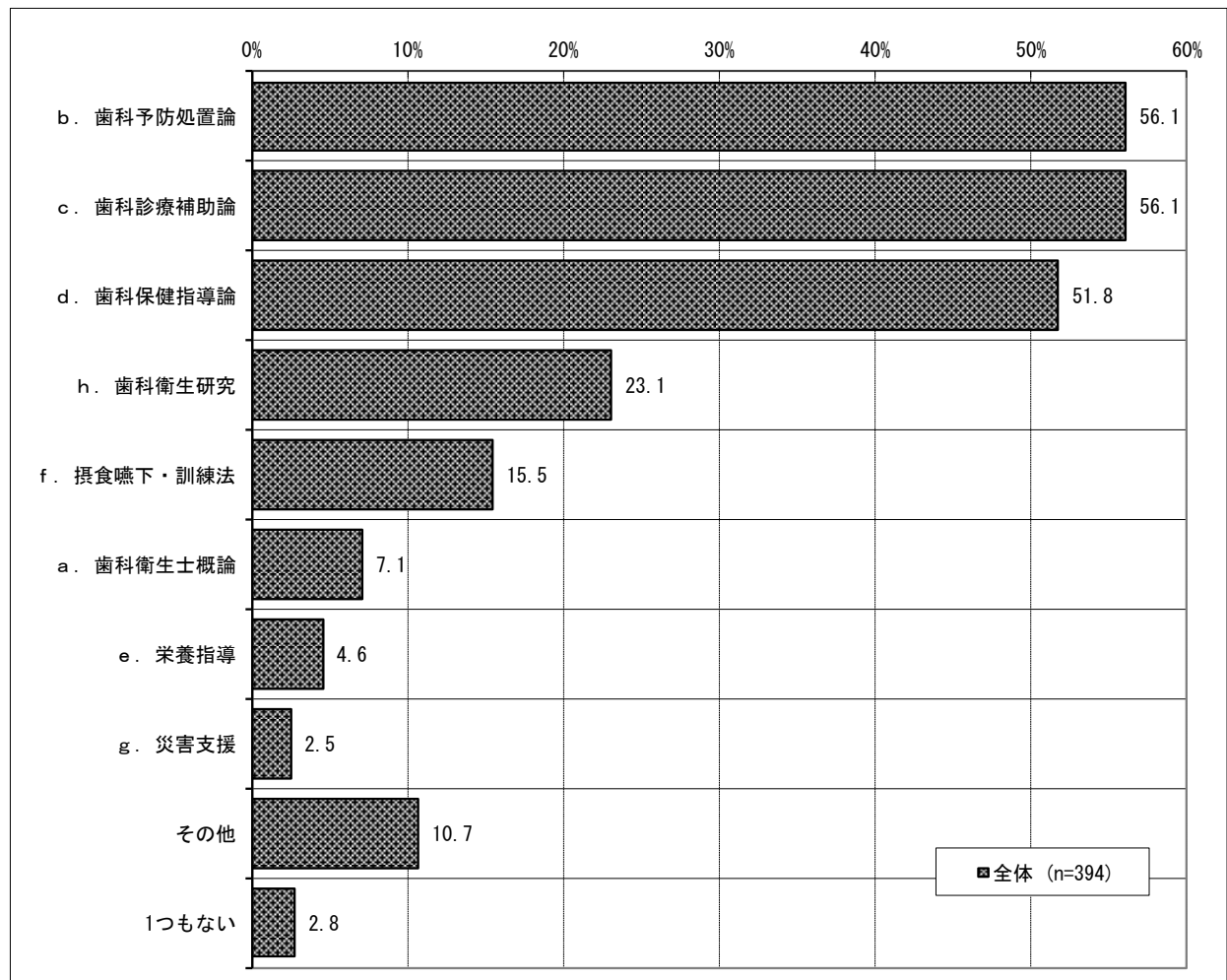


図 9-11 現在、担当している実習・演習

11. 歯科衛生士の教育を担当している専任教員の人員構成【Q67】

歯科衛生士の教育を担当している専任教員の人員構成を全体でみると、平均人数が最も多いのは「歯科衛生士」の6.5人である。「歯科衛生士」の分布は「6～9名」が41.9%、「4～5名」が38.6%、「10名以上」が12.4%、「3名」が7.1%である。

一方、「歯科医師」の平均人数は2.2人であり、その分布は「0名」が45.7%、「1名」が16.8%、「4～5名」が6.6%、「6～9名」が6.3%、「14.7%」が7.4%、「2名」が6.6%、「3名」が6.3%、「10名以上」が2.5%である。また、「看護師・保健師」、「介護福祉士」、「社会福祉士」は「0人」の割合が8割から9割を超えている（図9-12）。

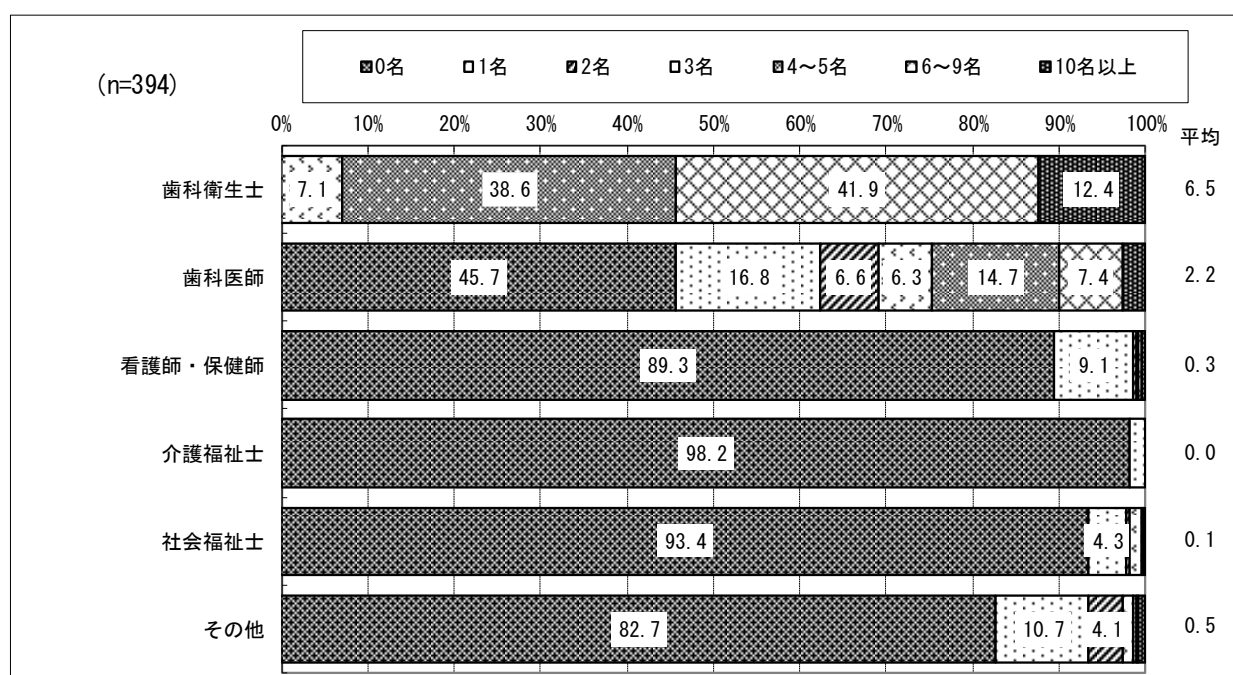


図 9-12 歯科衛生士の教育を担当している専任教員の人員構成

12. 教員評価の実施状況【Q70】

教員評価の実施状況を全体でみると、「学生から評価されている」が 67.3%、「上司から評価されている」と「自己評価を提出している」が 57.6%、「評価は行っていない」が 9.4%である（図 9-13）。

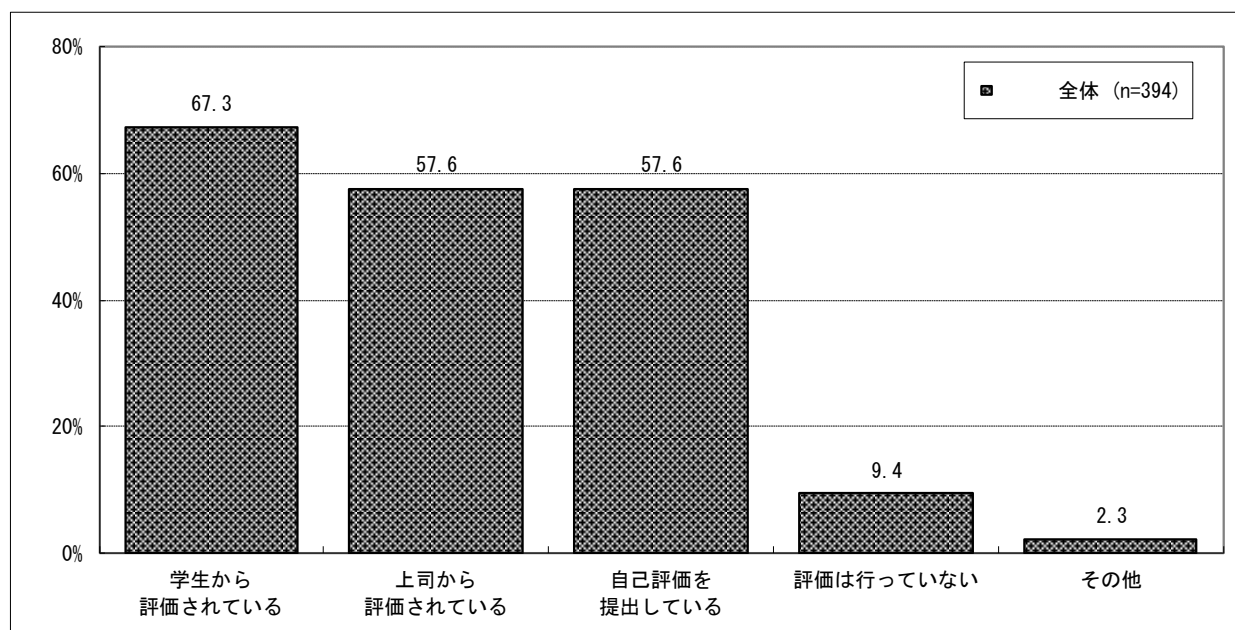


図 9-13 教員評価の実施状況〔複数回答〕

13. 教員評価の必要性【Q70-1】

教員評価の必要性を全体でみると、「必要である」と「ある程度必要」の合計が 98.2%であり、ほとんどの回答者が必要性を感じている（図 9-14）。

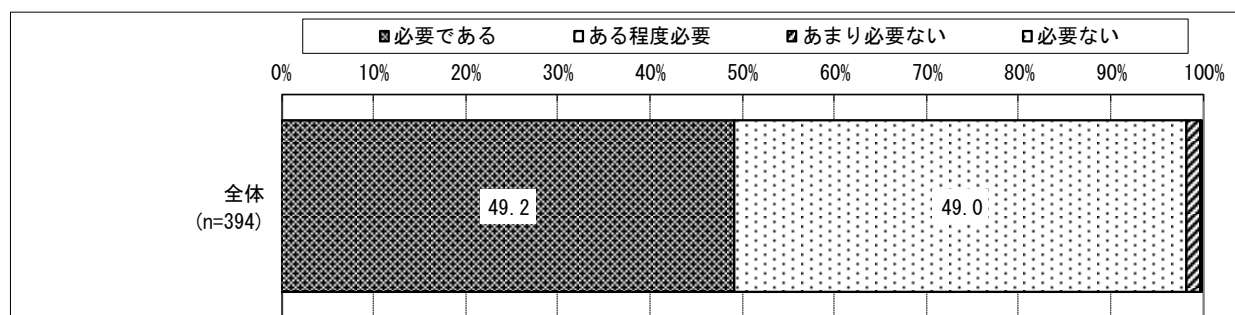


図 9-14 教員評価の必要性

14. 教員評価の昇進・昇給への反映状況【Q70-2】

教員評価の昇進・昇給への反映状況を全体でみると、反映「されている」と「ややされている」の合計が 39.9%、一方、反映が「あまりされていない」と「されていない」の合計は 60.2%である（図 9-15）。

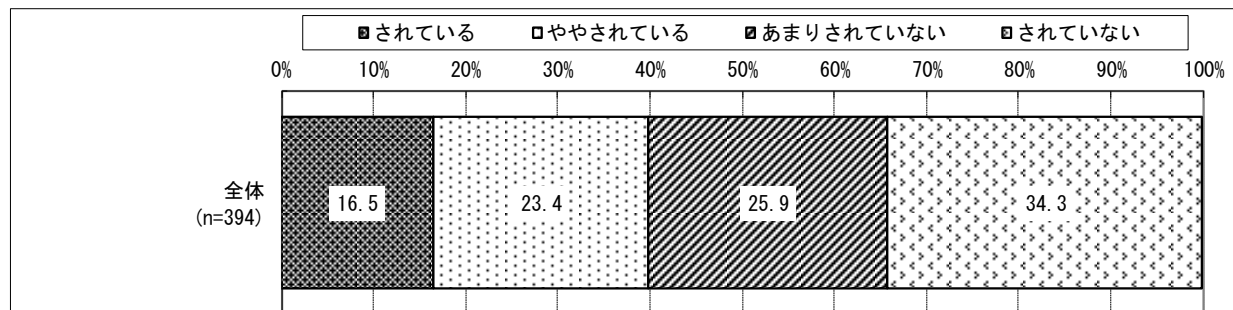


図 9-15 教員評価の昇進・昇給への反映状況

15. 教員評価に関与する項目【Q70-3】

Q70-2 で教員評価の昇進・昇給が「反映されている、やや反映されている」と回答した者について、教員評価に関与する項目を全体でみると、「学生からの授業・実習等の評価」が 58.6%、「論文等の発表」が 43.9%、「学会等の発表」が 42.0%、「学会・研修会等への参加」が 26.1%、「学生の補講・相談」と「広報活動」が 25.5%、「学会・関連団体等の役員歴」が 16.6%である（図 9-16）。

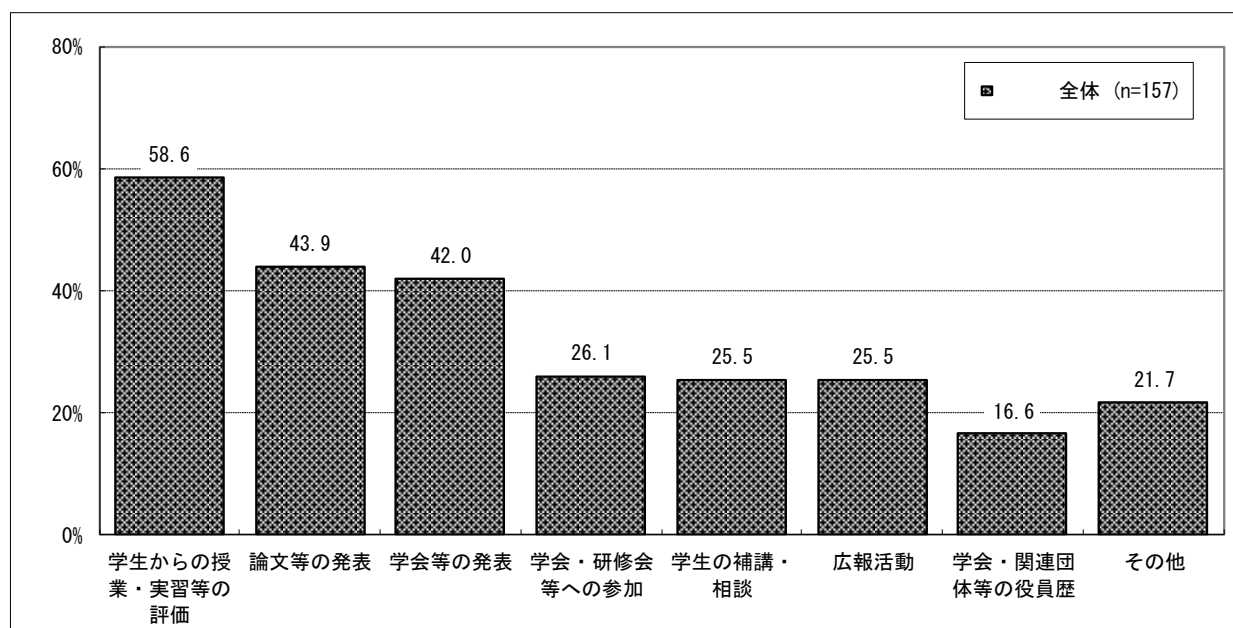


図 9-16 教員評価に関与する項目〔複数回答〕

学生の臨床実習・臨地実習について

16. 実習先別担当指導員の有無【Q71】

実習先別担当指導員の有無を担当指導員が「いる」でみると、「歯科医院実習」が 91.6%、「病院実習」が 90.6%、「保健所、保健センター実習」が 66.0%、「介護・福祉施設実習」が 45.7%である。一方、担当指導員が「いない」では「介護・福祉施設実習」が 29.7%で最も多い（図 9-17）。

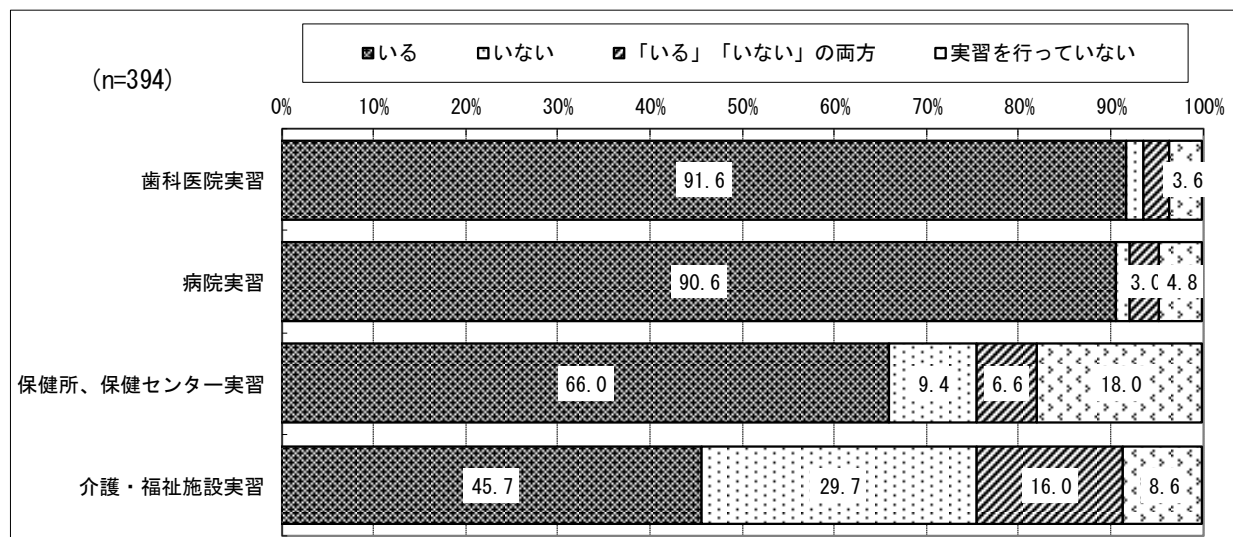


図 9-17 実習先別担当指導員の有無

17. 実習担当指導者との連絡会議の実施の有無【Q72】

実習担当指導者との連絡会議の実施の有無を全体でみると、「実施している」が 86.0%、「実施していない」が 14.0%である（図 9-18）。

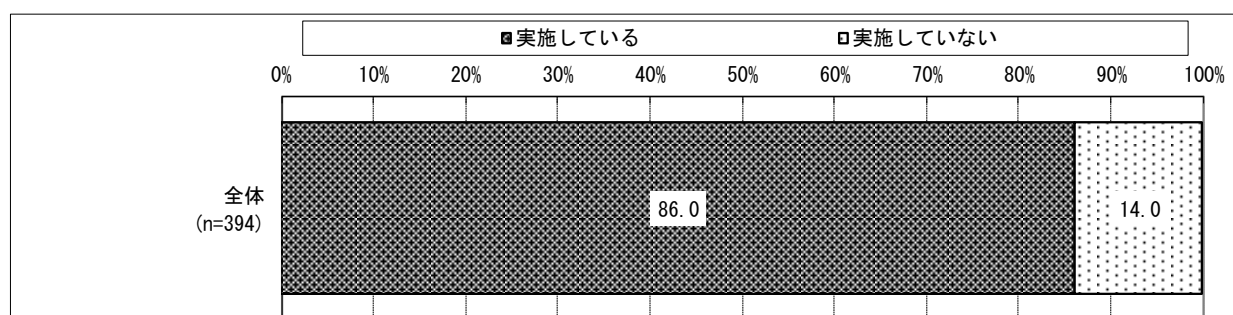


図 9-18 実習担当指導者との連絡会議の実施の有無

18. 臨床実習・臨地実習施設との連携【Q73】

臨床実習・臨地実習施設との連携を全体でみると、「十分に連携を図っている」が 42.1%、「年に何度か連携を図っている」が 31.7%、「必要なことが生じたら連携を図っている」が 24.9%、「全て任せている」が 1.3%である。

年齢別で「十分に連携を図っている」をみると、「40～44 歳」が 51.1%、「30～34 歳」が 48.0%、「25～29 歳」が 46.7%、「35～39 歳」が 44.7%、「45～49 歳」が 44.2%、「50～54 歳」が 38.1%、「55 歳以上」が 37.9%である。

就業形態別で「十分に連携を図っている」をみると、「常勤」が 41.8%、「非常勤」が 48.6%である（図 9-19）。

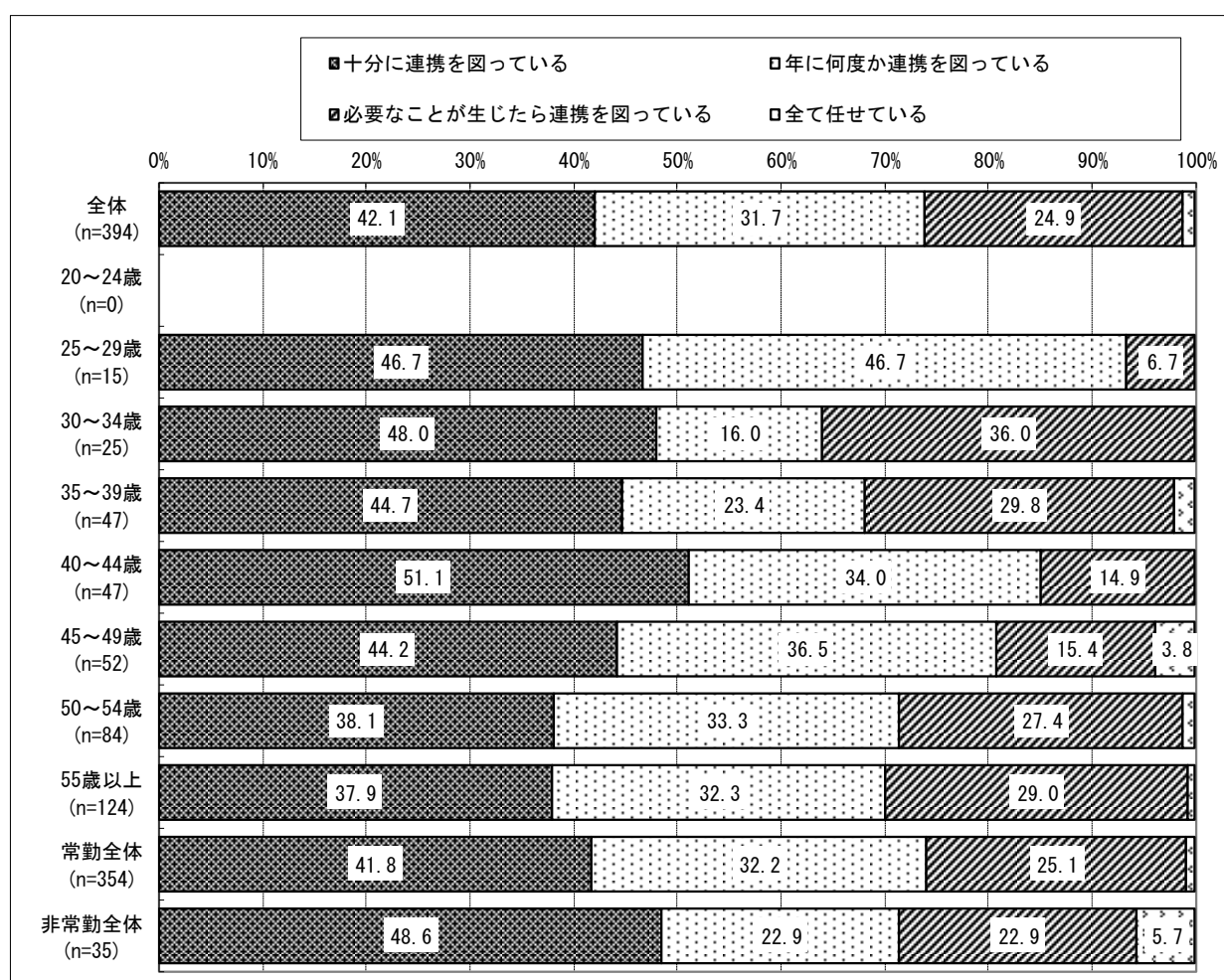


図 9-19 臨床実習・臨地実習施設との連携

19. 「臨床実習指導事例集」「臨地実習講義・習得表」活用の有無【Q74】

「臨床実習指導事例集」「臨地実習講義・習得表」活用の有無を全体でみると、「活用している」が 50.5%、「活用していない」が 49.5%である。

年齢別で「活用している」をみると、35 歳以上から上昇傾向がある（図 9-20）。

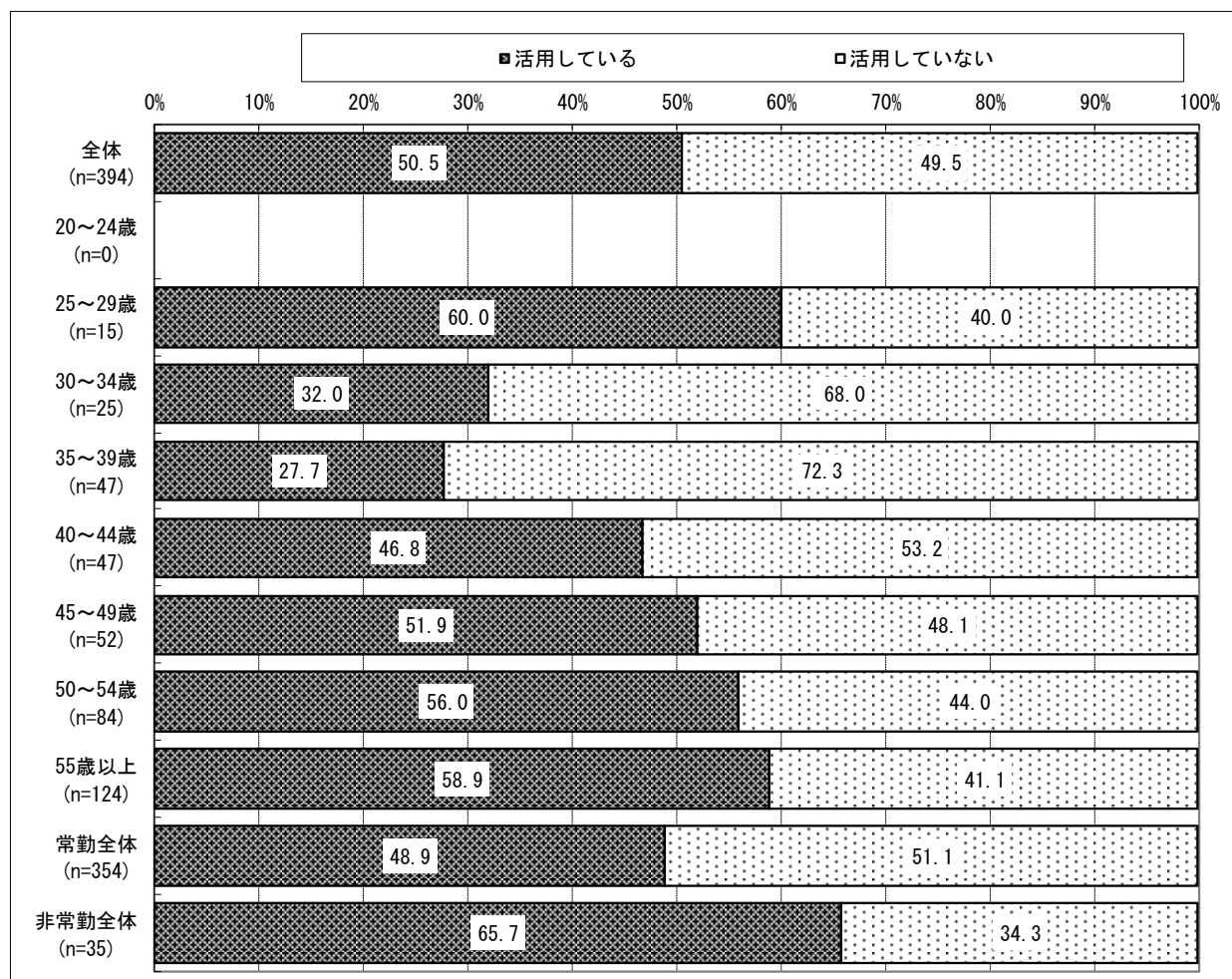


図 9-20 「臨床実習指導事例集」「臨地実習講義・習得表」活用の有無

20. 今後の活用の意向【Q74-1】

Q74 で臨床実習指導事例集や臨地実習講義・習得表を「活用していない」と回答した者を対象に、今後の活用の意向を全体でみると、「どちらともいえない」が 61.0%、「今後、活用を考えている」が 26.2%、「活用する予定はない」が 12.8%である。

年齢別で「今後、活用を考えている」をみると、「40～44 歳」が 32.0%、「55 歳以上」が 31.4%でやや多い。

就業形態別で「今後、活用を考えている」をみると、「常勤」が 26.5%、「非常勤」は 16.7%である（図 9-21）。

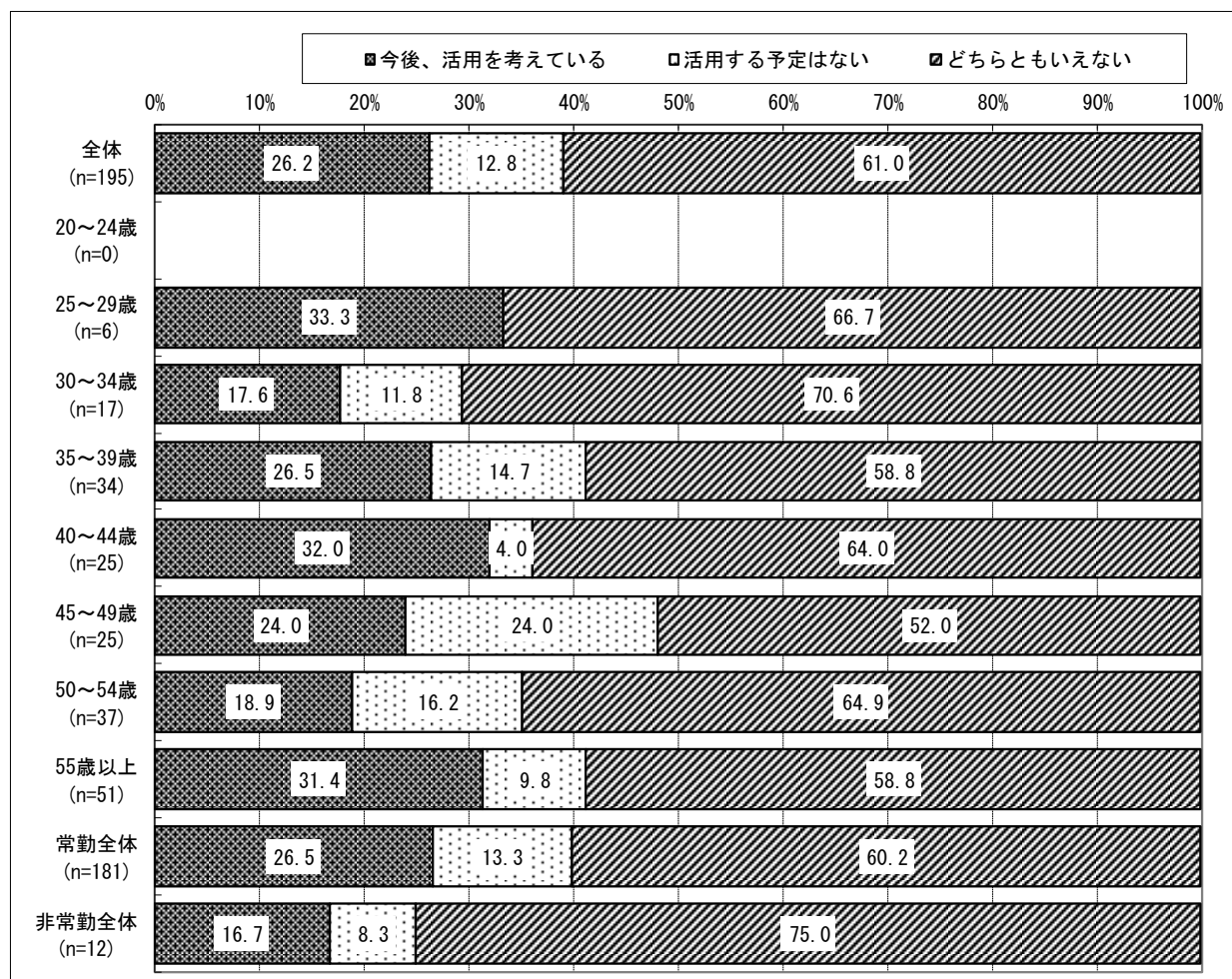


図 9-21 今後の活用の意向

21. 実習中の学生のヒヤリハットの経験【Q75】

実習中の学生のヒヤリハットの経験を全体でみると、「直接学生から聞いた」が 59.1%、「聞いたことがない」が 23.4%、「他の教員や人伝てに聞いた」が 9.1%、「実習先から聞いた」が 8.4%である。

就業形態別で「直接学生から聞いた」をみると、「常勤」が 60.7%、「非常勤」が 48.6%である。また、「他の教員や人伝てに聞いた」では「常勤」が 8.2%、「非常勤」が 17.1%である（図 9-22）。

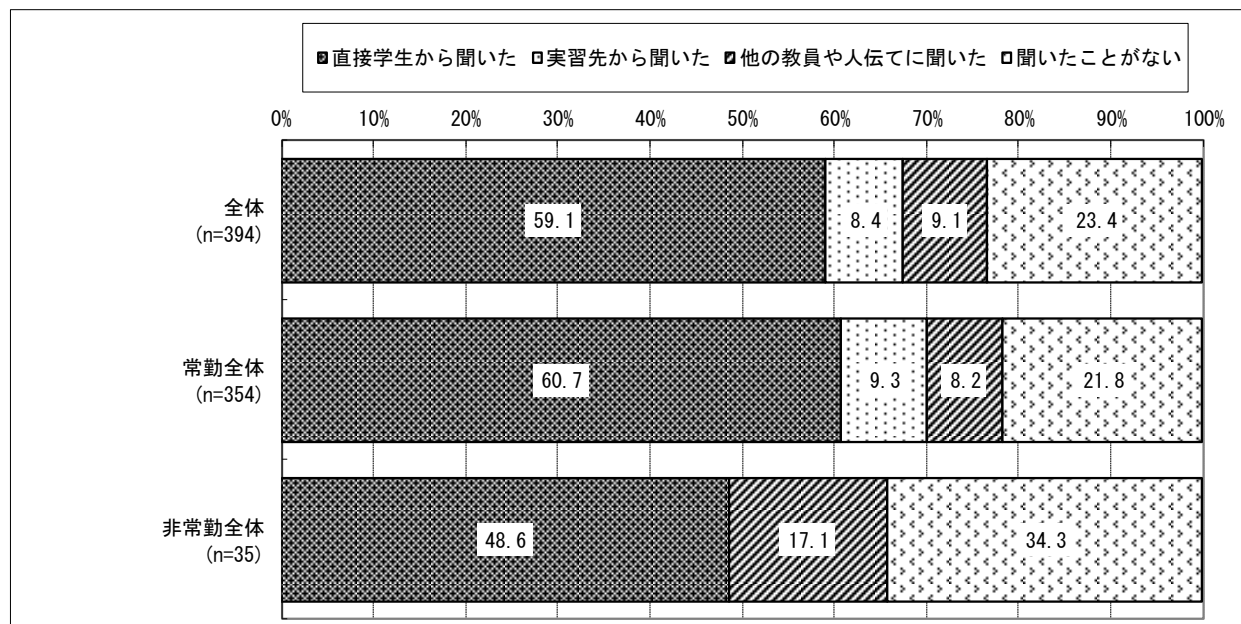


図 9-22 実習中の学生のヒヤリハットの経験

22. 同窓会組織の有無【Q76】

同窓会組織の有無を全体でみると、組織が「ある」が81.5%、「ない」が18.5%である。

就業形態別で組織が「ある」をみると、「常勤」が83.3%、「非常勤」が65.7%である（図9-23）。

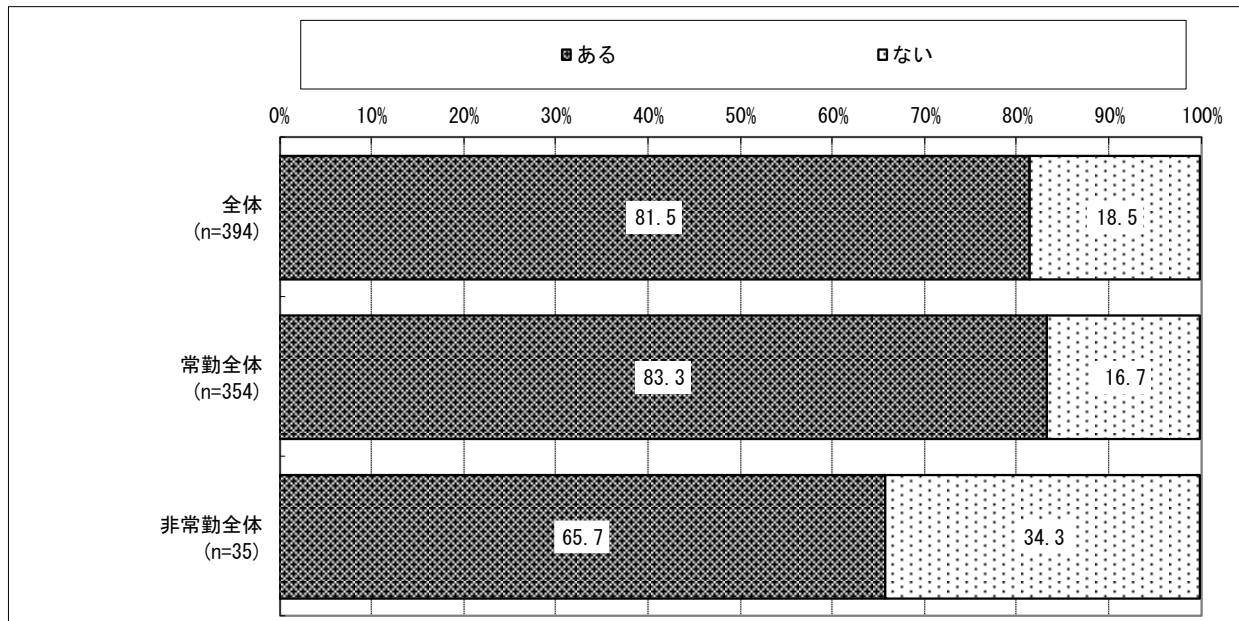


図 9-23 同窓会組織の有無

23. 卒後研修の実施の有無【Q77】

卒後研修の実施の有無を全体でみると、「実施している」が 46.4%、「実施していない」が 53.6%である。

就業形態別で「実施している」をみると、「常勤」が 44.9%、「非常勤」が 57.1%である（図 9-24）。

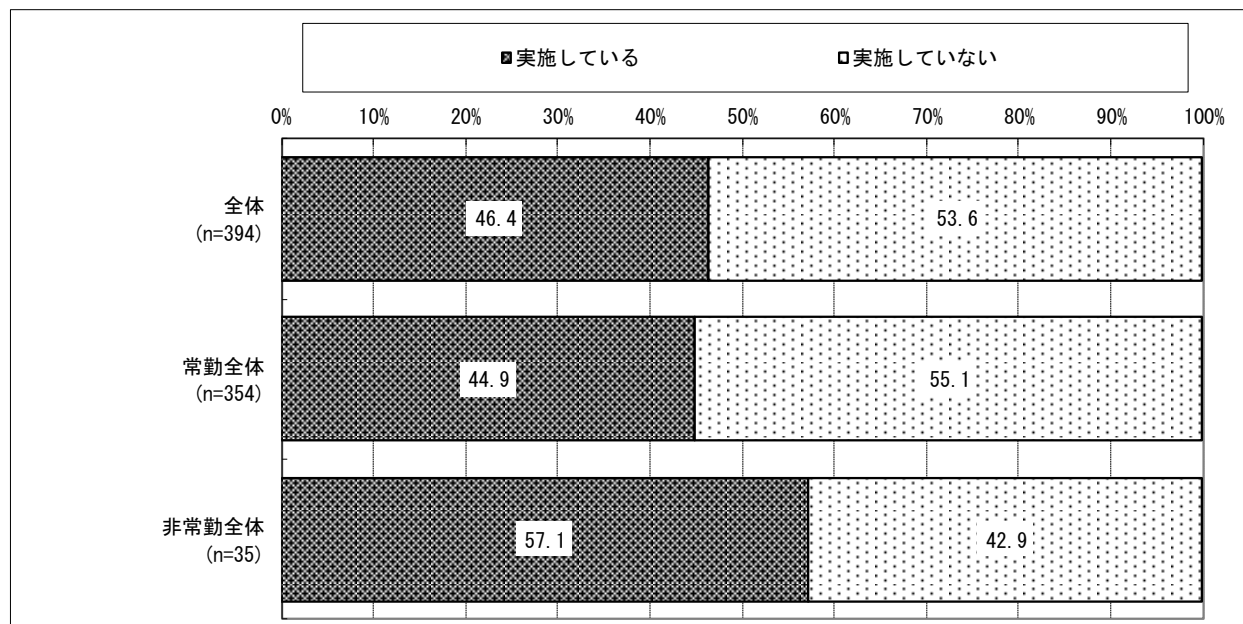


図 9-24 卒後研修の実施の有無

24. 実施回数【Q77-1】

Q77 で卒後研修を「実施している」と回答した者を対象に、実施回数を全体で見ると、「1回／年」が63.9%、「不定期」が24.6%、「1回／2年」が6.6%、「1回／3年」が4.9%である（図9-25）。

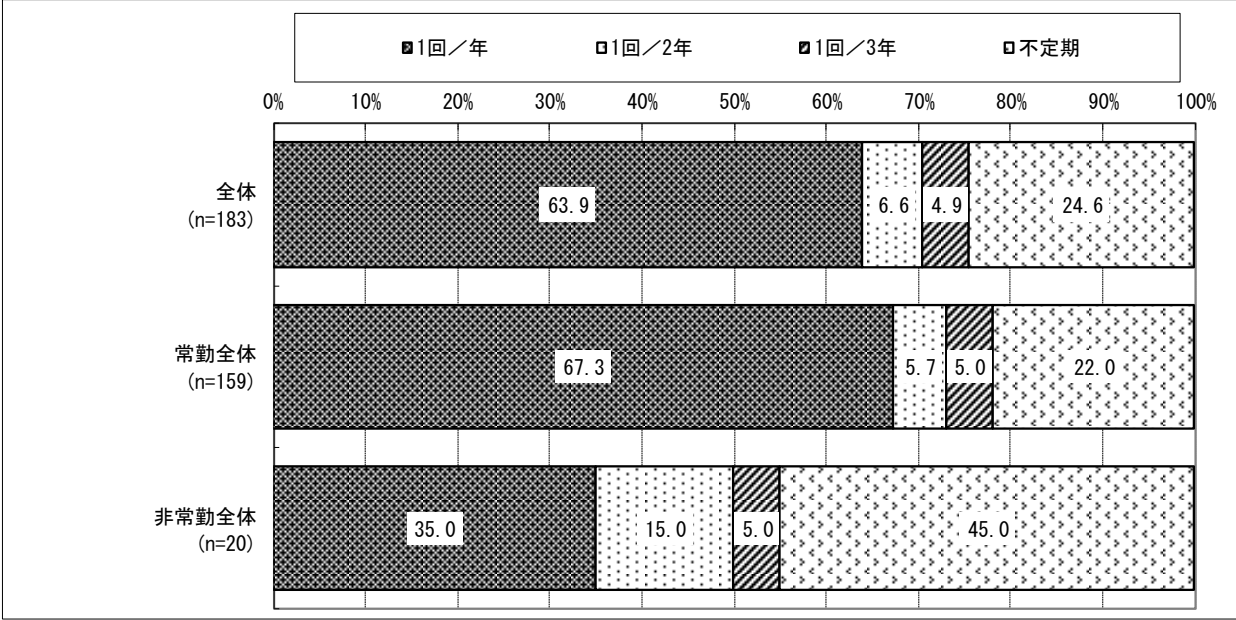


図 9-25 実施回数

25. これまでに実施した卒後研修の内容【Q77-2】

Q77 で卒後研修を「実施している」と回答した者を対象に、これまでに実施した卒後研修の内容を全体でみると、「知識・技術向上」が 92.9%、「復職支援」が 50.8%である（図 9-26）。

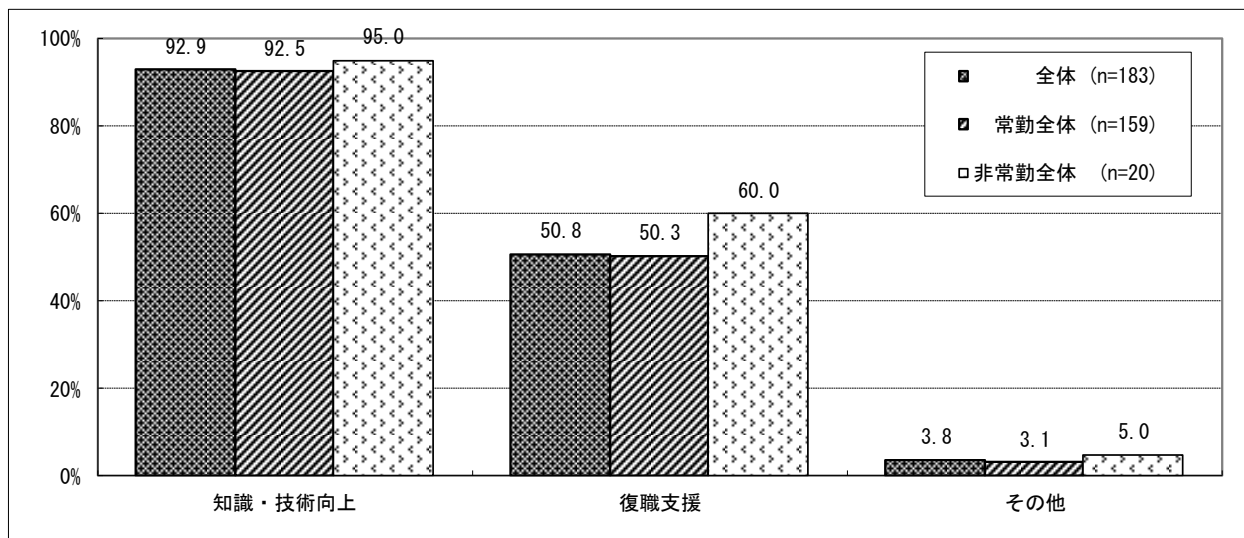


図 9-26 これまでに実施した卒後研修の内容〔複数回答〕

26. 学校所在地の歯科衛生士会との連携の有無【Q78】

学校所在地の歯科衛生士会との連携の有無を全体でみると、連携が「ある」が 88.6%、「ない」が 11.4%である。

就業形態別で連携が「ある」をみると、「常勤」が 88.1%、「非常勤」が 91.4%である（図 9-27）。

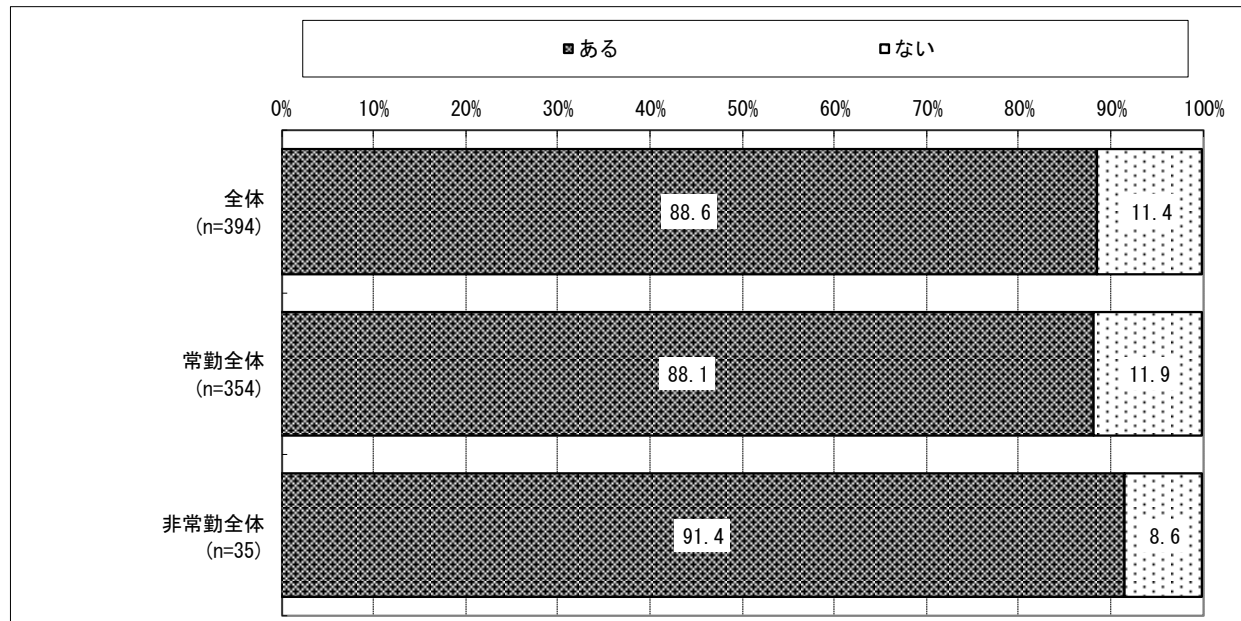


図 9-27 学校所在地の歯科衛生士会との連携の有無

27. 連携の内容【Q78-1】

Q78 で学校所在地の歯科衛生士会と「連携がある」と回答した者を対象に、連携の内容を全体でみると、「活動紹介」が 75.6%、「入学式・卒業式への出席」が 70.2%、「会の研修会への参加」が 55.3%、「会活動への参加」が 43.6%である（図 9-28）。

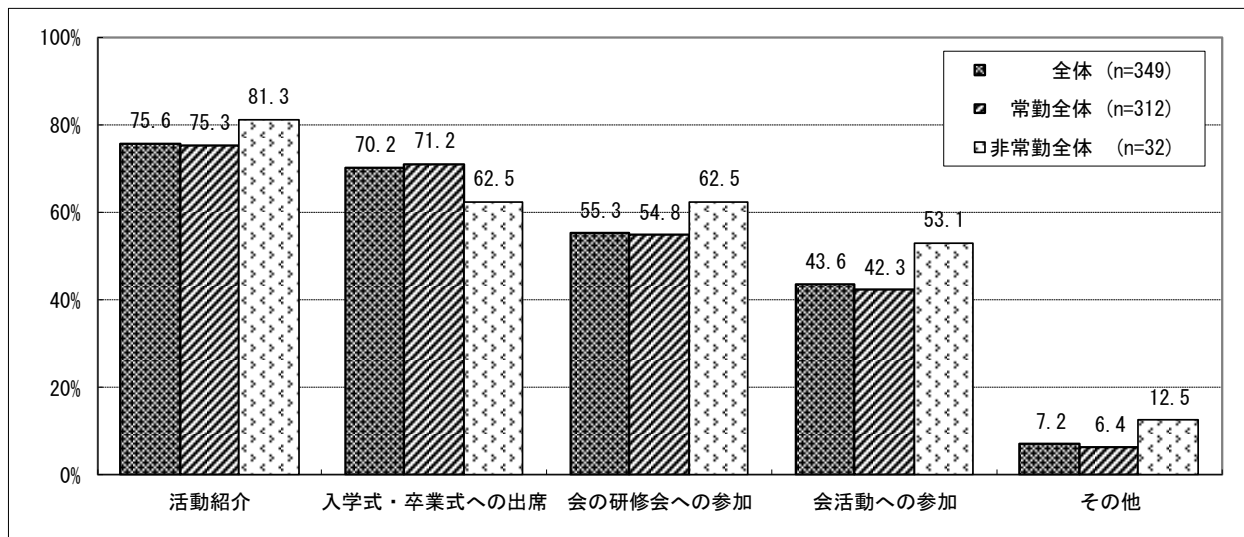


図 9-28 連携の内容〔複数回答〕

X. 介護保険施設等

【介護保険施設等の回答者数は全体で 221 人である】

1. 勤務先の設置主体【Q79】

勤務先の設置主体を全体でみると、「介護老人保健施設」が 45.2%、「介護老人福祉施設」が 33.0%、「介護医療院（介護療養型医療施設）」が 5.4%、「居宅介護支援事業所」が 5.0%である。結果的に「介護老人福祉施設」と「介護老人保健施設」で 8 割弱を占めている。

就業形態別でみると、「常勤」、「非常勤」とも「介護老人福祉施設」が最も多い（図 10-1）。

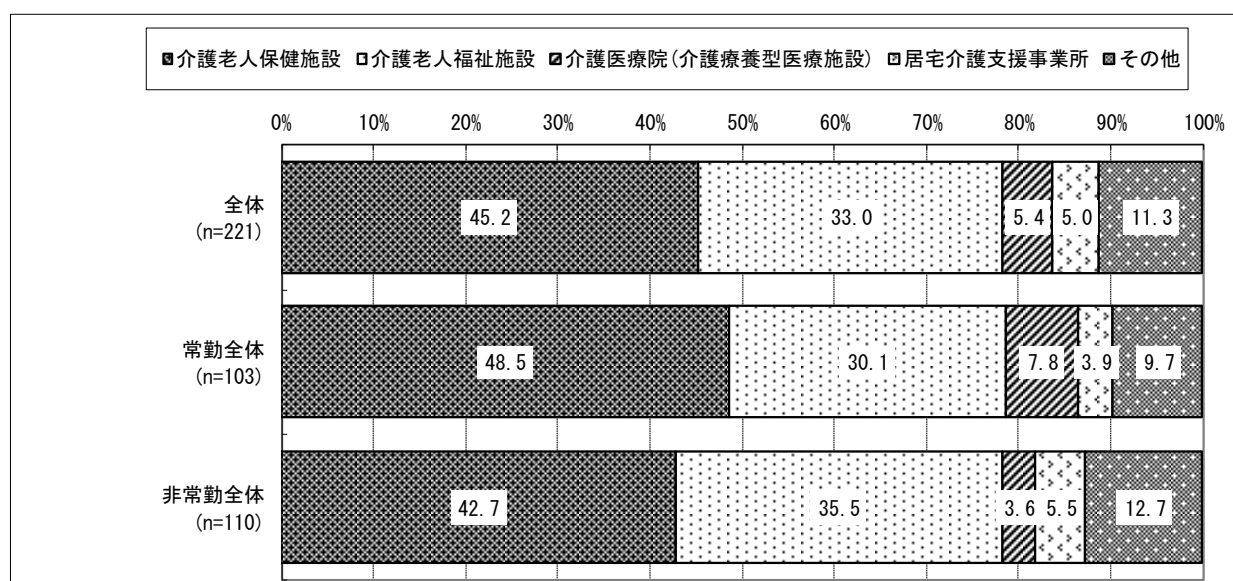


図 10-1 勤務先の設置主体

2. 併設医療機関の有無【Q80】

併設医療機関の有無を全体で見ると、併設医療機関は「ある」が62.0%、「ない」が35.3%である。就業形態別で併設医療機関は「ある」をみると、「常勤」が68.9%、「非常勤」57.3%である（図10-2）。

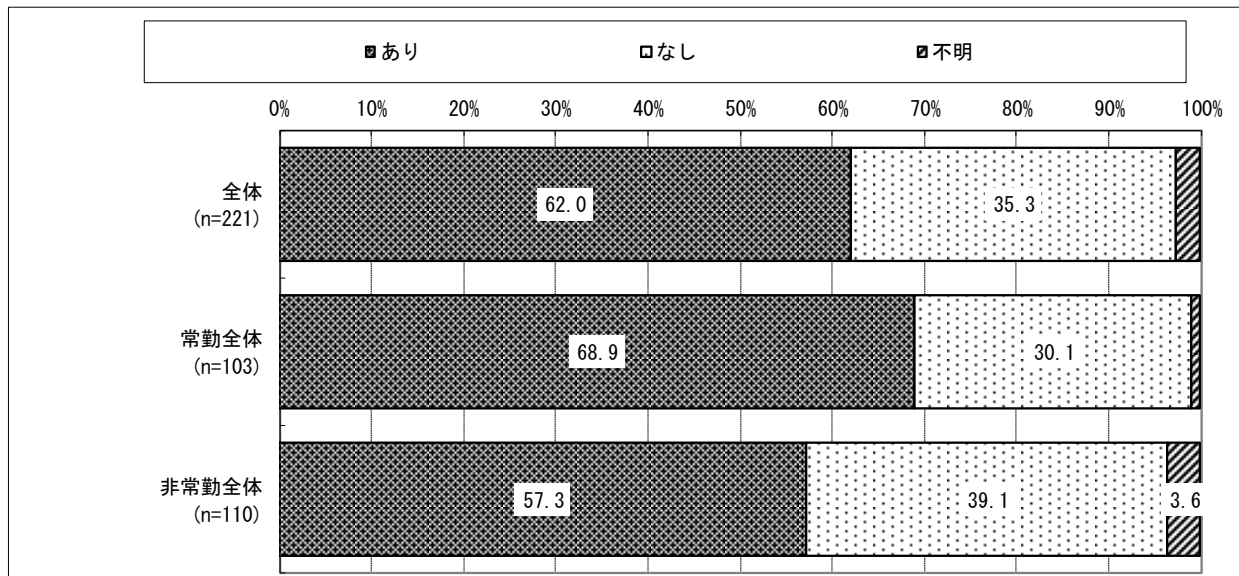


図10-2 併設医療機関の有無

3. 併設歯科医療機関の有無【Q81】

併設歯科医療機関の有無を全体でみると、併設歯科医療機関は「ある」が 22.2%、「ない」が 76.5%である。

就業形態別で併設歯科医療機関は「ある」をみると、「常勤」が 25.2%、「非常勤」が 20.0%である（図 10-3）。

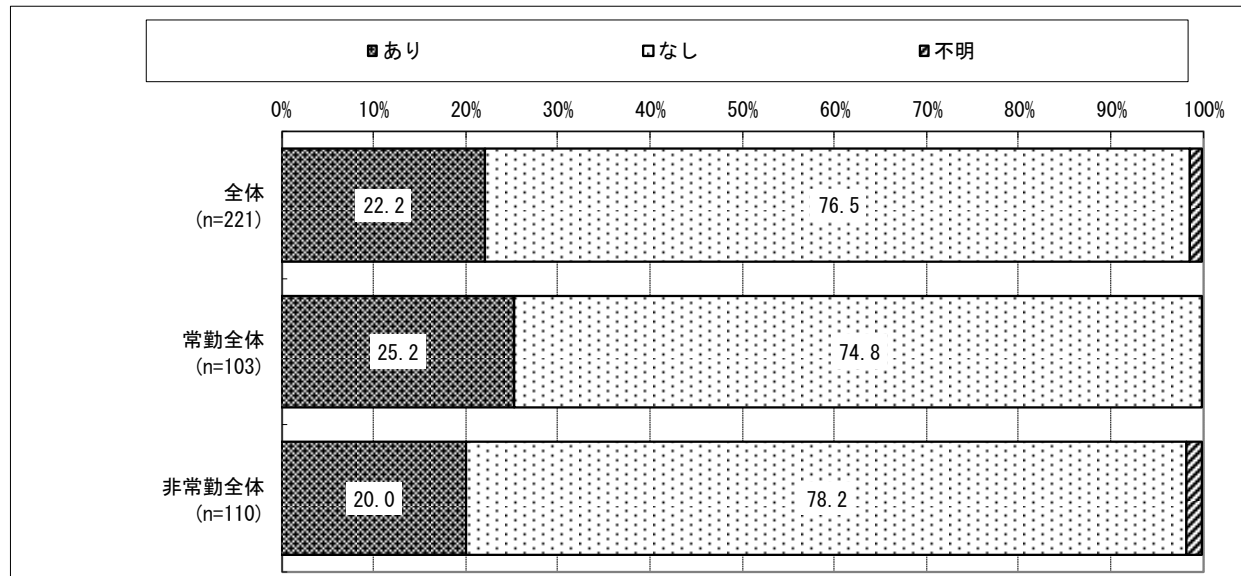


図 10-3 併設歯科医療機関の有無

4. 協力歯科医療機関の有無【Q81-1】

Q81 で「併設歯科医療機関はない」と回答した者を対象に、協力歯科医療機関の有無を全体でみると、協力歯科医療機関は「ある」が 87.2%、「ない」が 11.0%である。

就業形態別で協力歯科医療機関は「ある」をみると、「常勤」が 90.9%、「非常勤」が 84.1%である（図 10-4）。

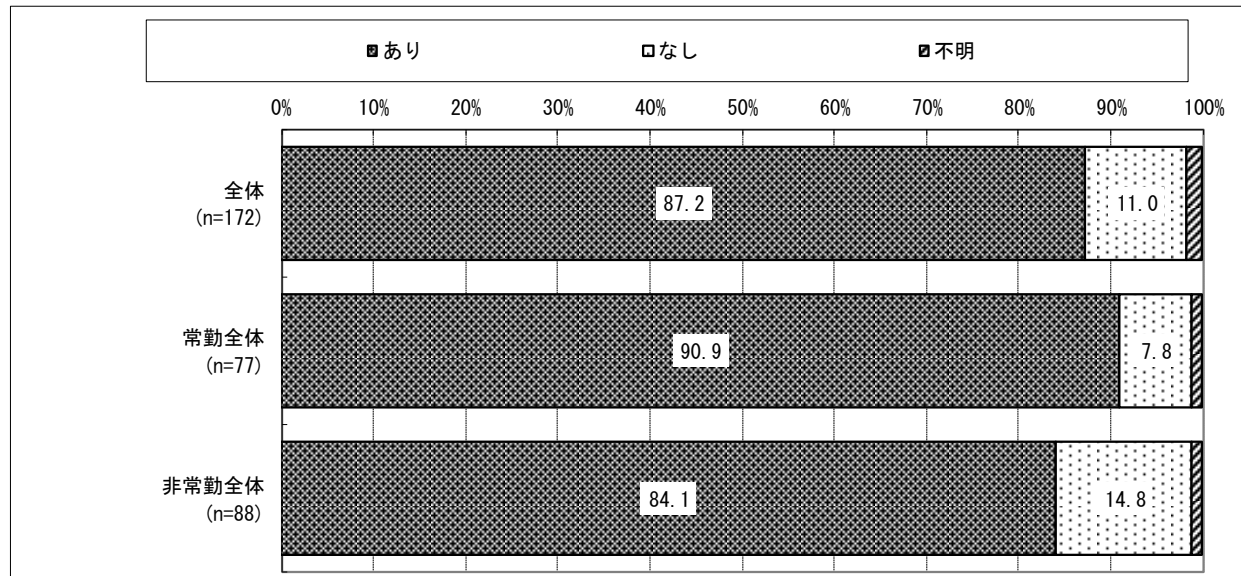


図 10-4 協力歯科医療機関の有無

5. 施設への定期的な歯科訪問診療の有無【Q81-2】

Q81 で「協力歯科医療機関はある」と回答した者を対象に、施設への定期的な歯科訪問診療の有無を全体でみると、「行われている」が 71.3%、「緊急時のみ」が 18.7%、「行われていない」が 10.0%である。就業形態別で「行われている」をみると、「常勤」が 71.4%、「非常勤」が 75.7%である（図 10-5）。

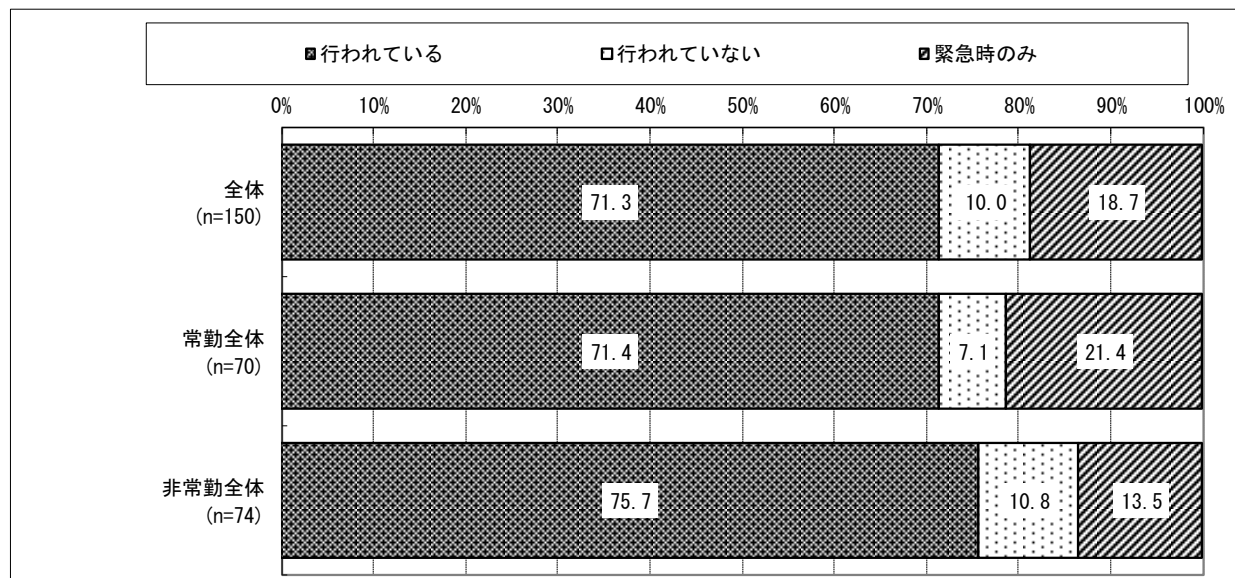


図 10-5 施設への定期的な歯科訪問診療の有無

6. 協力歯科医療機関の施設での口腔ケアや摂食嚥下等の対応についての協力レベル【Q81-3】

Q81-2 で施設への定期的な歯科訪問診療が「行われている」と回答した者を対象に、協力歯科医療機関の施設での口腔ケアや摂食嚥下等の対応についての協力レベルを全体でみると、「協力的である」が 81.3%、「あまり協力的ではない」が 15.0%、「無関心である」が 3.7%である。

就業形態別でみると、「常勤」、「非常勤」とも全体とほぼ同様の割合である（図 10-6）。

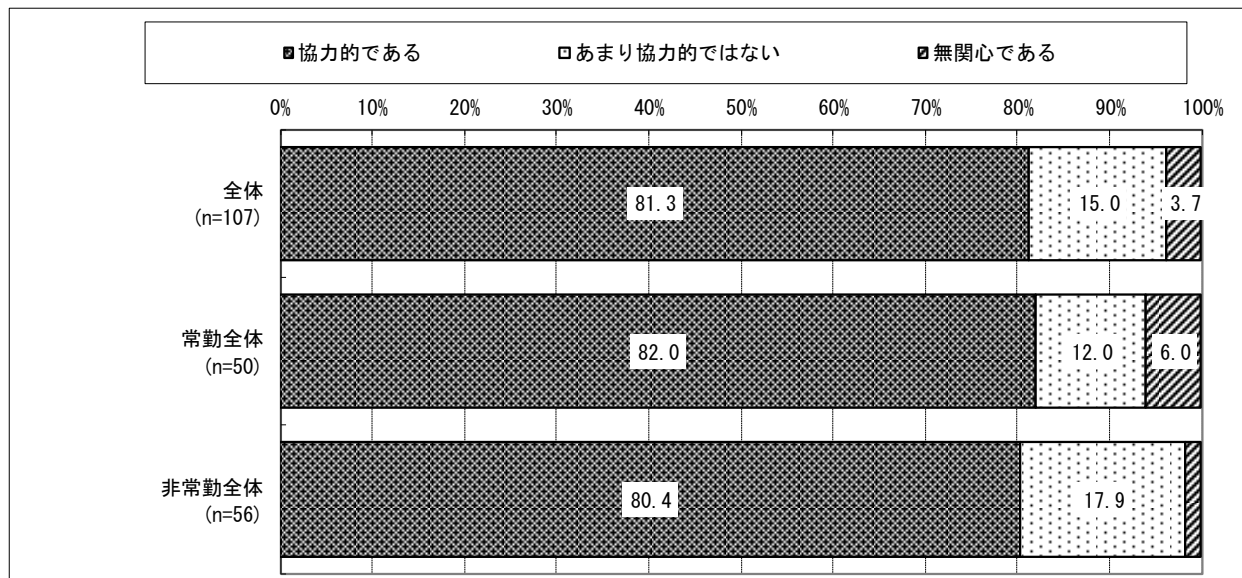


図 10-6 協力歯科医療機関の施設での口腔ケアや摂食嚥下等の対応についての協力レベル

7. 協力歯科医療機関に対して、歯科衛生士としての具体的な業務について【Q81-4】

Q81-2 で施設への定期的な歯科訪問診療が「行われている」と回答した者を対象に、協力歯科医療機関に対して、歯科衛生士としての具体的な業務を全体でみると、「歯科診療が必要な方を繋げる」が 97.3%、「口腔健康管理が必要な方を繋げる」が 83.3%、「口腔衛生管理体制加算の指示を受ける」が 80.7%、「訪問後の対応・連絡」が 75.3%、「訪問時の連絡・調整」が 74.0%である（図 10-7）。

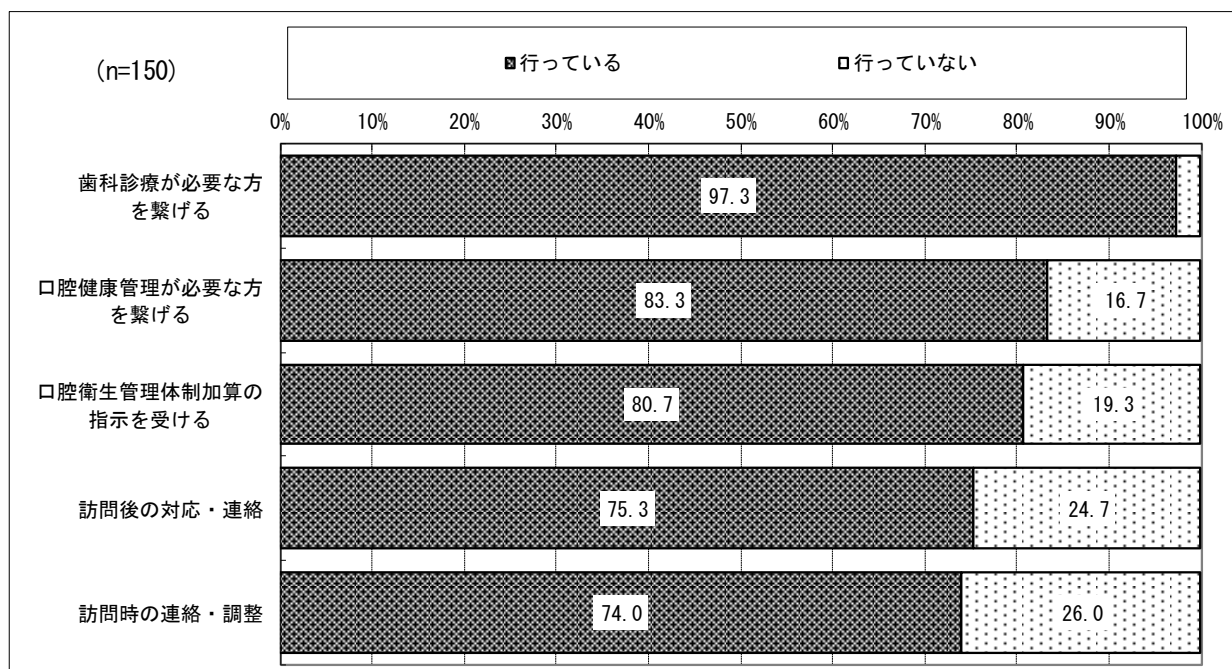


図 10-7 協力歯科医療機関に対して、歯科衛生士としての具体的な業務について

8. 医療関係職種の人員構成【Q82】

医療関係職種の人員構成を全体の平均でみると、「看護師・准看護師」が 11.0 人、「理学療法士」が 3.0 人、「作業療法士」が 2.3 人、「管理栄養士・栄養士」が 2.1 人、「医師」が 1.8 人、「歯科衛生士」が 1.4 人、「言語聴覚士」が 0.8 人、「歯科医師（常時対応可能な歯科医師）」が 0.4 人である（図 10-8）。

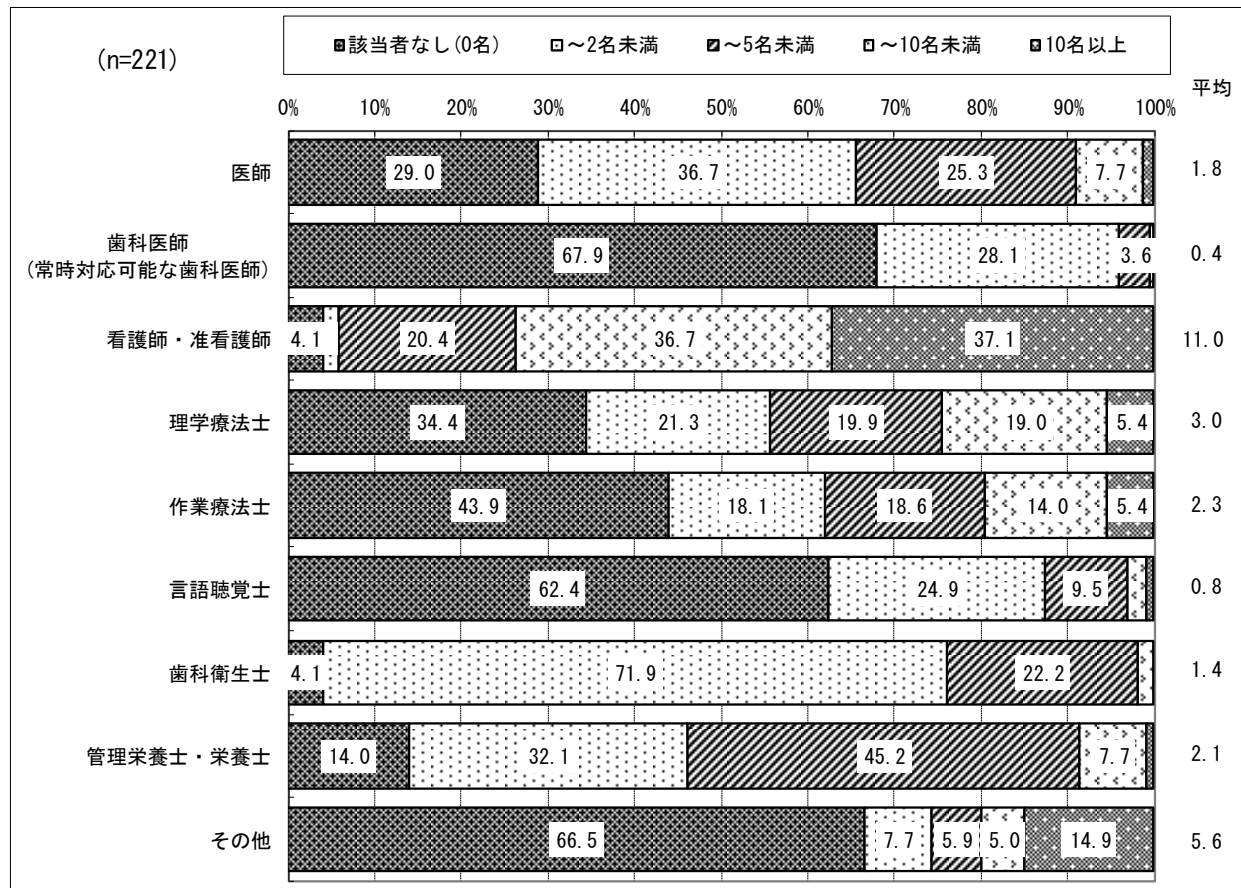


図 10-8 医療関係職種の人員構成

9. 歯科衛生士による業務について【Q83】

9-1. 歯科衛生士の「口腔ケアや摂食嚥下等」の業務の実施の有無

歯科衛生士の「口腔ケアや摂食嚥下等」の業務の実施の有無を全体でみると、「口腔衛生管理」では「実施している」が 92.8%、「実施していない」が 7.2%である。「口腔機能管理」では「実施している」が 65.2%、「実施していない」が 34.8%である（図 10-9, 10-10）。

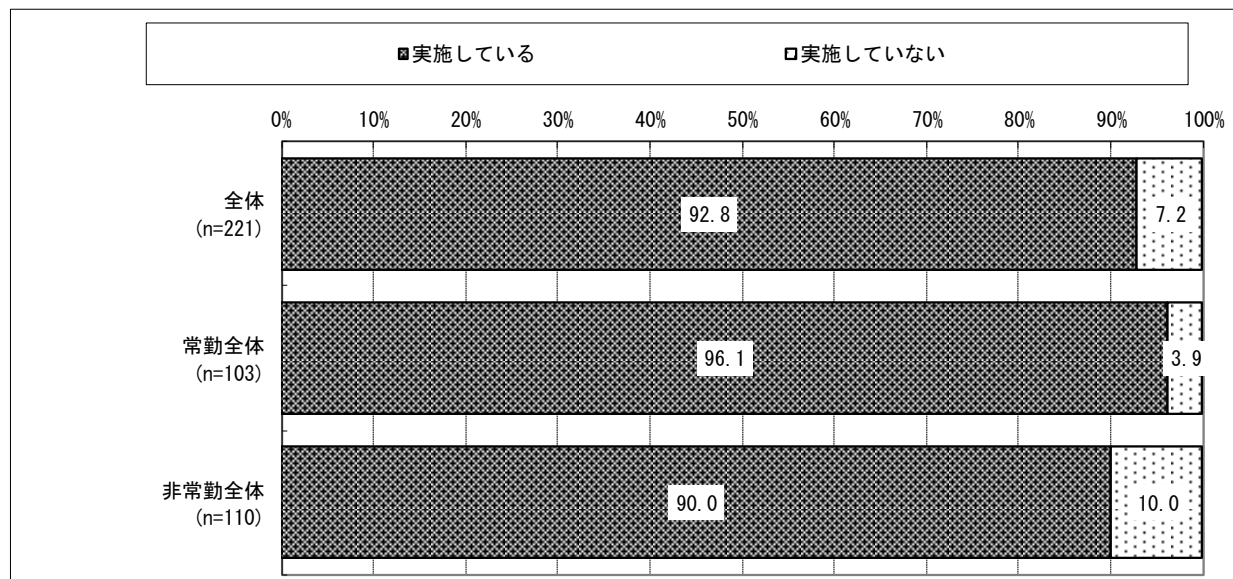


図 10-9 歯科衛生士の「口腔ケアや摂食嚥下等」の業務の実施の有無「口腔衛生管理」

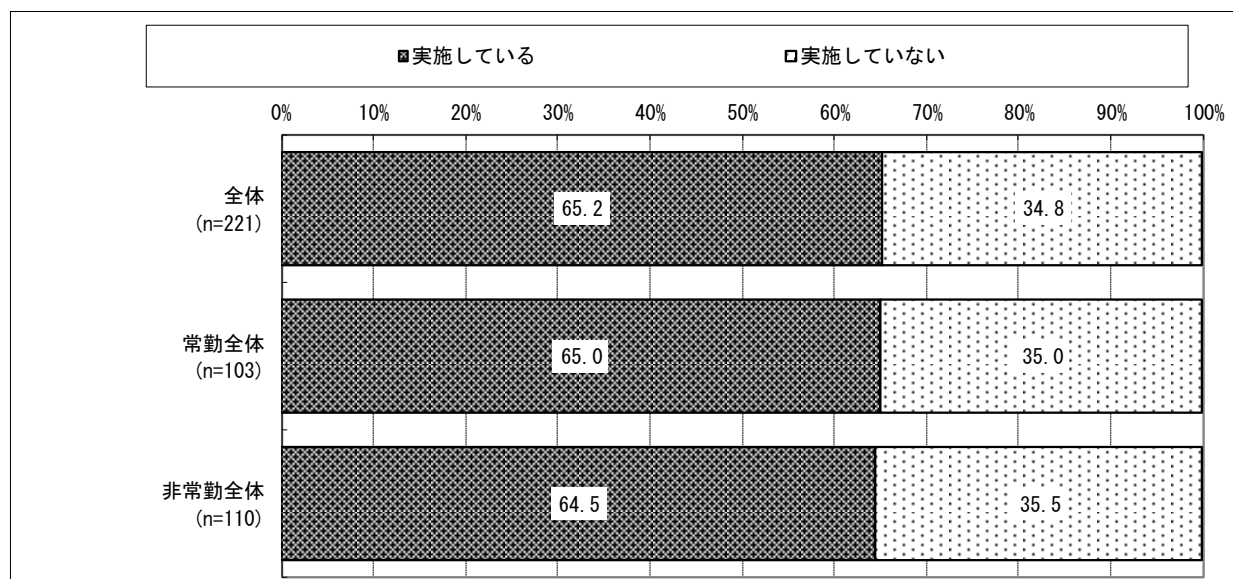


図 10-10 歯科衛生士の「口腔ケアや摂食嚥下等」の業務の実施の有無「口腔機能管理」

9-2. 口腔機能維持管理等の加算を算定している項目〔複数回答〕

Q83 で歯科衛生士による口腔ケアや摂食嚥下等を「実施している」と回答した者を対象に、口腔機能維持管理等の加算を算定している項目を全体でみると、「口腔衛生管理加算」が85.9%、「経口維持加算」が47.8%、「算定していない」が8.8%である。

「口腔機能管理」では「口腔衛生管理加算」が49.3%、「経口維持加算」が36.1%、「算定していない」が29.2%である（図10-11, 10-12）。

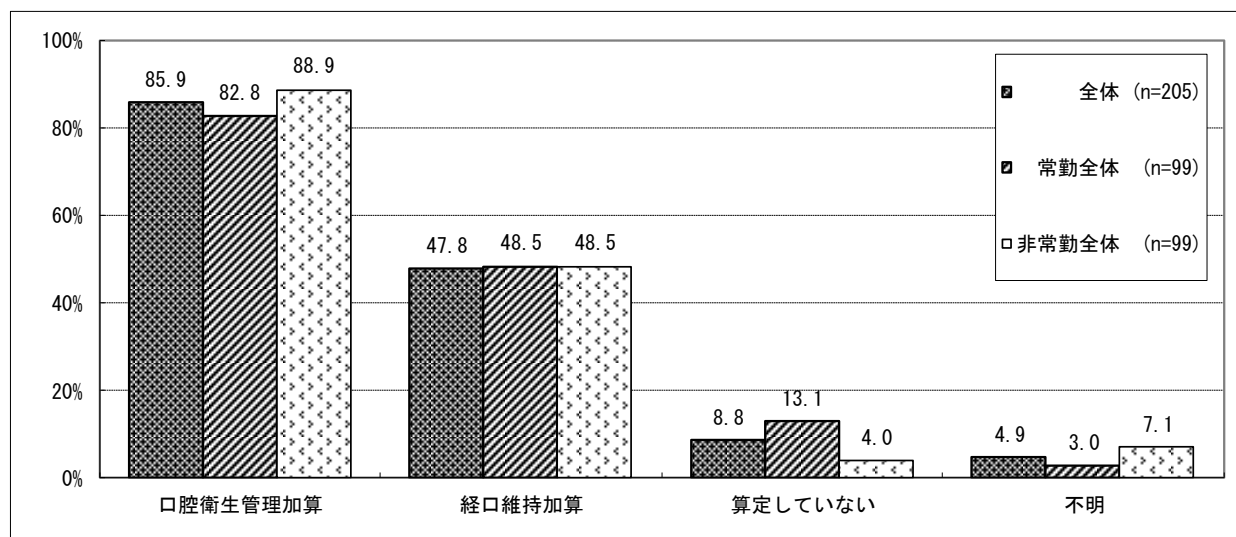


図 10-11 口腔機能維持管理等の加算を算定している項目「口腔衛生管理」〔複数回答〕

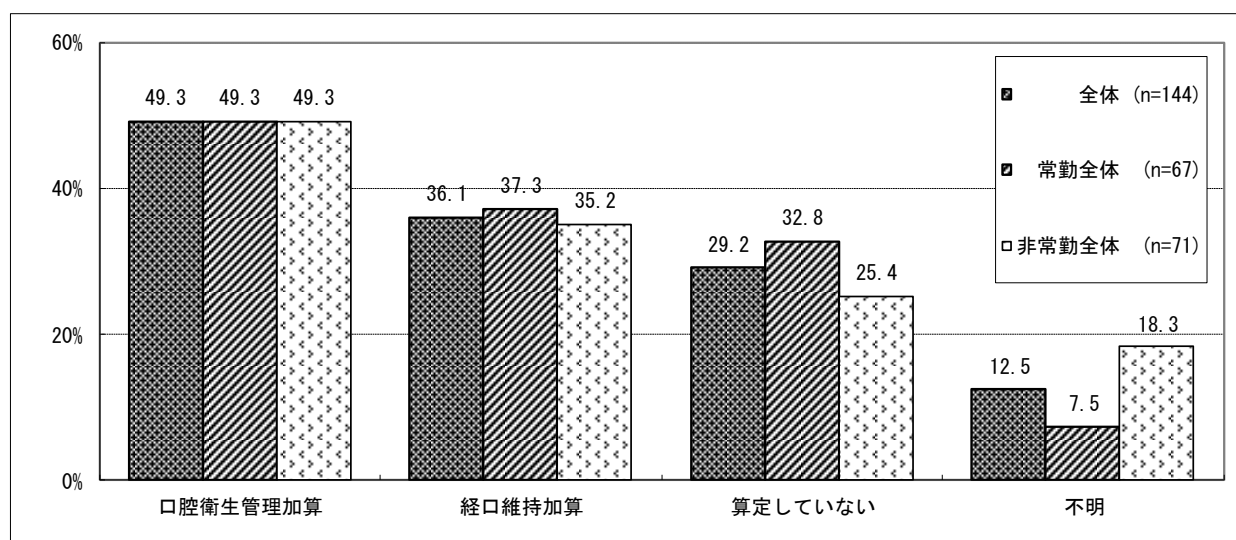


図 10-12 口腔機能維持管理等の加算を算定している項目「口腔機能管理」〔複数回答〕

9-3. 算定していない理由〔複数回答〕

Q83_2 で口腔機能維持管理等の加算を「算定していない」と回答した者を対象に、算定していない理由を全体でみると、「業務負担が大きい」が 38.0%、「歯科訪問診療に伴う訪問歯科衛生指導料の算定のため」が 18.0%、「歯科医師の指示が得られない」が 12.0%、「口腔ケア・マネジメント計画書が作成できない」が 8.0%である（図 10-13）。

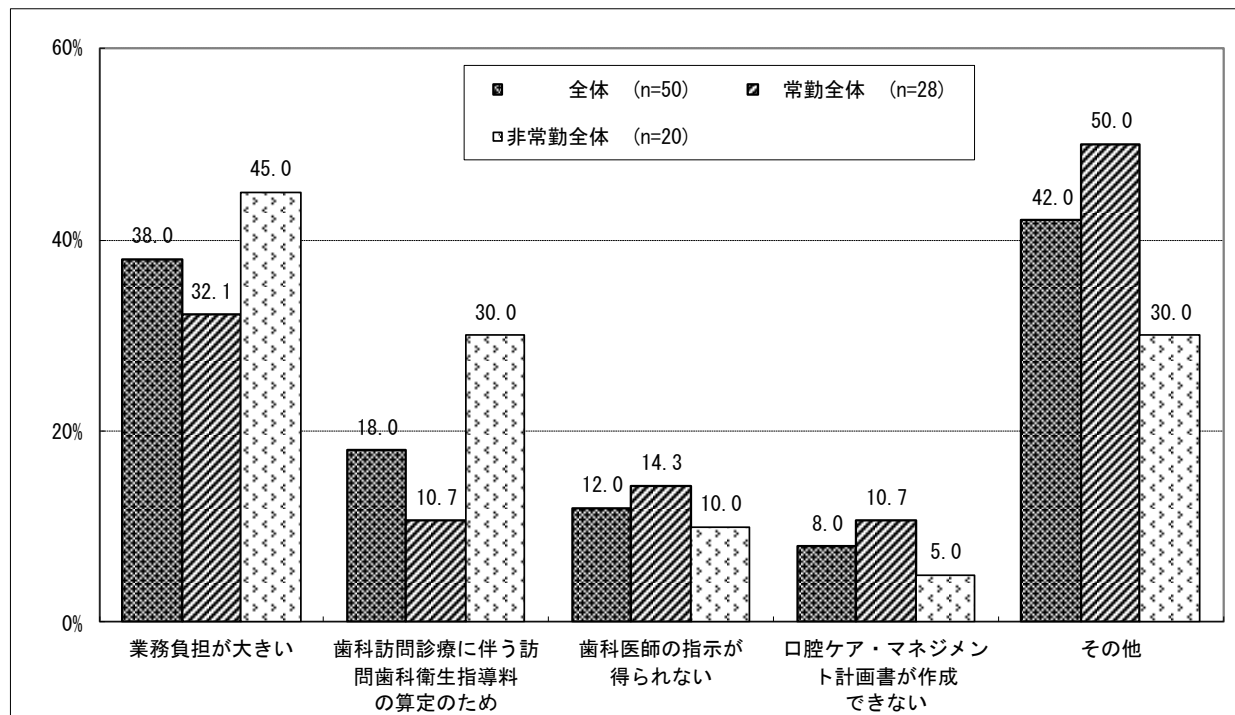


図 10-13 算定していない理由〔複数回答〕

10. 施設の歯科衛生士の業務について【Q84-1】

施設の歯科衛生士の業務について「実施している」と回答した者をみると、「要介護者の口腔内状況の観察」が100.0%、「義歯の清掃・取り扱い指導」が99.1%、「要介護者（本人）への口腔清掃指導」が97.7%、「介護職員への口腔ケアに係る技術的助言・指導」が95.5%、「歯科衛生士による口腔衛生管理」が94.6%、「口腔ケア・アセスメント票の作成」が91.0%、「歯科医師・協力歯科医療機関との連絡・調整」が83.3%、「口腔機能の評価」が79.2%、「関連職種への口腔ケアに関する教育研修」が78.7%、「口腔機能向上訓練」が68.3%、「ミールラウンド」が64.7%、「摂食嚥下訓練」が57.5%、「入所者の歯科健診の補助」が56.1%、「担当者会議への参加」が50.2%、「入・退所時カンファレンスへの参加」が35.7%、「フッ化物の歯面塗布」は少なく4.5%である（図10-14）。

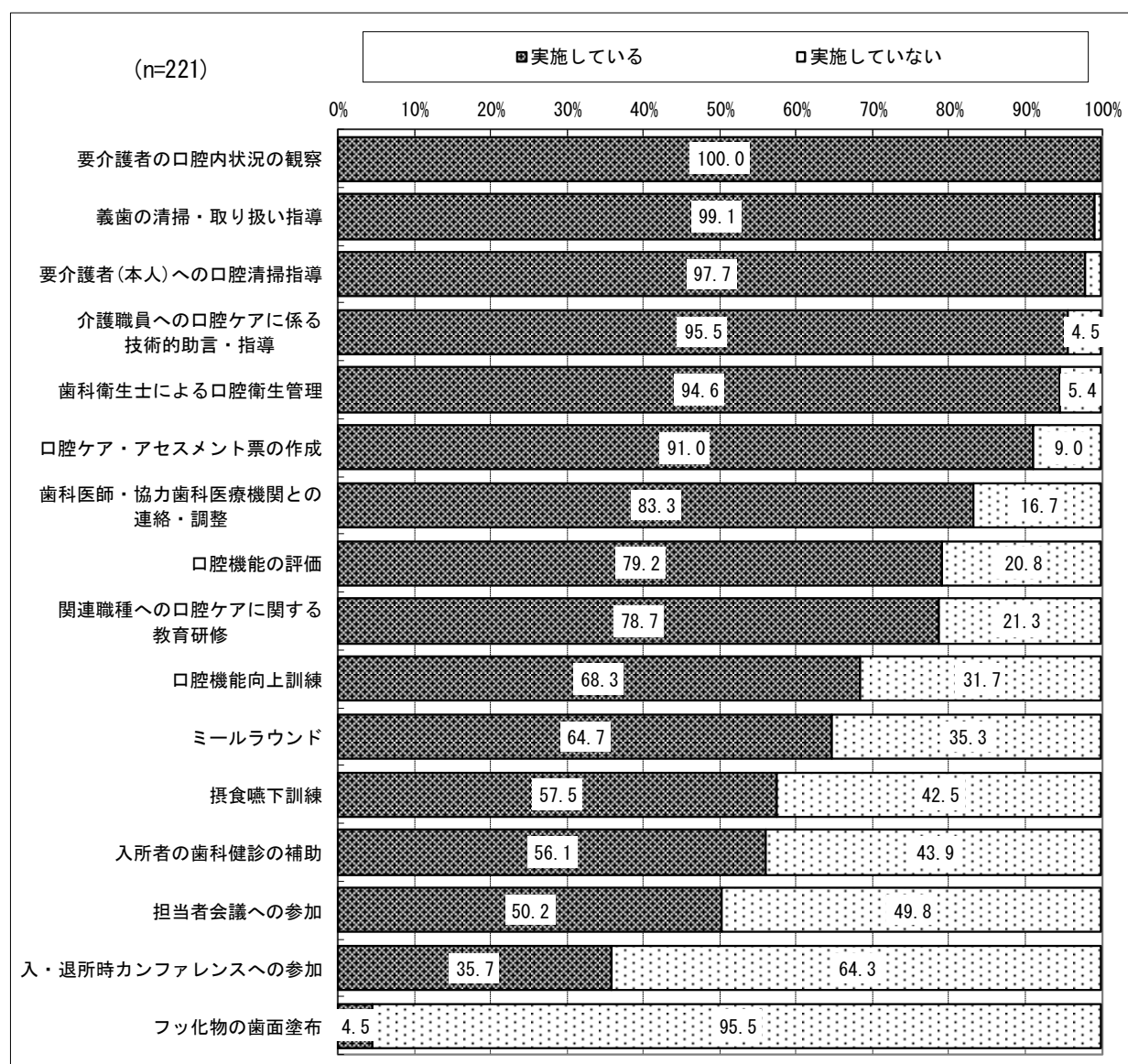


図10-14 施設の歯科衛生士の業務について

11. 歯科衛生士から歯科医療機関や歯科医師会、歯科衛生士会への連絡の有無【Q85】

歯科衛生士から歯科医療機関や歯科医師会、歯科衛生士会への連絡の有無を全体でみると、連絡をすることが「ある」が61.5%、「ない」が38.5%である。

就業形態別で、連絡をすることが「ある」をみると、「常勤」が77.7%、「非常勤」が49.1%である（図10-15）。

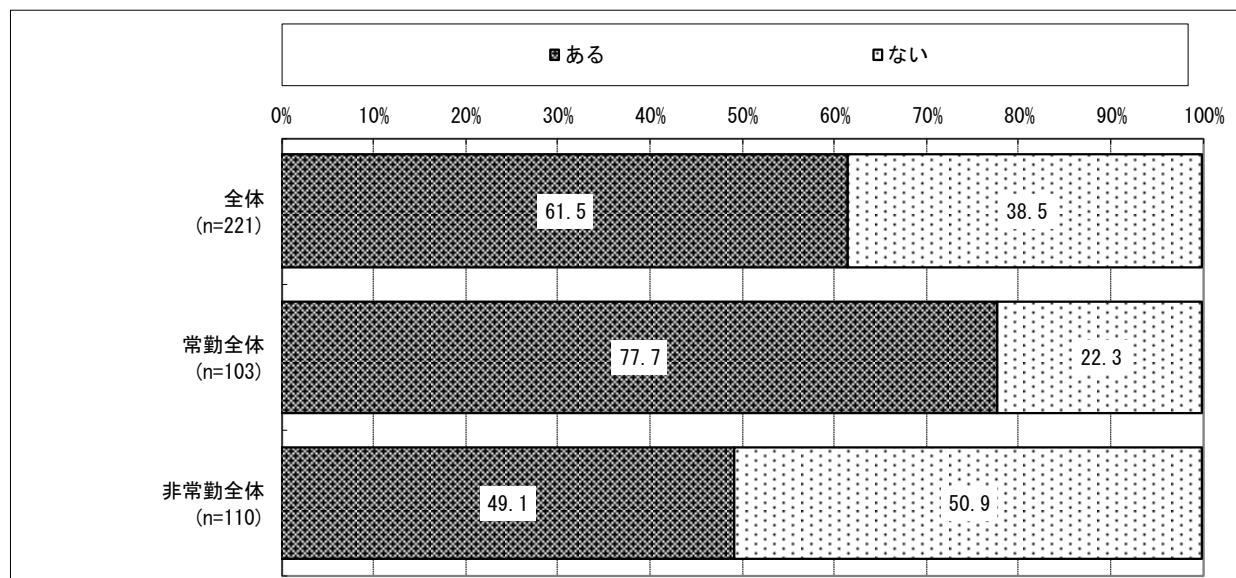


図 10-15 歯科衛生士から歯科医療機関や歯科医師会、歯科衛生士会への連絡の有無

12. 連絡先【Q85-1】

Q85 で歯科医療機関や歯科医師会、歯科衛生士会へ、連絡をすることが「ある」と回答した者を対象に、連絡先を全体でみると「協力歯科医療機関への連絡」が 87.5%、「かかりつけ歯科への連絡」が 46.3%、「歯科衛生士会」が 13.2%、「歯科医師会」が 6.6%である。

就業形態別で「協力歯科医療機関への連絡」をみると、「常勤」が 87.5%、「非常勤」が 87.0%である(図 10-16)。

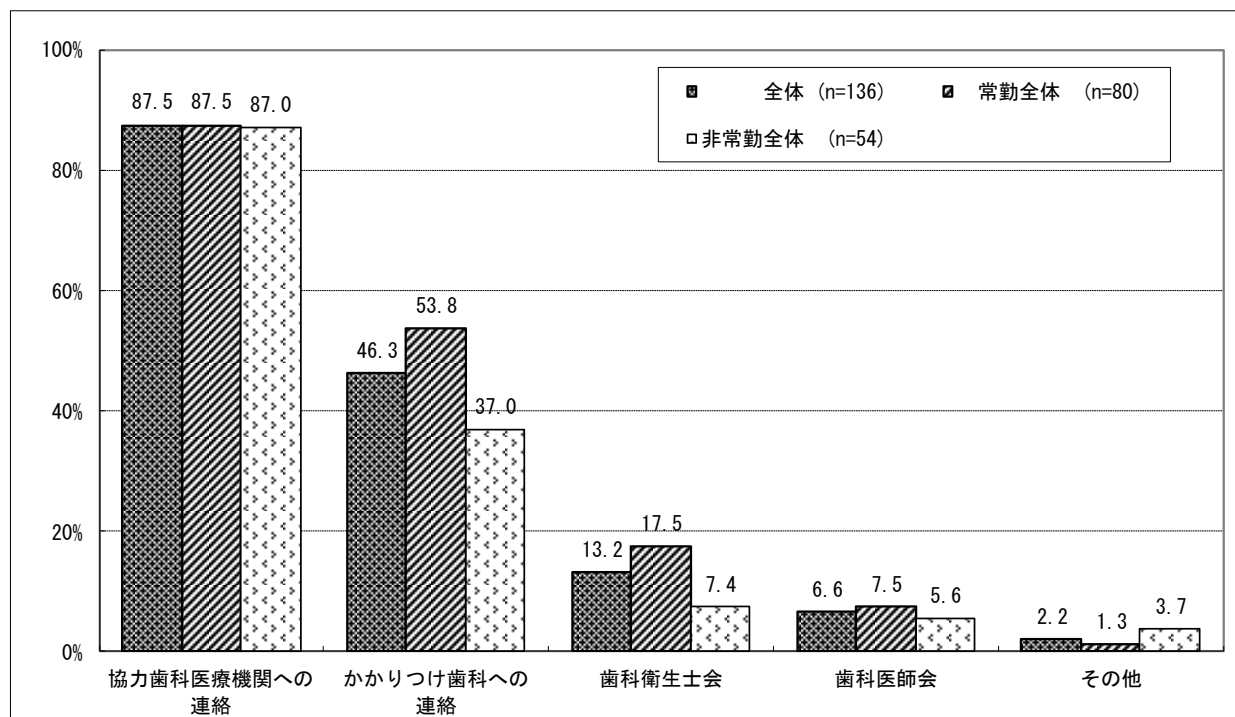


図 10-16 連絡先〔複数回答〕

13. 連絡する内容【Q85-2】

Q85-1 で歯科医療機関や歯科医師会、歯科衛生士会へ、連絡をすることが「ある」と回答した者を対象に、連絡する内容を全体でみると「患者の依頼」が 87.5%、「歯科診療に関する問い合わせ」が 72.8%、「口腔健康管理についての問い合わせ」が 35.3%である。

就業形態別で「患者の依頼」をみると、「常勤」が 95.0%、「非常勤」が 75.9%である（図 10-17）。

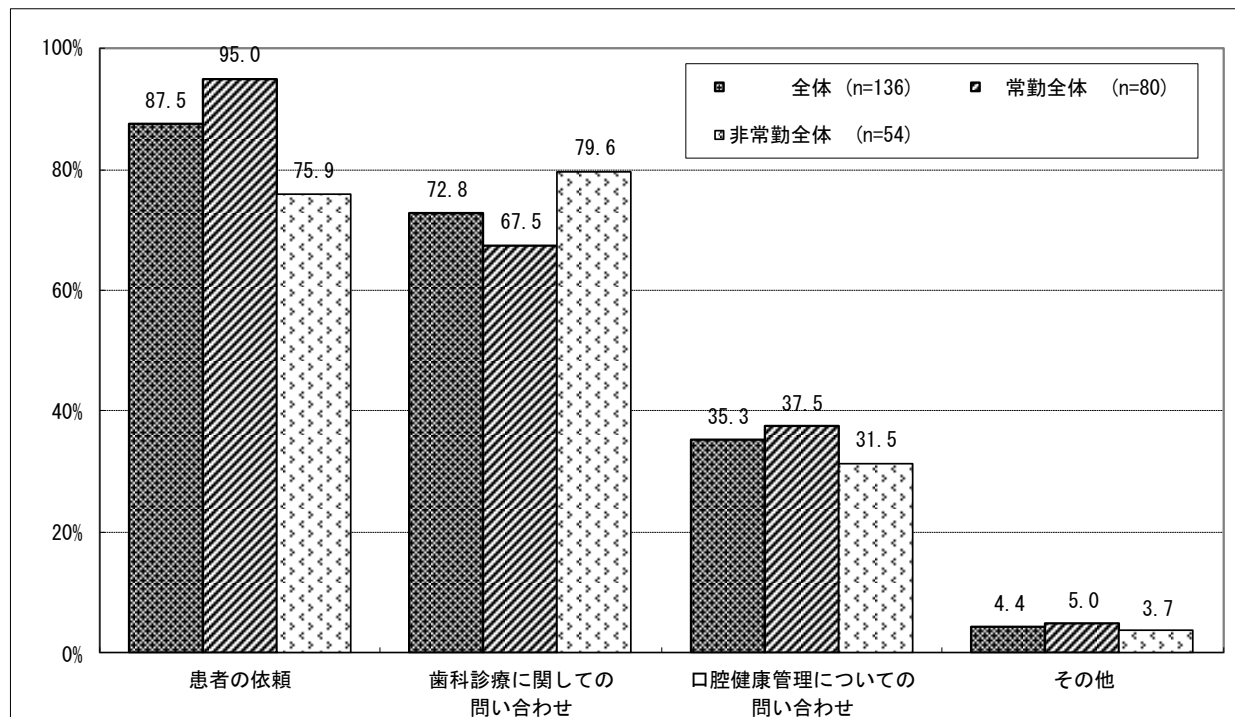


図 10-17 連絡する内容〔複数回答〕

14. 歯科衛生士が歯科医療機関の歯科診療内容を受けての、施設内の多職種への口腔ケアの指導・引継ぎの有無【Q85-3】

Q85-1 で歯科医療機関や歯科医師会、歯科衛生士会へ、連絡をすることが「ある」と回答した者を対象に、歯科衛生士が歯科医療機関の歯科診療内容を受けての、施設内の多職種への口腔ケアの指導・引継ぎの有無を全体でみると「ある」が91.2%、「ない」が8.8%である。

就業形態別で「ある」をみると、「常勤」が87.5%、「非常勤」が96.3%である（図10-18）。

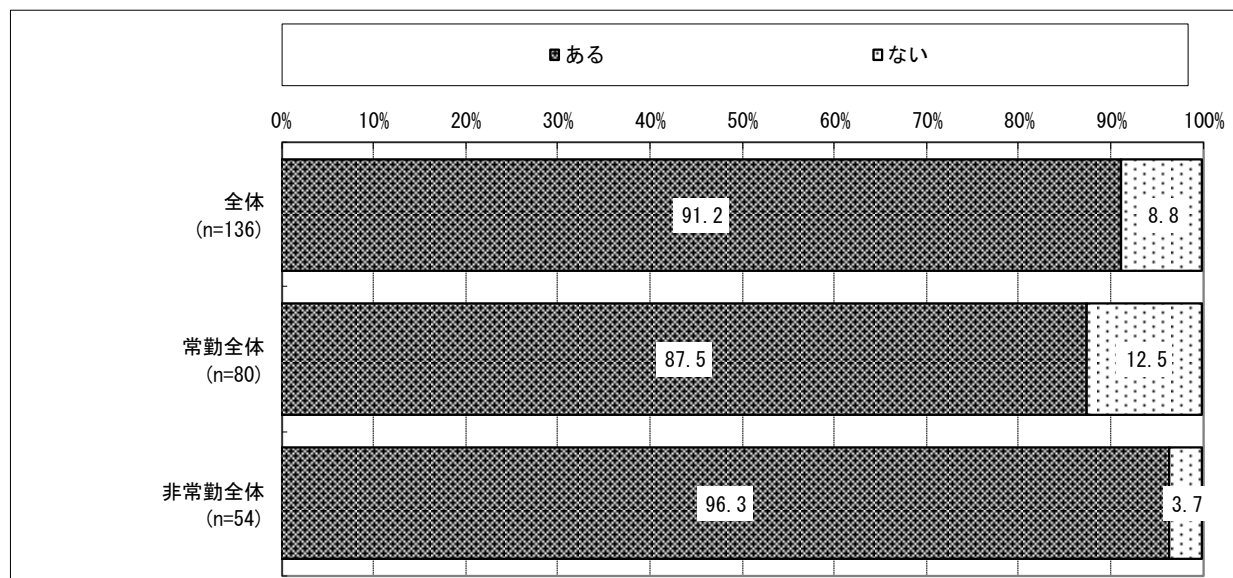


図 10-18 歯科衛生士が歯科医療機関の歯科診療内容を受けての、施設内の多職種への口腔ケアの指導・引継ぎの有無

15. 今後の介護保険施設等での業務の継続意向【Q86】

今後の介護保険施設等での業務の継続意向を全体でみると、続けたいという回答の「はい」が 69.2%、「わからない」が 28.1%、「いいえ」が 2.7%である。

就業形態別で続けたいという回答の「はい」をみると、「常勤」が 74.8%、「非常勤」が 63.6%である(図 10-19)。

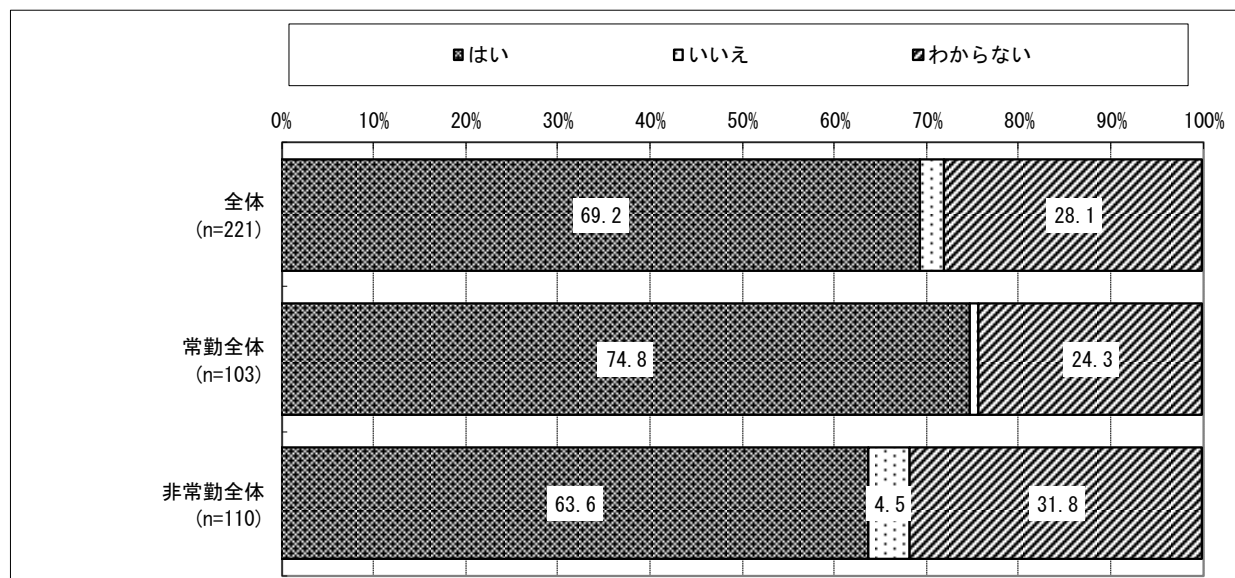


図 10-19 今後の介護保険施設等での業務の継続意向

X I．非就業者

【全回答者の内、非就業者は 459 人である】

1. 最後に勤務していた職場を退職した理由【Q88-1】

最後に勤務していた職場を退職した理由を全体でみると、1 割以上の回答では「自分の健康」が 21.6%、「家庭の事情」が 21.1%、「経営者との人間関係」が 20.5%、「勤務形態・勤務時間」が 20.5%、「給与・待遇の面」が 19.6%、「歯科以外への興味」が 19.6%、「出産・育児」が 16.6%、「仕事内容」が 13.9%、「長時間勤務・過重労働」が 13.1%、「結婚」が 11.5%、「介護・看病」が 11.1%である。（図 11-1）。

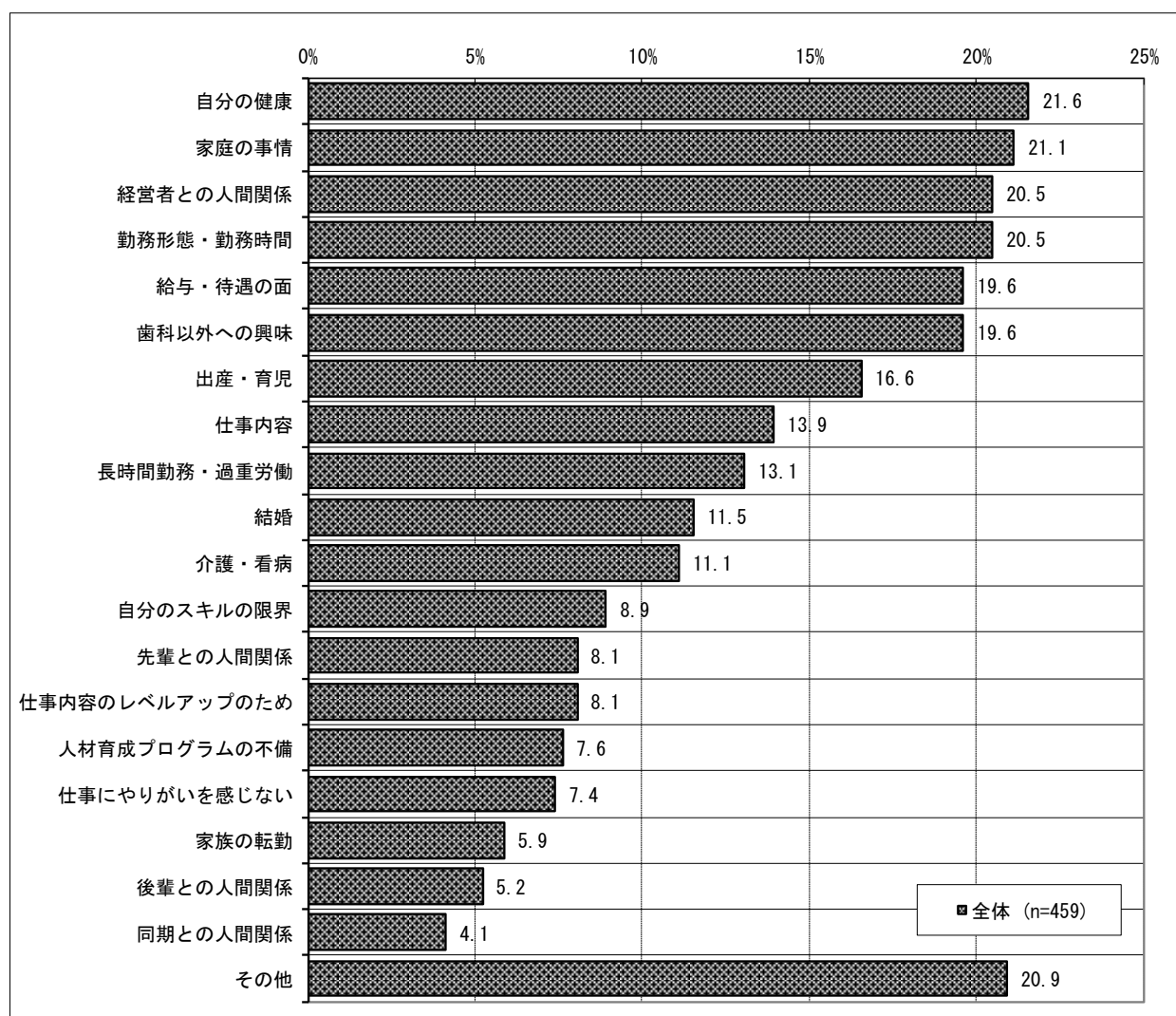


図 11-1 最後に勤務していた職場を退職した理由〔複数回答〕

次に、退職した主な理由を全体でみると、回答上位 10 件は「自分の健康」が 9.2%、「経営者との人間関係」が 8.7%、「家庭の事情」が 8.7%、「出産・育児」が 8.1%、「歯科以外への興味」が 8.1%、「結婚」が 6.8%、「介護・看病」が 5.4%、「給与・待遇の面」が 5.2%、「家族の転勤」が 4.1%、「勤務形態・勤務時間」が 3.7%である。（図 11-2）

「その他」の内訳を多い順でみると、「定年退職」「閉院」「転職」である。

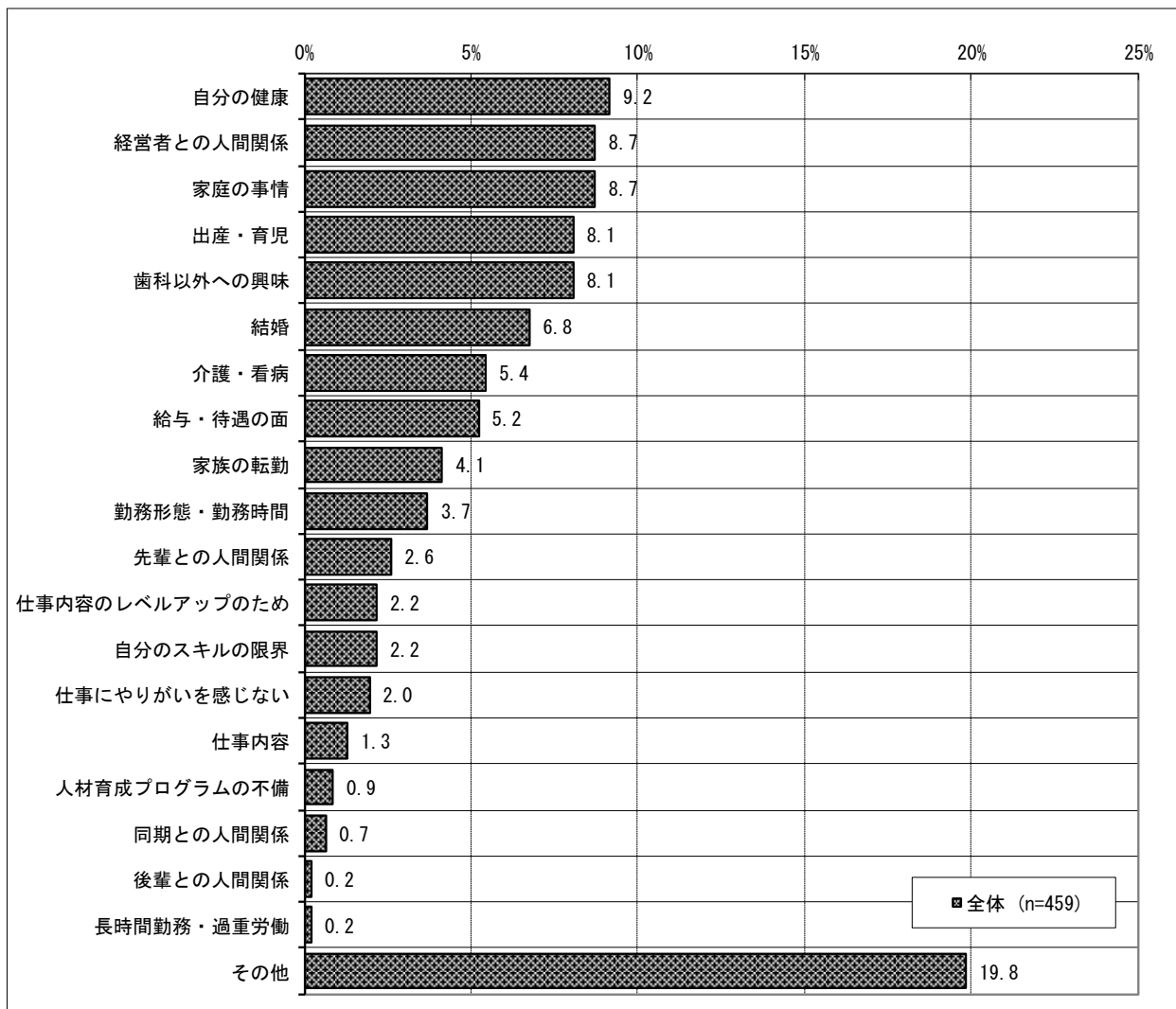


図 11-2 最後に勤務していた職場を退職した主な理由

2. 最後に勤務していた職場で改善してほしかったこと【Q89-1】

最後に勤務していた職場で改善してほしかったことを全体でみると、1割以上の回答のあったものは「院長等、職場の人間関係」が33.1%、「待遇改善（ベースアップ・定期昇給等）」が32.7%、「休暇の取得」が26.6%、「専門性・資格等の評価」が22.7%、「福利厚生の実充実」が22.2%、「多様な勤務形態・勤務時間の導入」が20.0%、「業務量の軽減」が19.0%、「労働時間の短縮」が16.6%、「教育研修等、レベルアップの機会の充実」が16.6%、「子育て支援の充実」が12.4%、「雇用の安定性の確保」が12.4%、「医療安全体制の充実」が11.8%、「特にない」は22.2%である（図11-3）。

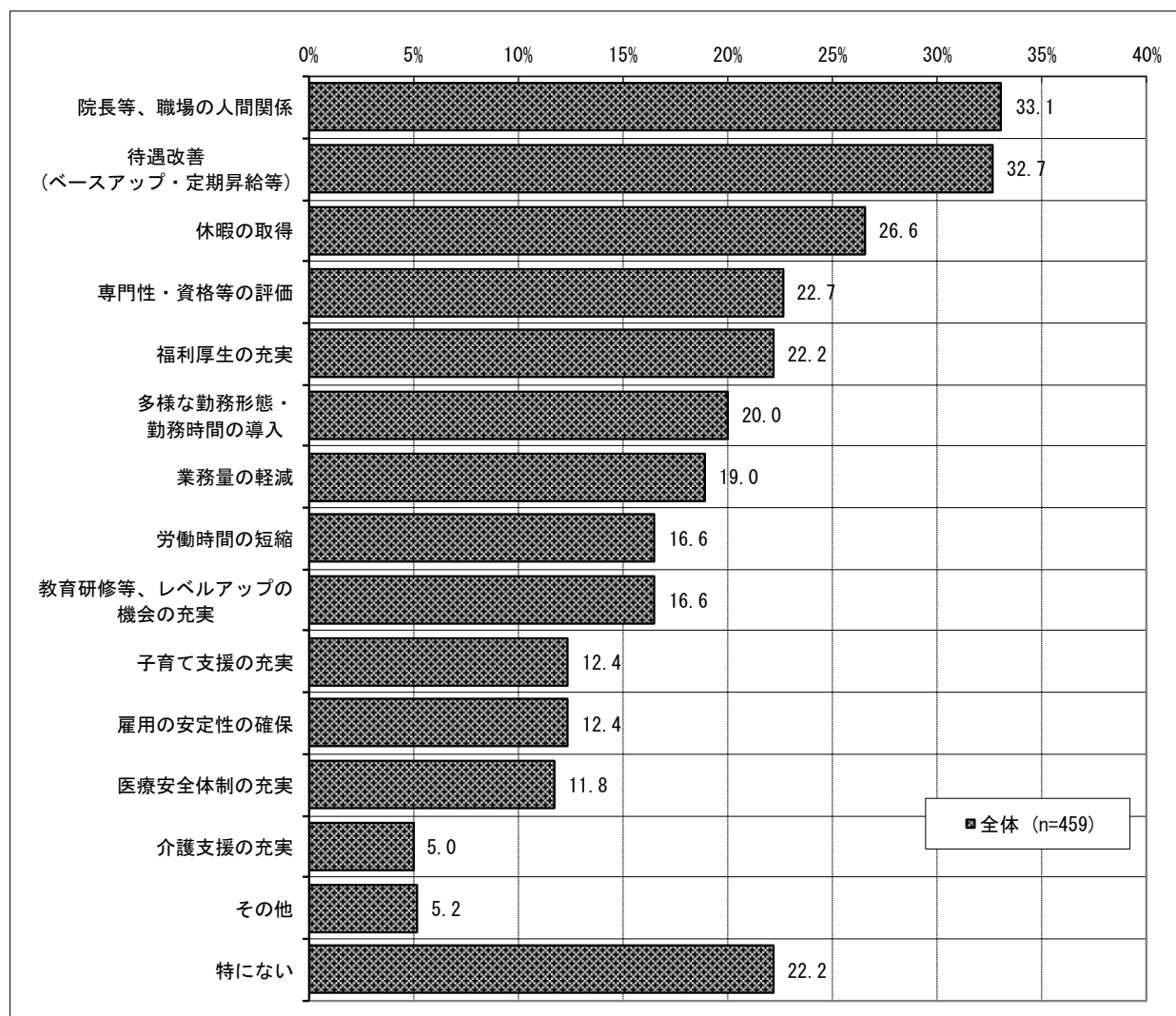


図11-3 最後に勤務していた職場で改善してほしかったこと〔複数回答〕

次に、最も改善してほしかったことを全体でみると、回答上位は「院長等、職場の人間関係」が 19.4%、「待遇改善（ベースアップ・定期昇給等）」が 12.9%、「専門性・資格等の評価」が 7.4%、「業務量の軽減」が 5.9%、「休暇の取得」が 5.0%、「雇用の安定性の確保」が 4.1%、「子育て支援の充実」が 3.7%、「多様な勤務形態・勤務時間の導入」が 3.7%、「福利厚生の充実」が 3.7%で、「特にない」が 22.2%である（図 11-4）。

「その他」の内訳を多い順でみると、「パワハラへの対応」「人員不足」である。

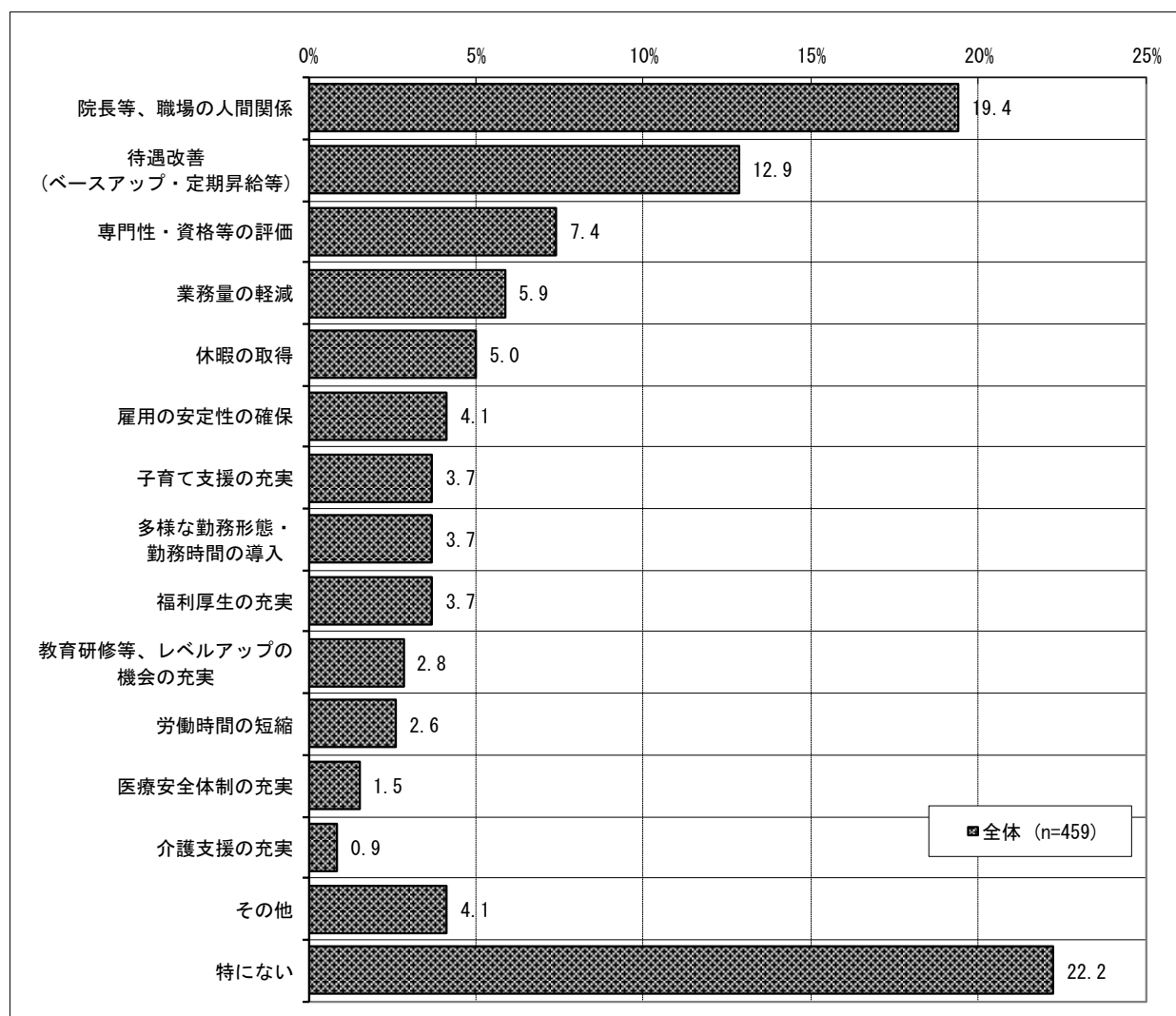


図 11-4 最後に勤務していた職場で最も改善してほしかったこと

3. 退職してからの年数【Q90】

歯科衛生士として働いていた勤務先を退職してからの年数を全体で見ると、「3 年以上 10 年未満」が 28.1%、「1 年以上 3 年未満」が 21.6%、「1 年未満」が 20.9%、「20 年以上」が 16.1%、「10 年以上 20 年未満」が 13.3%である（図 11-5）。

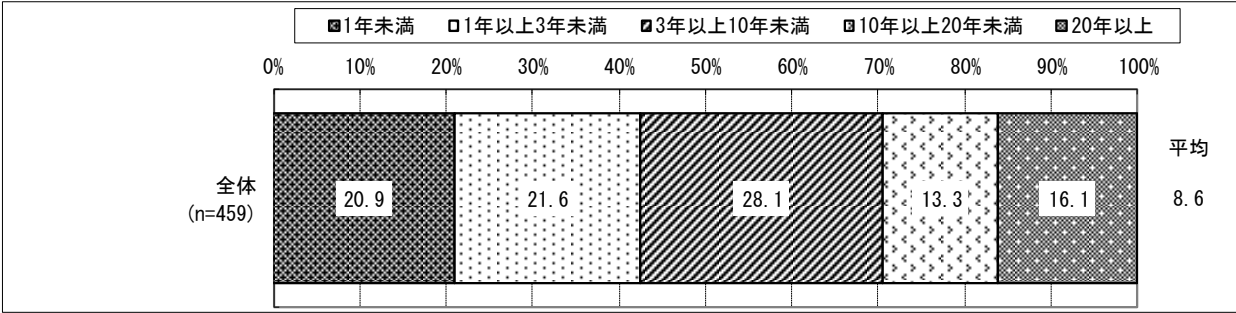


図 11-5 退職してからの年数

4. 再就職の意向【Q91】

歯科衛生士としての再就職の意向を全体でみると、「そのつもりはない」が 44.2%、「すぐにでも再就職したい」と「条件が合えば再就職したい」の合計が 33.8%、「わからない」が 22.0%である。

年齢別では、「すぐにでも再就職したい」が 30 歳から 49 歳の間で 3%台から 7%台の回答でやや多い(図 11-6)。

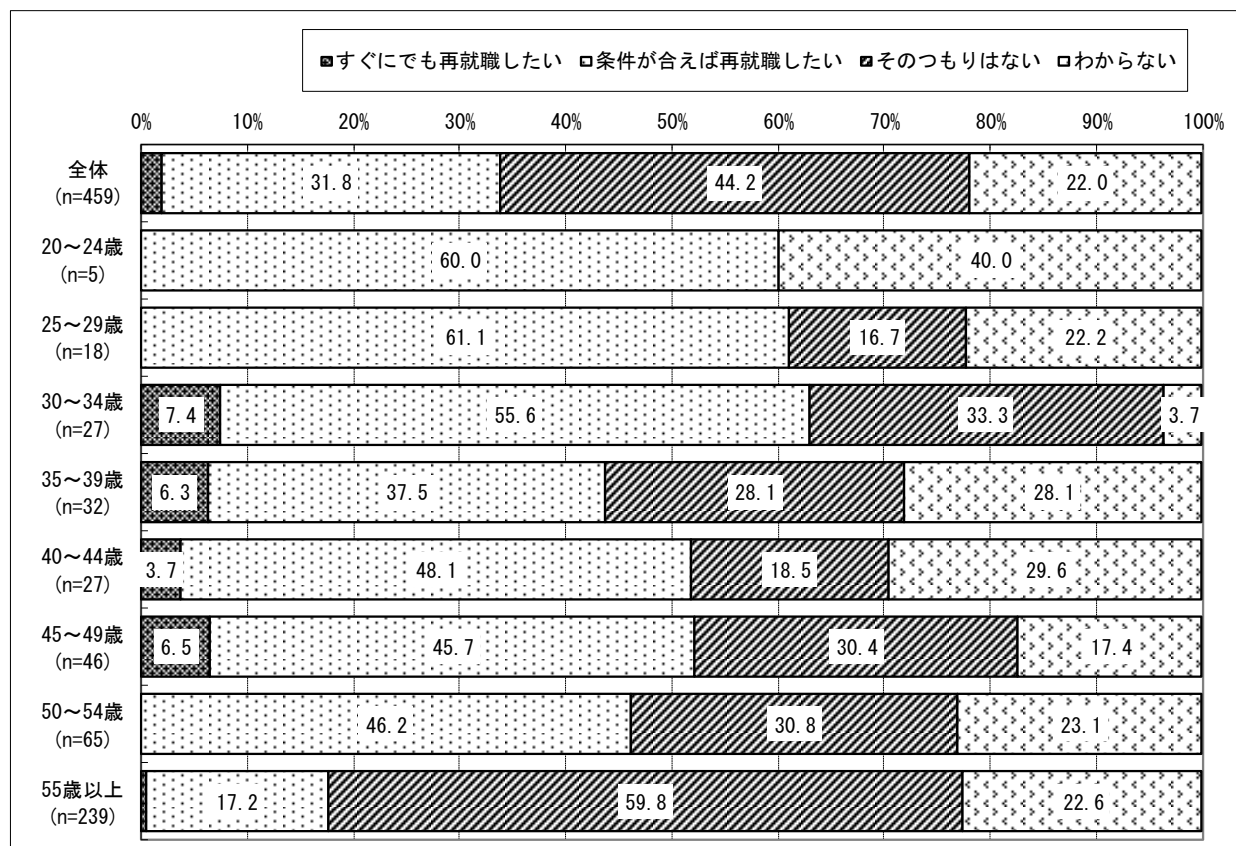


図 11-6 再就職の意向

5. 最後に勤務していた職場への再就職の意向【Q92】

Q91 で歯科衛生士として「再就職したい」と回答した者を対象に、最後に勤務していた職場への再就職の意向を全体でみると、「そのつもりはない」が 60.0%、「すぐにでも再就職したい」と「条件が合えば再就職したい」の合計が 34.8%、「わからない」が 5.2%である（図 11-7）。

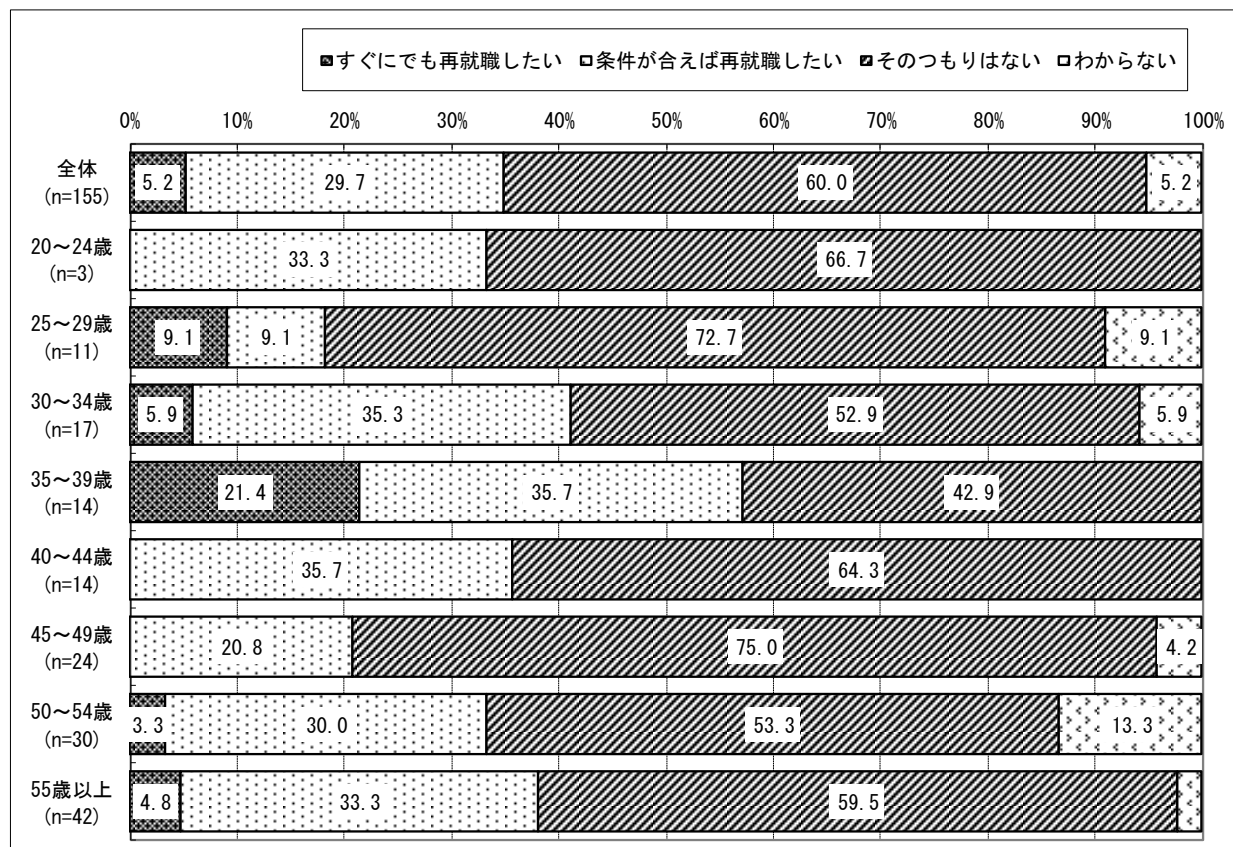


図 11-7 最後に勤務していた職場への再就職の意向

6. 就職先の探し方【Q93】

Q91 で歯科衛生士として「再就職したい」と回答した者を対象に、就職先の探し方を全体でみると、「ハローワーク」が 69.7%、「インターネット」が 47.1%、「友人・知人からの紹介」が 42.6%、「求人誌（雑誌の求人欄、新聞・チラシ等も含む）」が 31.6%、「歯科医師会・歯科衛生士会の無料職業紹介」が 29.0%、「人材派遣会社」が 13.5%、「出身学校の紹介」が 10.3%である（図 11-8）。

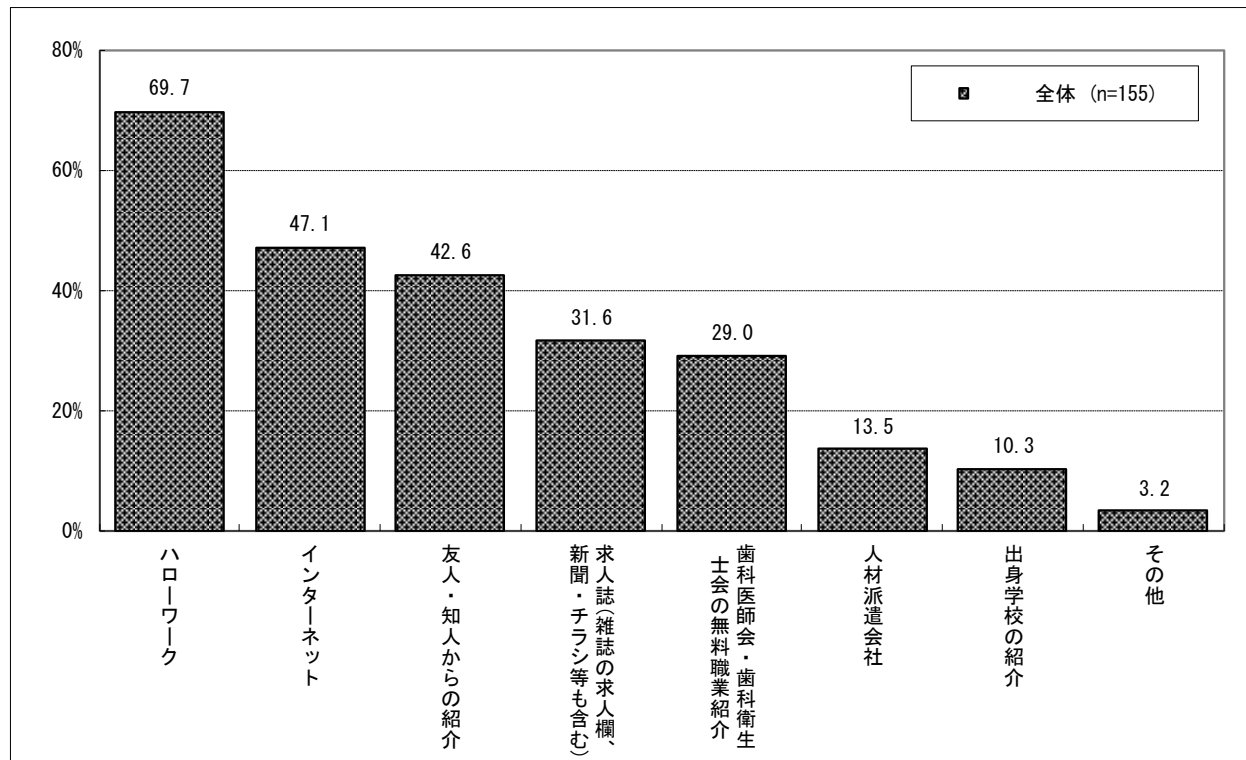


図 11-8 就職先の探し方〔複数回答〕

7. 再就職する際の障害の有無【Q94】

Q91 で歯科衛生士として「再就職したい」と回答した者を対象に、再就職する際の障害の有無を全体でみると、「ある」が76.8%、「ない」が23.2%である。年齢別で「ある」をみると、「45～49歳」、「30～34歳」「25～29歳」「50～54歳」が高い。一方、「35～39歳」や「40～44歳」は高くなく、「20～24歳」は回答0件である（図11-9）。

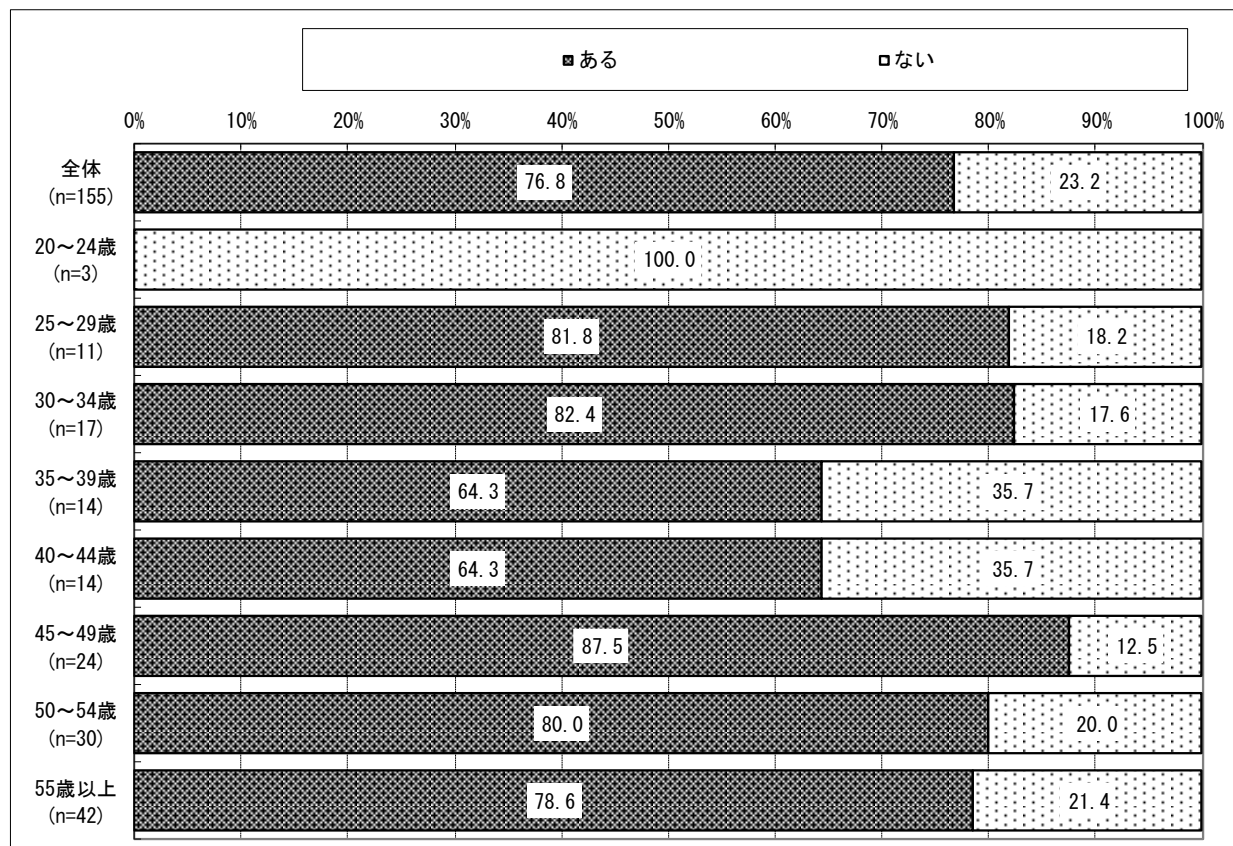


図 11-9 再就職する際の障害の有無

8. 再就職する際の障害の内容【Q94-1】

Q94 で再就職する際の障害が「ある」と回答した者を対象に、再就職する際の障害の内容を全体で見ると、「勤務時間」が 54.6%（前回 57.2%、前々回 54.1%）、「自分のスキル」が 43.7%（前回 47.2%、前々回 50.0%）、「給与・待遇の面」が 39.5%（前回 24.8%、前々回 21.4%）、「高齢のため」が 31.1%（前回 27.4%、前々回 33.1%）、「相談窓口がない」4.2%（前回 8.3%、前々回 3.6%）である（図 11-10）。

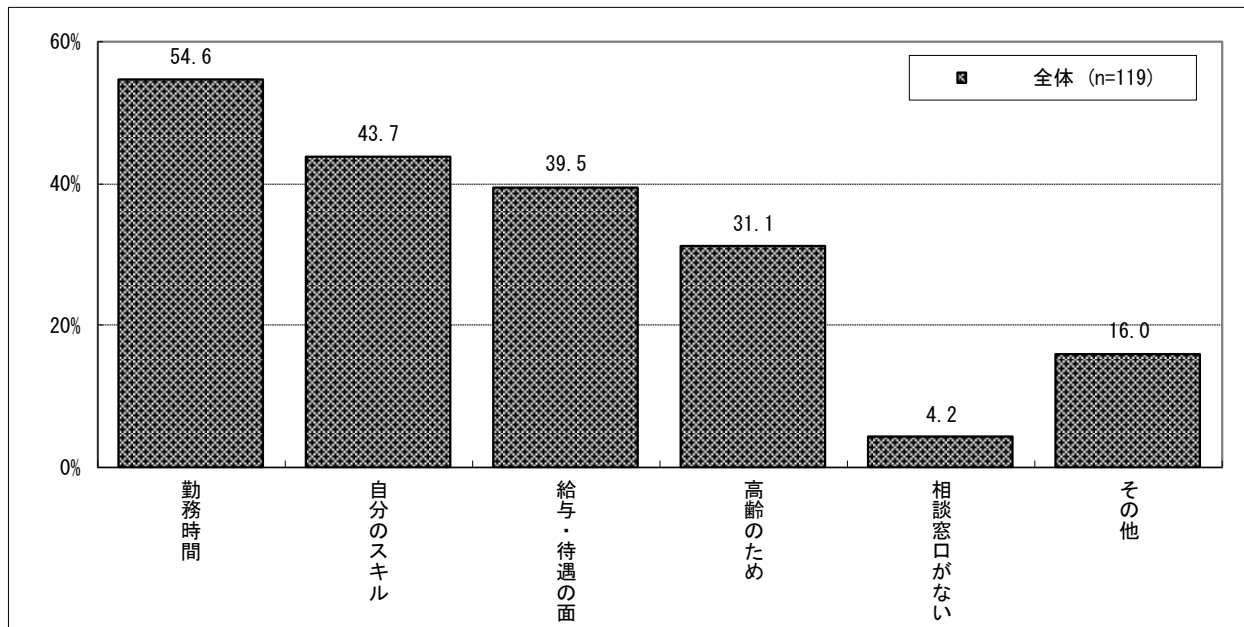


図 11-10 再就職する際の障害の内容〔複数回答〕

9. 歯科衛生士として希望する再就職先【Q95】

Q91 で歯科衛生士として「再就職したい」と回答した者を対象に、希望する再就職先を全体でみると、「診療所」が 54.8%、「介護保険施設等」が 32.9%、「行政（保健所・都道府県・市区町村）」が 30.3%、「病院・大学病院」が 29.7%、「歯科健診・保健活動機関」が 25.8%、「企業・事業所（歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務）」が 19.4%、「社会福祉施設」が 18.7%、「歯科衛生士教育養成機関」が 16.1%、「地域包括支援センター等」が 16.1%、「障害者歯科診療所等（障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む）」が 10.3%、「企業・事業所（商品開発・営業等）」が 9.7%、「研究機関」が 5.2%である（図 11-11）。

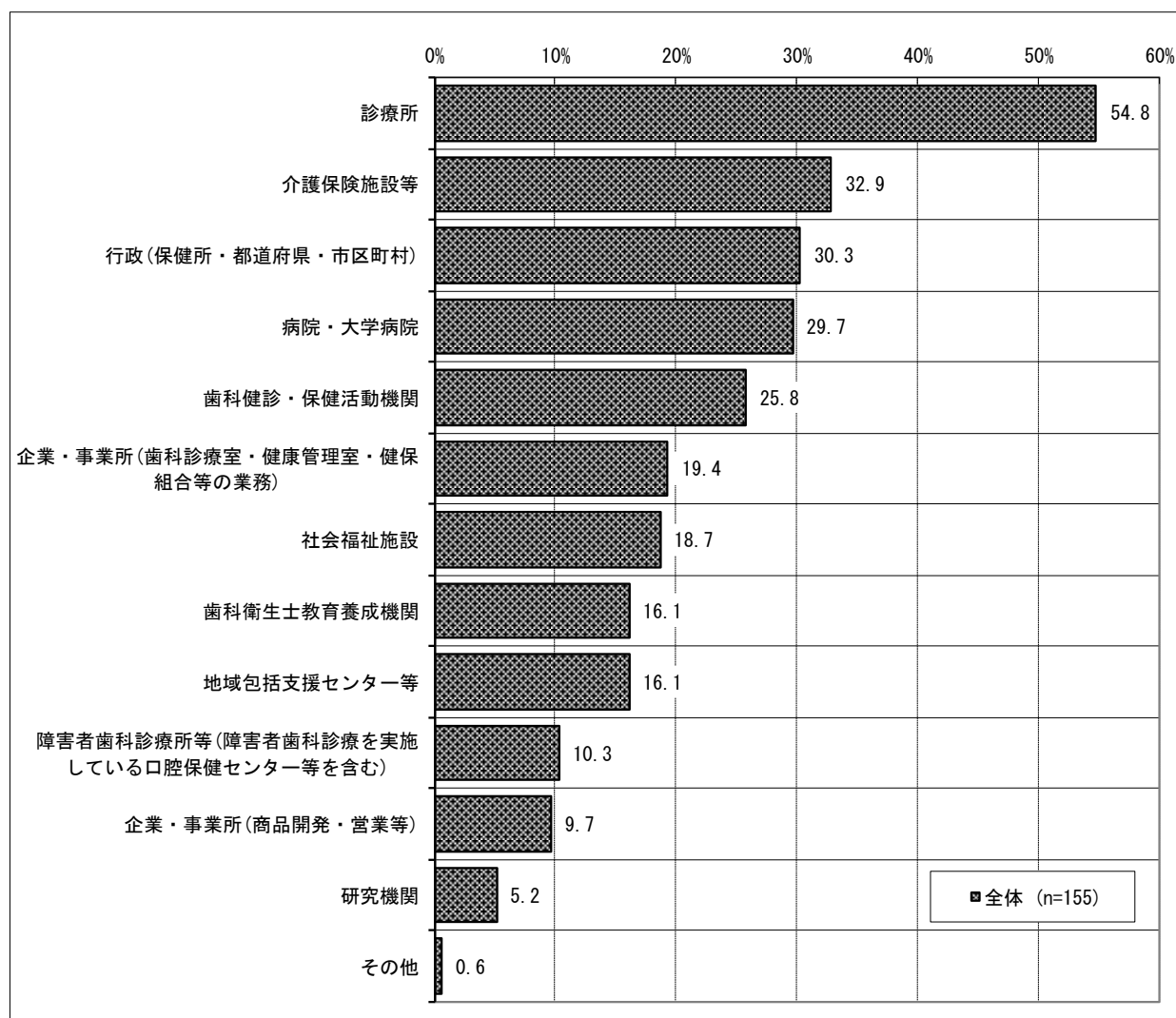


図 11-11 歯科衛生士として希望する再就職先〔複数回答〕

10. 再就職のための研修の希望の有無【Q96】

再就職のための研修の希望の有無を全体でみると、研修を希望「する」が28.8%、「しない」が71.2%である。年齢別で希望「する」をみると、30代、「45～49歳」「55歳以上」での回答が低い（図11-12）。

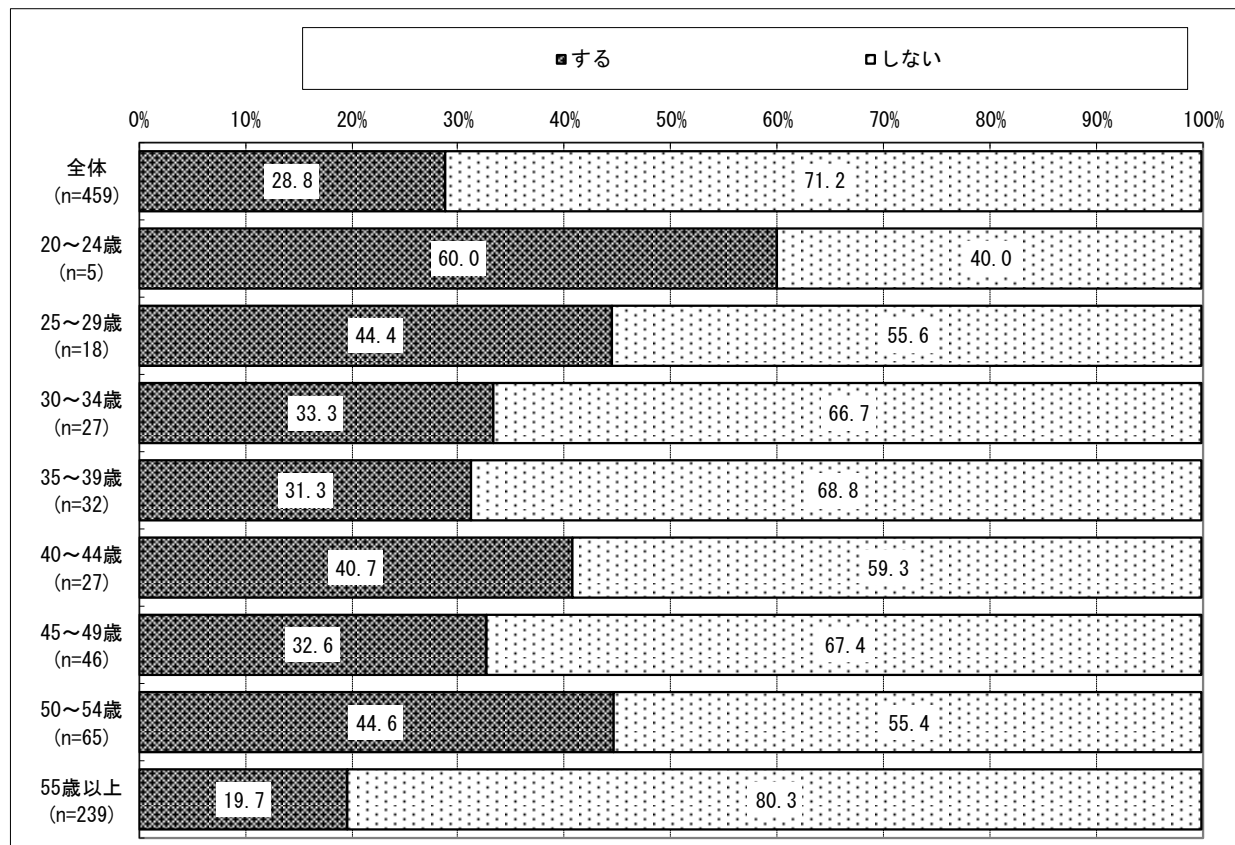


図11-12 再就職のための研修の希望の有無

11. 希望する再就職研修の内容【Q96-1】

Q96 で再就職するための「研修を希望する」と回答した者について、希望する研修内容を全体でみると、「摂食嚥下機能訓練に関する技術」が 69.7%、「口腔衛生管理に関する技術」が 61.4%、「筋機能訓練に関する技術」が 61.4%、「スケーリング・ルートプレーニング等の歯周疾患に関する技術」が 52.3%、「個人を対象とする歯科保健指導の技術」が 52.3%、「カウンセリング技術」が 50.0%、「う蝕予防・抑制に関する技術」が 44.7%、「介護技術」が 43.9%、「集団を対象とする歯科保健指導の技術」が 42.4%、「歯科材料の取り扱い・チェアーサイドアシスタントなどの歯科診療補助の技術」が 35.6%、「概形印象採得・充填物の研磨・ラバーダム防湿等の歯科診療補助の技術」が 31.8%である（図 11-13）。

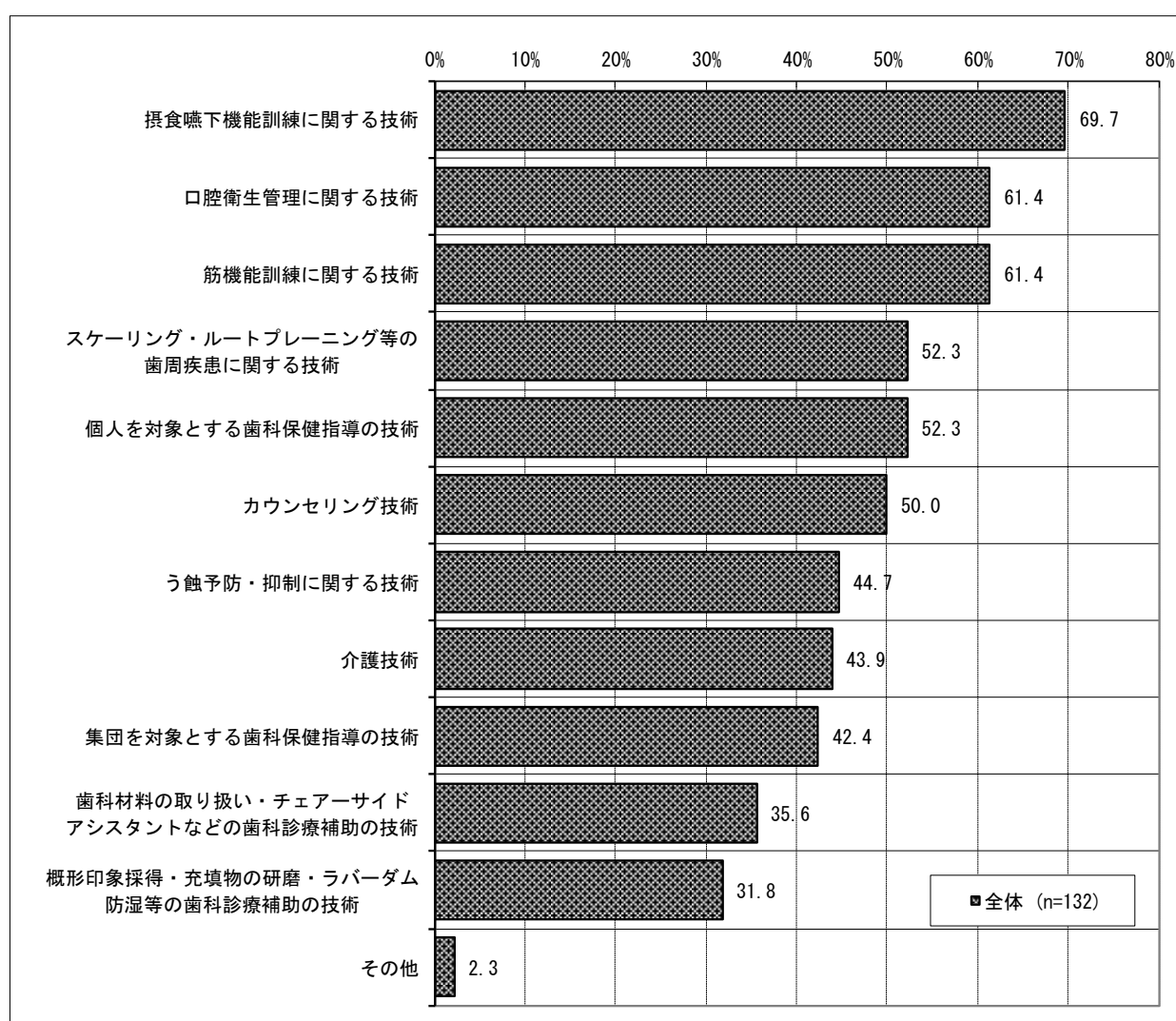


図 11-13 希望する再就職研修の内容〔複数回答〕

次に、Q96 で再就職するための「研修を希望する」と回答した者について、最も希望する研修内容を全体でみると、「スケーリング・ルートプレーニング等の歯周疾患に関する技術」が 24.2%、「摂食嚥下機能訓練に関する技術」が 20.5%、「歯科材料の取り扱い・チェアーサイドアシスタントなどの歯科診療補助の技術」が 9.1%、「筋機能訓練に関する技術」が 8.3%、「口腔衛生管理に関する技術」が 7.6%、「個人を対象とする歯科保健指導の技術」が 7.6%、「集団を対象とする歯科保健指導の技術」が 6.1%、「カウンセリング技術」が 6.1%、「概形印象採得・充填物の研磨・ラバーダム防湿等の歯科診療補助の技術」が 4.5%、「介護技術」が 3.0%、「う蝕予防・抑制に関する技術」が 1.5%である（図 11-14）。

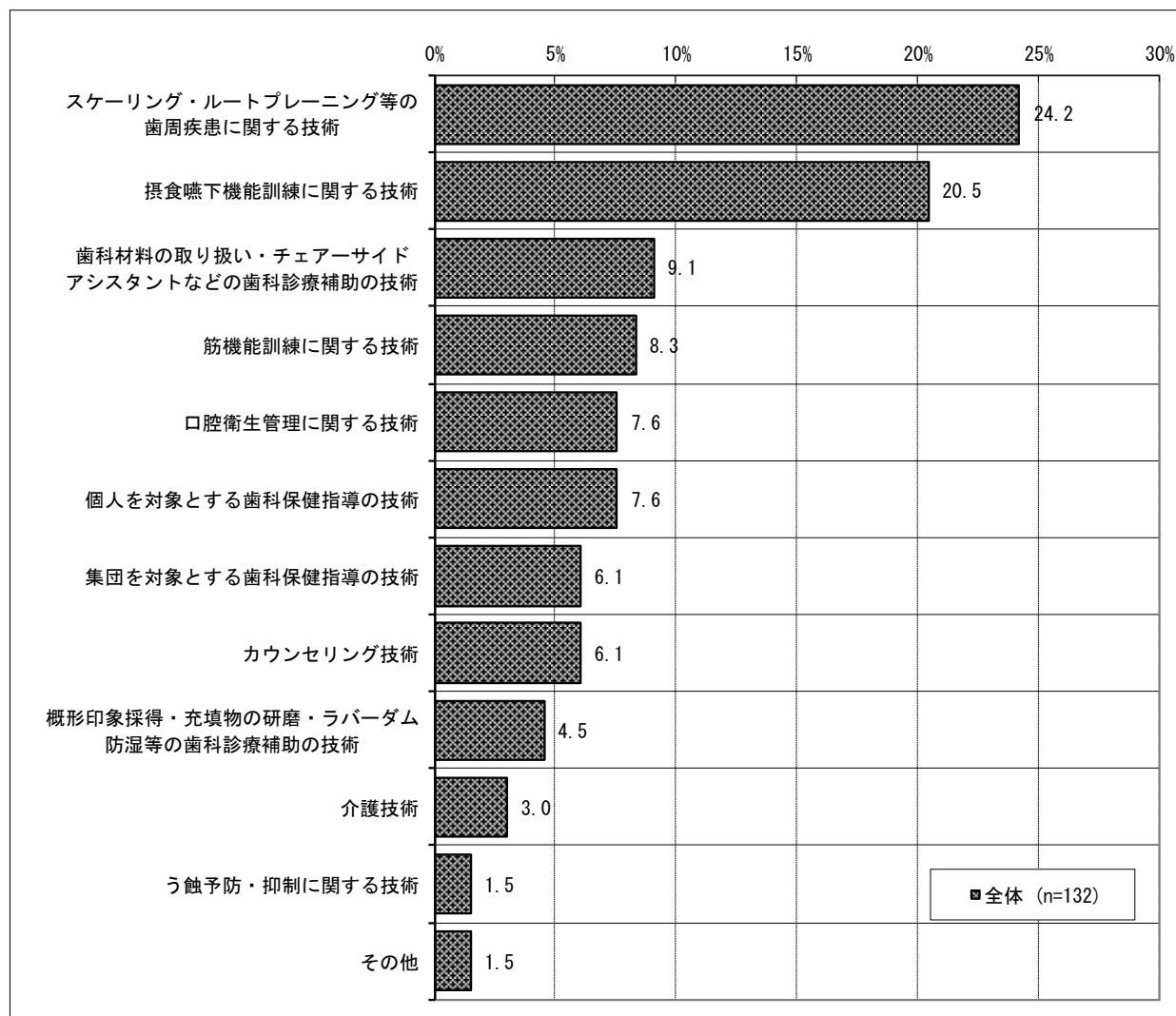


図 11-14 最も希望する再就職研修の内容

第 4 章 資料

第10回歯科衛生士の勤務実態調査

「歯科衛生士の勤務実態調査」に関するご協力をお願い

会員の皆様には、日頃より本会の事業にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、「歯科衛生士の勤務実態調査」は、歯科衛生士の業務や勤務の実態を示し、会員の皆様の意向を本会の事業に反映するため、5年ごとに実施しております。

多くの会員にご協力をいただくことで、調査結果の信頼性と価値が高まります。

答えにくい設問もあるかと思いますが、重要なデータとなりますのでぜひご回答をお願いします。

また、本調査のデータは、本会関係者による研究に用いられることがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、本調査は「株式会社ネオマーケティング」へ業務委託をして、実施しております。

アンケート所要時間:10分～20分程度

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。
回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

推奨ブラウザ

【Windows】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Microsoft Edge 最新版
【MacOS】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Safari 最新版
【Android】
標準ブラウザ (Chrome) 最新版
【iOS】
標準ブラウザ (Safari) 最新版
Chrome 最新版

次へ

-----<改ページ>-----

SC1 あなたは「公益社団法人日本歯科衛生士会」の会員ですか

☐ はい

☐ いいえ

-----<改ページ>-----

【終了(END7)】
SC1で『2.いいえ』 いずれかを選択した方のみ

-----<改ページ>-----

● あなた自身のことについてお伺いします ※以下の質問は全て令和6年10月1日現在でお答えください

Q1 あなたの所属する都道府県歯科衛生士会はどこですか

選択して下さい▼

-----<改ページ>-----

Q2_1 あなたの年齢と性別と 歯科衛生士免許取得年をご記入ください

現在の年齢
満 歳

Q2_2 性別

- ☐ 女
☐ 男
☐ その他

Q2_3 免許取得年(西暦)

年

-----<改ページ>-----

Q3 最終学歴は次のうちどれですか(お答えは1つ)

- ☐ 歯科衛生士専門学校
☐ 短期大学
☐ 短期大学(専攻科)
☐ 大学
☐ 大学院修士課程修了
☐ 大学院博士課程修了
☐ その他(具体的に)

-----<改ページ>-----

Q4 歯科衛生士として実際に働いた年数(経験年数)は何年ですか(令和6年10月1日現在の延べ年・月数)

年

か月

-----<改ページ>-----

Q5 あなたにとって歯科衛生士の仕事の魅力は何ですか(各項目1つお選びください)

		はい	いいえ
国家資格である	→	☐	☐
専門性の高い仕事である	→	☐	☐
転職・就職に困らない	→	☐	☐
収入が安定している	→	☐	☐
人や社会に貢献できる	→	☐	☐
人の命や健康を守る仕事である	→	☐	☐
人に直接関われる・手助けできる	→	☐	☐

Q5SQ 上記以外で、魅力に思うことがあれば記入ください

-----<改ページ>-----

Q6_1 過去3年間のうち、研修会に参加したことがありますか

☐ はい

☐ いいえ

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q6_1で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q6_2

過去3年間のうちに参加した研修会をお答えください
(参加したことがあるもの全てをお選びください)

- ☐ 歯科衛生士会の研修
- ☐ 日本歯科衛生学会
- ☐ DH-Ken
- ☐ 日本歯科衛生学会以外の学会
- ☐ 勤務先での研修
- ☐ その他（具体的に
)

-----<改ページ>-----

Q7

現在、歯科衛生士として就業していますか(お答えは1つ)

- ☐ はい
- ☐ いいえ

-----<改ページ>-----

Q8

あなたが日本歯科衛生士会の会員になっている理由は何ですか
(あてはまるものすべてをお選びください)

- ☐ 専門職として社会から認められるため
- ☐ 歯科衛生士の職能を守るため
- ☐ 歯科衛生士のための情報を得るため
- ☐ 研修を受けるため
- ☐ 歯科衛生士保険制度があるため
- ☐ その他（具体的に
)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q9 現在の主な勤務先の就業状況をお答えください(お答えは1つ)

☐ 常勤（正規雇用）

☐ 常勤（任期付き等）

☐ 非常勤（パートタイム等）

☐ その他（具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q9で『1.常勤(正規雇用)』～『2.常勤(任期付き等)』いずれかを選択した方のみ

Q9_1 【Q9で「常勤」と回答した方にお伺いします】
現在の職場における勤務年数は何年ですか

年

か月

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q9で『3.非常勤(パートタイム等)』いずれかを選択した方のみ

Q9_2 【Q9で「非常勤」と回答した方にお伺いします】
歯科衛生士としての就業場所は何か所ありますか(お答えは1つ)

☐ 1か所のみで勤務している

☐ 複数の就業先で勤務している

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q9_2で『2.複数の就業先で勤務している』いずれかを選択した方のみ

Q9_3 直近1か月間で歯科衛生士としての就業場所は何か所ありましたか

か所

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q10 就業規則はありますか(お答えは1つ)

☐ ある

☐ ない

☐ わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q11 歯科衛生士としての1週間の勤務日数は何日ですか 直近1か月の平均でお答えください(半日勤務は0.5日で算出してください)

日(小数点第1位まで記入)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q12 歯科衛生士としての1日あたりの勤務時間(実働時間)は何時間ですか 直近1週間の平均でお答えください

時間

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q13 勤務形態はどれですか(お答えは1つ)

☐ 固定時間制

☐ フレックスタイム制

☐ 裁量労働制

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q14 給与の形態は次のうちどれですか(お答えは1つ)

- ☐ 月給
- ☐ 日給
- ☐ 時間給
- ☐ その他(具体的に)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q14で『3.時間給』いずれかを選択した方のみ

Q14_1 主な勤務先の時給(税込)はどのくらいですか(お答えは1つ)

- ☐ 900円未満
- ☐ 900円以上1,100円未満
- ☐ 1,100円以上1,300円未満
- ☐ 1,300円以上1,500円未満
- ☐ 1,500円以上1,700円未満
- ☐ 1,700円以上1,900円未満
- ☐ 1,900円以上2,100円未満
- ☐ 2,100円以上
- ☐ 答えたくない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q15 歯科衛生士としての全ての年収(複数の就業先含む・税込)はおおむねどのくらいですか(お答えは1つ)

- ☐ 130万円未満
- ☐ 130万円以上300万円未満
- ☐ 300万円以上400万円未満
- ☐ 400万円以上500万円未満
- ☐ 500万円以上600万円未満
- ☐ 600万円以上700万円未満
- ☐ 700万円以上800万円未満
- ☐ 800万円以上900万円未満
- ☐ 900万円以上1,000万円未満
- ☐ 1,000万円以上
- ☐ 答えたくない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q16 歯科衛生士としての年収に満足していますか(お答えは1つ)

- ☐ 満足
- ☐ ある程度満足
- ☐ どちらともいえない
- ☐ 不満
- ☐ 非常に不満

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q17 退職金制度はありますか(お答えは1つ)

- ☐ ある
- ☐ ない
- ☐ わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q18 公的な健康保険に加入していますか(お答えは1つ)

- ☐ 被保険者の本人となっている
- ☐ 被保険者の扶養家族になっている
- ☐ 加入していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q18で『1.被保険者の本人となっている』いずれかを選択した方のみ

Q18_1 加入している公的な健康保険の種類は何ですか(お答えは1つ)

- ☐ 歯科医師国保
- ☐ 国民健康保険（勤務先負担有）
- ☐ 国民健康保険（勤務先負担無）
- ☐ 全国健康保険協会（協会けんぽ）
- ☐ 健保組合健康保険
- ☐ 共済組合健康保険
- ☐ 後期高齢者医療制度
- ☐ その他

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q19 年金に加入していますか(お答えは1つ)

- ☐ 本人が年金制度に加入している
- ☐ 配偶者の年金制度に加入している
- ☐ 加入していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q19で『1.本人が年金制度に加入している』いずれかを選択した方のみ

Q19_1 「ご本人が年金制度に加入している」とお答えの方にお伺いします
年金の種類は何ですか(あてはまるもの全てをお選びください)

- ☐ 国民年金（勤務先負担有）
- ☐ 国民年金（勤務先負担無）
- ☐ 厚生年金
- ☐ 共済年金
- ☐ 個人年金（民間含）
- ☐ その他

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q20 雇用保険に加入していますか(お答えは1つ)

☐ 加入している

☐ 加入していない

☐ わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q21 労災保険に加入していますか(お答えは1つ)

☐ 加入している

☐ 加入していない

☐ わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q22 現在の職場で改善してほしいことは何ですか(各項目1つお選びください)

		はい	いいえ
待遇改善(ベースアップ・定期昇給等)	→	☐	☐
業務量の軽減	→	☐	☐
院長等、職場の人間関係	→	☐	☐
労働時間の短縮	→	☐	☐
休暇の取得	→	☐	☐
子育て支援の充実	→	☐	☐
介護支援の充実	→	☐	☐
専門性・資格等の評価	→	☐	☐
教育研修等、レベルアップの機会の充実	→	☐	☐
多様な勤務形態・勤務時間の導入	→	☐	☐
医療安全体制の充実	→	☐	☐
雇用の安定性の確保	→	☐	☐
福利厚生の充実	→	☐	☐

Q22SQ 上記以外で、改善してほしいと思うことがあれば記入ください

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
Q7で『1.はい』 いずれかを選択した方のみ

Q23 歯科衛生士としての仕事に対する意識についてお答えください(各項目1つお選びください)

		非常にそう思う	まあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	全くそう思わない
あなたは、現在の仕事にやりがいを感じていますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、私生活と仕事のバランスは両立していますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、歯科衛生士の仕事が好きですか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、歯科衛生士として働くことに向いていると思いますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、歯科衛生士として誇りを感じていますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、歯科衛生士免許の価値を感じていますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、歯科衛生士という仕事に満足していますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
もし、今、あなたが「職業」を自由に選べるとしたら、歯科衛生士という職業を選びますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、歯科衛生士以外の職業である家族・知人に「歯科衛生士になりたい」と言われたら、歯科衛生士という職業を勧めますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、歯科衛生士としての業務内容に満足していますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、歯科衛生士としての労働環境に満足していますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、歯科衛生士としての雇用条件に満足していますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、歯科衛生士として今後も働き続けたいと思いますか	→	☐	☐	☐	☐	☐
あなたは、歯科衛生士の仕事はこれからも成長・発展していくと思いますか	→	☐	☐	☐	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
Q7で『1.はい』 いずれかを選択した方のみ

Q24 歯科衛生士として働くことに満足していますか(お答えは1つ)

- ☐ 大変満足している
- ☐ 満足している
- ☐ どちらともいえない
- ☐ 不満
- ☐ 大変不満

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q25 仕事上でのストレスを感じていますか(お答えは1つ)

- ☐ 非常に感じている
- ☐ まあ感じている
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり感じていない
- ☐ 全く感じていない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q26 職場でハラスメントを受けたことはありますか(お答えは1つ)

- ☐ いつもある
- ☐ 時々ある
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまりない
- ☐ 全くない

-----<改ページ>-----

Q27 勤務先を変ったことがありますか(ただし、同一勤務先の転勤異動は含まない)(お答えは1つ)

- ☐ 変わったことはない
- ☐ 1回ある
- ☐ 2回ある
- ☐ 3回ある
- ☐ 4回以上ある

【回答者条件】

Q27で『2.1回ある』～『5.4回以上ある』いずれかを選択した方のみ

Q27_1

勤務先を変った理由は何ですか(変わったことが複数回ある場合は直近の勤務先とする)
あてはまる項目(すべて)を選び、その中から最も(主な)項目を1つを選択してください。

	あてはまる理由 (すべて)	主な理由 (1つ)
	↓	↓
仕事内容	☐	☐
給与・待遇の面	☐	☐
経営者との人間関係	☐	☐
先輩との人間関係	☐	☐
同期との人間関係	☐	☐
後輩との人間関係	☐	☐
勤務形態・勤務時間	☐	☐
長時間勤務・過重労働	☐	☐
家庭の事情	☐	☐
家族の転勤	☐	☐
結婚	☐	☐
出産・育児	☐	☐
介護・看病	☐	☐
自分の健康	☐	☐
仕事内容のレベルアップのため	☐	☐
人材育成プログラムの不備	☐	☐
自分のスキルの限界	☐	☐
仕事にやりがいを感じない	☐	☐
歯科以外への興味	☐	☐
その他	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q28 転職又は現在の勤務先を替えたいと考えたことはありますか(お答えは1つ)

- ☐ 現在考えている（歯科衛生士としての職を継続）
- ☐ 現在考えている（歯科衛生士以外の職）
- ☐ 考えたことがある（歯科衛生士として）
- ☐ 考えたことがある（歯科衛生士以外の職）
- ☐ 考えたことはない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q28で『1.現在考えている(歯科衛生士としての職を継続)』～『4.考えたことがある(歯科衛生士以外の職)』いずれかを選択した方のみ

Q28_1 転職又は現在の勤務先を替えたいと考えた理由は何ですか(変わったことが複数回ある場合は直近の勤務先とする)あてはまる項目(すべて)を選び、その中から最も(主な)項目を1つを選択してください。

	あてはまる理由(すべて)	主な理由(1つ)
	↓	↓
仕事内容	☐	☐
給与・待遇の面	☐	☐
経営者との人間関係	☐	☐
先輩との人間関係	☐	☐
同僚との人間関係	☐	☐
勤務形態・勤務時間	☐	☐
長時間勤務・過重労働	☐	☐
家庭の事情	☐	☐
家族の転勤	☐	☐
結婚	☐	☐
出産・育児	☐	☐
介護・看病	☐	☐
自分の健康	☐	☐
仕事内容のレベルアップのため	☐	☐
人材育成プログラムの不備	☐	☐
自分のスキルの限界	☐	☐
仕事にやりがいを感じない	☐	☐
歯科以外への興味	☐	☐
その他	☐	☐

Q29

日本歯科衛生士会認定の資格についてあてはまるものをお答えください(各項目1つお選びください)

※スマートフォンで回答されている方は、横に回転させて回答すると回答しやすいです

		知っている				知らなかった	
		現在持っている	更新していない	今後取得したい	必要ない	今後取得したい	必要ない
生活習慣病予防(認定分野A)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
摂食嚥下リハビリテーション(認定分野A)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
在宅療養指導・口腔機能管理(認定分野A)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
糖尿病予防指導(認定分野A)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
医科歯科連携・口腔機能管理(認定分野A)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
歯科医療安全管理(認定分野A)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
障害者歯科(審査:日本障害者歯科学会、認定分野B)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
老年歯科(審査:日本老年歯科医学会、認定分野B)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
地域歯科保健(審査:日本口腔衛生学会、認定分野B)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
口腔保健管理(審査:日本口腔衛生学会、認定分野B)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
う蝕予防管理(審査:日本歯科保存学会、認定分野B)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
研修指導者・臨床実地指導者(認定分野C)	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q30

日本歯科衛生士会のほかに認定を受けている学会等がありますか(各項目1つお選びください)

☐ ある

☐ ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q30で『1.ある』いずれかを選択した方のみ

Q30_1

日本歯科衛生士会のほかに認定を受けている学会等があるとお答えの方にお伺いします
どの学会等の認定を受けていますか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐	日本歯周病学会
☐	日本臨床歯周病学会
☐	日本小児歯科学会
☐	日本歯科審美学会
☐	日本歯科人間ドック学会
☐	日本咀嚼学会
☐	日本口腔インプラント学会
☐	日本口腔ケア学会
☐	日本摂食嚥下リハビリテーション学会
☐	日本顎咬合学会
☐	全国歯科衛生士教育協議会
☐	日本アンチエイジング歯科学会
☐	日本有病者歯科医療学会
☐	日本歯科麻酔学会
☐	その他（具体的に)

-----<改ページ>-----

Q31

過去3年の間に、学会発表等に向けた研究活動をしていますか(お答えは1つ)

☐	している
☐	していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q31で『2していない』いずれかを選択した方のみ

Q31_1

過去3年の間に、学会発表等に向けた研究活動をしていない方にお伺いします
研究をしていない理由は何ですか(あてはまるもの全てをお選びください)

- ☐ 指導者・相談者がいない
- ☐ 方法がわからない
- ☐ 時間がない
- ☐ 興味がない
- ☐ 必要性を感じない
- ☐ その他(具体的に)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q31で『2していない』いずれかを選択した方のみ

Q31_2

過去3年の間に、学会発表等に向けた研究活動をしていない方にお伺いします
今後、研究を試みようと思いますか(お答えは1つ)

- ☐ 思う
- ☐ 思わない

-----<改ページ>-----

Q32

研究活動を推進するためには、どのような条件が必要ですか(あてはまるもの全てをお選びください)

- ☐ 研究の支援(指導者等)
- ☐ 発表の場
- ☐ 職場の理解
- ☐ 研究の手引き
- ☐ 研究費の助成
- ☐ その他(具体的に)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』 いずれかを選択した方のみ

Q33 学会出席に関して、勤務先からの経済的支援(学会参加費・旅費等)はありますか(お答えは1つ)

☐ ある

☐ ない

-----<改ページ>-----

Q34 専門職として最新の知識や情報をどのようなところで得ていますか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 日本歯科衛生士会会報 (歯科衛生士より)

☐ 日本歯科衛生士会ウェブサイト

☐ 関連学会ホームページ

☐ 公的機関 (官公庁等) ホームページ

☐ SNS

☐ 学会・研修会等への参加

☐ 職場同僚から

☐ 歯科商業誌

☐ 日本歯科衛生学会誌

☐ 学会学術雑誌 (和文)

☐ International Journal of Dental Hygiene

☐ 学術雑誌 (英文)

☐ その他 (具体的に

)

-----<改ページ>-----

Q35 日本歯科衛生学会のほかに所属している学会はありますか(お答えは1つ)

☐ ある

☐ ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q35で『1.ある』いずれかを選択した方のみ

Q35_1 日本歯科衛生学会のほかに所属している学会は何ですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 日本口腔衛生学会

☐ 日本歯周病学会

☐ 日本臨床歯周病学会

☐ 日本小児歯科学会

☐ 日本公衆衛生学会

☐ 日本摂食嚥下リハビリテーション学会

☐ 日本障害者歯科学会

☐ 日本老年歯科医学会

☐ 日本歯科医療管理学会

☐ 日本歯科医学教育学会

☐ 日本咀嚼学会

☐ 日本口腔インプラント学会

☐ 日本歯科審美学会

☐ 日本歯科人間ドック学会

☐ 日本歯科衛生教育学会

☐ 日本顎咬合学会

☐ 日本口腔筋機能療法学会

☐ 口腔ケア学会

☐ 日本歯科保存学会

☐ 日本口腔外科学会

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『1.はい』いずれかを選択した方のみ

Q36

現在勤務している就業場所は次のどれにあたりますか
勤務先が2つ以上ある場合は主に勤務されているもの1つについてお答えください(お答えは1つ)

- ☐ 診療所
- ☐ 病院・大学病院
- ☐ 障害者歯科診療所等（障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む）
- ☐ 行政（保健所・都道府県・市区町村）
- ☐ 歯科衛生士教育養成機関
- ☐ 企業・事業所（歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務）
- ☐ 企業・事業所（商品開発・営業等）
- ☐ 歯科健診・保健活動機関
- ☐ 社会福祉施設
- ☐ 介護保険施設等
- ☐ 地域包括支援センター等
- ☐ 研究機関
- ☐ その他（具体的に
)

-----<改ページ>-----

【終了(END3)】

Q36で『7.企業・事業所（商品開発・営業等）』～『9.社会福祉施設』、『11.地域包括支援センター等』～『13.その他（具体的に）』いずれかを選択した方のみ

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等（障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む）』、『6.企業・事業所（歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務）』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設（診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等）に勤務している方にお伺いします

Q37

勤務先の経営形態は次のどれにあてはまりますか(お答えは1つ)

- ☐ 個人診療所
- ☐ 医療法人
- ☐ 学校法人
- ☐ 公益法人（財団法人・社団法人等）
- ☐ 公的医療機関（公立病院・診療所等）
- ☐ 企業・健保組合等の診療所等
- ☐ その他

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q38 標榜科名を教えてください(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 歯科

☐ 小児歯科

☐ 矯正歯科

☐ 歯科口腔外科

☐ その他

☐ 歯科を標榜していない

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q39 あなたが従事している診療所(室、科)の勤務者の人数をおしえてください

名

Q39_1 勤務先の人員構成を教えてください あなたが従事している歯科の診療所(室、科)で、以下の人員がいるかどうかをお答えください

			い る	い な い
常勤	【常勤】歯科医師	→	☐	☐
	【常勤】歯科衛生士	→	☐	☐
	【常勤】歯科技工士	→	☐	☐
	【常勤】看護師	→	☐	☐
	【常勤】管理栄養士・栄養士	→	☐	☐
	【常勤】理学療法士	→	☐	☐
	【常勤】作業療法士	→	☐	☐
	【常勤】言語聴覚士	→	☐	☐
	【常勤】歯科業務補助者(歯科助手・看護助手)	→	☐	☐
	【常勤】その他	→	☐	☐
非常勤	【非常勤】歯科医師	→	☐	☐
	【非常勤】歯科衛生士	→	☐	☐
	【非常勤】歯科技工士	→	☐	☐
	【非常勤】看護師	→	☐	☐
	【非常勤】管理栄養士・栄養士	→	☐	☐
	【非常勤】理学療法士	→	☐	☐
	【非常勤】作業療法士	→	☐	☐
	【非常勤】言語聴覚士	→	☐	☐
	【非常勤】歯科業務補助者(歯科助手・看護助手)	→	☐	☐
	【非常勤】その他	→	☐	☐

HQ4	Q39_2回答分岐用 【この設問はモニター回答時には画面に表示されません】
-----	--

- ☐ 1 【常勤】歯科医師
Q39_1で「1.【常勤】歯科医師」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 2 【常勤】歯科衛生士
Q39_1で「2.【常勤】歯科衛生士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 3 【常勤】歯科技工士
Q39_1で「3.【常勤】歯科技工士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 4 【常勤】看護師
Q39_1で「4.【常勤】看護師」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 5 【常勤】管理栄養士・栄養士
Q39_1で「5.【常勤】管理栄養士・栄養士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 6 【常勤】理学療法士
Q39_1で「6.【常勤】理学療法士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 7 【常勤】作業療法士
Q39_1で「7.【常勤】作業療法士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 8 【常勤】言語聴覚士
Q39_1で「8.【常勤】言語聴覚士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 9 【常勤】歯科業務補助者(歯科助手・看護助手)
Q39_1で「9.【常勤】歯科業務補助者(歯科助手・看護助手)」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 10 【常勤】その他
Q39_1で「10.【常勤】その他」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 11 【非常勤】歯科医師
Q39_1で「11.【非常勤】歯科医師」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 12 【非常勤】歯科衛生士
Q39_1で「12.【非常勤】歯科衛生士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 13 【非常勤】歯科技工士
Q39_1で「13.【非常勤】歯科技工士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 14 【非常勤】看護師
Q39_1で「14.【非常勤】看護師」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 15 【非常勤】管理栄養士・栄養士
Q39_1で「15.【非常勤】管理栄養士・栄養士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 16 【非常勤】理学療法士
Q39_1で「16.【非常勤】理学療法士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 17 【非常勤】作業療法士
Q39_1で「17.【非常勤】作業療法士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 18 【非常勤】言語聴覚士
Q39_1で「18.【非常勤】言語聴覚士」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 19 【非常勤】歯科業務補助者(歯科助手・看護助手)
Q39_1で「19.【非常勤】歯科業務補助者(歯科助手・看護助手)」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 20 【非常勤】その他
Q39_1で「20.【非常勤】その他」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ

【回答者条件】

HQ4で『1.【常勤】歯科医師』～『20.【非常勤】その他』いずれかを選択した方のみ

Q39_2

勤務先の人員構成を教えてください あなたが従事している歯科の診療所(室、科)の、常勤・非常勤の1日あたりの平均人数をお答えください

【常勤】歯科医師		名
【常勤】歯科衛生士		名
【常勤】歯科技工士		名
【常勤】看護師		名
【常勤】管理栄養士・栄養士		名
【常勤】理学療法士		名
【常勤】作業療法士		名
【常勤】言語聴覚士		名
【常勤】歯科業務補助者(歯科助手・看護助手)		名
【常勤】その他		名
【非常勤】歯科医師		名
【非常勤】歯科衛生士		名
【非常勤】歯科技工士		名
【非常勤】看護師		名
【非常勤】管理栄養士・栄養士		名
【非常勤】理学療法士		名
【非常勤】作業療法士		名
【非常勤】言語聴覚士		名
【非常勤】歯科業務補助者(歯科助手・看護助手)		名
【非常勤】その他		名

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q39_1で「10.【常勤】その他」で『1.いる』いずれかを選択した

または

Q39_1で「20.【非常勤】その他」で『1.いる』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設（診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等）に勤務している方にお伺いします

Q39_2SQ

前問で勤務先の人員構成について、「その他」に1人以上の人数を入力されましたが、具体的にどのような内容でしょうか

【常勤】その他

【非常勤】その他

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等（障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む）』、『6.企業・事業所（歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務）』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設（診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等）に勤務している方にお伺いします

あなたが従事している診療所（室、科）の設備についてお答えください

Q40_1

ユニット数

 台

Q40_2

歯科衛生士が使用する専用ユニット

☐ ある

☐ ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q40_2で『1.ある』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設（診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等）に勤務している方にお伺いします

Q40SQ

診療所（室、科）の以下設備について、台数をお答えください

歯科衛生士が使用する専用ユニット 台

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q41 在宅療養支援歯科診療所または在宅療養支援歯科病院の指定施設ですか(お答えは1つ)

☐ はい

☐ いいえ

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q42_1 「歯科予防処置」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施 している	実施 していない
フッ化物歯面塗布	→	☐	☐
シーラント	→	☐	☐
予防的歯石除去(歯周治療以外の機械的歯面清掃等)	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q42_2_1 歯科診療の補助について「聞きとり・医療面接・相談指導・インフォームドコンセント」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施 している	実施 していない
口腔内の予備診査(問診含)	→	☐	☐
治療内容の説明・相談	→	☐	☐
術前の注意事項の説明	→	☐	☐
医薬品の授与と服薬指導	→	☐	☐
患者・家族との相談・対応	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q42_2_2 歯科診療の補助について「検査・モニタリング」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施している	実施していない
バイタルチェック(血圧、脈拍、体温等)	→	☐	☐
心電計及びモニターの装着	→	☐	☐
カリエスリスク検査(う蝕活動性試験含)	→	☐	☐
ペリオリスク判定	→	☐	☐
口臭度チェック・判定	→	☐	☐
咬合検査、咬合接触検査	→	☐	☐
歯列の検査	→	☐	☐
咀嚼機能検査	→	☐	☐
嚥下機能検査	→	☐	☐
口腔内写真	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q42_2_3 歯科診療の補助について「歯周治療」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施している	実施していない
歯周組織検査(ブローピング、歯肉炎症度、歯牙動揺度など)	→	☐	☐
スクレーピング・ルートプレーニング	→	☐	☐
SPT・メインテナンス	→	☐	☐
歯周外科手術の補助	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q43_2_4 歯科診療の補助について「口腔機能低下症」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施している	実施していない
口腔機能低下症に関する検査	→	☐	☐
検査結果に基づく口腔機能を高める指導	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q43_2_5 歯科診療の補助について「口腔機能発達不全症」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施している	実施していない
口腔機能発達不全症に関する検査	→	☐	☐
検査結果に基づく口腔機能を高める指導	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q43_2_6 歯科診療の補助について「印象採得・咬合採得」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施している	実施していない
スタディモデルの印象採得	→	☐	☐
支台歯形成の前準備(歯肉圧排)	→	☐	☐
インレー窩洞の印象採得	→	☐	☐
インレー窩洞の咬合採得	→	☐	☐
スプリント用印象採得	→	☐	☐
スプリント用咬合採得	→	☐	☐
クラウン・ブリッジの印象採得	→	☐	☐
クラウン・ブリッジの咬合採得	→	☐	☐
口腔内スキャナーによる印象採得	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q43_2_7 歯科診療の補助について「矯正歯科」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施している	実施していない
セファロトレース	→	☐	☐
バンディング	→	☐	☐
ブラケットのボンディング	→	☐	☐
印象採得(平行模型用全顎印象)	→	☐	☐
装置の研磨・調整	→	☐	☐
装置の撤去	→	☐	☐
筋機能訓練(MFT)	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q43_2_8 歯科診療の補助について「口腔インプラント」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施 している	実施 していない
インプラント周囲のプロービング	→	☐	☐
インプラント体の動揺度検査	→	☐	☐
インプラント体周囲のスクレーリング	→	☐	☐
インプラント手術の補助	→	☐	☐
手術前・後の注意事項の説明	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q43_2_9 歯科診療の補助について「静脈路等」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施 している	実施 していない
輸液剤の交換・輸液速度の調節	→	☐	☐
静脈確保	→	☐	☐
採血	→	☐	☐
点滴	→	☐	☐
薬剤の投与 (静脈注射、挿肛等一吸入鎮静法時の 亜酸化窒素濃度の調整および 静脈内鎮静法時の薬物の追加投与等も含)	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q43_2_10 歯科診療の補助について「障害者歯科」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施している	実施していない
一般歯科治療時のモニタリング機器装置・モニタリング・記録	→	☐	☐
ラバーダム防湿	→	☐	☐
摂食機能療法・間接訓練	→	☐	☐
摂食機能療法・直接訓練	→	☐	☐
筋機能療法(MFT)	→	☐	☐
摂食訓練時の気切部気管吸引	→	☐	☐
咽頭部の吸引	→	☐	☐
行動調整	→	☐	☐
口腔衛生管理	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q43_2_11 歯科診療の補助について「療養上の指導等」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)

		実施している	実施していない
歯科衛生実地指導(小児患者)	→	☐	☐
歯科衛生実地指導(歯周疾患患者)	→	☐	☐
義歯の清掃・取り扱い等の指導	→	☐	☐
フッ化物洗口法の指導	→	☐	☐
禁煙指導	→	☐	☐
入院患者に対する口腔ケア・指導管理(訪問含む)	→	☐	☐
電話による相談・指導	→	☐	☐

Q43_2_11SQ 上記以外で実施している「療養上の指導等」があれば記入ください

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q43_2_12	歯科診療の補助について「在宅・施設等への歯科訪問業務(介護保険関連を含む)」の実施状況をお答えください(各項目1つお選びください)
-----------------	--

		実施している	実施していない
在宅患者への歯科訪問診療の補助	→	☐	☐
在宅患者への訪問歯科衛生指導(居宅療養管理指導含む)	→	☐	☐
摂食嚥下機能障害の間接訓練	→	☐	☐
摂食嚥下機能障害の直接訓練	→	☐	☐
咽頭部の吸引	→	☐	☐
口腔ケアプランの作成	→	☐	☐
カンファレンス等への参加	→	☐	☐
ケアマネジャー・他職種との連絡・調整	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q43_2_13	診療室の事務・管理等は実施していますか(各項目1つお選びください)
-----------------	--

		実施している	実施していない
受付事務	→	☐	☐
レセプト事務	→	☐	☐
コンピュータ入力事務	→	☐	☐
器材・器具の滅菌・消毒	→	☐	☐
薬剤・器材の発注・管理	→	☐	☐
スタッフの指導管理	→	☐	☐
実習生(歯科衛生士学生)の指導管理	→	☐	☐

Q43_2_13SQ	上記以外で実施している診療室の事務・管理等があれば記入ください
-------------------	--

HQ3	Q44 回答分岐用 Q43_2_12のいずれかの○1にONのある方のみ表示(いずれかの「在宅・施設等への歯科訪問業務(介護保険関連を含む)」を実施している) 【この設問はモニター回答時には画面に表示されません】
-----	--

- ☐ 1 【実施】在宅患者への歯科訪問診療の補助
Q43_2_12で「1.在宅患者への歯科訪問診療の補助」で『1.実施している』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 2 【実施】在宅患者への訪問歯科衛生指導(居宅療養管理指導含む)
Q43_2_12で「2.在宅患者への訪問歯科衛生指導(居宅療養管理指導含む)」で『1.実施している』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 3 【実施】摂食嚥下機能障害の間接訓練
Q43_2_12で「3.摂食嚥下機能障害の間接訓練」で『1.実施している』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 4 【実施】摂食嚥下機能障害の直接訓練
Q43_2_12で「4.摂食嚥下機能障害の直接訓練」で『1.実施している』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 5 【実施】咽頭部の吸引
Q43_2_12で「5.咽頭部の吸引」で『1.実施している』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 6 【実施】口腔ケアプランの作成
Q43_2_12で「6.口腔ケアプランの作成」で『1.実施している』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 7 【実施】カンファレンス等への参加
Q43_2_12で「7.カンファレンス等への参加」で『1.実施している』いずれかを選択した方のみ
- ☐ 8 【実施】ケアマネジャー・他職種との連絡・調整
Q43_2_12で「8.ケアマネジャー・他職種との連絡・調整」で『1.実施している』いずれかを選択した方のみ

【回答者条件】

HQ3で『1.【実施】在宅患者への歯科訪問診療の補助』～『8.【実施】ケアマネジャー・他職種との連絡・調整』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設（診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等）に勤務している方にお伺いします

Q44

前問で在宅・施設等への歯科訪問業務を実施していると答えの方にお伺いします

歯科訪問診療の際、連携している職種はありますか（各項目1つお選びください）

*ここでいう連携とは、「歯科訪問業務を行う際に他の職種と情報共有や依頼や相談などを実施しているか」を指します

		連携 している	連携 していない
医師	→	☐	☐
歯科医師	→	☐	☐
看護師・准看護師	→	☐	☐
理学療法士	→	☐	☐
作業療法士	→	☐	☐
言語聴覚士	→	☐	☐
管理栄養士・栄養士	→	☐	☐
ケアマネジャー	→	☐	☐
地域包括支援センターの関連職種	→	☐	☐
介護職	→	☐	☐
施設職員	→	☐	☐

Q44SQ

上記以外で連携している職種があれば記入ください

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q45A

外来患者や入院患者(他医療機関の入院患者を含む)に対して周術期等の口腔機能管理を実施していますか
(お答えは1つ、診療報酬の算定有無にかかわらず)

☐ 実施している

☐ 実施していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q45Aで『1.実施している』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q45A_1

周術期等の口腔機能管理における専門的口腔衛生処置として実際に実施していることをお答えください(各項目1つお選びください)

		実施している	実施していない
術者による歯磨き(歯間部清掃も含む)	→	☐	☐
歯石除去および機械的歯面清掃	→	☐	☐
舌や粘膜の清掃	→	☐	☐
口腔内保湿	→	☐	☐
フッ化物歯面塗布(根面含む)	→	☐	☐
洗口または含嗽指導	→	☐	☐
歯肉、粘膜等への薬物塗布	→	☐	☐
口腔清掃等の実地指導(患者本人・介護者・家族等)	→	☐	☐
義歯の清掃	→	☐	☐
摂食嚥下訓練	→	☐	☐
口腔内アセスメント	→	☐	☐
栄養指導	→	☐	☐

Q45A_1SQ

上記以外で実施している専門的口腔衛生処置があれば記入ください

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q45Aで『1.実施している』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設（診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等）に勤務している方にお伺いします

Q45A_2 診療報酬の周術期等専門的口腔衛生処置の算定をしていますか（お答えは1つ）

☐ 算定している

☐ 算定していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等（障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む）』、『6.企業・事業所（歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務）』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設（診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等）に勤務している方にお伺いします

Q45B 入院患者（他医療機関の入院患者を含む）に対して回復期等の口腔機能管理を実施していますか（お答えは1つ、診療報酬の算定有無にかかわらず）

☐ 実施している

☐ 実施していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q45Bで『1.実施している』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設（診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等）に勤務している方にお伺いします

Q45B_1

回復期等の口腔機能管理における専門的口腔衛生処置として実際に実施していることをお答えください（各項目1つお選びください）

		実施している	実施していない
術者による歯磨き（歯間部清掃も含む）	→	☐	☐
歯石除去および機械的歯面清掃	→	☐	☐
舌や粘膜の清掃	→	☐	☐
口腔内保湿	→	☐	☐
フッ化物歯面塗布（根面含む）	→	☐	☐
洗口または含嗽指導	→	☐	☐
歯肉、粘膜等への薬物塗布	→	☐	☐
口腔清掃等の実地指導（患者本人・介護者・家族等）	→	☐	☐
義歯の清掃	→	☐	☐
摂食嚥下訓練	→	☐	☐
口腔内アセスメント	→	☐	☐
栄養指導	→	☐	☐

Q45B_1SQ

上記以外で実施している専門的口腔衛生処置があれば記入ください

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q45Bで『1.実施している』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設（診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等）に勤務している方にお伺いします

Q45B_2

診療報酬の回復期等専門的口腔衛生処置の算定をしていますか（お答えは1つ）

- ☐ 算定している
- ☐ 算定していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

歯科医療施設(診療所、病院・大学病院、障害者歯科診療所等、企業／事業所の歯科診療所等)に勤務している方にお伺いします

Q46 医科歯科連携のチーム医療(体制)に参加(所属)しているものをすべてお選びください

☐	栄養サポート
☐	摂食嚥下
☐	口腔ケア
☐	がん治療
☐	緩和ケア
☐	呼吸サポート
☐	褥瘡対策
☐	感染(制御)対策
☐	医療安全対策
☐	その他
☐	該当なし

-----<改ページ>-----

【終了(END2)】

Q36で『1.診療所』～『3.障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)』、『6.企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)』いずれかを選択した方のみ

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『4.行政(保健所・都道府県・市区町村)』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q47 勤務する地方自治体は次のどれですか(お答えは主なものに1つ)

- ☐ 都道府県
- ☐ 政令指定都市
- ☐ 中核市
- ☐ その他の市
- ☐ 町村
- ☐ 特別区
- ☐ その他(具体的に
)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『4.行政(保健所・都道府県・市区町村)』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q48 実際に勤務している所は次のどれですか(お答えは主なものに1つ)

- ☐ 都道府県庁
- ☐ 市役所・区役所・町村役場
- ☐ 保健所(都道府県)
- ☐ 保健所(政令市、特別区)
- ☐ 市町村・特別区保健センター
- ☐ その他(具体的に
)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『4.行政(保健所・都道府県・市区町村)』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q49 あなたの担当している主な業務は次のどれですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐	母子保健
☐	学校保健
☐	障害(児)者
☐	成人保健
☐	がん・特定健診等
☐	介護予防事業
☐	要介護高齢者支援
☐	難病患者
☐	感染症予防
☐	庶務
☐	その他(具体的に)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『4.行政(保健所・都道府県・市区町村)』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q50 所属している直属の係(班)の上司の職種は次のどれですか(お答えは1つ)

☐	歯科衛生士(自身が直属の上司にあたる場合もこちらを選択してください)
☐	保健師
☐	栄養士
☐	歯科医師
☐	看護師
☐	事務職
☐	その他(具体的に)
☐	直属の上司はいない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q50で『1.歯科衛生士(自身が直属の上司にあたる場合もこちらを選択してください)』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q50SQ 前問で、所属している直属の係(班)の上司の職種を「歯科衛生士」とお答えの方にお伺いします
ご自身が直属の上司にあたりますか(お答えは1つ)

☐	自身は直属上司にあたる
☐	自身は直属上司でない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『4.行政(保健所・都道府県・市区町村)』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q51 あなたの職場での立場は次のどれですか 呼称が異なる場合は準ずる立場を選択してください(お答えは1つ)

☐ 部長

☐ 次長

☐ 課長

☐ 補佐(専任)

☐ 補佐(業務兼任)

☐ 係長(専任)

☐ 係長(業務兼任)

☐ 主査

☐ 主任

☐ 主事

☐ 歯科衛生士

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『4.行政(保健所・都道府県・市区町村)』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q52 対人サービスを行っていますか(お答えは1つ)

☐ 行っている

☐ 行っていない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q52で『1.行っている』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q52_1 対人サービスを行っているとお答えの方にお伺いします
歯科健康相談(所内・所外を含む)を実施していますか(お答えは1つ)

☐ している

☐ していない

【回答者条件】

Q52_1で『1.している』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q52_2

歯科健康相談(所内・所外を含む)を実施していると答えの方にお伺いします
対象者は誰ですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 妊産婦

☐ 乳幼児

☐ 保育所・幼稚園、認定こども園児

☐ 児童・生徒(小中高生)

☐ 障害(児)者

☐ 成人一般

☐ 動機づけ支援者(特定健診受診者または特定保健指導対象者)

☐ 積極的支援者

☐ 一般高齢者

☐ 要介護・要支援高齢者

☐ 難病患者

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q52で『1.行っている』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q53 歯科健康教育を実施していますか(お答えは1つ)

☐ している

☐ していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q53で『1.している』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q53_1 歯科健康教育を実施していると答えの方にお伺いします
対象者は誰ですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 妊産婦

☐ 乳幼児

☐ 保育所・幼稚園、認定こども園児

☐ 児童・生徒(小中高生)

☐ 障害(児)者

☐ 成人一般

☐ 動機づけ支援者(特定健診受診者または特定保健指導対象者)

☐ 積極的支援者

☐ 一般高齢者

☐ 要介護・要支援高齢者

☐ 難病患者

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q52で『1.行っている』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q54

対人サービスを行っていると答えの方にお伺いします
歯科健康診査事業に従事していますか(お答えは1つ)

☐ している

☐ していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q54で『1.している』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q54_1

歯科健康診査事業に従事していると答えの方にお伺いします
従事している歯科健康診査事業はどれですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 妊産婦歯科健診

☐ 乳幼児健診(保健指導・健診補助)

☐ 1歳6か月児健診(保健指導・健診補助)

☐ 3歳児健診(保健指導・健診補助)

☐ 学校歯科健診(保健指導・健診補助)

☐ 成人歯科健診(保健指導・健診補助)

☐ 歯周病検診(保健指導・健診補助)

☐ 特定健診(保健指導・健診補助)

☐ 介護予防健診(保健指導・健診補助)

☐ 後期高齢者歯科口腔健診(保健指導・健診補助)

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q52で『1.行っている』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q55

対人サービスを行っていると答えの方にお伺いします
歯科予防処置を実施していますか(お答えは1つ)

☐ している

☐ していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q55で『1.している』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q55_1

歯科予防処置を実施していると答えの方にお伺いします
実施している予防処置はどれですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ フッ化物歯面塗布

☐ フッ化物洗口

☐ 予防的歯石除去

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q52で『1.行っている』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q56

対人サービスを行っていると答えの方にお伺いします
訪問による指導を実施していますか(お答えは1つ)

☐ している

☐ していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q56で『1.している』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q56_1

訪問による指導を実施していると答えの方にお伺いします
対象者は誰ですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 乳幼児

☐ 障害(児)者

☐ 精神障害者(ひきこもり者等を含む)

☐ 虚弱・要支援・要介護高齢者

☐ 難病患者

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『4.行政(保健所・都道府県・市区町村)』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q57 歯科衛生士および他の専門職に対する研修・教育を企画していますか(お答えは1つ)

☐ している

☐ していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q57で『1.している』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q57_1 歯科衛生士および他の専門職に対する研修・教育を企画しているとお答えの方にお伺いします
実施している研修・教育の企画は何ですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 都道府県単位の研修

☐ 保健所単位の研修

☐ 市区町村単位の研修

☐ 他団体と共催の研修

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『4.行政(保健所・都道府県・市区町村)』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q58 次の事業の企画や調整に参加していますか(各項目1つお選びください)

		参 加 し て い る	参 加 し て い な い
8020運動推進特別事業に関すること	→	☐	☐
健康づくり計画・地域歯科保健医療計画に関すること	→	☐	☐
健康増進に関すること	→	☐	☐
母子保健・学校保健に関すること	→	☐	☐
住民参加型の事業に関すること	→	☐	☐
介護予防事業に関すること	→	☐	☐
地域包括ケアシステムに関すること	→	☐	☐
臨地実習に関すること	→	☐	☐
災害支援・災害受援計画等	→	☐	☐
歯科衛生士の人材育成、復職支援等	→	☐	☐

Q58SQ 上記以外で参加している事業の企画や調整があれば記入ください

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『4.行政(保健所・都道府県・市区町村)』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q59 食育に関する事業等に参加または協力していますか(お答えは1つ)

☐ している

☐ していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q59で『1している』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q59_1

食育に関する事業等に参加または協力していると答えの方にお伺いします
対象者は誰ですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐	妊産婦
☐	乳幼児
☐	保育所・幼稚園・認定こども園児
☐	児童・生徒(小中高生)
☐	障害(児)者
☐	成人
☐	高齢者
☐	その他(具体的に)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q59で『1している』いずれかを選択した方のみ

行政(保健所、都道府県、市区町村)に勤務している方にお伺いします

Q59_2

食育に関する事業等に参加または協力していると答えの方にお伺いします
どの職種と連携していますか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐	保健師
☐	管理栄養士・栄養士
☐	医師
☐	歯科医師
☐	看護師
☐	事務職
☐	その他(具体的に)

-----<改ページ>-----

【終了(END4)】

Q36で『4.行政(保健所・都道府県・市区町村)』いずれかを選択した方のみ

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q60 勤務先の設置主体は次のどれにあてはまりますか(お答えは1つ)

☐ 国公立

☐ 学校法人

☐ 社団法人(一般・公益含む)

☐ 財団法人(一般・公益含む)

☐ 医療法人

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q61 教員経験年数は何年ですか

年

か月

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q62 教育養成機関に勤務する前に歯科衛生士としての業務(臨床・公衆衛生等)に従事した職場は次のどれにあたりますか
(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 診療所

☐ 病院

☐ 公衆衛生(地域保健・行政等)

☐ 歯科衛生士教育養成機関

☐ 社会福祉施設

☐ 老人保健福祉施設

☐ 介護支援事業所

☐ 事業所(企業・健康組合等)

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q63 学校での立場は次のどれですか(お答えは1つ)

- ☐ 学校長
- ☐ 副校長
- ☐ 教務（室長、科長、主任）
- ☐ 専任講師・教員
- ☐ 教授
- ☐ 准教授
- ☐ 講師
- ☐ 助教
- ☐ 助手
- ☐ その他（具体的に
)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q64 全国歯科衛生士教育協議会の歯科衛生士専任教員の認定等を取得していますか(お答えは1つ)

- ☐ 取得している：全衛協の歯科衛生士専任教員講習会受講修了認定証 他
)
- ☐ 現在、取得中：全衛協の歯科衛生士専任教員講習会I～V 他
)
- ☐ 取得していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q65 教員としての業務について当てはまるものをすべてお選びください
(あてはまるもの全てをお選びください)

- ☐ 教育
- ☐ 研究
- ☐ 臨床
- ☐ 生活指導
- ☐ 学校運営
- ☐ 社会貢献
- ☐ その他（具体的に
)

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』 いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q66

下記a～hの科目のうち、現在、講義を担当しているもの、実習・演習を担当しているものをそれぞれお答えください(あてはまるものをそれぞれすべてお選びください)
a～h以外で担当している科目があれば「その他」を選択し、その内容をご記入ください

	講義	実習・演習
	↓	↓
a. 歯科衛生士概論	☐	☐
b. 歯科予防処置論	☐	☐
c. 歯科診療補助論	☐	☐
d. 歯科保健指導論	☐	☐
e. 栄養指導	☐	☐
f. 摂食嚥下・訓練法	☐	☐
g. 災害支援	☐	☐
h. 歯科衛生研究	☐	☐
その他1	☐	☐
その他2	☐	☐
その他3	☐	☐
その他4	☐	☐
その他5	☐	☐
1つもない	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q67

歯科衛生士の教育を担当している専任教員の人員構成をご記入ください
なお、内訳の中で専任教員がいない場合は「0」名とご記入ください

歯科衛生士 名

歯科医師 名

看護師・保健師 名

介護福祉士 名

社会福祉士 名

その他 名

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q67で『6.その他』に[1]以上 数値を入力した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q67SQ

歯科衛生士の教育を担当している専任教員の人員構成に「その他」が含まれていた方にお伺いします
具体的にどのような職の方か、お答えください

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q68

教員の仕事はやりがいがありますか(お答えは1つ)

☐ 非常にある

☐ ある

☐ どちらともいえない

☐ ない

☐ 全くない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q69 現在の教員の業務で改善してほしいことはありますか(お答えは1つ)

☐ ある

☐ ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q69で『1.ある』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q69_1 現在の教員の業務で改善してほしいことがあるとお答えの方にお伺いします
最も改善してほしいことは何ですか(お答えは1つ)

☐ 講義・実習時間に関すること

☐ 教育以外の業務に関すること

☐ 勤務体制に関すること

☐ 学校側と教員側の意見交換

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q70 教員の評価は行われていますか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 上司から評価されている

☐ 自己評価を提出している

☐ 学生から評価されている

☐ 評価は行っていない

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q70_1 教員の評価は必要だと思いますか(お答えは1つ)

- ☐ 必要である
- ☐ ある程度必要
- ☐ あまり必要ない
- ☐ 必要ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q70_2 教員評価は、昇進・昇給に反映されていますか(お答えは1つ)

- ☐ されている
- ☐ ややされている
- ☐ あまりされていない
- ☐ されていない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q70_2で『1.されている』～『2.ややされている』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q70_3 教員評価は、昇進・昇給に反映されているとお答えの方にお伺いします
教員評価に関連している項目は何ですか(あてはまるもの全てをお選びください)

- ☐ 学会等の発表
- ☐ 論文等の発表
- ☐ 学会・研修会等への参加
- ☐ 学会・関連団体等の役員歴
- ☐ 学生からの授業・実習等の評価
- ☐ 学生の補講・相談
- ☐ 広報活動
- ☐ その他(具体的に
)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q71 実習先には担当指導員(歯科衛生士)がいますか(各項目1つお選びください)

		いる	いない	「いる」「いない」の両方	実習を行っていない
歯科医院実習	→	☐	☐	☐	☐
病院実習	→	☐	☐	☐	☐
保健所、保健センター実習	→	☐	☐	☐	☐
介護・福祉施設実習	→	☐	☐	☐	☐

Q71SQ 上記以外で参加している事業の企画や調整があれば記入ください

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q72 実習担当指導者との連絡会議は実施していますか(お答えは1つ)

- ☐ 実施している
- ☐ 実施していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q73 臨床実習・臨地実習施設との連携は図れていますか(お答えは1つ)

- ☐ 十分に連携を図っている
- ☐ 年に何度が連携を図っている
- ☐ 必要なことが生じたら連携を図っている
- ☐ 全て任せている

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q74 「臨地実習指導事例集」「臨地実習講義・習得表」を活用していますか(お答えは1つ)

- ☐ 活用している
- ☐ 活用していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q74で『2.活用していない』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q74_1 「臨地実習指導事例集」「臨地実習講義・習得表」を活用していないとお答えの方にお伺いします
今後、活用することを考えていますか(お答えは1つ)

- ☐ 今後、活用を考えている
- ☐ 活用する予定はない
- ☐ どちらともいえない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q75 実習中に学生がヒヤリ・ハットを経験したことを聞いたことがありますか(お答えは1つ)

- ☐ 直接学生から聞いた
- ☐ 実習先から聞いた
- ☐ 他の教員や人伝てに聞いた
- ☐ 聞いたことがない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q75で『1.直接学生から聞いた』～『3.他の教員や人伝てに聞いた』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q75_1 実習中に学生がヒヤリ・ハットを経験したことを聞いたとお答えの方にお伺いします
聞いた内容を具体的にご記入ください

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q76 同窓会組織はありますか(お答えは1つ)

☐ ある

☐ ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q77 卒後研修を実施していますか(お答えは1つ)

☐ 実施している

☐ 実施していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q77で『1.実施している』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q77_1 卒後研修を実施しているとお答えの方にお伺いします
実施回数はどのくらいですか(お答えは1つ)

☐ 1回/年

☐ 1回/2年

☐ 1回/3年

☐ 不定期

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q77で『1.実施している』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q77_2 卒後研修を実施しているとお答えの方にお伺いします
これまでに実施した卒後研修の内容は何ですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 知識・技術向上

☐ 復職支援

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q78 学校所在地の歯科衛生士会と連携がありますか(お答えは1つ)

☐ ある

☐ ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q78で『1.ある』いずれかを選択した方のみ

歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

Q78_1 学校所在地の歯科衛生士会と連携があるとお答えの方にお伺いします
どのような連携がありますか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 活動紹介

☐ 入学式・卒業式への出席

☐ 会活動への参加

☐ 会の研修会への参加

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【終了(END5)】

Q36で『5.歯科衛生士教育養成機関』いずれかを選択した方のみ

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『10.介護保険施設等』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q79 勤務先は次のどれにあてはまりますか(お答えは主なもの1つ)

- ☐ 介護老人保健施設
- ☐ 介護老人福祉施設
- ☐ 介護医療院（介護療養型医療施設）
- ☐ 居宅介護支援事業所
- ☐ その他（具体的に ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『10.介護保険施設等』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q80 併設医療機関(あるいは関連法人の医療機関))がありますか(お答えは1つ)

- ☐ あり
- ☐ なし
- ☐ 不明

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『10.介護保険施設等』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q81 併設歯科医療機関(あるいは関連法人の歯科医療機関)がありますか(お答えは1つ)

- ☐ あり
- ☐ なし
- ☐ 不明

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q81で『2.なし』～『3.不明』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q81_1 併設歯科医療機関(あるいは関連法人の歯科医療機関)がない、あるか不明とお答えの方にお伺いします
協力歯科医療機関はありますか(お答えは1つ)

- ☐ あり
- ☐ なし
- ☐ 不明

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
Q81.1で『1.あり』いずれかを選択した方のみ

Q81_1で『1.あり』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q81_2	協力歯科医療機関があるとお答えの方にお伺いします 施設に定期的な歯科訪問診療が行われていますか(お答えは1つ)
-------	--

- ☐ 行われている
- ☐ 行われていない
- ☐ 緊急時のみ

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
Q81_2で『1.行われている』いずれかを選択した方のみ

Q81 2で『1.行われている』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q81_3	施設にて定期的な歯科訪問診療が行われていると答えの方にお伺いします 協力歯科医療機関は、施設の口腔ケアや摂食嚥下等の対応に関して協力的ですか(お答えは1つ)
-------	---

- ☐ 協力的である
- ☐ あまり協力的ではない
- ☐ 無関心である

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
Q81.1で『1.あり』いずれかを選択した方のみ

Q81_1で『1.あり』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q81_4	協力歯科医療機関に対して、歯科衛生士としてどのようなことを行っていますか(各項目1つお選びください)
-------	--

		行っている	行っていない
歯科診療が必要な方を繋げる	→	○	○
口腔健康管理が必要な方を繋げる	→	○	○
口腔衛生管理体制加算の指示を受ける	→	○	○
訪問時の連絡・調整	→	○	○
訪問後の対応・連絡	→	○	○

Q81_4SQ	上記以外で協力歯科医療機関に対して行っていることがあれば記入ください
---------	------------------------------------

【回答者条件】

Q36で『10.介護保険施設等』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q82

貴施設の常勤・非常勤の医療関係職種の人員構成について教えてください
該当者がいない場合は「0」名と記入してください

常勤

【常勤】医師 名

【常勤】歯科医師(常時対応可能な歯科医師) 名

【常勤】看護師・准看護師 名

【常勤】理学療法士 名

【常勤】作業療法士 名

【常勤】言語聴覚士 名

【常勤】歯科衛生士 名

【常勤】管理栄養士・栄養士 名

【常勤】その他 名

非常勤

【非常勤】医師 名

【非常勤】歯科医師(常時対応可能な歯科医師) 名

【非常勤】看護師・准看護師 名

【非常勤】理学療法士 名

【非常勤】作業療法士 名

【非常勤】言語聴覚士 名

【非常勤】歯科衛生士 名

【非常勤】管理栄養士・栄養士 名

【非常勤】その他 名

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q82で『9.【常勤】その他』に[1]以上 数値を入力した

または

Q82で『18.【非常勤】その他』に[1]以上 数値を入力した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q82SQ

前問で貴施設の常勤・非常勤の医療関係職種について、「その他」に1人以上の人数を入力されましたが、具体的にどのような内容でしょうか

【常勤】その他

【非常勤】その他

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『10.介護保険施設等』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方に

貴施設での歯科衛生士による「口腔衛生管理」「口腔機能管理(摂食嚥下機能訓練等)」それぞれの業務についてお伺いします

Q83_1

歯科衛生士が「口腔ケアや摂食嚥下等」の業務を実施していますか（各項目1つお選びください）

		実施している	実施していない
口腔衛生管理	→	☐	☐
口腔機能管理(摂食嚥下機能訓練等)	→	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q83_1で「1.口腔衛生管理」で『1.実施している』いずれかを選択した

または

Q83_1で「2.口腔機能管理(摂食嚥下機能訓練等)」で『1.実施している』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方に

貴施設での歯科衛生士による「口腔衛生管理」「口腔機能管理(摂食嚥下機能訓練等)」それぞれの業務についてお伺いします

Q83_2

口腔機能維持管理等の加算を算定しているのはどれですか(あてはまるものをそれぞれすべてお選びください)

	口腔衛生管理	口腔機能管理 (摂食嚥下機能訓練等)
	↓	↓
口腔衛生管理加算	☐	☐
経口維持加算	☐	☐
算定していない	☐	☐
不明	☐	☐

HQ1	Q83_3 回答再掲用 【この設問はモニター回答時には画面に表示されません】
------------	--

- ☐ **1** 口腔衛生管理
Q83_2で「1.口腔衛生管理」で『3.算定していない』いずれかを選択した
かつ
Q83_2で「2.口腔機能管理(摂食嚥下機能訓練等)」で『3.算定していない』どれも選択しなかった(非表示含む)方のみ
- ☐ **2** 口腔機能管理(摂食嚥下機能訓練等)
Q83_2で「1.口腔衛生管理」で『3.算定していない』どれも選択しなかった(非表示含む)
かつ
Q83_2で「2.口腔機能管理(摂食嚥下機能訓練等)」で『3.算定していない』いずれかを選択した方のみ
- ☐ **3** 口腔衛生管理・口腔機能管理(摂食嚥下機能訓練等)
Q83_2で「1.口腔衛生管理」で『3.算定していない』いずれかを選択した
かつ
Q83_2で「2.口腔機能管理(摂食嚥下機能訓練等)」で『3.算定していない』いずれかを選択した方のみ

【回答者条件】 Q83_2で「1.口腔衛生管理」で『3.算定していない』いずれかを選択した または Q83_2で「2.口腔機能管理(摂食嚥下機能訓練等)」で『3.算定していない』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方に
貴施設での歯科衛生士による「口腔衛生管理」「口腔機能管理(摂食嚥下機能訓練等)」それぞれの業務についてお伺いします

Q83_3	「[回答:HQ1]」を算定していない理由は何ですか(あてはまるもの全てをお選びください)
--------------	---

- ☐ 業務負担が大きい
- ☐ 歯科医師の指示が得られない
- ☐ 口腔ケア・マネジメント計画書が作成できない
- ☐ 歯科訪問診療に伴う訪問歯科衛生指導料の算定のため
- ☐ その他(具体的に)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『10.介護保険施設等』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q84 施設の歯科衛生士として、どのような業務を実施していますか(各項目1つお選びください)

		実施 している	実施 していない
要介護者の口腔内状況の観察	→	☐	☐
口腔ケア・アセスメント票の作成	→	☐	☐
要介護者(本人)への口腔清掃指導	→	☐	☐
介護職員への口腔ケアに係る技術的助言・指導	→	☐	☐
歯科衛生士による口腔衛生管理	→	☐	☐
義歯の清掃・取り扱い指導	→	☐	☐
フッ化物の歯面塗布	→	☐	☐
口腔機能の評価	→	☐	☐
口腔機能向上訓練	→	☐	☐
摂食嚥下訓練	→	☐	☐
関連職種への口腔ケアに関する教育研修	→	☐	☐
歯科医師・協力歯科医療機関との連絡・調整	→	☐	☐
入所者の歯科健診の補助	→	☐	☐
担当者会議への参加	→	☐	☐
入・退所時カンファレンスへの参加	→	☐	☐
ミールラウンド	→	☐	☐

Q84SQ 上記以外で歯科衛生士として実施している業務があれば記入ください

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『10.介護保険施設等』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q85 歯科衛生士から歯科医療機関や歯科医師会、歯科衛生士会に連絡をすることがありますか(お答えは1つ)

☐ ある

☐ ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q85で『1.ある』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q85_1

歯科衛生士から歯科医療機関や歯科医師会、歯科衛生士会に連絡をすることがあるとお答えの方にお伺いします
連絡をするのはどこですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 協力歯科医療機関への連絡

☐ かかりつけ歯科への連絡

☐ 歯科医師会

☐ 歯科衛生士会

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q85で『1.ある』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q85_2

歯科衛生士から歯科医療機関や歯科医師会、歯科衛生士会に連絡をすることがあるとお答えの方にお伺いします
連絡する内容はどのようなことですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 患者の依頼

☐ 歯科診療に関しての問い合わせ

☐ 口腔健康管理についての問い合わせ

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q85で『1.ある』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q85_3

歯科衛生士から歯科医療機関や歯科医師会、歯科衛生士会に連絡をすることがあるとお答えの方にお伺いします
歯科衛生士が歯科医療機関の歯科診療内容を受けて、施設内の多職種へ口腔ケアの指導・引き継ぎをすることがありますか(お答えは1つ)

☐ ある

☐ ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『10.介護保険施設等』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q86 今後も、介護保険施設等での業務を続けたいと思いますか(お答えは1つ)

☐ はい

☐ いいえ

☐ わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q36で『10.介護保険施設等』いずれかを選択した方のみ

介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

Q87 介護保険施設等で歯科衛生士が業務を行う上で、どのような問題がありますか 下の欄にご記入ください

-----<改ページ>-----

【終了(END6)】

Q36で『10.介護保険施設等』いずれかを選択した方のみ

【回答者条件】

Q7で『2.いいえ』いずれかを選択した方のみ

現在、歯科衛生士として勤務していない方にお伺いします

Q88

最後に勤務していた職場（歯科診療所等）を退職した理由は何ですか
あてはまる項目（すべて）を選び、その中から最も（主な）項目を1つを選択してください

	あてはまる理由 （すべて）	主な理由 （1つ）
	↓	↓
仕事内容	☐	☐
給与・待遇の面	☐	☐
経営者との人間関係	☐	☐
先輩との人間関係	☐	☐
同期との人間関係	☐	☐
後輩との人間関係	☐	☐
勤務形態・勤務時間	☐	☐
長時間勤務・過重労働	☐	☐
家庭の事情	☐	☐
家族の転勤	☐	☐
結婚	☐	☐
出産・育児	☐	☐
介護・看病	☐	☐
自分の健康	☐	☐
仕事内容のレベルアップのため	☐	☐
人材育成プログラムの不備	☐	☐
自分のスキルの限界	☐	☐
仕事にやりがいを感じない	☐	☐
歯科以外への興味	☐	☐
その他	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
Q7で『2.いいえ』いずれかを選択した方のみ

現在、歯科衛生士として勤務していない方にお伺いします

Q89 最後に勤務していた職場（歯科診療所等）で改善してほしかったことは何ですか
あてはまる項目（すべて）を選び、その中から最も（主な）項目を1つを選択してください

	改善してほしかったこと（すべて）	最も改善してほしかったこと（1つ）
	↓	↓
待遇改善（ベースアップ・定期昇給等）	☐	☐
業務量の軽減	☐	☐
院長等、職場の人間関係	☐	☐
労働時間の短縮	☐	☐
休暇の取得	☐	☐
子育て支援の充実	☐	☐
介護支援の充実	☐	☐
専門性・資格等の評価	☐	☐
教育研修等、レベルアップの機会の充実	☐	☐
多様な勤務形態・勤務時間の導入	☐	☐
医療安全体制の充実	☐	☐
雇用の安定性の確保	☐	☐
福利厚生 の充実	☐	☐
特になし	☐	☐
その他	☐	☐

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
Q7で『2.いいえ』いずれかを選択した方のみ

現在、歯科衛生士として勤務していない方にお伺いします

Q90 歯科衛生士として働いていた勤務先を退職してから、何年くらいになりますか

約 年

 か月

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q7で『2.いいえ』いずれかを選択した方のみ

現在、歯科衛生士として勤務していない方にお伺いします

Q91 歯科衛生士として再就職したいと考えていますか(お答えは1つ)

- ☐ すぐにでも再就職したい
- ☐ 条件が合えば再就職したい
- ☐ そのつもりはない
- ☐ わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q91で『1.すぐにでも再就職したい』～『2.条件が合えば再就職したい』いずれかを選択した方のみ

現在、歯科衛生士として勤務していない方にお伺いします

Q92 歯科衛生士へ再就職のお考えがある方にお伺いします
最後に勤務していた職場(歯科診療所等)に再就職したいと思いますか(お答えは1つ)

- ☐ すぐにでも再就職したい
- ☐ 条件が合えば再就職したい
- ☐ そのつもりはない
- ☐ わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q91で『1.すぐにでも再就職したい』～『2.条件が合えば再就職したい』いずれかを選択した方のみ

現在、歯科衛生士として勤務していない方にお伺いします

Q93 歯科衛生士へ再就職のお考えがある方にお伺いします
歯科衛生士として再就職する場合、どのようにして就職先を探しますか(あてはまるもの全てをお選びください)

- ☐ ハローワーク
- ☐ 求人誌(雑誌の求人欄、新聞・チラシ等も含む)
- ☐ 友人・知人からの紹介
- ☐ 出身学校の紹介
- ☐ インターネット
- ☐ 歯科医師会・歯科衛生士会の無料職業紹介
- ☐ 人材派遣会社
- ☐ その他(具体的に)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q91で『1.すぐにでも再就職したい』～『2.条件が合えば再就職したい』いずれかを選択した方のみ

現在、歯科衛生士として勤務していない方にお伺いします

Q94

歯科衛生士へ再就職のお考えがある方にお伺いします
あなたが歯科衛生士として再就職する際、障害になっていることはありますか(お答えは1つ)

☐ ある

☐ ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q94で『1.ある』いずれかを選択した方のみ

現在、歯科衛生士として勤務していない方にお伺いします

Q94_1

歯科衛生士として再就職する際に障害があるとお答えの方にお伺いします
それはどのようなことですか(お答えは3つまで)

☐ 給与・待遇の面

☐ 勤務時間

☐ 自分のスキル

☐ 相談窓口がない

☐ 高齢のため

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

Q91で『1.すぐにでも再就職したい』～『2.条件が合えば再就職したい』いずれかを選択した方のみ

現在、歯科衛生士として勤務していない方にお伺いします

Q95

歯科衛生士へ再就職のお考えがある方にお伺いします
歯科衛生士として希望する再就職先はどこですか(あてはまるもの全てをお選びください)

☐ 診療所

☐ 病院・大学病院

☐ 障害者歯科診療所等(障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む)

☐ 行政(保健所・都道府県・市区町村)

☐ 歯科衛生士教育養成機関

☐ 企業・事業所(歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務)

☐ 企業・事業所(商品開発・営業等)

☐ 歯科健診・保健活動機関

☐ 社会福祉施設

☐ 介護保険施設等

☐ 地域包括支援センター等

☐ 研究機関

☐ その他(具体的に

)

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
Q7で『2.いいえ』いずれかを選択した方のみ

現在、歯科衛生士として勤務していない方にお伺いします

Q96 再就職するための研修を希望しますか(お答えは1つ)

☐ する

☐ しない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
Q96で『1.する』いずれかを選択した方のみ

現在、歯科衛生士として勤務していない方にお伺いします

Q96_1

再就職するための研修を希望するとお答えの方にお伺いします
どのような内容の研修を希望しますか
あてはまる項目(すべて)を選び、その中から最も(主な)項目を1つを選択してください

	受 け た い 研 修 (す べ て)	最 も 受 け た い 研 修 (1 つ)
	↓	↓
口腔衛生管理に関する技術	☐	☐
スケーリング・ルートプレーニング等の歯周疾患に関する技術	☐	☐
う蝕予防・抑制に関する技術	☐	☐
個人を対象とする歯科保健指導の技術	☐	☐
集団を対象とする歯科保健指導の技術	☐	☐
歯科材料の取り扱い・チェアーサイドアシスタントなどの歯科診療補助の技術	☐	☐
概形印象採得・充填物の研磨・ラバーダム防湿等の歯科診療補助の技術	☐	☐
カウンセリング技術	☐	☐
摂食嚥下機能訓練に関する技術	☐	☐
筋機能訓練に関する技術	☐	☐
介護技術	☐	☐
その他	☐	☐